

日本循環器学会 会 告

Contents

- 1 「準会員」制度のご案内
- 2 第78回一般社団法人日本循環器学会社員総会のご案内
- 3 第78回日本循環器学会学術集会
 - 参加者へのご案内
 - 口述発表に関するご案内
 - ポスターセッションに関するご案内
 - 発表言語と同時通訳のご案内
 - タイムスケジュール
 - プログラム
 - プレナリーセッション・シンポジウム・一般演題・特別企画要項
 - ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナー
 - プレレジストレーションのお知らせ
 - チーム医療セッション (旧: コメディカルセッション) 開催要項
 - 学術集会問い合わせ先のご案内
- 120 第79回日本循環器学会学術集会
- 121 編集委員長からのメッセージ
- 132 2014年度 Translational Research 振興事業応募要領
- 134 循環器専門医制度
 - 2014年度 日本循環器学会認定循環器専門医資格認定審査について
 - 専門医認定更新の手続きについて
 - 循環器専門医認定更新のご案内
 - 専門医認定更新研修の必修化について
 - 第78回学術集会時の医療安全・医療倫理に関する研修対象講演会について
 - 学術集会・地方会での専門医研修単位登録について
 - 「専門医カード」再発行のご案内
 - 循環器専門医カード再発行申請書
 - その他専門医制度に関する手続き・問い合わせ
- 146 地方会・関連学会・研究会情報
 - 専門医研修単位認定学会情報
 - 海外学会情報
 - その他の学会開催情報
 - 研究助成
- 152 ACLS 講習会情報
- 156 映像教材販売のご案内
- 166 和文論文投稿誌「心臓」のご案内
- 167 事務局からのお知らせ
 - 登録事項変更届
 - 学会誌 Circulation Journal の送本について

2014 No.2

「準会員」制度のご案内

日本循環器学会は2014年4月1日から「準会員」制度を新たに開始することとなりました。

「準会員」は、主に医師が在籍する「正会員」とは別に、医師以外の医療業務従事者(例：看護師、臨床工学技士など)を対象とする会員制度です。

現在「正会員」で在籍いただいている医師以外の方は「準会員」に変更することができますので、ご検討いただければ幸いです。

(なお、準会員には変更せず従来どおり正会員として在籍し続けることも可能です。その際、手続きは特にございません。)

《「準会員」は、以下のような方にお勧めの制度となっております》

- ・「Circulation Journal」など医師向けの雑誌の送付は必要ない
- ・学会の社員選挙に関する権利は必要ない
- ・医師ではないので循環器専門医資格は必要ない
- ・学術集会で演題を発表したい
- ・学会の会員専用ページを閲覧したい
- ・医師向けの権利は必要ないので年会費を安くしてほしい など

Q. 「準会員」の会費は？

準会員の年会費は正会員よりも低額となっております(正会員：15,000円)

年会費	8,000円
入会金	2,000円

※正会員からの異動の場合は入会金不要

Q. 「準会員」に入会することができるのは？

看護師や臨床工学技士などの医師を除く医療業務従事者全般が入会の対象となります(医師は準会員となることはできません)

- ① この法人の目的に賛同すること
- ② 医師を除く医療業務従事者であること

Q. 「準会員」に与えられる権利は？

準会員の権利は以下のものになります

(正会員の権利の中から「医師が対象」となるものが制限されます)

- ① 社員総会に出席し意見を述べること(※議決権はございません)
- ② 本会の社員総会議事の要領及び議決した事項について、会告にて通知をうけること
- ③ 本会の学術集会において研究成果を発表し、報告を行うこと
- ④ 別途理事会が定めるところにより、本会の発行する学会学術誌及びその他の学術刊行物の配布をうけること(※「会告」,「学術集会プログラム集」などに限定されます)
- ⑤ 本会ホームページの会員限定ページを閲覧すること

「正会員」との違い

- 社員(旧：評議員)選挙の選挙権及び被選挙権がない
- 本会の役員になることができない(理事、監事、支部評議員など)
- 「Circulation Journal」「専門医誌」「ガイドライン」など、医師向けとなる学会学術誌をうけることができない
- 本会の循環器専門医資格を有することができない(また、準会員である期間は試験受験要件の「学会の会員歴」に含まれない)

Q. 現在「正会員」として在籍しているが、会員区分を「準会員」に変更するためには？

2014年4月1日からの変更をご希望の場合は以下のようにご対応ください

- ① 2014年3月31日までに事務局に会員区分変更の申請を行う
- ② 2014年3月31日までに今年度までの年会費をすべて完納する(未納の場合、申請は無効となります)

※注意

事業年度は4/1～3/31

年度途中の日付での変更は認められません。申請があった年度の翌年度4月1日付で変更となります。

例1. 2014年2月15日に変更申請 → 「2014年4月1日」から準会員となる

例2. 2014年4月5日に変更申請 → 「2015年4月1日」から準会員となる(2014年度中は正会員のまま)

申請方法など詳細は本会ホームページをご確認ください(<http://www.j-circ.or.jp/>)

【お問合せ先：事務局 総務まで(TEL: 03-5501-0861 / E-mail: soumu@j-circ.or.jp)】

第78回一般社団法人日本循環器学会社員総会のご案内

第78回一般社団法人日本循環器学会社員総会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

記

日時：2014年4月18日(金)15時～16時

会場：JPタワー〔東京都千代田区〕

議長：永井 良三（一般社団法人日本循環器学会代表理事）

(注) 社員(代議員)には、4月初め頃に社員総会開催のご案内(メール・希望者は郵送)を別途お送り致します。

以上

第78回日本循環器学会学術集会(JCS2014)

第78回日本循環器学会学術集会

参加者へのご案内

■学術集会の参加受付

※参加費は下記の通りです。

参加区分	参加費 (事前)	参加費 (当日)	必要な提示物	配布物	備 考
日本循環器学会会員	15,000円	20,000円	—	プログラム集、抄録CD	プログラム集、抄録CDは本会より事前配布
非会員の医師および医療関係者	15,000円	20,000円	—	—	
コメディカル	—	7,000円	所定の証明書	プログラム集	チーム医療セッション以外のセッションも聴講可能
研修医(前期)	—	無料	所定の証明書	プログラム集	
学部学生(医学部・薬学部・工学部等含む)	—	無料	学生証	プログラム集	
海外参加者(日本からの留学生は除く)	—	15,000円	—	プログラム集、抄録CD	
在日留学生	—	5,000円	所定の証明書	プログラム集、抄録CD	

※事前参加登録(プレレジストレーション)は終了しております。

※コメディカル、研修医(前期)、在日留学生は所定の証明書の提示が必要です。証明書はホームページよりダウンロードしてください。責任者署名欄は、証明者となる責任者の署名・捺印を得てください。証明書のご提出がない場合、各区分参加費の適用外となりますので、予めご了承ください。

※参加区分「日本循環器学会会員」の参加費(15,000円、20,000円)に消費税はかかりません(不課税)。

※参加証(ネームカード)は領収書及び参加証明書を兼ねて発行されます。本学会学術集会参加を他学会の専門医/認定医/指導医の資格更新単位に申請される場合は、参加証をご利用頂いております。**会期終了後は参加証の再発行及び事後の参加証明書の発行はしていません。**申請時までご自身で保管頂きますようお願いいたします。

・教育セッションは、別途2,000円の参加費が必要です。

・参加費受付の時間と場所は次のとおりです。第1日目の午前中は参加受付が非常に混雑いたします。会期前日夕刻に東京国際フォーラム 地下1階ロビーギャラリーにて参加受付を行いますのでご利用ください。

日程(月日)	東京国際フォーラム 地下1階ロビーギャラリー
※前 日(3月20日/木)	16:00～19:00
第1日目(3月21日/金)	7:00～18:00
第2日目(3月22日/土)	7:00～18:00
第3日目(3月23日/日)	7:00～18:00

※前日受付は、「会員、非会員」のみになります。

《プレレジストレーションをお済ませの方》

・プレレジストレーション完了を示す「登録確認書」をダウンロード・印刷してお持ちください。自動参加登録機より参加証(ネームカード)兼領収書を発行します。

《当日参加登録の方》

・当日参加受付は自動参加登録機にて行います。画面の表示に従い参加費をお支払いのうえ、参加証(ネームカード)兼領収書をお受け取りください。クレジットカードでのお支払いはできません。

《コンgresバッグ》

・ネームカードと同時に発券されるコンgresバッグ引換券を、コンgresバッグ引換所(東京国際フォーラム 地下1階ロビーギャラリー/Cブロック1階ロビー)にお持ちください。なお、コンgresバッグの数には限りがありますので、お早めにお引き換えください。

《ネームカード着用のお願い》

- ・会場内では必ず参加証（ネームカード）を着用してください。なお、会期中および会期終了後は、参加証（ネームカード）兼領収書の再発行はいたしかねますので、ご了承ください。

■教育セッションの参加受付

- ・参加費は2,000円です。参加受付後、教育セッション参加証と教育セッションテキスト（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ共通、「循環器専門医」サプPLEMENT）をお渡しします。
- ・第78回学術集会では、教育セッションのプレジストレーション（2月28日（金）締切）を行っています。

《プレジストレーションをお済ませの方》

- ・教育セッションテキスト引換券は、参加証兼領収書（ネームカード）と同時に発行されます。会期当日は教育セッションテキスト引換所（東京国際フォーラム Aブロック2階）にテキスト引換券をお持ちください。テキストをお渡しします。

《当日申込をされる方》

- ・会期当日の教育セッション参加受付は学術集会の参加受付時にあわせて行っていただくか、「循環器教育セッション参加受付」（東京国際フォーラム Aブロック2階）にて行ってください。
- ・循環器教育セッション参加受付の時間は次のとおりです。

第1日目（3月21日/金） 7：00～18：00

第2日目（3月22日/土） 7：00～18：50

第3日目（3月23日/日） 7：00～15：20

※専門医の単位登録については、次ページ記載の単位登録受付時間内のみとなりますのでご注意ください。

■循環器専門医資格更新に必要な研修単位の登録

＜受付日時・各単位数＞

	学術集会	教育セッション	医療安全・医療倫理に関する講演会
単位数	10単位	5単位	3単位
専門医研修単位登録受付場所	東京国際フォーラム 地下1階ロビーギャラリー	東京国際フォーラム Aブロック2階	東京国際フォーラム Aブロック2階
第1日目 3月21日（金）	7：00～18：00	7：30～12：10	—
第2日目 3月22日（土）	7：00～18：00	7：30～10：00	—
第3日目 3月23日（日）	7：00～18：00	13：00～15：30	10：20～12：35

※研修単位の登録は学術集会会期中、指定の時間内に研修単位登録受付において「循環器専門医カード」を提示する事により、単位を登録する方式です。

※会期中に登録を忘れた場合、会期後にプログラム・参加証等の他書類で研修単位を申告されても受付いたしません。

※単位登録手続きの際お渡しする「単位登録控」はご登録の証明となりますので、次回更新まで大切に保管してください。

※ご本人による登録のみが認められます。虚偽による登録が判明した場合には、専門医制度規則第10条により専門医資格の取消となりますのであらかじめご了承ください。

※65歳以上の単位取得免除制度は2008年3月31日をもって廃止されています。更新を希望される場合は年齢にかかわらず単位登録を行ってください。

学術集会

- ・研修単位の登録は「専門医研修単位登録受付」（上記表内に記載）にて行ってください。
- ・研修単位は、参加日数に関わらず10単位です。

教育セッション

- ・研修単位の登録は「教育セッション専門医研修単位登録受付」（上記表内に記載）にて行ってください。
- ・研修単位は、参加日数に関わらず5単位です。

医療安全・医療倫理に関する講演会

- ・第78回学術集会に限り、必修研修対象の医療安全・医療倫理に関する講演会として「第13回医療安全・医療倫理に関する講演会（医療過誤から新たな医療安全を目指して）」に引き続き「医療安全・医療倫理に関する講演会（COIをマネジメントする）」が開催されます。
- ・「第13回医療安全・医療倫理に関する講演会（医療過誤から新たな医療安全を目指して）」、「医療安全・医療

倫理に関する講演会（COIをマネジメントする）」の単位登録は、上記表内の受付時間内に登録頂くことで、今回に限り3単位の医療安全・医療倫理に関する研修単位となります。

- ・研修単位の登録は「医療安全・医療倫理に関する講演会専門医研修単位登録受付」（上記表内に記載）にて行ってください。

■抄録CD、プログラム集

会期中、下記の製作物を東京国際フォーラム 地下1階ロビーギャラリーにて販売いたします。

冊 子	金 額
抄録CD	3,000円
プログラム集	3,000円
抄録CD・プログラム集のセット	5,000円

■日本循環器学会の登録事項変更

会期中に国内住所、送付先等の学会に登録している事項の変更を行う場合は、「展示会場内の日本循環器学会広報ブース」又は「年会費納入問い合わせ（東京国際フォーラム 地下1階ロビーギャラリー）」までお越しください。

■展示会場 総合受付

学会広報ブース内に出席者向けの「展示会場 総合受付」を設置します。

展示者サイドからの問題点、課題の把握に努め、今後の改善に結びつけてまいります。

■インターネットからのプログラム検索・オリジナル抄録集の作成

プログラムの中から、ご希望の演題だけを収録したオリジナル抄録集、およびオリジナル日程表の作成が行える「My Abstracts」がご利用いただけます。以下のURLにアクセスしてご利用ください。

<https://www.myabstracts.jp/jcs2014/>

学術集会ホームページ（<http://www2.convention.co.jp/jcs2014/>）のメニューからもアクセスできます。

〔MyAbstractsの諸機能〕

- ・登録演題だけを収録したオリジナル抄録集（My Abstracts）をPDFで作成できます。
- ・キーワードや演者名などでプログラムを検索できます。
- ・会期中のご自身のスケジュール（日程表）を作成できます。

オリジナル抄録集および日程表は、PDFファイルで生成されますので、勤務先や自宅のプリンターから出力をお願いします。

■電子抄録アプリ

iPhoneやAndroid等に対応した電子抄録アプリ（演題検索&スケジュール登録等ができます）をご利用いただけます。

【便利な機能】

- ・セッション、演題の検索ができます。
- ・気になるセッションをブックマーク登録することができます。
- ・ブックマーク登録したセッションまたは演題をマイスケジュールで確認することができます。
- ・ブックマーク登録したセッションまたは演題の10分前にお知らせを表示します。

アプリ名	JCS2014
公開日	2014年3月上旬
ご利用方法	App Store、Google Play より「日本循環器学会」または「JCS2014」で検索し、ダウンロードしてください。
利用料	無料（アプリのダウンロードに別途通信料が発生します）
対応機種	iPhone、iPod touch、iPad、iPad mini、Androidスマートフォン、Androidタブレット

抄録の閲覧にはパスワードの入力が必要です。

抄録の閲覧用パスワード
【jcs2014】

会場内の無線LANコーナーと併せて是非ご活用ください。

■ランチョンセミナー、ファイアサイドセミナー

- ・ランチョンセミナー、ファイアサイドセミナーへの参加には、セミナーチケット（無料）が必要です。
- ・第78回学術集会では、ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナーのプレレジストレーション（2月28日（金）締切）を行っています。
- ・プレレジストレーションをお済ませの場合、ランチョン・ファイアサイドセミナーのチケットは、参加証（ネームカード）兼領収書と一緒に自動参加登録機から発行されます。
- ・開催当日もセミナーチケットの発行を行います。数に限りがございますので、ご了承ください。なお、当日受付には参加証（ネームカード）兼領収書が必要になります。当日受付の時間と場所は次の通りです。

《ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナー当日受付》

○東京国際フォーラム 地下1階ロビーギャラリー、Cブロック1階ロビー

《受付時間》

日程（月日）	ランチョンセミナー	ファイアサイドセミナー
第1日目（3月21日/金）	7：00～12：20	7：00～17：50
第2日目（3月22日/土）	7：00～12：20	7：00～18：30
第3日目（3月23日/日）	7：00～12：20	—

※チケットがなくなり次第締め切らせていただきます。

※F16受付時間 7：00～16：50

■モーニングレクチャー

参加の方には、軽食をご用意しております。

■展示会

- ・第78回日本循環器学会学術集会 附設展示会を東京国際フォーラム展示会場（地下2階「展示ホール」、Bブロック5階「ホールB5」）にて行います。
- ・開催日時は次のとおりです。
 - 3月21日（金） 8：30～18：00
 - 3月22日（土） 8：30～18：50
 - 3月23日（日） 8：30～18：00
- ・展示会のガイドブックは展示受付（東京国際フォーラム地下2階「展示ホール」）にて配布いたします。

■会場内の呼び出し

原則として、会場内の呼び出しはいたしません。総合受付、各施設内に設置します「会員連絡板」をご利用ください。

■ドリンクコーナー

東京国際フォーラム地下2階「展示ホール」内、およびBブロック 5階「ホールB5」内の休憩コーナーにて、ドリンクサービスを行います。

■コピー・ファックス

東京国際フォーラム、ガラス棟4階コピー・ファックスルームをご利用ください（有料）。

■無線LAN

東京国際フォーラム地下2階「展示ホール」内、Bブロック 5階「ホールB5」内およびガラス棟とホール棟のロビーにて無線LANを利用することが可能です。無線LAN機能のあるPCをお持ちであれば、自由にインターネットを利用いただけます。各エリアに掲示の案内でパスワード等をご確認ください。

■トラベルデスク

東京国際フォーラム地下1階ロビーギャラリーに設置します。

■プレスルーム

〔時 間〕 9:00～18:00
〔場 所〕 東京国際フォーラム ガラス棟4階「G406」
〔設 備〕 インターネット回線

■無料託児室

会期中、無料託児室をご用意いたします。ご利用は第78回日本循環器学会学術集会の参加者に限ります。お子様を託児室にお連れになった際に「受領確認書」および「申込書（捺印済みの原本）」をご持参いただき、参加証をご提示くださいますようお願いいたします。

利用ご希望の方は、ホームページより申し込み用紙をダウンロードし、メールまたはFAXにてお申し込みください。

〔申込み締切〕 3月14日（金）
〔お問合せ先〕 アルファ・コーポレーション
担当：小滝（こたき）・佐藤
TEL：0120-086-720 FAX：03-5722-1224
E-mail：yoyaku@alpha-co.com

■口演会場・ポスター会場とも会場内での撮影はすべて禁止です。

■禁煙のお願い

日本循環器学会は禁煙宣言をしています。それに伴い、会場内ならびに各会場の敷地内は全て禁煙とさせていただきます。

■DVD-ROMの販売

恒例になりました学術集会DVD-ROMを今年も販売いたします。当日会場（東京国際フォーラム地下2階展示ホールロビー）にて予約申込を受付いたします。収録講演は決定次第ホームページ上にてご案内いたします。

なお、視聴者は専門医研修単位を3単位申請できます。

■授賞式のご案内

〔日 時〕 3月22日（土）14:00～15:00
〔会 場〕 第1会場（東京国際フォーラム「ホールA」）

■役員等選出委員会

〔日 時〕 3月21日（金）18:30～20:00
〔会 場〕 第4会場（東京国際フォーラム「ホールB7（2）」）

■会員懇親会

〔日 時〕 3月21日（金）20:15～22:00
〔会 場〕 第17+18会場（JPタワーホール&カンファレンス4階「ホール1-3」）
〔参加費〕 3,000円
〔参加申込〕 3月21日（金）7:00～18:00 JCS 2014総合案内
（東京国際フォーラム地下1階ロビーギャラリー）にて
それ以降は懇親会会場前にて受け付けます。

■『東大医学—蘭方医学からドイツ近代医学へ』展

〔場 所〕 JPタワー学術文化総合ミュージアム（JPタワー2・3階）
〔日 程〕 2014年3月19日（水）～5月11日（日）
入場無料

■医務室

利用が必要な場合は運営本部①（東京国際フォーラムガラス棟 5階「G507」TEL：03-5221-9180）までご連絡ください。状況により近隣の病院をご紹介します。

■駐車場

会期中、会場内に参加者向け駐車場はございませんので、公共の交通機関にてご来場ください。

■AED

AEDは下記に設置されています。

東京国際フォーラム：地上広場、ガラス棟ロビー、地下コンコース

JPタワーホール&カンファレンス：4階メインエントランス脇受付内

東京商工会議所：地下1階防災センター内

■落とし物

落とし物は、下記にてお預かりいたします。

東京国際フォーラム：JCS 2014総合案内（地下1階ロビーギャラリー）

JPタワーホール&カンファレンス：運営本部②（4階「ミーティングルーム4」）

東京商工会議所：運営本部③（4階「401」）

■クローク

東京国際フォーラム：地下1階ロビーギャラリー、Bブロック5階、Cブロック1階ロビー

JPタワーホール&カンファレンス：4階「ミーティングルーム1」

東京商工会議所：4階 東商ホール ロビー

口述発表 (Oral Presentation) に関するご案内

■座長の方へ

- ・セッションの開始時刻の20分前までに必ず会場右手前方の次座長席にお着きください。
- ・進行は、時間厳守にてお願いいたします。
- ・Featured Research Session、一般口述（英語・日本語）、チーム医療セッション一般口述は1演題15分（発表時間10分+討論時間5分）です。その他のセッションについては事前にご案内いたします。
- ・Featured Research SessionのKeynote Lectureは質疑応答を入れて20分です。
- ・質疑応答の発言者には、予めマイク付近で待機するよう注意を促してください。
- ・不測の事態により座長をお務めいただけない場合は、代理を立てていただいた上で、セッション開始時刻の30分前までに「運営本部①」（東京国際フォーラムガラス棟 5階「G507」 TEL：03-5221-9180）までご連絡ください。

■発表者の方へ

- ・全ての口述発表はWindows機によるPC発表（1面映写）のみといたします。スライドは使用できません。
- ・Macintoshを使用される場合、PC本体をお持ち込みください。
- ・発表データの作成の際には、次の点にご留意ください。
 - 1) 発表データのうち1枚は「結論 (Conclusion)」に当ててください。
 - 2) 民間との共同研究あるいは補助を受けた研究については、可能な限り発表データ上で開示してください。
 - 3) 英語発表セッションの発表データは英語で作成してください。日本語発表セッションの場合は、タイトルは英語で表記してください。タイトル以外は日本語、英語いずれの表記でも可能です。ただし、チーム医療セッションに関しては、タイトルも日本語表記で結構です。
- ・発表予定時刻の1時間前（午前の最初のセッションは30分前）までに発表会場の施設のスピーカー・レディ・ルームにて、発表データを試写確認のうえご提出ください。

【利益相反 (COI) の申告にご協力ください】

口述発表又はポスターセッションで発表されます方は、利益相反の申告にご協力をお願いします。http://www.j-circ.or.jp/coi/coi_index.htmに掲載されております＜一般社団法人 日本循環器学会「臨床研究の利益相反に関する共通指針」の細則＞をご確認いただき、申請見本をダウンロード又は同様式で作成のうえ、スライドの1枚目又はポスターの最後にご提示いただきますようご協力をお願いいたします。

利益相反スライド例1

下記のスライド例にてCOI開示

様式1-A 申請書提出口頭発表時、申告すべきCOI状態がない時、



**日本循環器学会
COI 開示**

発表者氏名: OO OO

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある企業などはありません。

利益相反スライド例2

Please use the sample slide format to disclose COI status
Use Form 1-A
when there are no conflicts of interest to disclose
when giving a presentation at an academic meeting



**The Japanese Circulation Society
COI Disclosure**

Name of First Author:

The authors have no financial conflicts of interest to disclose concerning the presentation.

様式1-B 申請書提出口頭発表時、申告すべきCOI状態がある時、

下記のスライド例にて、COI開示

様式1-B 申請書提出口頭発表時、申告すべきCOI状態がある時、



**日本循環器学会
COI 開示**

発表者氏名: OO OO

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある企業などとして、

①演題:	なし	(この場合は、企業名を記入してください)
②発表者・共著:	なし	
③発表機関:	なし	
④発表種別:	なし	
⑤共同研究・共同研究:	なし	
⑥研究資金:	なし	
⑦研究資金:	なし	
⑧研究資金:	なし	

The Japanese Circulation Society
COI Disclosure

Name of First Author:

Use Form 1-B when you have conflicts of interest to disclose concerning a presentation; give the name of commercial entity

①Consultation fees:	none
②Research grants/sponsorship:	none
③Consulting fees:	none
④Remuneration for lectures:	none
⑤Researcher's fees:	OO Pharmaceutical company
⑥Grant research/Grant research funds:	OO Pharmaceutical company
⑦University funds:	OO Pharmaceutical company
⑧Affiliation with Endowed Department:	yes (OO Pharmaceutical)
⑨Other remuneration such as gifts:	none

申請書提出後、ポスター発表の最後にCOI状態を提示する。

様式1-B 申請書提出後、ポスター発表の最後にCOI状態を提示する。

様式1-B 申請書提出後、ポスター発表の最後にCOI状態を提示する。



**日本循環器学会
COI 開示**

発表者氏名: OO OO

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある企業などはありません。

或いは、

発表者氏名のCOI開示

①演題:	なし	(この場合は、企業名を記入してください)
②発表者・共著:	なし	
③発表機関:	なし	
④発表種別:	なし	
⑤共同研究・共同研究:	なし	
⑥研究資金:	なし	
⑦研究資金:	なし	
⑧研究資金:	なし	

Disclose COI status at the end of the poster
when giving a presentation at academic meetings.
Form 1-B How to Disclose COI status

The authors have no financial conflicts of interest to disclose concerning the presentation.

or

COI Disclosure of First Author

①Consultation fees:	none
②Research grants/sponsorship:	none
③Consulting fees:	none
④Remuneration for lectures:	none
⑤Researcher's fees:	OO Pharmaceutical company
⑥Grant research/Grant research funds:	OO Pharmaceutical company
⑦University funds:	OO Pharmaceutical company
⑧Affiliation with Endowed Department:	yes (OO Pharmaceutical)
⑨Other remuneration such as gifts:	none

【発表データの作成】

- ・OSはWindows、アプリケーションはMicrosoft PowerPoint2003/2007/2010/2013、文字はOS標準フォントをご使用ください。
- 例：
[日本語] MSゴシック・MSPゴシック・MS明朝・MSP明朝
[英語] Times New Roman・Arial・**Arial Black**・Arial Narrow・Century・Century Gothic・Courier・Courier New・Georgia
- ・画面サイズはXGA（1,024×768）に統一します。
- ・ファイル名は「演題番号（半角）発表者名（漢字）」としてください。（例：OE-001日循太郎）
- ・データの容量には特に制限はありませんが、容量が1GBを超える場合はPC本体をお持ち込みください。
- ・音声や動画の使用は可能です。動画を使用される場合、PC本体を持ち込まれることを推奨いたします。動画ファイルは、Windows Media Player 11の初期状態に含まれるコーデックで再生できるよう作成してください。（WMV形式での作成をお勧めします。）
- ・動画などの参照ファイルがある場合は、全てのデータを同じフォルダに格納してください。
- ・万が一の場合に備え、バックアップデータを持参してください。

【発表データの事前登録】

- ・プレナリーセッション、シンポジウム、Featured Research Session、一般口述演題（英語・日本語）、チーム医療セッション一般口述演題の発表データは事前登録を行います。ただし、対象セッションのうち、**演題登録時に日本語の画面から応募された演題（登録番号10,000台、30,000台および70,000台）のみを対象**としております。英語画面から登録された演題（登録番号20,000台、40,000台、50,000台および60,000台）は対象としておりません。
- ・インターネットでご登録いただきます。登録サイトのURLは、演題応募時に登録されたE-mailアドレス宛てに、2月中旬にご通知いたします。
- ・登録期限は**3月18日（火）17:00**です。期限内にご登録いただかなかった場合は、従来どおり会場内のスピーカー・レディ・ルームにてご提出ください。また、事前登録された発表データはスピーカー・レディ・ルームにて確認・修正ができます。
- ・登録可能な発表データ（PowerPoint）は1演題につき1ファイルです（再登録すると上書き保存されます）。それ以外の動画ファイルについては登録できるファイル数に制限はありません。
- ・登録データのファイルサイズの上限は、発表データ（PowerPoint）と動画ファイルを合計して、1演題につき10MB以内です。10MBを超える場合は従来どおり会場内のスピーカー・レディ・ルームにてご提出ください。
- ・発表データ事前登録についての通知メールが2月になっても届かない場合は、演題登録時のE-mailアドレスが変更になっているか、入力ミスがあった可能性があります。5桁の演題登録番号を添えて下記までお問い合わせください。

（一社）日本循環器学会事務局 新井

E-mail: meeting@j-circ.or.jp

- ・発表データを事前登録された場合でも、万が一の事態に備え、バックアップデータを持参してください。

【スピーカー・レディ・ルーム】

- ・スピーカー・レディ・ルームは会期中、下記に設置します。
東京国際フォーラム：Bブロック5階ロビー
JPタワーホール&カンファレンス：4階「ミーティングルーム3」
東京商工会議所：4階 東商ホールロビー
- ・受付時間は次の通りです。

日程（月日）	開設時間
第1日目（3月21日/金）	7：00～18：00
第2日目（3月22日/土）	7：00～18：50
第3日目（3月23日/日）	7：00～17：30

- ・朝10時までは、その日の午前中のセッションでの発表の方を優先的に受付させていただきます。
- ・お持ち込みいただけるメディアは**USBフラッシュメモリ**または**CD-R**に限ります。
※CD-Rへの書き込みはハイブリット（ISO9660）をお使いください。

※パケットライトなど特殊な機能は読めない原因になりますのでご使用にならないでください。

※メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルスチェックソフトでスキャンしてからご使用ください。

- ・コピーミスを防ぐため、メディアに発表データを格納した後、他のPCでも正常に作動するかをご確認ください。
- ・発表データは学術集会終了後、事務局で責任をもって消去します。
- ・スムーズな進行をするために「発表者ツール」の使用はお控えください。発表原稿が必要な方は、予めプリントアウトをお持ちください。
- ・上記の内容で発表に支障がある場合は予め運営準備室までご相談ください。

第78回日本循環器学会学術集会 運営準備室

日本コンベンションサービス株式会社内

TEL：03-3503-5902 FAX：03-3508-1302

E-mail：jcs2014@convention.co.jp

【発表時のご注意】

- ・次演者は会場左手前方の次演者席にお着きください。
- ・発表時は演台上のマウスとキーボードをご自身で操作してください。

【Featured Research Session・一般口述（英語・日本語）の発表者の方へ】

- ・一般口述演題は、Featured Research Session、一般口述（英語・日本語）の3種類のセッションで発表されます。

◆**発表言語**

- ・Featured Research Session、一般口述（英語）の発表は英語です。

◆**発表時間**

- ・Featured Research Session、一般口述（英語・日本語）ともに1演題15分（発表時間10分、討論時間5分）です。Featured Research SessionのKeynote Lectureは質疑応答を含めて20分です。
- ・発表時間の終了1分前に黄ランプ、発表時間終了時に赤ランプにて時間をお知らせいたします。くれぐれも時間厳守でお願いいたします。

【特別セッションの発表者の方へ】

◆**発表言語**

- ・特別セッションの発表言語は「発表言語と同時通訳のご案内」をご参照ください。

◆**発表時間**

- ・発表時間、総合討論の有無については事前にご案内いたします。
- ・発表時間の終了1分前に黄ランプ、発表時間終了時に赤ランプにて時間をお知らせいたします。くれぐれも時間厳守でお願いいたします。

■**発言者の方へ**

- ・発言を希望される方は、あらかじめフロアのマイク付近で待機してください。
- ・発言は座長の指名順とし、発言の前にまず所属、氏名を名乗ってください。
- ・発言者は発表データを提示できません。

ポスターセッションに関するご案内

- ・ポスターセッションの発表形式は英語セッションと日本語セッションに分かれています。
- ・ポスター会場は、下記に設置します。

東京国際フォーラム：地下2階「展示ホール」
Aブロック5階/6階「ロビー」
ガラス棟7階「ラウンジ」

東京商工会議所：4階「特別会議室AB」

■座長の方へ

- ・1人座長制です。
- ・セッション開始時刻の20分前までに、ポスターセッション受付にお越しください。座長用リボンをお渡しします。
- ・進行は時間厳守をお願いします。
- ・ポスター発表は1演題7分（発表時間4分＋討論時間3分）です。
- ・不測の事態により座長をお務めいただけない場合は、代理を立てていただいたうえで、セッション開始時刻の30分前までに「運営本部①」（東京国際フォーラムガラス棟 5階「G507」 TEL：03-5221-9180）までご連絡ください。

■発表者の方へ

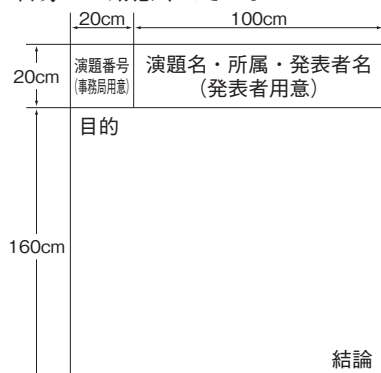
- ・ポスターセッション受付にて発表者用リボンをお受け取りください。
- ・ポスターの掲示時間は1日です。
- ・掲示および撤去は以下の時間に行ってください。撤去時間を過ぎても掲示されているポスターは事務局で処分いたしますので、予めご了承ください。

日程（月日）	掲 示	午前の発表	午後の発表	撤 去
第1日目（3月21日/金）	8:00～9:00	10:10～11:00	15:30～16:20	16:20～18:00
第2日目（3月22日/土）	8:00～9:00	10:10～11:00	16:20～17:10	17:10～18:50
第3日目（3月23日/日）	8:00～9:00	10:10～11:00	15:30～16:20	16:20～18:00

- ・発表予定時刻の20分前までにご自身のポスターの前で待機してください。
- ・セッションの進行に関しては座長の指示に従ってください。
- ・ポスター発表は1演題7分（発表時間4分＋討論時間3分）です。

■ポスター作成要領

- ・パネルのサイズは縦180cm×横120cmです。演題番号は予め表示されています（下図参照）。タイトルは演者ご自身でご用意ください。



※タイトルは演者ご自身で
用意ください。

- ・文字や図表のサイズ、レイアウトを工夫し、離れたところからでもわかりやすいポスターを作成してください。なお、「目的」「方法」「結果」「結論」などを明確にし、目的は左上部に、結論は右下部になるようにレイアウトしてください。
- ・発表言語に関わらずタイトルは英語で表記してください（チーム医療セッションは日本語）。
- ・日本語発表の場合、内容は日本語、英語いずれの表記でも可能です。
- ・【利益相反（COI）の申告にご協力ください】民間との共同研究、あるいは補助を受けた研究については可能な限りポスター上で開示するようお願いします。

発表言語と同時通訳のご案内

第78回日本循環器学会学術集会での発表言語と同時通訳のあるセッションは次のとおりです。

セッション名	発表言語	同時通訳
美甘レクチャー	英語	英⇒日
真下記念講演	日本語	日⇒英
会長講演	日本語	日⇒英
特別講演1-15	英語	英⇒日
会長特別企画1-6	日本語	なし
プレナリーセッション1-3, 5, 7	英語	英⇒日
プレナリーセッション4, 6, 8	日本語	なし
シンポジウム1, 5, 7-14, 16-21	日本語	なし
シンポジウム2-4, 6, 15, 22	英語	なし
ジョイント・シンポジウム	英語	なし
Meet the ESC	英語	なし
ラウンドテーブルディスカッション1, 2, 4-6	日本語	なし
ラウンドテーブルディスカッション3	英語	なし
トピック1, 2の一部, 3-5, 7-13	日本語	なし
トピック2の一部, 6	英語	なし
コントロールバーシー1-7	日本語	なし
ミート・ザ・エキスパート1-11	日本語	なし
モーニングレクチャー1-30	日本語	なし
Late Breaking Clinical Trials	日本語、一部英語	なし
Late Breaking Cohort Studies	日本語、一部英語	なし
佐藤賞受賞記念講演	英語	なし
Young Investigator's Award審査講演	英語	なし
国際留学生YIA審査講演	英語	なし
教育セッションI-Iの一部	英語	なし
教育セッションI-Iの一部, II, III	日本語	なし
Featured Research Session	英語	なし
一般口述（英語）	英語	なし
一般口述（日本語）	日本語	なし
ポスターセッション（英語）	英語	なし
ポスターセッション（日本語）	日本語	なし
チーム医療セッション（シンポジウム）	日本語	なし
チーム医療セッション（教育講演）	日本語	なし
コメディカル賞審査講演会	日本語	なし
チーム医療セッション（口述）	日本語	なし
チーム医療セッション（ポスター）	日本語	なし
市民公開講座	日本語	なし

第 1 日 3 月 21 日 (金) 午前 / March 21 (Fri) AM

★：英語セッション、🗣️：同時通訳付セッション、📄：クエッションクリッカー使用

会 場	8:00	8:20	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:40	12:00	12:40	13:00	13:40
東京国際フォーラム	第 1 会場 (Aブロック) 4F ホールA		開 会 式	E1-1 ビデオセッション1-1 心房細動アブ レーションの進歩 沖重 薫・奥村 謙	E1-2 ビデオセッション1-2 大動脈ステン トグラフト 吉川 公彦・荻野 均			11:10	E1-3 ビデオセッション1-3 ASD 赤木 禎治 河村 朗夫		12:50		
	第 2 会場 (Cブロック) 4-5F ホールC			SL01 ★🗣️	SL02 ★🗣️				SL03 ★🗣️	SL04 ★🗣️		LS1	Real World にお ける新規経口抗 凝固薬のエビデ ンスから学ぶ
	第 3 会場 (Bブロック) 7F ホールB7 (1)			SY06	★				C01	大動脈瘤治療：ステ ントグラフト vs. Open Surgery 大北 裕・宮田 哲郎		LS2	2型糖尿病をどう 捉えていますか？ 一すくわった 糖尿病治療一
	第 4 会場 (Bブロック) 7F ホールB7 (2)			SY01	冠循環を見直す： 心筋虚血の発生機 序から評価まで 下川 宏明・山岸 正和				GL 学 1	ガイドラインに学ぶ 1 筒井 裕之		LS3	糖尿病患者 における脂 質異常症の 成因と治療
	第 5 会場 (Dブロック) 7F ホールD7			ME01	心臓 MRI/CT の 使い方 栗林 幸夫 佐久間 肇				TP03	内科と外科の ハイブリッド治療 大木 隆生 一色 高明		LS4	心電図で 読み解く急 性冠症候 群の病態
	第 6 会場 (Dブロック) 5F ホールD5			LBCT1	Late Breaking Clinical Trials 1 島本 和明 島田 和幸				FRS03	★		LS5 ★	Impella, 血 行動態から の補助循 環の効果
	第 7 会場 (Dブロック) 1F ホールD1			OE01	★	10:10	11:00		OE08	★		LS6	Anti thrombotic therapy in the future for patients with Oral anticoagu lation and PCI
	第 8 会場 (ガラス棟) 4F G402			OE02	★		10:10	11:00		OJ03		LS7	さらなる進化を みせる心臓交 感神経イメー ジング MIBG
	第 9 会場 (ガラス棟) 4F G409			FRS01	★				FRS04	★		LS8	循環器疾 患における SAS 診療 の重要性
	第10会場 (ガラス棟) 5F G502			YIA-C	★				I-YIA	★		LS9	慢性心不全治療 におけるカルシ ウム拮抗薬への期 待：Update 2014
	第11会場 (ガラス棟) 5F G510			OE03	★	10:30	10:40		OE09	★		LS10	血管を診る ～新たな血 管指標の 可能性～
	第12会場 (ガラス棟) 6F G602			OE04	★				OJ04			LS11	ハイリスク患者 における脂質・ 血圧管理～最 新のガイドライ ンの知見から～
	第13会場 (ガラス棟) 6F G610			OE05	★				OE10	★		LS12	PCI 戦略 に活かす 虚血評価
Time	8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:10	12:00	12:40	12:50	13:00	13:40

SL: 特別講演
 SS: 会長特別企画
 PL: プレナリーセッション
 SY: シンポジウム
 JS: ジョイントシンポジウム
 RT: ラウンドテーブルディスカッション
 TP: トピック
 C: コントロバリー

ME: ミート・ザ・エキスパート
 ML: モーニングレクチャー
 LBCT: Late Breaking Clinical Trials
 LBOS: Late Breaking Cohort Studies
 E: 教育セッション
 FRS: Featured Research Session
 OE: 一般口述 (英語)
 OJ: 一般口述 (日本語)

チーム医療セッション
 CE: 教育講演
 CS: シンポジウム
 CA: コメディカル賞審査講演会
 CO: 一般演題 (口述)
 LS: ランチョンセミナー
 FS: ファイアサイドセミナー

会 場		8:00	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	12:40	12:50	13:00	13:40
東京国際フォーラム	第14会場 (ガラス棟) (7F G701)			OE06 ★ Cardiomyopathy/ Hypertrophy (Basic/ Clinical) 1			OE11 ★ Autonomic Nervous System			LS13 心血管疾患発症 阻止を見据えた血 糖管理・夜間深夜 帯の血糖変動、交 感神経活動、血圧 変動の視点から	
	第15会場 (B2F セミナー室1)			OJ01 Exercise Test/ Cardiac Rehabilita- tion 1			OJ05 Heart Failure (Pharmacology) 1			LS14 「心血管病に おける」サブ メントの有効 性について	
	第16会場 (B2F セミナー室2)			OE07 ★ Valvular Heart Disease/Pericarditis/ Cardiac Tumor 1			OE12 ★ Valvular Heart Disease/Pericarditis/ Cardiac Tumor 2			LS15 より質の高い高 血圧治療を目 指して～肥満、 食塩、尿酸～	
JPTタワー	第17会場 (4F ホール1-2)			CE1 放射線による人体 への影響			CS1 遠隔モニタリングを いかにチームで活 用するか?			LS16 超音波検 査の国産技 術：3D TEE とVFM	
	第18会場 (4F ホール3)			FRS02 ★ Coronary Imaging			OE13 ★ Echocardiography (New Technology)			LS17 心腎連鎖 の克服を 目指した糖 尿病治療	
	第19会場 (4F (カンファレンスルームA))			TP01 植込み型 VAD の 適応と成績 山崎 健二 山本 一博	10:10		RT02 CRT-D の長期予後 奥村 健二 因田 恭也			LS18 本邦にお ける新規 エビデンス	
	第20会場 (5F (カンファレンスルームB))			TP02 睡眠・サーカディアン リズムと高血圧・循 環器疾患 前村 浩二・塩見 利明			ME02 心臓リハビリテーショ ンの実際 後藤 葉一 長山 雅俊			LS19 抗凝固剤 関連	
東京商工会議所	第21会場 (4F 東商ホール)			RT01 [?] 心房細動のアブ レーション治療 高月 誠司 熊谷 浩一郎			RT03 ★ Issues in Stent Thrombosis Following Drug-eluting Stent Implantation Nakagawa, Y Ako, J	12:50	13:40		
	第22会場 (7F 国際会議場)			SY07 高血圧のEBM 檜垣 実男 光山 勝慶			TP04 心臓シミュレーター 杉浦 清了 中沢 一雄			LS20 The Ultimate DES has Arrived: PROMUS	
	第23会場 (4F 特別会議室S)			OJ02 Congenital Heart Disease/Kawasaki's Disease			OE14 ★ Preventive Medicine/ Epidemiology/ Education 1	12:50	13:40		
ポスター会場 1～4			掲示		10:00	1～4 ポスター発表 2 チーム医療セッション 一般演題 (ポスター)	11:10	12:40			
Time		8:00	9:00	10:00	10:10	11:00	12:00	13:00	13:40		

第1日 3月21日(金)午後／March 21(Fri) PM

★：英語セッション、🎧：同時通訳付セッション、[?]：クエッションクリッカー使用

会 場	13:50	14:00	15:00	15:20	16:00	16:30	17:00	17:15	18:00	19:00	20:00	20:15		
東京国際フォーラム	第 1 会場 (Aブロック) 4F ホールA	SS1 我が国の地域医療 の新展開にむけて 永井 良三 尾身 茂				SL07★🎧 SL08★🎧 Hasenfuss, G Fu, J Murohara, T Fukuda, K				18:20	19:20			
	第 2 会場 (Cブロック) 4-5F ホールC	SL05★🎧 SL06★🎧 Dimmeler, S Johnson, RS Tsutsui, H Shimokawa, H				PL06 糖尿病と循環器疾 患 代田 浩之 平田 健一				FS1 血圧変動に 立ち向かう				
	第 3 会場 (Bブロック) 7F ホールB7(1)	ME03 先天性心疾患の 外科治療の進歩 佐野 俊二 村上 新				PL04 循環器診療ガイドラ インと日本の EBM ～信 頼を取り戻すために～ 山崎 力・木村 一雄				FS2 動脈硬化性疾患 を標的とした糖尿 病治療戦略 ～食後高血糖と 酸化ストレス～				
	第 4 会場 (Bブロック) 7F ホールB7(2)	GL 学 2 ガイドラインに 学ぶ 2 平山 篤志		14:50		16:30		18:00		役員等選出委員会				
	第 5 会場 (Dブロック) 7F ホールD7	ME04 血管内皮機能測定 の意義 東 幸仁 山科 章				ME05 心エコーの進歩 竹中 克 赤阪 隆史				FS3 心機能評価 における超 音波新時代 の幕明け	20:00			
	第 6 会場 (Dブロック) 5F ホールD5	LBCS1 Late Breaking Cohort Studies 1 山口 徹 大内 尉義				FRS07 ★ Atrial Fibrillation				FS4 "Physiological PCI" and "Angiographi- cal PCI"				
	第 7 会場 (Dブロック) 1F ホールD1	OE15 ★ Atrial Fibrillation (Clinical)				15:30 16:20		循環器臨床研究助成、 留学支援助成 報告会		18:20 19:20				
	第 8 会場 (ガラス棟) 4F G402	OJ06 CRT/ICD				OJ08 ECG Diagnosis				FS5 Cardio-Renal Anemia Syndrome				
	第 9 会場 (ガラス棟) 4F G409	心臓移植委員会 第 10 回心臓移植 セミナー 四津 良平 澤 芳樹				FRS08 ★ Coronary Revasculariza- tion/PCI (Complex Lesions/DES/New Devices/New Technology)				FS6 2013ACC/ AHAガイドラ インをどう捉 えるか?				
	第10会場 (ガラス棟) 5F G502	YIA-B ★ YIA Finalists Lectures (Basic Research) Ogawa, H				16:20		OJ09 ACS/AMI (Clinical/ Treatment) 3		FS7 全国急性冠症候 群コホート研究シ ンポジウムーいよいよ 始まるAMI Nation- wide Registryー				
	第11会場 (ガラス棟) 5F G510	OE16 ★ ACS/AMI (Clinical/ Diagnosis) 1				15:50		OE21 ★ Coronary Revascu- larization/PCI (Complex Lesions) 1		FS8 今、求められ る糖尿病治療 における発想 の転換とは?				
	第12会場 (ガラス棟) 6F G602	OE17 ★ Coronary Revasculariza- tion/PCI (New Devices/ New Technology/ Restenosis/Others) 1				OE22 ★ Coronary Revascu- larization/PCI (Restenosis/Others) 1				FS9 新しい循環 器診断イメー ジングの世界				
	第13会場 (ガラス棟) 6F G610	OE18 ★ Hypertension (Basic/Clinical)				FRS09 ★ Hypertension (Basic/Clinical)				FS10 最新の知見 に基づく糖尿 病治療戦略				
Time	13:50	14:00	15:00	15:20	16:00	16:20	17:00	17:15	18:00	18:20	19:00	19:20	20:00	20:15

会員懇親会（JPTタワーホール&カンファレンス）

東京国際フォーラム
会員懇親会 (JPタワーホール&カンファレンス)

SL: 特別講演
 SS: 会長特別企画
 PL: プレナリーセッション
 SY: シンポジウム
 JS: ジョイントシンポジウム
 RT: ラウンドテーブルディスカッション
 TP: トピック
 C: コントロバーシー

ME: ミート・ザ・エキスパート
 ML: モーニングレクチャー
 LBCT: Late Breaking Clinical Trials
 LBCS: Late Breaking Cohort Studies
 E: 教育セッション
 FRS: Featured Research Session
 OE: 一般口述 (英語)
 OJ: 一般口述 (日本語)

チーム医療セッション
 CE: 教育講演
 CS: シンポジウム
 CA: コメディカル賞審査講演会
 CO: 一般演題 (口述)
 LS: ランチョンセミナー
 FS: ファイアサイドセミナー

会場	13:50	14:00	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	18:00	18:20	19:00	19:20	20:00	20:15
東京国際フォーラム	第14会場 (ガラス棟 7F G701)	FRS05 ★ Cardiac Function (Clinical), Cardiomy- opathy/Hypertrophy (Clinical)				OJ10 Cardiomyopathy/ Hypertrophy (Basic/ Clinical) 2		FS11 TEVAR 時代の B 型大動脈解離のマ ネジメント ～降圧治療かステ ントグラフト治療か?～					
	第15会場 (B2F セミナー 室1)	OE19 ★ Heart Failure (Laboratory/ Biomarkers) 1				OE23 ★ Heart Failure (Laboratory/ Biomarkers) 2		FS12 循環器病データ ベース構築のため の医療機器デー タ連携の有用性					
	第16会場 (B2F セミナー 室2)	OE20 ★ Molecular Biology/ Genetics/Myocar- dium/Vascular				OJ11 Vascular Biology							
JPTタワー	第17会場 (4F ホール 1-2)	CA1 第4回コメディカル賞 審査講演会 1 荒井 秀典 三浦 稚郁子				CA2 第4回コメディカル賞 審査講演会 2 伊藤 浩 田嶋 明彦							
	第18会場 (4F ホール 3)	FRS06 ★ Myocardial Imaging				OE24 ★ CT/MRI (Coronary/ Vascular) 1							
	第19会場 (4F カンファレン スルームA)	ACC-JCS JS ★ Imaging Modalities to Detect Vulnerable Plaque Akasaka, T Narula, J		15:30		SY05 心不全治療の進歩 —内科・外科の集 学的アプローチ— 筒井 裕之・小野 稔		FS13 循環器専門医が知っ ておくべき不眠診療 —睡眠薬の適正な使 用と休薬のための診 療ガイドラインより—					
	第20会場 (5F カンファレン スルームB)	SY08 形態と機能との融合 から病態を把握する 本原 康樹 安武 正弘				OE25 ★ Intravascular Imagings 1		FS14 CKD の心血管 病変—CKD- MBDなる疾患概 念からの見方—					
東京商工会議所	第21会場 (4F 東商 ホール)	C02 [?] 発作性心房細動に対 する薬物療法 vs カ テーテルアブレーション 杉 薫・高橋 淳				C03 [?] CABG vs PCI (SYNTAX5 年の成 績を受けて) 吉野 秀朗・坂田 隆造		18:20 19:20					
	第22会場 (7F 国際 会議場)	SY22 ★ How Has the Comprehensive Genomic Analysis Altered the Clinical Status of Cardiovascular Medicine?—Linkage between the Genetic, Clinical and Epidemiological Sciences, and Its Future Perspective— Kitakaze, M・Seidman, CE				SY13 ACHD の診療体制 の構築:多部門の共 同運営と遠隔医療 伊藤 宏・白石 公		FS15 心不全の非 薬物治療の 最前線					
	第23会場 (4F 特別 会議室S)	OJ07 Smoking/Alcohol/ Life Style, Stress-psycho-somat- ic Medicine				OE26 ★ Diabetes/Lipid Disorders		18:20 19:20					
ポスター 会場 1～4		15:20		15:30	16:00	16:20	17:00	18:00	19:00	20:00	20:15		
				1～4 ポスター発表	2 チーム医療セッション 一般演題 (ポスター)	撤去							
Time		14:00	15:00	15:30	16:00	16:20	17:00	18:00	19:00	20:00	20:15		

会員懇親会 (JPTタワー ホール&カンファレンス)

第2日 3月22日(土)午前 / March 22(Sat) AM

★：英語セッション、🎧：同時通訳付セッション、[?]：クエッションクリッカー使用

会場	8:00	8:30	9:00	10:00	10:30	11:00	11:10	11:55	12:00	12:40	13:00	13:40
東京国際フォーラム	第1会場 (Aブロック) 4F ホールA		E2 Structural Heart Diseaseに対するカテーテル治療の進歩 高山 守正 新浪 博				Mashimo 🎧 Mikamo★🎧 谷口 維紹 Olson, EN 篠山 重威 Yazaki, Y			12:50		
	第2会場 (Cブロック) 4-5F ホールC		SY14 カテーテル治療における女性医師の勤務環境：現状と課題 上田 真喜子・本江 純子				SS2 医療の機能分担と連携 前原 正明 山口 徹				LS21 心房細動の脳卒中予防の新展開～アピキサンバンの実力を考える～	
	第3会場 (Bブロック) 7F ホールB7 (1)	ML01 冠動脈CTの評価ポイント	PL02 ★🎧 Progress in Heart Failure Treatment Isobe, M Anker, SD				SY11 循環器疾患ネットワークとレジストリ 楠岡 英雄 横山 広行				LS22 新しい心不全治療オプションをいかに使いこなすか～オートセットCSによる心不全陽圧呼吸療法を考える～	
	第4会場 (Bブロック) 7F ホールB7 (2)	ML02 新規抗凝固薬の使い方	GL 学 3 ガイドラインに学ぶ 3 青沼 和隆				佐藤賞 ★ Sato Memorial Award Lecture Nagai, R	SL09★🎧 Kar, S Sawa, Y			LS23 DES留置におけるDAPTについて再考する	
	第5会場 (Dブロック) 7F ホールD7	ML03 右心不全をどう診るか?	TP05 超高齢者の循環器医療 桃原 哲也 岡村 吉隆			11:00	TP07 新規糖尿病治療薬の心血管保護作用 杉山 正悟 代田 浩之				LS24 脂質異常症と糖尿病に関する新規エビデンス	
	第6会場 (Dブロック) 5F ホールD5	ML04 パンプレシンと心不全治療の新展開	LBSC2 Late Breaking Cohort Studies 2 堀 正二 藤田 敏郎				FRS12 ★ Ventricular Tachycardia				LS25 カテーテルアブレーションへの期待と抗凝固療法の意義の再考	
	第7会場 (Dブロック) 1F ホールD1	7:35 8:15	国際交流委員会 海外留学生セミナー 室原 豊明	10:10		11:00	編集委員会 ★ Circulation Journal Award Session 下川 宏明				LS26 Cardio Renal Syndrome のリスクファクター	
	第8会場 (ガラス棟) 4F G402	ML05 TAVIの適応は広がるか?	OJ12 Atrial Fibrillation (Clinical, Pathophysiology)				男女共同参画委員会 第4回男女共同参画委員会セッション 上田 真喜子 樗木 晶子				LS27 慢性血栓性肺高圧症の診断と治療について	
	第9会場 (ガラス棟) 4F G409	ML06 急性左心不全の治療	OJ13 Pacemaker/ICD/CRT				FRS13 ★ Angina Pectoris (Clinical), Coronary Revascularization/PCI (Complex Lesions/ DES/Restenosis/Others)				LS28 老化と心疾患をつなぐRASの多面的役割	
	第10会場 (ガラス棟) 5F G502	ML07 運動療法と和温療法の進歩	OJ14 Atherosclerosis (Clinical/Pathophysiology)			11:00	OE32 ★ Atherosclerosis (Clinical/Treatment)				LS29 HDL 機能の臨床的評価—量から質へ	
	第11会場 (ガラス棟) 5F G510	ML08 増え続ける成人先天性心疾患患者にどう対応するか?	OE27 ★ Vascular Disease (Therapy) 3				OJ17 Vascular Disease (Therapy) 4				LS30 EPAを臨床で活かす～最近の知見～	
	第12会場 (ガラス棟) 6F G602	ML09 非心臓手術の術前評価と周術期管理	OJ15 Atherosclerosis (Clinical/Diagnosis) 1				OE33 ★ Thromboembolism/Antithrombotic Therapy/Thrombolysis 1				LS31 冠循環生理を考慮した虚血性心疾患の診断と治療戦略	
	第13会場 (ガラス棟) 6F G610	ML10 造影剤腎症の予防と対策	OE28 ★ Hypertension (Clinical) 1				OE34 ★ Hypertension (Clinical) 2				LS32 心血管病理2014：マクロからウルトラミクロへ	
Time	7:35	8:00	8:15 8:30	9:00	10:00	11:00	11:10	12:00	12:40	12:50	13:00	13:40

SL: 特別講演
 SS: 会長特別企画
 PL: プレナリーセッション
 SY: シンポジウム
 JS: ジョイントシンポジウム
 RT: ラウンドテーブルディスカッション
 TP: トピック
 C: コントロバリー

ME: ミート・ザ・エキスパート
 ML: モーニングレクチャー
 LBCT: Late Breaking Clinical Trials
 LBOS: Late Breaking Cohort Studies
 E: 教育セッション
 FRS: Featured Research Session
 OE: 一般口述 (英語)
 OJ: 一般口述 (日本語)

チーム医療セッション
 CE: 教育講演
 CS: シンポジウム
 CA: コメディカル賞審査講演会
 CO: 一般演題 (口述)
 LS: ランチョンセミナー
 FS: ファイアサイドセミナー

会 場		7:35	8:00	8:15	8:30	9:00	10:00	10:10	11:00	11:10	12:00	12:40	12:50	13:00	13:40
東京国際フォーラム	第14会場 (ガラス棟) (7F G701)	ML11 循環器領域における放射線被ばく管理				FRS10 ★ Heart Failure (Laboratory/Biomarkers)				Meet the ESC ★ ESC-JCS Guideline Session of Heart Failure Saito, Y・Vardas, P			LS33 ★ RECENT ADVANCES AND NEW INSIGHTS IN IABP THERAPY		
	第15会場 (B2F セミナー室1)					OE29 ★ Heart Failure (Pathophysiology) 1				OE35 ★ Heart Failure (Pharmacology) 2			LS34 心腎連関障害のリスクとしての高尿酸血症		
	第16会場 (B2F セミナー室2)					OE30 ★ Cardiomyopathy/Hypertrophy (Clinical)				OJ18 Cardiovascular Pharmacology (Basic/Clinical)			LS35 条件付きMRI対応ペースメーカーの最新情報		
JPTタワー	第17会場 (4F ホール1-2)	ML12 失神の鑑別診断と治療				CS2 再入院予防を目指した心不全患者へのチームアプローチ				CE2 循環器疾患治療薬の使い方～知っておくべき相互作用と重篤な副作用～			LS36 高血圧疾患における交感神経系とRA系		
	第18会場 (4F ホール3)	ML13 ステージD心不全における包括的治療の未来				FRS11 ★ Metabolic Disease/Preventive Medicine/Epidemiology				OJ19 Diabetes/Obesity/SAS			LS37 血管病を如何に発見し治療すべきか!!		
	第19会場 4F (カンファレンスルームA)	ML14 脳卒中・認知症予防のための高血圧治療				SY12 地域医療と医療経済 湊口 信也 田倉 智之	10:10			SY18 末梢血管治療における new trend 古森 公浩 南都 伸介			LS38 Arterial stiffness in clinical practice		
	第20会場 5F (カンファレンスルームB)	ML15 冠動脈内イメージングの進歩				OE31 ★ Cerebrovascular Circulation/Stroke, Cost-health Care System/DPC/Laws				TP08 組織リモデリングにおける低酸素・代謝シグナル 真鍋 一郎・相川 真範			LS39 冠動脈疾患合併脂質異常症の新たな治療戦略～プラークの質と量の管理～		
東京商工会議所	第21会場 (4F 東商ホール)	7:35	8:15			SY09 冠動脈イメージングの最前線 赤坂 隆史 水野 杏一				C04 心房細動: 血栓リスクが相対的に低い集団に抗凝固をすべきか否か 是恒 之宏・井上 博			12:50	13:40	
	第22会場 (7F 国際会議場)					TP06 ★ Novel Metabolic Factors and Nutrition in Cardiovascular Pathophysiology Abel, ED・Adachi, T				ME06 不全心筋: 新しい治療法の模索 室原 豊明 竹村 元三			LS40 ★ 未定		
	第23会場 (4F 特別会議室S)					OJ16 Echocardiography (Myocardium)				OE36 ★ CT/MRI (New Technology)			LS41 心房細動に対する抗凝固療法の新時代: 日本人における新たなエビデンス		
ポスター会場 1～4					掲示			1～4 ポスター発表 2 チーム医療セッション 一般演題 (ポスター)	11:10		12:40	12:50	13:40		
大手町サンケイプラザ (4F サンケイホール)		8:00				9:00		10:10	11:00						第12回 禁煙推進・ 心臓蘇生法 合同市民 公開講座
Time		8:00				9:00		10:00	11:00		12:00		13:00		13:40

第2日 3月22日(土)午後 / March 22(Sat) PM

★: 英語セッション、🔊: 同時通訳付セッション、[?]: クエッションクリッカー使用

会 場	14:00	15:00	15:45	16:00	16:30	17:00	17:20	18:00	18:50	19:00	20:00	20:30
東京国際フォーラム	第1会場 (Aブロック) 4F ホールA	授賞式	会長講演 SL10★		永井 良三 矢崎 義雄 Antman, E Aonuma, K		SS4 公正な臨床研究の 進め方 興梠 貴英 植田 真一郎		19:00			
	第2会場 (Cブロック) 4-5F ホールC		SS3 循環器病ナショナル データベース 小川 久雄 高本 真一				SS7 利益 相反を 考える 永井 良三	SL11★ SL12★	FS17 β遮断薬療法の6W2H を、プロフェッショナルが 議論する～環境の変化 による誤解を懸念して～			
	第3会場 (Bブロック) 7F ホールB7(1)	PL05 ★ Current Status and Management of Cardiac Failure, Arrhythmias, Pulmonary Hypertension and Sudden Death in Adults with Congenital Heart Disease Niwa, K・Gatzoulis, MA		16:20	17:00	PL03 ★ Regenerative Therapy in Cardiovascular Field Fukuda, K Komuro, I		FS18 今、糖尿病 治療戦略に 求められる こと				
	第4会場 (Bブロック) 7F ホールB7(2)	C05 高齢者の弁膜症治療 高梨 秀一郎 中谷 敏				SY17 肺高血圧症に期待 される新しい治療法 松原 広己 伊藤 正明		FS19 心不全における心 腎関連と水利尿薬 の可能性				
	第5会場 (Dブロック) 7F ホールD7	LBCT2 Late Breaking Clinical Trials 2 小川 聡 北 徹				ME07 心臓移植の現場—脳 死判定から移植後免 疫抑制療法まで— 中谷 武嗣・坂田 隆造		FS20 FS20				
	第6会場 (Dブロック) 5F ホールD5	OE37 ★ Arrhythmia (Genetics) 1		16:20		FRS16 ★ Genetics and iPS Innovation in Arrhythmia		FS21 心血管イベン ト抑制を目指 したトータル アプローチ				
	第7会場 (Dブロック) 1F ホールD1	OE38 ★ BrS/ERS/LQT		17:10		OJ24 Arrhythmia (Genetics) 2		Anti-Smoking 第13回禁煙推進 セミナー				
	第8会場 (ガラス棟) 4F G402	OJ20 Atrial Fibrillation/ Ablation 1				OJ25 Atrial Fibrillation/ Ablation 2		FS22 抗血小板療 法の現状と 今後				
	第9会場 (ガラス棟) 4F G409	FRS14 ★ Atherosclerosis (Clinical/Pathophysi- ology/Diagnosis)				FS16 第75回 冠循環談話会 コンピューターシミュレ ーションが拓く予測型の冠 循環疾患医療		FS23 ★ Stroke Prevention in AF 2014 —GARFIELD Registry insights and perspectives				
	第10会場 (ガラス棟) 5F G502	OE39 ★ Atherosclerosis (Clinical/Diagnosis) 2		16:20		OJ26 Coronary Revascu- larization/PCI (Complex Lesions) 2		FS24 冠攣縮の 最新知見				
	第11会場 (ガラス棟) 5F G510	OJ21 Regeneration (Basic/ Clinical)				OE42 ★ Coronary Circula- tion/Chronic Coronary Disease (Basic/Clinical) 1		FS25 ★ TAVI: Beyond the PARTNER Trial				
	第12会場 (ガラス棟) 6F G602	OE40 ★ Atherosclerosis (Basic)				FRS17 ★ Kidney/Renal Circulation/CKD		FS26 劇症型心筋炎				
	第13会場 (ガラス棟) 6F G610	FRS15 ★ Cardiovascular Pharmacology (Clinical), Heart Failure (Pharmacology)				FRS18 ★ Heart Failure (Patho- physiology/Basic), Molecular Biology/Genet- ics/Myocardium/Vascular		FS27 循環器疾患 における腎障 害と降圧治 療について				
Time	14:00	14:40	15:00	16:00	16:20	17:00	17:10	18:00	18:50	19:00	20:00	20:30

SL : 特別講演
 SS : 会長特別企画
 PL : プレナリーセッション
 SY : シンポジウム
 JS : ジョイントシンポジウム
 RT : ラウンドテーブルディスカッション
 TP : トピック
 C : コントロバリー

ME : ミート・ザ・エキスパート
 ML : モーニングレクチャー
 LBCT : Late Breaking Clinical Trials
 LBOS : Late Breaking Cohort Studies
 E : 教育セッション
 FRS : Featured Research Session
 OE : 一般口述 (英語)
 OJ : 一般口述 (日本語)

チーム医療セッション
 CE : 教育講演
 CS : シンポジウム
 CA : コメディカル賞審査講演会
 CO : 一般演題 (口述)
 LS : ランチョンセミナー
 FS : ファイアサイドセミナー

会 場	14:00	14:40 15:00	16:00 16:10	17:00 17:20	18:00	18:50 19:00	20:00
東京国際フォーラム	第14会場 (ガラス棟 7F G701)	Meet the ESC ★ TAVI update Mitsuhashi, H Cribier, A			ESC-JCS JS ★ Impact of Coronary Imaging on the Mechanism and Prediction of Acute Coronary Syndrome (ACS) Ozaki, Y・Pinto, FJ	FS28 ★ LINC-A multicenter, randomized trial comparing a mechanical CPR algorithm using LUCAS vs. manual CPR in out-of-hospital cardiac arrest patients	
	第15会場 (B2F セミナー 室1)	OJ22 Heart Failure (Laboratory/ Biomarkers) 3			OE43 ★ Heart Failure (Pathophysiology) 2	FS29 急性心腎症候群の 管理～虚血ストレス マーカー L-FABP の可能性～	
	第16会場 (B2F セミナー 室2)	OE41 ★ Exercise Test/ Cardiac Rehabilita- tion 2			OE44 ★ Exercise Test/ Cardiac Rehabilita- tion 3	FS34 ★ Impella の 臨床効果	
J P タワー	第17会場 (4F ホール 1-2)	CE3 不安や抑うつへの 対処方法			CS3 栄養関連指標を用 いた心疾患患者の 管理	FS30 平成 26 年診療報 酬改定とジェネリッ ク医薬品～循環 器ジェネリック医 薬品に着目して～	
	第18会場 (4F ホール 3)	RT04 ワーファリンと 新規凝固系阻害薬 山下 武志 堀 正二			OE45 ★ Obesity/SAS	FS31 実証例から考える 日本心不全学 会 BNP ステート メントの解釈	
	第19会場 (4F カンファレンス スルームA)	CO1 チーム医療システム			SY10 脳梗塞予防のための心 房細動の予防・治療戦略 —UPDATE 林 秀晴・磯 博康	FS32 ★ Total Management of Atrial Fibrillation	
	第20会場 (5F カンファレンス スルームB)	TP09 医師のキャリアパス を広げる 米村 滋人 高橋 栄一			SY04 ★ Challenges of Non-pharma- cological Treatment of Life-threatening Malignant Ventricular Tachyarrhythmias Aonuma, K・Della Bella, P	FS33 心房細動患者のリス ク層別化と抗凝固療 法: J-RHYTHM Registryから学ぶこと	
東京商工会議所	第21会場 (4F 東商 ホール)	AHA-JCS JS ★ Future Prospect of iPS Cells and Direct Induction Fukuda, K Olson, EN			C06 [?] 19:00 20:00 CRT—わが国にお ける植え込みは十 分か不十分か?— 茅田 浩・伊藤 浩		
	第22会場 (7F 国際 会議場)	SY15 ★ Treatment Strategy of CKD: Collaboration by Cardiologists and Nephrologists Node, K・Ronco, C			SY19 急性大動脈解離の診断と 治療における集学的ア プローチ: 内科、外科共同 の Aorta team に向けて 荻野 均・吉野 秀朗		
	第23会場 (4F 特別 会議室S)	OJ23 Vascular Ultraso- nography			OE46 Intravascular Imagings 2		
ポスター 会場 1～4	14:40	16:10	16:20	1～4 ポスター発表 2 チーム医療セッション 一般演題(ポスター)	撤去		
大手町 サンケイプラザ (4F サンケイ ホール)	第 12 回禁煙推進・心肺蘇生法 合同市民公開講座			17:10	18:50		
Time	14:00	15:00	16:00	16:30	17:00	18:00	19:00
							20:00

第3日 3月23日(日)午前 / March 23(Sun) AM

★: 英語セッション、🎧: 同時通訳付セッション、[?]: クエッションクリッカー使用

会 場		8:00		8:30		9:00		10:00		10:50		11:00		12:00		12:20		13:00		13:05		13:40	
東京国際フォーラム	第 1 会場 (Aブロック) (4F ホールA)			PL01 ★🎧 Coronary Revascularization Based on Evidence Based Medicine-Comparing PCI and CABG-Reality and Ideal Hirayama, A・Pijls, NHJ						医療倫理委員会 第 13 回医療安全・医療倫理に関する講演会 医療過誤から新たな医療安全を目指して 奥村 謙・近森 大志郎		医療倫理委員会 COIをマネージメントする 代田 浩之											
	第 2 会場 (Cブロック) (4-5F ホールC)			SL13★🎧 SL14★🎧 Wang, J Isobe, M		Komajda, M Kitakaze, M				11:10 SS5 アジアからのエビデンス 荻尾 七臣 木村 剛				LS42 くも膜下出血治療法を目指すための参加型セミナー→ Beyond the Clinical Trial 大規模臨床試験を思い越す→Yes or No?									
	第 3 会場 (Bブロック) (7F ホールB7 (1))	ML16 特発性心室細動の病態と治療		SY16 弁膜症治療ニューパラダイムを迎えて 四津 良平 山本 一博								ME08 マルファン症候群に代表される遺伝性大動脈疾患の診断と治療 平田 恭信・森崎 裕子				LS43★🎧 Apixaban-The NOAC with an Excellent Safety and Efficacy Profile in Atrial Fibrillation							
	第 4 会場 (Bブロック) (7F ホールB7 (2))	ML17 心臓再生医療の現状と新展開		GL 解説 1 ガイドライン解説 1 山科 章								GL 解説 2 ガイドライン解説 2 許 俊鋭				LS44 PADに対する血管内治療の現状と限界							
	第 5 会場 (Dブロック) (7F ホールD7)	ML18 ACE 阻害薬の特徴と意義		RT05 心不全における利尿薬の選択 増山 理 安村 良男								循環器救急医療委員会 日本循環器学会 蘇生科学シンポジウム 野々木 宏 木村 一雄				LS45 TOPCATを読み解く〜心不全におけるアルドステロンの役割〜							
	第 6 会場 (Dブロック) (5F ホールD5)	ML19 睡眠呼吸障害の診断と治療		LBSC3 Late Breaking Cohort Studies 3 筈 貴 宏 鄭 忠和								FRS21 ★ Atrial Fibrillation/Ablation				LS46 心不全治療におけるβ遮断薬の新たな位置づけ〜急性期から始める事の意義は?							
	第 7 会場 (Dブロック) (1F ホールD1)	7:35 8:15		OE47 ★ Atrial Fibrillation/Ablation 3				10:10		11:00		OE52 ★ Atrial Fibrillation/Ablation 5				LS47 生体吸収性ステントは本当に有用か?							
	第 8 会場 (ガラス棟) (4F G402)	ML20 2014 年の時点でみる「たこつぼ心筋症」の問題点		OJ27 Atrial Fibrillation/Ablation 4								OJ34 Ventricular Tachycardia 1				LS48 循環器疾患における鎮痛、鎮静							
	第 9 会場 (ガラス棟) (4F G409)	ML21 心臓 MRI の有用性		OJ28 Coronary Revascularization/PCI (New Devices/ New Technology/ Restenosis/ Others) 2								FRS22 ★ Vascular Disease (Therapy)				LS49 ハイリスク高血圧に対するβ遮断薬の選択							
	第10会場 (ガラス棟) (5F G502)	ML22 心外膜アブレーション		OE48 ★ Coronary Revascularization/PCI (DES) 3						11:00		OE53 ★ Coronary Revascularization/PCI (DES) 4				LS50 世界のガイドラインから見る高血圧治療戦略							
	第11会場 (ガラス棟) (5F G510)	ML23 DPP-4 阻害薬の心血管保護		OJ29 ACS/AMI (Clinical/ Diagnosis) 2								OJ35 ACS/AMI (Clinical/ Pathophysiology, Basic)				LS51 我が国の PAD 診療のトピックス〜血管内皮機能と最新の疫学調査 SEASON〜							
	第12会場 (ガラス棟) (6F G602)	ML24 生物統計		OE49 ★ Angina Pectoris (Clinical)								OJ36 Coronary Circulation/Chronic Coronary Disease (Basic/Clinical) 2				LS52 心不全における高尿酸血症〜新たな治療ターゲット?〜							
	第13会場 (ガラス棟) (6F G610)	ML25 次世代ステント		OJ30 Cardiac Arrest/ Resuscitation								FRS23 ★ Valvular Heart Disease/Pericarditis/ Cardiac Tumor				LS53 新たな治療標的としてのHDL〜残余リスクの制圧を目指して							
Time		7:35	8:00	8:15	8:30	9:00		10:00		11:00		12:00		12:40	12:50	13:00		13:40					

SL: 特別講演
 SS: 会長特別企画
 PL: プレナリーセッション
 SY: シンポジウム
 JS: ジョイントシンポジウム
 RT: ラウンドテーブルディスカッション
 TP: トピック
 C: コントロバリー

ME: ミート・ザ・エキスパート
 ML: モーニングレクチャー
 LBCT: Late Breaking Clinical Trials
 LBOS: Late Breaking Cohort Studies
 E: 教育セッション
 FRS: Featured Research Session
 OE: 一般口述 (英語)
 OJ: 一般口述 (日本語)

チーム医療セッション
 CE: 教育講演
 CS: シンポジウム
 CA: コメディカル賞審査講演会
 CO: 一般演題 (口述)
 LS: ランチョンセミナー
 FS: ファイアサイドセミナー

会 場		7:35 8:00	8:15 8:30	9:00	10:00	11:00 11:10	12:00	12:40 12:50	13:00 13:40
東京国際フォーラム	第14会場 (ガラス棟) (7F G701)	ML26 頸動脈 狭窄の 治療の 進歩		OJ31 Heart Failure (Diagnosis)			OJ37 Heart Failure (Non-pharmacology)		LS54 降圧療法を再考 する。 :有用な surrogate marker は何か?
	第15会場 (B2F セミナー室1)			OE50 ★ Cardiac Function (Basic/Clinical)			OJ38 Pulmonary Circulation 1		LS55 心腎連関 を考慮し た高血圧 治療戦略
	第16会場 (B2F セミナー室2)			FRS19 ★ Metabolic Disease/ Molecular Mechanism			OE54 ★ Metabolic Disease/ Molecular Mechanism		LS56 ★ "Management of PAH: Highlights from the 5th PH World Symposium"
JPTタワー	第17会場 (4F ホール1-2)	ML27 我が国の循環器疾患と リスク因子の時代変遷		CS4 心臓リハビリテーションの新たな評価指標をいかに活用するか	10:10		CS5 循環器診療における医療機器の安全管理体制		LS57 最新心血管画像 診断のインパクト The Clinical Impact of Cardiovascular Imaging
	第18会場 (4F ホール3)	ML28 心血管病のバイオマーカー		OJ32 CT/MRI (Myocardium)			OJ39 Echocardiography (Others) 1		LS58 PCI後の 抗血小板 療法と消 化管傷害
	第19会場 (4F カンファレンスルームA)	ML29 HFpEFの診断と治療		FRS20 ★ Echocardiography			CO2 臨床・治療		LS59 心血管イベント抑制に向けた糖尿病治療戦略
	第20会場 (5F カンファレンスルームB)	ML30 心臓のアンチエイジング		OE51 ★ Nuclear Cardiology 1	10:10		心臓核医学会 フュージョンして 循環器疾患を診る 汲田 伸一郎 西村 重敬		LS60 血糖変動 と血管合併症の 関係
東京商工会議所	第21会場 (4F 東商ホール)	7:35 8:15		TP10 肺高血圧治療の進歩 中西 宣文 松原 広己			RT06 薬剤性 QT 延長症候群予防の最前線—医薬品の心血管系リスク対策の現状と将来 加藤 貴雄・品川 香	12:50 13:40	
	第22会場 (7F 国際会議場)			SY20 喫煙と循環器疾患—あらたな禁煙医療への挑戦— 室原 豊明・朔 啓二郎			ME09 心疾患患者の妊娠 出産の管理はどのようにするか 池田 智明・篠原 徳子		LS61 糖尿病治療の新たな展望
	第23会場 (4F 特別会議室S)			OJ33 Hypertension (Clinical) 3			OE55 ★ Kidney/Renal Circulation/CKD 1	12:50 13:40	
ポスター会場 1~4			掲示		1~4 ポスター発表 2 チーム医療セッション 一般演題 (ポスター)	11:10	12:40		
Time		8:00	9:00	10:00	10:10	11:00	12:00	13:00	13:40

第3日 3月23日(日)午後／March 23(Sun) PM

★：英語セッション、🎧：同時通訳付セッション、[?]：クエッションクリッカー使用

会 場	14:00	15:00	16:00	16:30	17:00	18:00	18:10	19:00	20:00
第1会場 (Aブロック) 4F (ホールA)	E3 日常診療における他科との連携 円滑な循環器内科 コンサルテーションを考える 山科 章・前村 浩二				SS6 ゲノム科学の新展開 油谷 浩幸 宮野 悟	閉会式			
第2会場 (Cブロック) 4-5F (ホールC)		15:00	市民公開講座 「心臓病とともに生きる」		17:00				
第3会場 (Bブロック) 7F (ホールB7(1))	SY03 ★ J-wave Syndrome and Related Electrical Disorders Atarashi, H Viskin, S	15:20			PL07 ★🎧 Therapeutic Hypothermia and Percutaneous Coronary Intervention for Acute Coronary Syndrome Complicated by Cardiac Arrest Nagao, K・Erlinge, D				
第4会場 (Bブロック) 7F (ホールB7(2))	PL08 循環器病学のトランス レーショナルリサーチ 砂川 賢二 澤 芳樹				C07 超高齢者高血圧に 140/90mmHg 未満の厳 格な血圧管理が必要か 柴木 宏実・梅村 敏				
第5会場 (Dブロック) 7F (ホールD7)	学術委員会 SL15★🎧 Translational Research 振 興事業最終 報告会 小室 一成	Williams, B Higaki, J			TP13 植込み型デバイスの 進歩 庄田 守男 中島 博				
第6会場 (Dブロック) 5F (ホールD5)	健保対策委員会 保険医療セミナー 平成26年度診療報 酬改定を巡って 伊東 春樹・川名 正敏				OE64 ★ Ventricular Tachycardia 2				
第7会場 (Dブロック) 1F (ホールD1)	OE56 ★ Atrial Fibrillation/ Ablation 6				OJ42 Atrial Fibrillation/ Ablation 7				
第8会場 (ガラス棟) 4F (G402)	OJ40 Arrhythmia (Others)/Catheter Ablation				OJ43 Arrhythmia (Basic)				
第9会場 (ガラス棟) 4F (G409)	FRS24 ★ Thromboembolism/ Antithrombotic Therapy/Thrombolysis				OE65 ★ Coronary Revascu- larization/PCI (Restenosis/Others) 2				
第10会場 (ガラス棟) 5F (G502)	OE57 ★ Coronary Revascu- larization/PCI (DES) 5	15:30			OJ44 Thromboembolism/ Antithrombotic Therapy/Throm- bolysis 2				
第11会場 (ガラス棟) 5F (G510)	OJ41 Angina Pectoris (Basic/Clinical)				OE66 ★ ACS/AMI (Clinical/ Treatment) 4				
第12会場 (ガラス棟) 6F (G602)	OE58 ★ Infection/Inflamma- tion/Immunity				OJ45 Valvular Heart Disease/Pericarditis/ Cardiac Tumor 3				
第13会場 (ガラス棟) 6F (G610)	FRS25 ★ Pulmonary Circulation				OE67 ★ Pulmonary Circulation 2				
Time	13:50 14:00	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	18:00	19:00	20:00

東京国際フォーラム

SL: 特別講演
 SS: 会長特別企画
 PL: プレナリーセッション
 SY: シンポジウム
 JS: ジョイントシンポジウム
 RT: ラウンドテーブルディスカッション
 TP: トピック
 C: コントロバシー

ME: ミート・ザ・エキスパート
 ML: モーニングレクチャー
 LBCT: Late Breaking Clinical Trials
 LBOS: Late Breaking Cohort Studies
 E: 教育セッション
 FRS: Featured Research Session
 OE: 一般口述 (英語)
 OJ: 一般口述 (日本語)

チーム医療セッション
 CE: 教育講演
 CS: シンポジウム
 CA: コメディカル賞審査講演会
 CO: 一般演題 (口述)
 LS: ランチョンセミナー
 FS: ファイアサイドセミナー

会場	13:50	14:00	15:00	15:20	16:00	16:30	17:00	18:00	19:00	20:00
東京国際フォーラム	第14会場 (ガラス棟 7F G701)	OE59 ★ Heart Failure (Basic) 1					OJ46 Heart Failure (Basic) 2			
	第15会場 (B2F セミナー 室1)	OE60 ★ Transplantation/ LVAD					OE68 ★ Preventive Medicine/ Epidemiology/ Education 2			
	第16会場 (B2F セミナー 室2)	OE61 ★ Metabolic Syndrome					OJ47 Metabolic Syndrome/Diabetes			
JPTタワー	第17会場 (4F ホール 1-2)	CE4 循環器疾患の画像 診断の理解					CE5 高齢心疾患患者の 疾病管理のポイント			
	第18会場 (4F ホール 3)	ME10 心臓デバイス関連 感染症の治療 本村 昇 合屋 雅彦					OJ48 Nuclear Cardiology 2			
	第19会場 (4F カンファレンス スルームA)	CO3 チーム医療・検査					SY02 ★ Molecular Mechanisms Linking the Coronary Risk Factors and the Development of Atherosclerosis Kurabayashi, M・Virmani, R			
	第20会場 (5F カンファレンス スルームB)	OE62 ★ CT/MRI (Coronary/ Vascular) 2					OE69 ★ Echocardiography (Others) 2			
東京商工会議所	第21会場 (4F 東商 ホール)	TP11 腎デナーベーション: 循環器疾患治療への展開 木村 剛・市原 淳弘					SY21 ITと循環器診療 伊藤 浩 橋本 英樹			
	第22会場 (7F 国際 会議場)	TP12 血圧変動性高血圧 への治療戦略 石光 俊彦 河野 雄平					ME11 QOLを考慮した新 しい補助人工心臓 の適応 許 俊鋭・中谷 武嗣			
	第23会場 (4F 特別 会議室S)	OE63 ★ Kidney/Renal Circulation/CKD 2					OJ49 Kidney/Renal Circulation/CKD 3			
ポスター 会場 1~4	13:50	15:20	1 ~ 4 ポスター発表 2 チーム医療セッション 一般演題 (ポスター)				撤去			
Time	14:00	15:00	15:30	16:00	16:20	17:00	18:00	19:00	20:00	

ポスター発表

第 1 日 3 月 21 日 (金) / March 21 (Fri)

ポスター会場 1：東京国際フォーラム B2F 展示ホール				ポスター会場 2：東京国際フォーラム Aブロック 4F, 5F, 6F ホワイエ			
ポスター会場 3：東京国際フォーラム ガラス棟 7F ラウンジ				ポスター会場 4：東京商工会議所 4F 特別会議室 AB			
AM							
ポスター掲示 8:00～9:00							
ポスター発表 10:10～11:00							
PE（ポスターセッション 英語）1～31				2	PE020	Heart Failure (Diagnosis) 1 PE-122 ～ PE-127	
1	PE001	Atrial Fibrillation (Basic/Genetics) PE-001 ～ PE-007			PE021	Heart Failure (Laboratory/Biomarkers) 1 PE-128 ～ PE-134	
	PE002	Atrial Fibrillation/Ablation 1 PE-008 ～ PE-014			PE022	Heart Failure (Laboratory/Biomarkers) 2 PE-135 ～ PE-140	
	PE003	Atrial Fibrillation/Anticoagulation 1 PE-015 ～ PE-020			PE023	Heart Failure (Pharmacology) 1 PE-141 ～ PE-147	
	PE004	ECG Diagnosis/Pathophysiology PE-021 ～ PE-027		1	PE024	Infection/Inflammation/Immunity 1 PE-148 ～ PE-153	
	PE005	Supraventricular Tachycardia/Atrial Fibrillation 1 PE-028 ～ PE-034			PE025	Hypertension (Basic) 1 PE-154 ～ PE-158	
	PE006	Ventricular Tachycardia/Ventricular Fibrillation 1 PE-035 ～ PE-041			PE026	Hypertension (Clinical) 1 PE-159 ～ PE-165	
	PE007	Ventricular Tachycardia/Ventricular Fibrillation 2 PE-042 ～ PE-048		3	PE027	CT/MRI (Coronary/Vascular) 1 PE-166 ～ PE-171	
	PE008	ACS/AMI (Clinical/Diagnosis) 1 PE-049 ～ PE-054			PE028	Echocardiography (New Technology) PE-172 ～ PE-178	
	PE009	ACS/AMI (Clinical/Pathophysiology) 1 PE-055 ～ PE-060		4	PE029	Diabetes 1 PE-179 ～ PE-185	
	PE010	ACS/AMI (Clinical/Pathophysiology) 2 PE-061 ～ PE-066			PE030	Preventive Medicine/Epidemiology/ Education 1 PE-186 ～ PE-192	
	PE011	ACS/AMI (Clinical/Treatment) 1 PE-067 ～ PE-072			PE031	Cerebrovascular Circulation/Stroke 1 PE-193 ～ PE-197	
PE012	Atherosclerosis (Clinical/Diagnosis) 1 PE-073 ～ PE-078		PJ（ポスターセッション 日本語）1～6				
2	PE013	Coronary Revascularization/PCI (DES) 1 PE-079 ～ PE-084		1	PJ001	Coronary Revascularization/PCI (Restenosis/Others) 2 PJ-001 ～ PJ-007	
	PE014	Coronary Revascularization/PCI (Restenosis/Others) 1 PE-085 ～ PE-091			PJ002	Thromboembolism/Antithrombotic Therapy/Thrombolysis 1 PJ-008 ～ PJ-014	
	PE015	Myocardial Ischemia-reperfusion (Basic) 1 PE-092 ～ PE-095		2	PJ003	Heart Failure (Non-pharmacology) 1 PJ-015 ～ PJ-021	
	PE016	Cardiac Function (Clinical) 1 PE-096 ～ PE-102		3	PJ004	CT/MRI (New Technology) PJ-022 ～ PJ-027	
	PE017	Cardiomyopathy/Hypertrophy (Clinical) 1 PE-103 ～ PE-108			PJ005	Echocardiography/Vascular Ultrasonography 1 PJ-028 ～ PJ-033	
	2	PE018	Cardiovascular Pharmacology (Clinical) 1 PE-109 ～ PE-114		4	PJ006	Smoking/Alcohol/Life Style PJ-034 ～ PJ-039
PE019		Exercise Test/Cardiac Rehabilitation 1 PE-115 ～ PE-121					

ポスター会場 1：東京国際フォーラム B2F 展示ホール				ポスター会場 2：東京国際フォーラム Aブロック 4F, 5F, 6F ホワイエ			
ポスター会場 3：東京国際フォーラム ガラス棟 7F ラウンジ				ポスター会場 4：東京商工会議所 4F 特別会議室 AB			
PM							
ポスター発表 15:30～16:20							
PE（ポスターセッション 英語）32 ～ 58				1	PE051	Hypertension (Clinical) 2 PE-320 ～ PE-326	
1	PE032	Atrial Fibrillation/Ablation (Contact Force) PE-198 ～ PE-204			PE052	Kidney/Renal Circulation/CKD 1 PE-327 ～ PE-333	
	PE033	Atrial Fibrillation/Ablation 2 PE-205 ～ PE-211		3	PE053	CT/MRI (Coronary/Vascular) 2 PE-334 ～ PE-340	
	PE034	Atrial Fibrillation/Electrophysiology, Ablation PE-212 ～ PE-218			PE054	Echocardiography (Others) PE-341 ～ PE-347	
	PE035	Supraventricular Tachycardia/Atrial Fibrillation 2 PE-219 ～ PE-225			PE055	Intravascular Imagings 1 PE-348 ～ PE-354	
	PE036	ACS/AMI (Clinical/Diagnosis), Myocardial Ischemia-reperfusion (Clinical) 1 PE-226 ～ PE-232		4	PE056	Metabolic Syndrome/Lipid Disorders PE-355 ～ PE-361	
	PE037	Angina Pectoris (Clinical) 1 PE-233 ～ PE-238			PE057	Obesity/SAS 1 PE-362 ～ PE-368	
	PE038	Atherosclerosis (Clinical/Diagnosis) 2 PE-239 ～ PE-245			PE058	Preventive Medicine/Epidemiology/ Education 2 PE-369 ～ PE-375	
	PE039	Coronary Revascularization/PCI (Complex Lesions) 1 PE-246 ～ PE-252		PJ（ポスターセッション 日本語）7 ～ 16			
	PE040	Coronary Revascularization/PCI (Complex Lesions) 2 PE-253 ～ PE-258		1	PJ007	Atrial Fibrillation (Clinical, Pathophysiology) 1 PJ-040 ～ PJ-046	
	PE041	Coronary Revascularization/PCI (DES) 2 PE-259 ～ PE-264			PJ008	Atrial Fibrillation/Ablation 3 PJ-047 ～ PJ-053	
	PE042	Coronary Revascularization/PCI (Restenosis/Others) 3 PE-265 ～ PE-269			PJ009	ECG (Clinical) 1 PJ-054 ～ PJ-060	
	PE043	Vascular Disease (Therapy) 1 PE-270 ～ PE-275			PJ010	ACS/AMI (Clinical/Treatment) 2 PJ-061 ～ PJ-067	
2	PE044	Heart Failure (Diagnosis) 2 PE-276 ～ PE-281			PJ011	Angina Pectoris (Clinical) 2 PJ-068 ～ PJ-072	
	PE045	Heart Failure (Non-pharmacology) 2 PE-282 ～ PE-287			PJ012	Thromboembolism/Antithrombotic Therapy/Thrombolysis 2 PJ-073 ～ PJ-077	
	PE046	Heart Failure (Pathophysiology) 1 PE-288 ～ PE-293			2	PJ013	Exercise Test/Cardiac Rehabilitation 2 PJ-078 ～ PJ-083
	PE047	Heart Failure (Pharmacology) 2 PE-294 ～ PE-300		PJ014		Heart Failure (Pathophysiology) 2 PJ-084 ～ PJ-090	
	PE048	Pulmonary Circulation 1 PE-301 ～ PE-307		PJ015		Valvular Heart Disease/Pericarditis/ Cardiac Tumor 2 PJ-091 ～ PJ-097	
	PE049	Valvular Heart Disease/Pericarditis/ Cardiac Tumor 1 PE-308 ～ PE-313		3	PJ016	Nuclear Cardiology 1 PJ-098 ～ PJ-103	
PE050	Vascular Biology 1 PE-314 ～ PE-319						
ポスター撤去				16:20～18:00			

ポスター発表

第 2 日 3 月 22 日 (土) / March 22 (Sat)

ポスター会場 1：東京国際フォーラム B2F 展示ホール			ポスター会場 2：東京国際フォーラム A ブロック 4F, 5F, 6F ホワイエ		
ポスター会場 3：東京国際フォーラム ガラス棟 7F ラウンジ			ポスター会場 4：東京商工会議所 4F 特別会議室 AB		
AM					
ポスター掲示 8:00～9:00					
ポスター発表 10:10～11:00					
PE（ポスターセッション 英語）59 ～ 75				PJ019	Atrial Fibrillation (Clinical, Pathophysiology) 3 PJ-117 ～ PJ-123
1	PE059	Atrial Fibrillation (Clinical, Pathophysiology) 2 PE-376 ～ PE-382	1	PJ020	Atrial Fibrillation/Ablation 4 PJ-124 ～ PJ-130
	PE060	Atrial Fibrillation/Electrophysiology PE-383 ～ PE-389		PJ021	Atrial Fibrillation/Ablation 5 PJ-131 ～ PJ-137
	PE061	ACS/AMI (Basic) 1 PE-390 ～ PE-395		PJ022	ACS/AMI (Clinical/Diagnosis) 2 PJ-138 ～ PJ-142
	PE062	Atherosclerosis (Clinical/Diagnosis) 3 PE-396 ～ PE-400		PJ023	ACS/AMI (Clinical/Pathophysiology) 3 PJ-143 ～ PJ-148
	PE063	Atherosclerosis (Clinical/ Pathophysiology) 1 PE-401 ～ PE-407		PJ024	Coronary Revascularization/PCI (Complex Lesions) 3 PJ-149 ～ PJ-155
	PE064	Coronary Circulation/Chronic Coronary Disease (Basic/Clinical) 1 PE-408 ～ PE-414		PJ025	Coronary Revascularization/PCI (DES) 3 PJ-156 ～ PJ-162
	PE065	Coronary Revascularization/PCI (Restenosis/Others) 4 PE-415 ～ PE-421		PJ026	Myocardial Ischemia-reperfusion (Basic) 2 PJ-163 ～ PJ-166
	PE066	Thromboembolism/Antithrombotic Therapy/Thrombolysis 3 PE-422 ～ PE-427		2	PJ027
2	PE067	Autonomic Nervous System 1 PE-428 ～ PE-434	PJ028		Cardiac Arrest/Resuscitation PJ-174 ～ PJ-180
	PE068	Cardiomyopathy/Hypertrophy (Clinical) 2 PE-435 ～ PE-440	PJ029		Cardiovascular Pharmacology (Basic/ Clinical) PJ-181 ～ PJ-186
	PE069	Heart Failure (Laboratory/Biomarkers) 3 PE-441 ～ PE-447	PJ030		Heart Failure (Laboratory/Biomarkers) 4 PJ-187 ～ PJ-193
	PE070	Pulmonary Circulation 2 PE-448 ～ PE-454	PJ031		Valvular Heart Disease/Pericarditis/ Cardiac Tumor 4 PJ-194 ～ PJ-200
	PE071	Valvular Heart Disease/Pericarditis/ Cardiac Tumor 3 PE-455 ～ PE-460	3	PJ032	CT/MRI (Myocardium) 1 PJ-201 ～ PJ-206
1	PE072	Hypertension (Clinical) 3 PE-461 ～ PE-466		PJ033	Echocardiography/Vascular Ultrasonography 2 PJ-207 ～ PJ-213
	PE073	Kidney/Renal Circulation/CKD 2 PE-467 ～ PE-473		PJ034	Echocardiography/Vascular Ultrasonography 3 PJ-214 ～ PJ-220
3	PE074	Intravascular Imagings 2 PE-474 ～ PE-480		PJ035	Intravascular Imagings 3 PJ-221 ～ PJ-226
4	PE075	Congenital Heart Disease/Kawasaki's Disease 1 PE-481 ～ PE-487	PJ036	Intravascular Imagings 4 PJ-227 ～ PJ-233	
PJ（ポスターセッション 日本語）17 ～ 38			4	PJ037	Metabolic Syndrome 1 PJ-234 ～ PJ-239
1	PJ017	Arrhythmia (Basic) 1 PJ-104 ～ PJ-110		PJ038	Metabolic Syndrome/Diabetes PJ-240 ～ PJ-246
	PJ018	Atrial Fibrillation (Clinical, Basic) PJ-111 ～ PJ-116			

ポスター会場 1：東京国際フォーラム B2F 展示ホール			ポスター会場 2：東京国際フォーラム A ブロック 4F, 5F, 6F ホワイエ		
ポスター会場 3：東京国際フォーラム ガラス棟 7F ラウンジ			ポスター会場 4：東京商工会議所 4F 特別会議室 AB		
PM					
ポスター発表 16:20～17:10					
PE（ポスターセッション 英語）76 ～ 86				PJ046	Atherosclerosis (Basic) 1 PJ-294 ～ PJ-298
1	PE076	Atrial Fibrillation (Clinical, Management) PE-488 ～ PE-494	1	PJ047	Atherosclerosis (Clinical/Diagnosis) 4 PJ-299 ～ PJ-304
	PE077	ACS/AMI (Clinical/Diagnosis) 3 PE-495 ～ PE-500		PJ048	Atherosclerosis (Clinical/ Pathophysiology) 2 PJ-305 ～ PJ-310
	PE078	ACS/AMI (Clinical/Treatment) 3 PE-501 ～ PE-507		PJ049	Coronary Revascularization/PCI (DES) 5 PJ-311 ～ PJ-316
	PE079	Coronary Revascularization/PCI (DES) 4 PE-508 ～ PE-514		PJ050	Cardiac Function (Basic), Cardiomyopathy/Hypertrophy (Basic) PJ-317 ～ PJ-322
	PE080	Coronary Revascularization/PCI (Restenosis/Others) 5 PE-515 ～ PE-519		PJ051	Cardiac Function (Clinical) 2 PJ-323 ～ PJ-328
	PE081	Thromboembolism/Antithrombotic Therapy/Thrombolysis 4 PE-520 ～ PE-525		PJ052	Cardiomyopathy/Hypertrophy (Basic), Myocarditis (Basic) PJ-329 ～ PJ-335
	PE082	Vascular Disease (Therapy) 2 PE-526 ～ PE-532		PJ053	Cardiopulmonary and Critical Care/ACLS, Shock PJ-336 ～ PJ-341
2	PE083	Heart Failure (Basic) 1 PE-533 ～ PE-538	2	PJ054	Exercise Test/Cardiac Rehabilitation 3 PJ-342 ～ PJ-347
1	PE084	Hypertension (Clinical) 4 PE-539 ～ PE-544		PJ055	Heart Failure (Diagnosis) 3 PJ-348 ～ PJ-354
	PE085	Kidney/Renal Circulation/CKD 3 PE-545 ～ PE-551		PJ056	Heart Failure (Pharmacology) 3 PJ-355 ～ PJ-361
3	PE086	Diabetes 2 PE-552 ～ PE-558		PJ057	Pulmonary Circulation 3 PJ-362 ～ PJ-368
PJ（ポスターセッション 日本語）39 ～ 65				PJ058	Valvular Heart Disease/Pericarditis/ Cardiac Tumor 5 PJ-369 ～ PJ-375
1	PJ039	Arrhythmia (Basic) 2 PJ-247 ～ PJ-253	1	PJ059	Kidney/Renal Circulation/CKD 4 PJ-376 ～ PJ-382
	PJ040	Arrhythmia (Basic, Genetics) PJ-254 ～ PJ-260		PJ060	CT/MRI (Coronary/Vascular) 3 PJ-383 ～ PJ-389
	PJ041	Atrial Fibrillation/Ablation, Management PJ-261 ～ PJ-267	4	PJ061	Echocardiography (Myocardium) 1 PJ-390 ～ PJ-394
	PJ042	Brugada Syndrome/J wave PJ-268 ～ PJ-274		PJ062	Echocardiography/Vascular Ultrasonography 4 PJ-395 ～ PJ-401
	PJ043	ICD/CRT 1 PJ-275 ～ PJ-281		PJ063	Nuclear Cardiology 2 PJ-402 ～ PJ-408
	PJ044	ICD/CRT 2 PJ-282 ～ PJ-288	3	PJ064	Preventive Medicine/Epidemiology/ Education 3 PJ-409 ～ PJ-415
	PJ045	ACS/AMI (Basic) 2 PJ-289 ～ PJ-293		PJ065	Preventive Medicine/Epidemiology/ Education 4 PJ-416 ～ PJ-420
ポスター撤去 17:10～18:50					

ポスター発表

第3日 3月23日(日) / March 23(Sun)

ポスター会場 1: 東京国際フォーラム B2F 展示ホール ポスター会場 2: 東京国際フォーラム Aブロック 4F, 5F, 6F ホワイエ
 ポスター会場 3: 東京国際フォーラム ガラス棟 7F ラウンジ ポスター会場 4: 東京商工会議所 4F 特別会議室 AB

AM

ポスター掲示 8:00~9:00

ポスター発表 10:10~11:00

PE (ポスターセッション 英語) 87 ~ 101				PJ072	ACS/AMI (Clinical/Diagnosis), Myocardial Ischemia-reperfusion (Clinical) 2 PJ-462 ~ PJ-467	
1	PE087	Atrial Fibrillation/Ablation 6 PE-559 ~ PE-565	1	PJ073	Angina Pectoris (Basic/Clinical) PJ-468 ~ PJ-473	
	PE088	ACS/AMI (Clinical/Treatment) 4 PE-566 ~ PE-572		PJ074	Vascular Disease (Therapy) 5 PJ-474 ~ PJ-480	
	PE089	Atherosclerosis (Basic) 2 PE-573 ~ PE-577		PJ075	Vascular Disease (Therapy) 6 PJ-481 ~ PJ-487	
	PE090	Atherosclerosis (Clinical/Treatment) 1 PE-578 ~ PE-583	2	PJ076	Cardiac Function (Clinical) 3 PJ-488 ~ PJ-493	
	PE091	Coronary Circulation/Chronic Coronary Disease (Basic/Clinical) 2 PE-584 ~ PE-589		PJ077	Cardiomyopathy/Hypertrophy (Clinical) 3 PJ-494 ~ PJ-500	
	PE092	Coronary Revascularization/PCI (DES) 6 PE-590 ~ PE-596		PJ078	Heart Failure (Basic) 2 PJ-501 ~ PJ-507	
	PE093	Coronary Revascularization/PCI (Restenosis/Others) 6 PE-597 ~ PE-600		PJ079	Heart Failure (Laboratory/Biomarkers) 5 PJ-508 ~ PJ-514	
	PE094	Regeneration (Basic/Clinical) 1 PE-601 ~ PE-606		PJ080	Heart Failure (Non-pharmacology) 3 PJ-515 ~ PJ-520	
	PE095	Thromboembolism/Antithrombotic Therapy/Thrombolysis 5 PE-607 ~ PE-613		PJ081	Heart Failure (Pathophysiology) 3 PJ-521 ~ PJ-526	
	PE096	Vascular Disease (Therapy) 3 PE-614 ~ PE-620		PJ082	Heart Failure (Pharmacology) 4 PJ-527 ~ PJ-533	
	PE097	Vascular Disease (Therapy) 4 PE-621 ~ PE-627		PJ083	Hypertension (Basic) 2 PJ-534 ~ PJ-539	
2	PE098	Valvular Heart Disease/Pericarditis/ Cardiac Tumor 6 PE-628 ~ PE-633	4	PJ084	Hypertension (Clinical) 5 PJ-540 ~ PJ-546	
	PE099	Vascular Biology 2 PE-634 ~ PE-639		PJ085	Kidney/Renal Circulation/CKD 5 PJ-547 ~ PJ-553	
3	PE100	CT/MRI (Myocardium) 2 PE-640 ~ PE-646	3	PJ086	Echocardiography/Vascular Ultrasonography 5 PJ-554 ~ PJ-559	
	PE101	Intravascular Imagings 5 PE-647 ~ PE-652		PJ087	Intravascular Imagings 6 PJ-560 ~ PJ-565	
PJ (ポスターセッション 日本語) 66 ~ 93					PJ088	Nuclear Cardiology 3 PJ-566 ~ PJ-572
1	PJ066	Ablation (Contact Force) PJ-421 ~ PJ-426		4	PJ089	Diabetes 3 PJ-573 ~ PJ-579
	PJ067	Arrhythmia (Clinical) PJ-427 ~ PJ-433	PJ090		Lipid Disorders PJ-580 ~ PJ-586	
	PJ068	Atrial Fibrillation/Anticoagulation 2 PJ-434 ~ PJ-440	PJ091		Metabolic Syndrome 2 PJ-587 ~ PJ-593	
	PJ069	ECG (Clinical) 2 PJ-441 ~ PJ-447	3	PJ092	Cerebrovascular Circulation/Stroke 2 PJ-594 ~ PJ-598	
	PJ070	Pacemaker/ICD/CRT PJ-448 ~ PJ-454		PJ093	Cerebrovascular Circulation/Stroke, Cost-health Care System/DPC/Laws PJ-599 ~ PJ-603	
	PJ071	Ventricular Tachycardia/Ventricular Fibrillation 3 PJ-455 ~ PJ-461				

ポスター会場 1：東京国際フォーラム B2F 展示ホール			ポスター会場 2：東京国際フォーラム Aブロック 4F, 5F, 6F ホワイエ		
ポスター会場 3：東京国際フォーラム ガラス棟 7F ラウンジ			ポスター会場 4：東京商工会議所 4F 特別会議室 AB		
PM					
ポスター発表 15:30～16:20					
PE（ポスターセッション 英語）102 ～ 114				PJ099	Ventricular Tachycardia/Ventricular Fibrillation 5 PJ-639 ～ PJ-645
1	PE102	ACS/AMI (Clinical/Pathophysiology) 4 PE-653 ～ PE-658	1	PJ100	Atherosclerosis (Clinical/Treatment) 2 PJ-646 ～ PJ-651
	PE103	ACS/AMI (Clinical/Treatment) 5 PE-659 ～ PE-665		PJ101	Cardiovascular Surgery/CABG 2 PJ-652 ～ PJ-656
	PE104	Angina Pectoris (Clinical) 3 PE-666 ～ PE-671		PJ102	Coronary Circulation/Chronic Coronary Disease (Basic/Clinical) 3 PJ-657 ～ PJ-663
	PE105	Atherosclerosis (Basic) 3 PE-672 ～ PE-677		PJ103	Coronary Revascularization/PCI (New Devices/New Technology/Restenosis/Others) PJ-664 ～ PJ-669
	PE106	Cardiovascular Surgery/CABG 1 PE-678 ～ PE-681		PJ104	Regeneration (Basic/Clinical) 2 PJ-670 ～ PJ-674
	PE107	Coronary Revascularization/PCI (DES) 7 PE-682 ～ PE-687		PJ105	Thromboembolism/Antithrombotic Therapy/Thrombolysis 6 PJ-675 ～ PJ-681
	PE108	Coronary Revascularization/PCI (New Devices/New Technology) PE-688 ～ PE-694		PJ106	Heart Failure (Basic) 3 PJ-682 ～ PJ-687
	PE109	Coronary Revascularization/PCI (Restenosis/Others) 7 PE-695 ～ PE-699		PJ107	Heart Failure (Diagnosis) 4 PJ-688 ～ PJ-693
2	PE110	Cardiomyopathy/Hypertrophy (Clinical) 4 PE-700 ～ PE-706	2	PJ108	Heart Failure (Non-pharmacology) 4 PJ-694 ～ PJ-700
	PE111	Cardiovascular Pharmacology (Clinical) 2 PE-707 ～ PE-712		PJ109	Infection/Inflammation/Immunity 2 PJ-701 ～ PJ-707
4	PE112	Kidney/Renal Circulation/CKD 6 PE-713 ～ PE-719		PJ110	Molecular Biology/Genetics/Myocardium/Vascular PJ-701 ～ PJ-714
1	PE113	Echocardiography (Myocardium) 2 PE-720 ～ PE-726		PJ111	Pulmonary Circulation 4 PJ-715 ～ PJ-721
	PE114	Nuclear Cardiology 4 PE-727 ～ PE-733		PJ112	Shock, Translational Science, Transplantation/LVAD PJ-722 ～ PJ-727
PJ（ポスターセッション 日本語）94 ～ 118				PJ113	Vascular Biology 3 PJ-728 ～ PJ-734
1	PJ094	Arrhythmia (Others)/Ablation, Pathophysiology PJ-604 ～ PJ-610	4	PJ114	Kidney/Renal Circulation/CKD 7 PJ-735 ～ PJ-741
	PJ095	Atrial Fibrillation/Ablation 7 PJ-611 ～ PJ-617	3	PJ115	Lipid Disorders/Obesity/SAS PJ-742 ～ PJ-748
	PJ096	Atrial Fibrillation/Ablation, Pathophysiology PJ-618 ～ PJ-624		PJ116	Obesity/SAS 2 PJ-749 ～ PJ-755
	PJ097	ECG (Clinical) 3 PJ-625 ～ PJ-631		PJ117	Stress-psychosomatic Medicine PJ-756 ～ PJ-759
	PJ098	Ventricular Tachycardia/Ventricular Fibrillation 4 PJ-632 ～ PJ-638	2	PJ118	Congenital Heart Disease/Kawasaki's Disease 2 PJ-760 ～ PJ-766
ポスター撤去 16:20～18:00					

チーム医療セッション一般演題(ポスター)

第1日 3月21日(金)

ポスター会場2 (東京国際フォーラム Aブロック 4F, 5F, 6F ホワイエ)	AM		PM	
	ポスター掲示		8:00~9:00	
	ポスター発表 10:10~11:00		ポスター発表 15:30~16:20	
	CP01	看護(急性期) 1 CP-001 ~ CP-006	CP10	看護(急性期) 2 CP-062 ~ CP-067
	CP02	リハビリテーション・身体活動 1 CP-007 ~ CP-013	CP11	薬剤・薬物療法 1 CP-068 ~ CP-074
	CP03	事例・症例報告 1 CP-014 ~ CP-020	CP12	リハビリテーション・身体活動 2 CP-075 ~ CP-081
	CP04	患者教育・カウンセリング 1 / クリティカルパス 1 CP-021 ~ CP-027	CP13	事例・症例報告 2 CP-082 ~ CP-087
	CP05	クリティカルパス 2 / チーム医療 1 CP-028 ~ CP-034	CP14	チーム医療 2 CP-088 ~ CP-094
	CP06	侵襲検査・血管内治療 1 CP-035 ~ CP-041	CP15	侵襲検査・血管内治療 2 CP-095 ~ CP-101
	CP07	不整脈・アブレーション 1 CP-042 ~ CP-048	CP16	不整脈・アブレーション 2 CP-102 ~ CP-108
	CP08	非侵襲検査・エコー 1 CP-049 ~ CP-055	CP17	非侵襲検査・エコー 3 CP-109 ~ CP-115
	CP09	非侵襲検査・エコー 2 CP-056 ~ CP-061	CP18	画像診断 (CT,MR,RI) 1 CP-116 ~ CP-122
	ポスター撤去 16:20~18:00			

第2日 3月22日(土)

ポスター会場2 (東京国際フォーラム Aブロック 4F, 5F, 6F ホワイエ)	AM		PM	
	ポスター掲示		8:00~9:00	
	ポスター発表 10:10~11:00		ポスター発表 16:20~17:10	
	CP19	看護(急性期) 3 CP-123 ~ CP-128	CP27	看護(慢性期) 1 CP-173 ~ CP-179
	CP20	薬剤・薬物療法 2 CP-129 ~ CP-134	CP28	薬剤・薬物療法 3 CP-180 ~ CP-185
	CP21	リハビリテーション・身体活動 3 CP-135 ~ CP-141	CP29	リハビリテーション・身体活動 4 CP-186 ~ CP-192
	CP22	事例・症例報告 3 CP-142 ~ CP-147	CP30	事例・症例報告 4 CP-193 ~ CP-198
	CP23	チーム医療 3 CP-148 ~ CP-154	CP31	チーム医療 4 / その他 1 CP-199 ~ CP-204
	CP24	侵襲検査・血管内治療 3 CP-155 ~ CP-160	CP32	侵襲検査・血管内治療 4 CP-205 ~ CP-210
	CP25	非侵襲検査・エコー 4 CP-161 ~ CP-166	CP33	非侵襲検査・エコー 5 CP-211 ~ CP-216
	CP26	画像診断 (CT,MR,RI) 2 CP-167 ~ CP-172	CP34	画像診断 (CT,MR,RI) 3 CP-217 ~ CP-222
	ポスター撤去 17:10~18:50			

第 3 日 3 月 23 日(日)				
ポスター会場2 (東京国際フォーラム Aブロック 4F, 5F, 6F ホワイエ)	AM		PM	
	ポスター掲示		8:00～9:00	
	ポスター発表 10:10～11:00		ポスター発表 15:30～16:20	
	CP35	看護（慢性期）2 CP-223 ～ CP-228	CP43	食事・栄養管理 2 CP-275 ～ CP-280
	CP36	薬剤・薬物療法 4 ／ 食事・栄養管理 1 CP-229 ～ CP-234	CP44	リハビリテーション・身体活動 6 ／ 心肺運動負荷試験 CP-281 ～ CP-286
	CP37	リハビリテーション・身体活動 5 CP-235 ～ CP-241	CP45	患者教育・カウンセリング 3 CP-287 ～ CP-293
	CP38	患者教育・カウンセリング 2 CP-242 ～ CP-248	CP46	医療倫理・医療安全／医療専門職の教育 ／その他 3 CP-294 ～ CP-300
	CP39	チーム医療 5 ／救命救急・災害医療／ その他 2 CP-249 ～ CP-255	CP47	不整脈・アブレーション 4 CP-301 ～ CP-306
	CP40	不整脈・アブレーション 3 CP-256 ～ CP-262	CP48	非侵襲検査・エコー 7 CP-307 ～ CP-312
	CP41	非侵襲検査・エコー 6 CP-263 ～ CP-268	CP49	血液浄化・補助循環・呼吸管理 CP-313 ～ CP-318
CP42	画像診断（CT,MR,RI）4 ／放射線防護 CP-269 ～ CP-274			
ポスター撤去 16:20～18:00				

第 78 回日本循環器学会学術集会 (JCS 2014)

会 期：2014 年 3 月 21 日(金・祝)～23 日(日)

会 長：永井 良三 (自治医科大学学長・東京大学名誉教授)

会 場：東京国際フォーラム、JP タワー、東京商工会議所 (東京都)

メインテーマ：情報爆発とネットワーク時代の循環器病学

Cardiology in the information era: from bench to community

1. 一般演題 (口述、ポスター)

2. 美甘レクチャー (日本心臓財団美甘基金)

Molecular Control of Heart Development, Disease and Regeneration

〈英語〉

(学会第 2 日目 3 月 22 日(土) 11:55～12:40 第 1 会場 東京国際フォーラム A ブロック 4F ホール A)

Eric N. Olson (University of Texas, Southwestern Medical Center, USA)

座長：矢崎 義雄 (国際医療福祉大学)

3. 真下記念講演

Signaling and Gene Expression for Cytokine Activity in Inflammation and Immunity:

〈日本語〉

Contributions to Medical Science

(学会第 2 日目 3 月 22 日(土) 11:10～11:55 第 1 会場 東京国際フォーラム A ブロック 4F ホール A)

谷口 維紹 (東京大学生産技術研究所 炎症・免疫制御学社会連携研究部門)

座長：篠山 重威 (宇治病院)

4. 会長講演

Cardiology in the Information Era: From Bench to Community

〈日本語〉

(学会第 2 日目 3 月 22 日(土) 15:00～15:45 第 1 会場 東京国際フォーラム A ブロック 4F ホール A)

永井 良三 (自治医科大学/東京大学)

座長：矢崎 義雄 (国際医療福祉大学)

5. 特別講演

(1) New Insights Regarding the Pathogenesis and Modification of Marfan Syndrome and Related Disorders

〈英語〉

(学会第 1 日目 3 月 21 日(金) 8:30～9:15 第 2 会場 東京国際フォーラム C ブロック 4-5F ホール C)

Harry Dietz (Johns Hopkins University School of Medicine, USA)

座長：高本 眞一 (三井記念病院)

(2) Adipokine Involvement in Cardiovascular Disease

〈英語〉

(学会第 1 日目 3 月 21 日(金) 9:15～10:00 第 2 会場 東京国際フォーラム C ブロック 4-5F ホール C)

Kenneth Walsh (Boston University School of Medicine, USA)

座長：野出 孝一 (佐賀大学 循環器内科)

(3) Update on the Pathophysiology of Acute Myocardial Infarction

〈英語〉

(学会第 1 日目 3 月 21 日(金) 11:10～11:55 第 2 会場 東京国際フォーラム C ブロック 4-5F ホール C)

Peter Libby (Brigham and Women's Hospital and Harvard Medical School, USA)

座長：上田真喜子 (大阪市立大学 病理病態学)

- (4) Genetic Causes of Human Heart Disease 〈英語〉
(学会第1日目 3月21日(金) 11:55~12:40 第2会場 東京国際フォーラム Cブロック 4-5F ホールC)
Christine E. Seidman (Brigham & Women's Hospital and Harvard Medical School, USA)
座長: 小室 一成 (東京大学 循環器内科)
- (5) microRNAs in Cardiovascular Diseases and Aging: 〈英語〉
From Mechanisms to Therapeutic Targets
(学会第1日目 3月21日(金) 13:50~14:35 第2会場 東京国際フォーラム Cブロック 4-5F ホールC)
Stefanie Dimmeler (Institute of Cardiovascular Regeneration, Germany)
座長: 筒井 裕之 (北海道大学 循環病態内科学)
- (6) Hypoxia and Vascular Physiology 〈英語〉
(学会第1日目 3月21日(金) 14:35~15:20 第2会場 東京国際フォーラム Cブロック 4-5F ホールC)
Randall S. Johnson (Department of Physiology, University of Cambridge, UK)
座長: 下川 宏明 (東北大学 循環器内科学)
- (7) Differential Effects of Preload and Afterload on Myocardial Gene Expression and Function 〈英語〉
(学会第1日目 3月21日(金) 16:30~17:15 第1会場 東京国際フォーラム Aブロック 4F ホールA)
Gerd Hasenfuss (University Medical Center Goettingen, Georg-August University
Goettingen, Germany)
座長: 室原 豊明 (名古屋大学 循環器内科学)
- (8) Reprogramming Approaches for Cardiovascular Disease 〈英語〉
(学会第1日目 3月21日(金) 17:15~18:00 第1会場 東京国際フォーラム Aブロック 4F ホールA)
Jidong Fu (Gladstone Institute of Cardiovascular Disease and University of California, San
Francisco, USA)
座長: 福田 恵一 (慶應義塾大学 循環器内科)
- (9) Structural Heart Disease Interventions Beyond Transcatheter Aortic Valve Replacement: 〈英語〉
Mitral Valve Repair/Replacement and Left Atrial Appendage
(学会第2日目 3月22日(土) 11:55~12:40 第4会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホールB7(2))
Saibal Kar (Cardiology Division, Department of Medicine, Cedars-Sinai Medical Center,
USA)
座長: 澤 芳樹 (大阪大学 外科学講座心臓血管外科学)
- (10) Clinical Research and the Development of Medical Therapeutics 〈英語〉
(学会第2日目 3月22日(土) 15:45~16:30 第1会場 東京国際フォーラム Aブロック 4F ホールA)
Elliott Antman (Brigham and Women's Hospital, USA)
座長: 青沼 和隆 (筑波大学 循環器内科)
- (11) Mechanisms for Diabetic Cardiomyopathy—Focus on Hyperinsulinemia 〈英語〉
(学会第2日目 3月22日(土) 17:20~18:05 第2会場 東京国際フォーラム Cブロック 4-5F ホールC)
E. Dale Abel (University of Iowa, Carver College of Medicine and Fraternal Order of Eagles
Diabetes Research Center, USA)
座長: 代田 浩之 (順天堂大学 循環器内科学)

(12)Engineers and Physicians Paving the Way for a New Era in Ultrasound Cardiac Imaging 〈英語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 18:05~18:50 第2会場 東京国際フォーラム Cブロック 4-5F ホールC)

Damien Garcia (CRCHUM-Research Centre, University of Montreal Hospital, Canada)

座長: 四津 良平 (慶應義塾大学 外科 (心臓血管))

(13)Personal Genomes are Personalized 〈英語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 8:30~9:15 第2会場 東京国際フォーラム Cブロック 4-5F ホールC)

Jun Wang (BGI, China)

座長: 磯部 光章 (東京医科歯科大学 循環制御内科学)

(14)Heart Failure with pEF 〈英語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 9:15~10:00 第2会場 東京国際フォーラム Cブロック 4-5F ホールC)

Michel Komajda (IHU ICAN, Department of Cardiology, University Pierre et Marie Curie, France)

座長: 北風 政史 (国立循環器病研究センター 臨床研究部・心臓血管内科)

(15)Essential Hypertension-Lost in Translation 〈英語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 14:35~15:20 第5会場 東京国際フォーラム Dブロック 7F ホールD7)

Bryan Williams (National Institute for Health Research UCL Hospitals Biomedical Research Centre, University College London, UK)

座長: 檜垣 實男 (愛媛大学 循環器・呼吸器・腎高血圧内科学)

6. プレナリーセッション

(1)Coronary Revascularization Based on Evidence Based Medicine-Comparing PCI and CABG-Reality and Ideal 〈英語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 8:30~10:00 第1会場 東京国際フォーラム Aブロック 4F ホールA)

座長: 平山 篤志 (日本大学 循環器内科)

Nico HJ Pijls (Catharina Hospital, the Netherlands)

演 者:

State-of-the-Art: Coronary Revascularization Based on Evidence Based Medicine. Comparing PCI and CABG. Reality and Ideal

Nico HJ Pijls (Catharina Hospital, the Netherlands)

1. Unique Characteristics of PCI in Japan and Its Implication in Selecting Revascularization Strategies

香坂 俊 (慶應義塾大学 循環器内科)

2. The Predictor of Long-term Mortality in Patients with Unprotected Left Main Disease

高木 健督 (新東京病院 循環器科)

3. Prognostic Impacts of Revascularization Strategy and Residual Coronary Stenosis in Patients with Ischemic Heart Failure

高橋 潤 (東北大学 循環器内科)

4. Heart Team Approach as a Solution of Insufficient EBM

岡村 吉隆 (和歌山県立医科大学 第一外科)

5. Impact of Heart Team on the Strategy for Coronary Revascularization in Our Hospital

高山 忠輝 (日本大学 循環器内科)

(2)Progress in Heart Failure Treatment

〈英語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 8:30~10:00 第3会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホール B7(1))

座長：磯部 光章 (東京医科歯科大学 循環制御内科学)

Stefan D. Anker (Applied Cachexia Research, Department of Cardiology,
Charité, Campus Virchow-Klinikum, Germany)

演 者：

State-of-the-Art: Progress in Heart Failure Treatment—Update on Acute & Chronic HF

Stefan D. Anker (Applied Cachexia Research, Department of Cardiology,
Charité, Campus Virchow-Klinikum, Germany)

1. Next Generation Natriuretic Peptides for Heart Failure: Individualized Therapeutics
Tomoko Ichiki (Division of Cardiovascular Diseases, Mayo Clinic, USA)
2. The Long-term Prognostic Impact and Safety of Mesenchymal Stem Cells Transplantation in Patients with Non-ischemic/Ischemic Cardiomyopathy
柳生 剛 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
3. Clinical Outcome of Left Ventricular Assist Device (LVAD) in Patients with Advanced Heart Failure in Non-Transplant Institution
篠岡 太郎 (東京医科歯科大学 循環器内科)
4. Important Issues to be Challenged for Improvement of Left Ventricular Assist Device Therapy
坂田 泰史 (大阪大学 循環器内科学)
5. Progress in Surgical Treatment of End-stage Heart Failure
小野 稔 (東京大学 心臓外科)

(3)Regenerative Therapy in Cardiovascular Field

〈英語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 17:20~18:50 第3会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホール B7(1))

座長：福田 恵一 (慶應義塾大学 循環器内科)

小室 一成 (東京大学 循環器内科)

演 者：

1. Modeling Heart Regeneration in Zebrafish
Kenneth D. Poss (Duke University Medical Center, USA)
2. Transcriptional Regulation of Cardiomyocyte Cell Cycle
Hesham A. Sadek (UT Southwestern Medical Center, USA)
3. Reprogramming into Cardiomyocytes by Defined Factors
家田 真樹 (慶應義塾大学 臨床分子循環器病学講座・循環器内科)
4. Cell-sheet-based Bioengineered Human Cardiac Tissue Using iPS Cells for Transplantation and Tissue Models
松浦 勝久 (東京女子医科大学 先端生命医科学研究所)

(4)循環器診療ガイドラインと日本のEBM～信頼を取り戻すために～ 〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 16:30～18:00 第3会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホール B7(1))

座長：山崎 力 (東京大学 臨床研究支援センター)

木村 一雄 (横浜市立大学市民総合医療センター 心臓血管センター)

演 者：

1. Reliable Evidence should Stand on Harmonization of Well-Designed Observational Studies, Clinical Trials and Basic Science Research

上島 弘嗣 (滋賀医科大学 公衆衛生学)

2. Strategies to Strengthen Investigator-Driven Cardiovascular Clinical Trials in Japan

渡邊 裕司 (浜松医科大学 臨床薬理学)

3. A Multidisciplinary Approach to Insure Scientific Integrity in Clinical Research for Heart Disease: jCUTE Proposal

坂東 興 (東京慈恵会医科大学 心臓外科)

4. The Immediate and Keen Action is Needed for the Investigator-initiated Clinical Trial of Cardiovascular Fields in Japan

北風 政史 (国立循環器病研究センター 臨床研究部)

5. Tactics to Conduct Clinical Trials Leading the Better Medical Guidelines for the Management of Cardiovascular Diseases

佐藤 直樹 (日本医科大学武蔵小杉病院 循環器内科)

(5)Current Status and Management of Cardiac Failure, Arrhythmias, Pulmonary Hypertension and Sudden Death in Adults with Congenital Heart Disease 〈英語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 14:40～16:10 第3会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホール B7(1))

座長：丹羽公一郎 (聖路加国際病院 心臓血管センター循環器内科)

Michael A. Gatzoulis (Royal Brompton and National Heart & Lung Institute, Imperial College, UK)

演 者：

State-of-the-Art: Cardiac Failure, Arrhythmias and Sudden Death in ACHD

Michael A. Gatzoulis (Royal Brompton and National Heart & Lung Institute, Imperial College, UK)

1. Adult Patients with Congenital Heart Disease as an Emerging Population in Cardiovascular Medicine

建部 俊介 (東北大学 循環器内科)

2. High Prevalence of Restrictive Ventricular Hemodynamics in Adults with Congenital Heart Disease

大内 秀雄 (国立循環器病研究センター)

3. Functionally “Aged” Aorta in Adult Patients with Congenital Heart Disease

村上 智明 (千葉県こども病院 循環器科)

4. Surgical Approach to Right Heart Dilatation Long after Right Ventricular Outflow Tract Reconstruction for Adult Patients with Congenital Heart Disease

上野 高義 (大阪大学 心臓血管外科)

5. Non-invasive Predictors of Cardiac Outcomes in Adults with Ebsteins Anomaly. A Large, Single Centre and Contemporary Cohort Study

椎名 由美 (聖路加国際病院 ハートセンター)

(6)糖尿病と循環器疾患

〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 16:30~18:00 第2会場 東京国際フォーラム Cブロック 4-5F ホールC)

座長:代田 浩之(順天堂大学 循環器内科学)

平田 健一(神戸大学 循環器内科学)

演 者:

1. Treatment Target for Diabetes Mellitus in Patients with Acute Myocardial Infarction

石原 正治(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

2. Coronary Artery Calcium Score as a Predictor of Adverse Outcomes in Patients with Diabetes Mellitus

山本 秀也(広島大学 循環器内科学)

3. Impact of Daily Glucose Fluctuation on Coronary Plaque Vulnerability in Patients Pretreated with Lipid Lowering Therapy

新家 俊郎(神戸大学 内科学講座 循環器内科分野)

4. Clinical Significance of Cardiovascular Remodeling in Hypertensives with Diabetes

江口 和男(自治医科大学 循環器内科学)

5. Impact of Pioglitazone on Cardiovascular Events in Patients with Type-2 Diabetes Mellitus after Drug-eluting Stent Implantation

横井 宏佳(福岡山王病院 循環器内科)

6. Dipeptidyl Peptidase-4 Inhibitors (DPP-4is) Improve Left Ventricular Stiffness by Tissue Doppler Imaging (TDI) in Patients with Type 2 Diabetes (T2DM)

佐光 英人(福岡大学 心臓血管内科学)

(7)Therapeutic Hypothermia and Percutaneous Coronary Intervention for Acute Coronary Syndrome Complicated by Cardiac Arrest 〈英語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 16:30~18:00 第3会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホールB7(1))

座長:長尾 建(駿河台日本大学病院 循環器科)

David Erlinge (Lund University, Sweden)

演 者:

State-of-the-Art: Therapeutic Hypothermia and PCI for Patients with Cardiac Arrest or Acute Myocardial Infarction

David Erlinge (Lund University, Sweden)

1. Selection of Patients after the Re-establishment of Spontaneous Circulation for the Strategy with Immediate Coronary Angiography and Percutaneous Coronary Intervention

中尾 優(東京女子医科大学 循環器内科学)

2. The Japanese Evidences of Hypothermia with Coronary Revascularization for the Patients with Arrest Acute Coronary Syndrome Complicated by Cardiac Arrest

白井 伸一(小倉記念病院 循環器内科)

3. Durations and Temperature Management for Comatose Survivors of Cardiac Arrest Treated with or without Percutaneous Coronary Intervention
香川 英介 (広島市立安佐市民病院 循環器内科)
4. Ammonia as a Biochemical Marker of Neurological Outcomes for Patients Treated with Therapeutic Hypothermia after Out-of-Hospital Cardiac Arrest
笠井あすか (駿河台日本大学病院 救急科)
5. Recent Progress for Post-cardiac Arrest Care with Therapeutic Hypothermia and PCI in Japan
野々木 宏 (静岡県立総合病院 循環器内科)

(8)循環器病学のトランスレーショナルリサーチ 〈日本語〉
(学会第3日目 3月23日(日) 13:50~15:20 第4会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホールB7(2))
座長: 砂川 賢二 (九州大学 循環器内科学)
澤 芳樹 (大阪大学 心臓血管外科学)

演 者:

1. Academic Drug Development for Treatment of Acute Myocardial Infarction Using Nano-sized Liposomes
南野 哲男 (大阪大学 循環器内科学)
2. Clinical Application of Novel Angiogenic Peptide for Severe Ischemic Ulcer; from Discovery to Drug Development from Academia
中神 啓徳 (大阪大学 健康発達医学講座)
3. Translational Perspectives of Adrenomedullin; A Novel Therapeutic Options for Cardiovascular Diseases
浅海 泰栄 (国立循環器病研究センター)
4. Myocardial Regenerative Therapy Using Myoblast Cell Sheet in Patients with End-stage Heart Failure—From Bench to Clinical Trial—
吉川 泰司 (大阪大学 心臓血管外科)
5. A Device-Based Treatment of Heart Failure by Stimulating Vagal Nervous System
杉町 勝 (国立循環器病研究センター研究所 循環動態制御部)
6. Artificial Baroreflex System Prevents Postural Hypotension in Patients with Cervical Spinal Cord Injury
吉田 昌義 (済生会熊本病院 心臓血管センター 循環器内科)

7. シンポジウム

(1)冠循環を見直す: 心筋虚血の発生機序から評価まで 〈日本語〉
(学会第1日目 3月21日(金) 8:30~10:00 第4会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホールB7(2))
座長: 下川 宏明 (東北大学 循環器内科学)
山岸 正和 (金沢大学 臓器機能制御学・循環器内科)

演 者:

1. Concepts and Limitations of Coronary Flow Reserve to Evaluate Myocardial Ischemia
盛 英三 (東海大学 生理学)

2. Trend Pathological Aspects of Myocardial Infarction in the Reperfusion Era

松本 学 (国立循環器病研究センター 臨床検査部 病理)

3. Important Role of the Adventitia in the Pathogenesis of Coronary Hyperconstricting Responses after Drug-Eluting Stent Implantation in Pigs in Vivo

西宮 健介 (東北大学 循環器内科)

4. Instantaneous Wave Free Ratio (iFR) as the New Adenosine Free Resting Parameter to Detect Ischemia Causing Stenosis

松尾 仁司 (岐阜ハートセンター 循環器内科)

5. Long-term Outcome after Deferral of Revascularization in Patients with Intermediate Coronary Stenosis and Gray-Zone Fractional Flow Reserve

塩野 泰紹 (和歌山県立医科大学 循環器内科学)

6. Impact of Fractional Flow Reserve after 2nd-generation Drug-eluting Stent Deployment on Clinical Outcome

寺井 英伸 (金沢循環器病院 循環器科)

(2) Molecular Mechanisms Linking the Coronary Risk Factors and the Development of Atherosclerosis 〈英語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 16:30~18:00 第19会場 JPタワー 4F カンファレンスルーム A)

座長: 倉林 正彦 (群馬大学 臓器病態内科学)

Renu Virmani (CVPPath Institute, Inc., USA)

演 者:

Keynote Lecture: Pathophysiology of Atherosclerosis Plaque Progression

Renu Virmani (CVPPath Institute, Inc., USA)

1. Risk Factors for Development of Systemic Atherosclerosis in Patients with Peripheral Arterial Disease

熊倉 久夫 (北関東循環器病院 内科)

2. Identification of Multiple Biomarkers That Predict the Extent of Plaque Burden in Coronary Culprit Lesions

李 予昕 (日本大学 先端心血管画像解析学)

3. Regulation of Arterial Stiffness by Klotho: Decreased Serum Klotho in CKD and Altered Osteogenesis-gene Expression in Klotho Mutant Mice SMCs

中村 一文 (岡山大学 循環器内科学)

4. Glucagon-like Peptide-1 in Pathogenesis of Atherosclerosis and Coronary Artery Disease

菅村 公一 (熊本大学 循環器内科学)

(3) J-wave Syndrome and Related Electrical Disorders

〈英語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 13:50~15:20 第3会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホール B7(1))

座長: 新 博次 (日本医科大学多摩永山病院 内科・循環器内科)

Sami Viskin (Tel Aviv Medical Center, Israel)

演 者:

Keynote Lecture: What Do We Know About the Malignant Form of Early Repolarization?

Sami Viskin (Tel Aviv Medical Center, Israel)

1. Non-invasive Risk Stratification in Brugada Syndrome without History of Cardiac Arrest:
Prognostic Value of J-wave and ST-segment Morphology
高木 雅彦 (大阪市立大学 循環器内科学)
2. Mechanism and Significance of Early Repolarization in Early Repolarization Syndrome and Brugada Syndrome
河田 宏 (Department of Internal Medicine, Good Samaritan Hospital, Cincinnati, USA)
3. The High Prevalence of Early Repolarization in Genotyped Long QT Syndrome
長谷川奏恵 (新潟大学 循環器分野)
4. High Resolution Magnetocardiography as a Novel Noninvasive Tool to Distinguish between Benign and Malignant Early Repolarization Pattern
相庭 武司 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
5. Genetic Defects in a His-Purkinje System-Specific Transcription Factor as a Cause of J Wave Syndrome
笹野 哲郎 (東京医科歯科大学 生命機能情報解析学)
6. Early Repolarization in Japanese General Population: New Findings from the National Surveys of Circulatory Disorders of Japan (NIPPON DATA)
久松 隆史 (滋賀医科大学 アジア疫学研究センター)

(4) Challenges of Non-pharmacological Treatment of Life-threatening Malignant Ventricular Tachyarrhythmias

〈英語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 17:20~18:50 第20会場 JPタワー 5F カンファレンスルーム B)

座長: 青沼 和隆 (筑波大学 循環器内科)

Paolo Della Bella (San Raffaele Hospital, Italy)

演 者:

Keynote Lecture: Catheter Ablation of VT and Electrical Storm: Impact on Patient Survival

Paolo Della Bella (San Raffaele Hospital, Italy)

1. Catheter Ablation for Ventricular Tachycardias in Patients with Structural Heart Disease: Characteristics between the Patients with and without Myocardial Scar
関口 幸夫 (筑波大学 循環器内科)
2. 演題取下げ
3. Current Outcomes of Hybrid Ablation Procedures for Electrical Storm of Ventricular Tachycardia
徳田 道史 (東京慈恵会医科大学 循環器内科)

4. Surgery for Non-ischemic Ventricular Tachycardia

新田 隆 (日本医科大学 心臓血管外科)

5. Ventricular Tachyarrhythmia in Cardiac Sarcoidosis: Clinical and Electrophysiological Characteristics

草野 研吾 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

6. Scar Size and Characteristics Assessed by 2D and 3D Gadolinium-enhanced MRI Imaging Predict the Inducibility and Origin of Ventricular Arrhythmias

奥村 恭男 (日本大学 内科学系循環器内科学分野)

(5)心不全治療の進歩—内科・外科の集学的アプローチ—

〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 16:30~18:00 第19会場 JPタワー 4F カンファレンスルーム A)

座長: 筒井 裕之 (北海道大学 循環病態内科学)

小野 稔 (東京大学 心臓外科)

演 者:

1. Sufficient Beta Blocker Therapy is a Key Factor before Determining the Indication for Left Ventricular Assist Device (LVAD) Implantation

絹川弘一郎 (東京大学 重症心不全治療開発講座)

2. Necessity of a Comprehensive Treatment Approach for Heart Failure Patients

志賀 剛 (東京女子医科大学 循環器内科学)

3. The Most Promising Cell Therapy for the Failing Heart and Its Application in Japan

細田 徹 (東海大学 創造科学技術研究機構・医学部門)

4. Advances in Ventricular Assist Device Therapy: A Collaborative Approach between Cardiologists and Cardiac Surgeons

瀬口 理 (国立循環器病研究センター 移植部)

5. Importance of Heart Team Approach for Class IIIb/IV Heart Failure: Ventricular Assist Device or Conventional Surgery

戸田 宏一 (大阪大学 心臓血管外科)

(6)Molecular Mechanism for Myocardial Hypertrophy and Heart Failure

〈英語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 8:30~10:00 第3会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホール B7(1))

座長: 斎藤 能彦 (奈良県立医科大学 第一内科)

Gerd Hasenfuss (University Medical Center Goettingen, Georg-August University Goettingen, Germany)

演 者:

Keynote Lecture: Excitation-Contraction Coupling in Human Heart Hypertrophy and Failure

Gerd Hasenfuss (University Medical Center Goettingen, Georg-August University Goettingen, Germany)

1. Dissociation of Calmodulin from RyR2 Plays a Key Role in Diastolic Ca^{2+} Leak from Sarcoplasmic Reticulum in Pressure-overload Heart Failure

山本 健 (山口大学 器官病態内科学)

2. Dynamic Crosstalk at the Cell and Organ Levels in the Cardiac Adaptive Response and Heart Failure

真鍋 一郎 (東京大学 循環器内科)

3. Regulatory Mechanisms of Post-infarction Inflammation and Left Ventricular Remodeling

安齊 俊久 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

4. Perturbation of the Titin/MURF1 Signaling Complex is Associated with Cardiac Hypertrophy in a Fish Model and in Human Patients

牧野 伸司 (慶應義塾大学 循環器内科)

5. Molecular Mechanism of Gender Difference in Heart Failure Caused by Lamin A/C Mutations

木村 彰方 (東京医科歯科大学 難治疾患研究所 分子病態)

(7) 高血圧のEBM

〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 8:30~10:00 第22会場 東京商工会議所 7F 国際会議場)

座長: 檜垣 實男 (愛媛大学 循環器・呼吸器・腎高血圧内科学)

光山 勝慶 (熊本大学 生体機能薬理学)

演 者:

1. Should We Change the Target of Blood Pressure Control for Type 2 Diabetic Patients?

副島 弘文 (熊本大学 循環器内科学)

2. Blood Pressure Lowering in High-risk Population—HIJ-CREATE Sub-study—

小川 洋司 (東京女子医科大学 循環器内科学)

3. Optimal Target Range of Blood Pressure Control after Acute Myocardial Infarction Determined by the CART Analysis

松本 専 (大阪大学 循環器内科学)

4. Clinical Significance of Low Diastolic Blood Pressure in Development of De-Novo Heart Failure—A Report From the CHART-2 Study—

高田 剛史 (東北大学 循環器内科)

5. Effects of the Calcium Channel Blocker-based Combinations on Blood Pressure Variability and Stroke Risk: Post-hoc Analysis of the COPE Trial

梅本 誠治 (山口大学 臨床試験支援センター)

6. Blood Pressure Variability, Antihypertensive Agents and Their Effects on the Cardiovascular Disease

永井 道明 (自治医科大学 循環器内科学)

(8) 形態と機能との融合から病態を把握する

〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 13:50~15:20 第20会場 JPタワー 5F カンファレンスルーム B)

座長: 木原 康樹 (広島大学 循環器内科学)

安武 正弘 (日本医科大学 内科 (循環器・肝臓・老年・総合病態部門))

演 者:

1. Impact of Coronary Plaque Burden and Composition on Peri-procedural Myocardial Infarction and Coronary Flow Reserve after Percutaneous Coronary Intervention

樋口 義治 (日本大学 循環器内科)

2. Coronary Artery Plaque Morphologies or Myocardial Ischemia in the Risk Stratification of Coronary Artery Disease

福田 祥大 (大阪掖済会病院 循環器内科)

3. ^{18}F -FPPRGD₂ Positron Emission Tomography for Detecting Active Changes in Biological Function of Abdominal Aortic Aneurysms

北川 知郎 (広島大学 循環器内科学)

4. Three-Dimensional Echocardiographic Propagation Imaging of Left Ventricular Activation Based on Electro-Mechanical Coupling to Predict Responses for Cardiac Resynchronization Therapy

瀬尾 由広 (筑波大学 循環器内科)

5. Prognostic Utility of Ultrastructural Features in Early Dilated Cardiomyopathy before Presenting Cardiac Magnetic Resonance Findings

齋藤 恒徳 (日本医科大学 循環器内科)

6. Combination between Anatomy and Function (Physiology) for the Management of Arrhythmia

阿久津 靖 (昭和大学 循環器内科学部門)

(9)冠動脈イメージングの最前線

〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 8:30~10:00 第21会場 東京商工会議所 4F 東商ホール)

座長: 赤坂 隆史 (和歌山県立医科大学 循環器内科)

水野 杏一 (三越厚生事業団/日本医科大学)

演 者:

1. Signal High Intensity on T1-weighted Magnetic Resonance Imaging of Coronary Plaque Associated with Myocardial Injury after Percutaneous Coronary Intervention

星 智也 (筑波大学 循環器内科)

2. Impact of Stent-platform on Wall Shear Stress Distributions: Insights from Computational Fluid Dynamics Simulations Using OCT and CTA Fusion Images

大竹 寛雅 (神戸大学 循環器内科学講座)

3. Usefulness of Micro-CT and Optical Coherence Tomography for Vasa Vasorum Imaging in Porcine Coronary Arteries with Stent Implantation

松本 泰治 (東北大学 循環器内科)

4. Relationship between Cholesterol Crystals and Culprit Lesion Characteristics in Patients with Stable Coronary Artery Disease: An Optical Coherence Tomography Study

中村 俊一 (日本医科大学 循環器内科)

5. Coronary Plaque Stabilization and Destabilization as Assessed by Optical Coherence Tomography

久保 隆史 (和歌山県立医科大学 循環器内科学)

6. Angioscopic Arterial Healing is Associated with Endothelial Dysfunction and Serum IL-1B Levels

上野 高史 (久留米大学 循環器病センター)

7. Near-infrared Spectroscopy is a Useful Device to Evaluate Yellow Plaque Detected by Angioscopy

松尾 浩志 (大阪警察病院 循環器内科)

(10)脳梗塞予防のための心房細動の予防・治療戦略—UPDATE 〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 17:20~18:50 第19会場 JPタワー 4F カンファレンスルーム A)

座長: 林 秀晴 (浜松医科大学 第三内科)
磯 博康 (大阪大学 社会環境医学講座公衆衛生学)

演 者:

1. Optimal Strategy of Anticoagulation to Prevent Embolic and Hemorrhagic Events in Patients with Nonvalvular Atrial Fibrillation: Insight from J-RHYTHM Registry
井上 博 (富山大学 第二内科)
2. Current Status of Anti-thrombotic Therapy for Patients with Atrial Fibrillation in Japan: Insights from the Fushimi AF Registry
赤尾 昌治 (国立病院機構京都医療センター 循環器内科)
3. Impact of Deteriorating Renal Function on Adverse Events in Atrial Fibrillation Patients Using Novel Oral Anticoagulants, Comparing with General Population
宮本 康二 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
4. Insufficient Left Atrial Reverse Remodeling after Catheter Ablation Associates with Existence of Echocardiographic Thromboembolic Milieu in Patients with Persistent AF
町野 智子 (筑波大学 循環器内科)
5. Incidence and Characteristics of Atrial Fibrillation Newly Diagnosed with Dual-chamber Pacemaker
南口 仁 (大阪大学 循環器内科学)
6. Thoracoscopic Left Appendage Amputation: A Novel Surgical Strategy for Stroke Prevention in Long-Standing Non-valvular Atrial Fibrillation
大塚 俊哉 (東京都立多摩総合医療センター 心臓血管外科)

(11)循環器疾患ネットワークとレジストリ 〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 11:10~12:40 第3会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホール B7(1))

座長: 楠岡 英雄 (国立病院機構大阪医療センター)
横山 広行 (国立循環器病研究センター)

演 者:

1. The Japanese Registry Of All cardiac and vascular Diseases (JROAD) on the Road to the Future National Registry
安田 聡 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
2. Challenges of the Osaka Acute Coronary Insufficiency Study for the Publicity and Continuity
砂 真一郎 (大阪大学 循環器内科学)
3. Experience and Perspectives from the Chronic Heart Failure Analysis and Registry in the Tohoku District 2 (CHART-2) Study
坂田 泰彦 (東北大学 循環器内科)
4. Present Status of Registry for Mechanical Assisted Circulatory Support in Japan (J-MACS)
中谷 武嗣 (J-MACS 業務委員会)

5. Constructing a Successful Multicenter Registry in Japan: Overcoming the Hurdles with Internet Technology and Skilled CRCs

植田 育子 (慶應義塾大学 循環器内科)

(12) 地域医療と医療経済

〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 8:30~10:00 第19会場 JPタワー 4F カンファレンスルーム A)

座長: 湊口 信也 (岐阜大学 循環器内科)

田倉 智之 (大阪大学 医療経済産業政策学)

演 者:

1. Clinical Pathway between Medical and Nursing Institutes Develops Medical and Social Partnership Supporting People with Heart Failure in North Shinshu

渡辺 徳 (北信総合病院 循環器内科)

2. The Rate to Return Home from the Hospital in Elderly Patients with Acute Heart Failure Decreases

柏瀬 一路 (大阪警察病院 心臓センター 循環器内科)

3. Survey on Hospitalization and Costs of Provisional Heart-Failure Patients Based on Elevated Levels of BNP in Entire Hiroshima-Prefecture District

木原 康樹 (広島大学 循環器内科学)

4. Current Status and Issues of the Emergency Medicine in the Rural Area: Possible Impact of Helicopter Ambulances

北 義人 (市立輪島病院 内科)

5. Selection Medical-expenses Enforcement with Community-based Politics Decreased Total Number of Critical Care Patients in Iwakuni-city

中村 浩士 (山口大学 地域医療推進学講座)

(13) ACHD の診療体制の構築: 多部門の共同運営と遠隔医療

〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 16:30~18:00 第22会場 東京商工会議所 7F 国際会議場)

座長: 伊藤 宏 (秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学)

白石 公 (国立循環器病研究センター 小児循環器診療部)

演 者:

1. Clinical Problems and Urgent Needs for Establishment of Medical Care System in Adult Patients with Congenital Heart Disease

白石 公 (国立循環器病研究センター 小児循環器部)

2. Transition of Patients with Congenital Heart Disease from Pediatric to Adult Clinic: Experience in Our Hospital

三宅 誠 (天理よろづ相談所病院 循環器内科)

3. Seeking the Ideal Cooperative Structure with Multidisciplinary Experts for Adult Patients with Congenital Heart Disease

稲井 慶 (東京女子医科大学 循環器小児科)

4. Roll of Adult Cardiologists for the Management of Adult Congenital Heart Disease: Importance of Educational System

赤木 禎治 (岡山大学 循環器疾患治療部)

5. Evaluation of Cardiac Morphology and Function in Congenital Heart Disease Using Cardiovascular Magnetic Resonance at the Specialized Cardiovascular Imaging Center

石川 友一 (榊原記念病院 小児科)

6. Combination Therapy of Arrhythmia in Adult Congenital Heart Disease Patients

増田 慶太 (聖路加国際病院 心血管センター 循環器内科)

(14) カテーテル治療における女性医師の勤務環境：現状と課題 〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 8:30~10:00 第2会場 東京国際フォーラム Cブロック 4-5F ホールC)

座長：上田真喜子 (大阪市立大学 病理病態学)

本江 純子 (府中恵仁会病院 心臓血管病センターイメージング研究所)

演 者：

1. Working Conditions for Female Cardiologists: Radiation Exposure and Support during Pregnancy
~Current Status in the US and Problems in Japan~

井上 優子 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

2. Radiation Exposure to Female Electrophysiologists Specialized in Catheter Ablation—How to Decrease the Fluoroscopic Time in Atrial Fibrillation Ablation?

吉村あきの (鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科学)

3. Fluororeduction in Interventional Electrophysiology for Female Doctors

井藤 葉子 (筑波大学 循環器内科)

4. Why So Few Women in Interventional Cardiac Electrophysiology?

岡崎 怜子 (日本医科大学多摩永山病院 内科・循環器内科)

5. Importance to Establish the Working Environment for Equal Career Opportunity for Female Interventional Cardiologists

富岡 智子 (みやぎ県南中核病院 循環器内科)

6. Current Status and Perspective of Female Interventional Cardiologists in Community Hospital

高田 睦子 (小松市民病院 内科)

7. Guideline on Occupational Radiation Exposure to the Pregnant Cardiologist and Technical Personnel

本江 純子 (府中恵仁会病院 心臓血管病センター)

(15) Treatment Strategy of CKD: Collaboration by Cardiologists and Nephrologists 〈英語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 14:40~16:10 第22会場 東京商工会議所 7F 国際会議場)

座長：野出 孝一 (佐賀大学 内科学)

Claudio Ronco (Department of Nephrology and IRRIV-St. Bortolo Hospital, Italy)

演 者：

Keynote Lecture: Fluid Status Optimization is Critical in Cardiorenal Syndrome

Claudio Ronco (Department of Nephrology and IRRIV-St. Bortolo Hospital, Italy)

1. Vascular Failure: A Possible Player in Cross-talk of the Early Stages of Cardio-renal Dysfunction

富山 博史 (東京医科大学 第二内科)

2. Prognostic Impact of Subclinical Albuminuria in Chronic Heart Failure—A Report from the CHART-2 Study—

三浦 正暢 (東北大学 循環器内科)

3. Strategy of Renoprotection by Lipid Control

笠原 正登 (京都大学 臨床研究総合センター EBM 推進部)

4. What can We Do during Percutaneous Coronary Intervention to Prevent Contrast-Induced Acute Kidney Injury?

前川裕一郎 (慶應義塾大学 循環器内科)

(16) 弁膜症治療ニューパラダイムを迎えて

〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 8:30~10:00 第3会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホール B7(1))

座長: 四津 良平 (慶應義塾大学 外科 (心臓血管))

山本 一博 (鳥取大学 病態情報内科学)

演 者:

1. Is Symptom-oriented Indication for Aortic Valve Replacement Appropriate for Very Elderly Patients in the Current Era?

加藤 雅彦 (鳥取大学 病態情報内科学)

2. Clinical Results of Transcatheter Aortic Valve Implantation in Octogenarians and Nonagenarians: Insights from the FRANCE 2 Registry

山本 真功 (アンリーモンドール中央大学病院 インターベンション治療部)

3. Early Experiences of Transcatheter Aortic Valve Replacement for High-risk Patients with Aortic Stenosis: Single Center Study

鳥飼 慶 (大阪大学 心臓血管外科)

4. The Strategy to Treat Functional Mitral Regurgitation Accompanying Acute Decompensated Heart Failure

大原 貴裕 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

5. Feasibility of Mitral Valve Repair Using the Loop Technique for Minimally Invasive Cardiac Surgery: Echocardiographic Evaluation of Mitral Valve Mobility

村田 光繁 (慶應義塾大学 臨床検査医学)

6. Surgical Reoperation or Percutaneous Mitral Valve Intervention for Severe Mitral Regurgitation in Patients with Surgical Mitral Valve Repair Failure?

大野 洋平 (Department of Cardiology, Ferrarotto Hospital, University of Catania, Italy)

(17) 肺高血圧症に期待される新しい治療法

〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 17:20~18:50 第4会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホール B7(2))

座長: 松原 広己 (国立病院機構岡山医療センター 臨床研究部)

伊藤 正明 (三重大学 循環器・腎臓内科学)

演 者:

1. Reactive Post-capillary Pulmonary Hypertension as a New Therapeutic Target for Left Heart Disease

杉村宏一郎 (東北大学 循環器内科)

2. Sildenafil and Tadalafil Use in Dual Phosphodiesterase Type 5 Inhibitor Therapy as Salvage Therapy for Refractory Pulmonary Arterial Hypertension

田村 雄一 (慶應義塾大学 循環器内科)

3. Riociguat for the Treatment of Pulmonary Hypertension

波多野 将 (東京大学 循環器内科)

4. Nanoparticle-mediated Drug Delivery System of Prostaglandin I₂ into Lungs Ameliorates the Development of Monocrotaline-induced Pulmonary Artery Hypertension in Rats

赤木 達 (岡山大学 循環器内科学)

5. TRPC3/6 as Potentially Novel Therapeutic Targets for the Treatment of Pulmonary Arterial Hypertension

木下 秀之 (京都大学 内分泌代謝内科)

(18)末梢血管治療における new trend

〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 11:10~12:40 第19会場 JPタワー 4F カンファレンスルーム A)

座長: 古森 公浩 (名古屋大学 血管外科)

南都 伸介 (大阪大学 先進心血管治療学)

演 者:

1. Safety and Efficacy after Endovascular Therapy for Iliofemoral Artery Disease

曾我 芳光 (小倉記念病院 循環器内科)

2. Clinical Outcomes after Endovascular Therapy for Patients with Critical Limb Ischemia Due to Isolated Infrapopliteal Lesions

中野 雅嗣 (済生会横浜市東部病院 循環器内科)

3. Recent Trends in Bypass Surgery for Critical Limb Ischemia

辻 義彦 (新須磨病院 外科)

4. Acting in Close Cooperation with Cardiologists, Plastic and Vascular Surgeons and Podiatrists for Limb Salvage

杉原 充 (福岡大学 心臓血管内科学)

5. Therapeutic Angiogenesis and Endothelial Function in Patients with Peripheral Artery Disease

東 幸仁 (広島大学 原爆放射線医科学研究所 ゲノム障害制御研究部門)

6. Can the Benefits of Zilver PTX Supersede Its Risks?

飯田 修 (関西労災病院 循環器内科)

7. The Efficacy of Drug Coated Balloon for Superficial Femoral Artery In-stent Restenosis

南條 光晴 (仙台厚生病院 心臓血管センター)

(19)急性大動脈解離の診断と治療における集学的アプローチ： 〈日本語〉

内科、外科共同の Aorta team に向けて

(学会第2日目 3月22日(土) 17:20~18:50 第22会場 東京商工会議所 7F 国際会議場)

座長：萩野 均(東京医科大学 外科学第二講座(心臓血管外科))

吉野 秀朗(杏林大学 第二内科循環器内科)

演 者：

1. Frequency and Implication of Acute Coronary Syndrome-like ST-T Changes on Admission
Electrocardiograms in Patients with Type A Acute Aortic Dissection
小菅 雅美(横浜市立大学市民総合医療センター 循環器内科)
2. Role of Cardiologist in Team Management of Aortic Disease and Dissection
鈴木 亨(東京大学 循環器内科)
3. The Outcome of the Patients with Aortic Disease was Associated with Patients Transfer Time
坪 宏一(東京都CCUネットワーク学術委員会/日本医科大学 集中治療室)
4. The Significant Importance of Treatment Strategies and Systems for Acute Type-B Aortic
Dissection from Our 20 Years Experience of TEVAR
阪本 朋彦(大阪大学 心臓血管外科)
5. Diagnosis and Management of Acute Aortic Intramural Hematoma with Multidetector Computed
Tomography
北井 豪(神戸市立医療センター中央市民病院)
6. Factors Influencing Misdiagnosis of Aortic Dissection in Emergency Room
倉林 学(横浜市立みなと赤十字病院 循環器内科)
7. Sophisticated Medical Team Covering Entirely Neighborhood Hospitals Improves Outcome of
Management for Acute Dissection
大橋 壮樹(名古屋徳洲会総合病院 心臓血管外科)

(20)喫煙と循環器疾患—あらたな禁煙医療への挑戦— 〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 8:30~10:00 第22会場 東京商工会議所 7F 国際会議場)

座長：室原 豊明(名古屋大学 循環器内科学)

朔 啓二郎(福岡大学 心臓・血管内科学)

演 者：

1. Cigarette Smoking and Mortality Risk: 50-Year Follow-up of Tanushimaru/Ushibuka Study
Accompanied by 25-Year Follow-up of the Seven Countries Study
足達 寿(久留米大学 地域医療連携講座)
2. Remained High Prevalence of Smoking Habits in Japanese AMI Patients; Report from Q-TASK
Nationwide Multicenter Registry Study
山根 崇史(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
3. Smoking Cessation is Associated with Increased Adiponectin Levels in Men with Stable Angina
Pectoris
宮崎 貴志(熊本大学 循環器内科学)

4. Impact of Cigarette Smoking Cessation on HDL Functionality

今泉 聡 (福岡大学 心臓血管内科学)

5. Blood Fluidity Assessed by the Micro-channel Method Sensitive Reflects Cardiovascular Risk in Smoking Patients

長谷川浩二 (国立病院機構京都医療センター 展開医療研究部)

6. Smoking and DNA Damage

石田 万里 (広島大学 心臓血管生理医学)

(21) IT と循環器診療

〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 16:30~18:00 第21会場 東京商工会議所 4F 東商ホール)

座長: 伊藤 浩 (岡山大学 機能制御学 (循環器内科))

橋本 英樹 (東京大学 臨床疫学経済学)

演 者:

1. Automated and Internet-Based Telemedical Management of Heart Failure Using a New Telemonitoring Variable of Respiratory Instability

高川 順也 (射水市民病院 循環器科)

2. Innovative Remote Interrogation Technology for the Better Management of Patients with Cardiac Implantable Pacing Devices

真中 哲之 (東京女子医科大学 循環器内科学)

3. Developing an Information Infrastructure for Clinical Research Coordinated with Academic Societies

山本 景一 (国立循環器病研究センター 情報統括部)

4. Disaster Cardiovascular Prevention IT Network in the Town of Minamisanriku on The Great 2011 East Japan Earthquake

西澤 匡史 (公立志津川病院 内科/自治医科大学 循環器内科学)

5. Non-invasive Fractional Flow Reserve Computed from CT (FFRCT) as a Novel Method for Diagnosing Coronary Artery Disease: Results from HeartFlowNXT

三好 亨 (岡山大学 先端循環器病治療学)

6. A New Application of Automatic Illustration System for Better Understanding of Complex Congenital Heart Diseases

黒崎 健一 (国立循環器病研究センター 小児循環器集中治療室)

(22) How Has the Comprehensive Genomic Analysis Altered the Clinical Status of Cardiovascular Medicine? 〈英語〉

—Linkage between the Genetic, Clinical and Epidemiological Sciences, and Its Future Perspective—

(学会第1日目 3月21日(金) 13:50~15:20 第22会場 東京商工会議所 7F 国際会議場)

座長: 北風 政史 (国立循環器病研究センター 臨床研究部・心臓血管内科)

Christine E. Seidman (Brigham & Women's Hospital and Harvard Medical School, USA)

演 者:

Keynote Lecture: Using Genomic Information to Alter Clinical Outcomes in Patients at Risk for Cardiovascular Disease

Christine E. Seidman (Brigham & Women's Hospital and Harvard Medical School, USA)

1. Exploratory Research on Potential Diagnostic as Well as Therapeutic Targets for Heart Failure Using Omics Data Analysis

朝倉 正紀 (国立循環器病研究センター)

2. Research Strategies of Whole Exome Sequencing~Practical Approaches for 110 Patients (32 Families) with Hereditary Cardiomyopathy and Arrhythmia~

朝野 仁裕 (大阪大学 循環器内科学)

3. Genome-wide Association Study (GWAS) for a Cardiac Arrhythmia, Atrial Fibrillation

古川 哲史 (東京医科歯科大学 難治疾患研究所・生体情報薬理学)

4. Benchtop Next Generation Sequencer has Facilitated the Genetic Analysis for Inherited Arrhythmias

大野 聖子 (滋賀医科大学 呼吸循環器内科)

プレナリーセッション・シンポジウム・一般演題・特別企画要項

プレナリーセッション，シンポジウム，一般演題，特別企画の開催要領は原則として下記の通りです(ただし一部の日本語発表セッションを除く)。

1) プレナリーセッション：

- 招請外国人による講演(state-of-the-art)を行う。その後，招請外国人及び指定または公募通過者の計5名程度による発表。ただし一部の日本語発表セッションを除く。
- 発表者は各専門領域における各自のデータに加え，現況と将来の方向について講演(オーバービュー)する。
- 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする(同時通訳をつけます)。
- 総合討論は行わない。

2) シンポジウム：

- 招請外国人による講演(keynote lecture)を行う。その後，招請外国人及び指定または公募通過者の計5名程度による発表。ただし一部の日本語発表セッションを除く。
- 各自の最先端の研究について発表し，自由な討論を行う。
- 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする(同時通訳はつけません)。

3) 一般演題：

- 発表者は原則として，応募時に選択した日本語または英語で行う(同時通訳なし)。
- 一般演題の発表形式は，以下のように分けられます。
 - ① Featured Research Sessions in English(英語発表希望者抄録のうち比較的高得点の演題から構成)
 - ② 一般演題口述発表(発表希望言語により日本語または英語セッションに分けられる)
 - ③ ポスター発表(発表希望言語により日本語または英語セッションに分けられる)

4) 特別企画：

- 真下記念講演，トピックス(*)，コントロールシー，ミートザエキスパート(*)，ラウンドテーブルディスカッション，モーニングレクチャー，教育セッションは日本語で行われます。
*一部セッションは英語で行われます。
- 美甘レクチャー，特別講演は英語で行われ，同時通訳付きとなります。

8. 会長特別企画

(1) 我が国の地域医療の新展開にむけて

〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 13:50~15:20 第1会場 東京国際フォーラム Aブロック 4F ホールA)

座長: 永井 良三 (自治医科大学/東京大学)

尾身 茂 (自治医科大学/年金・健康保険福祉施設整理機構)

演 者:

1. Overview

永井 良三 (自治医科大学/東京大学)

2. How to Overcome Challenges the Health System is Faced with?

尾身 茂 (自治医科大学/年金・健康保険福祉施設整理機構)

3. Health Care Policy in a Hyper-aged Society

島崎 謙治 (政策研究大学院大学 政策研究科)

4. The New Direction of Primary Care in Japan

丸山 泉 (日本プライマリ・ケア連合学会)

5. How can National Healthcare Policy Focus on Community

堀 真奈美 (東海大学 人間環境学科)

(2) 医療の機能分担と連携

〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 11:10~12:40 第2会場 東京国際フォーラム Cブロック 4-5F ホールC)

座長: 前原 正明 (防衛医科大学校 外科学講座)

山口 徹 (虎の門病院)

演 者:

1. The Coordination and Role Sharing between Health Professionals

北澤 潤 (厚生労働省 医政局医事課)

2. Collaborative Team Approach is the Most Effective Way to Improve Surgeons Work Environment

富永 隆治 (九州大学 循環器外科)

3. Integration of Potential of Medical Staffs to Achieve the Best Management of Patients in Clinical Cardiology

伊藤 浩 (岡山大学 循環器内科学)

4. Emergency Cooperation System for Acute Aortic Syndrome Comprising Related Specialists to Overcome It's Worst Mortality, Suggestion from Tokyo Aortic Supernetwork

高山 守正 (榊原記念病院 循環器内科)

(3) 循環器病ナショナルデータベース

〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 14:40~16:10 第2会場 東京国際フォーラム Cブロック 4-5F ホールC)

座長: 小川 久雄 (熊本大学/国立循環器病研究センター 循環器内科学)

高本 真一 (三井記念病院)

演 者:

1. Learning the JCS Nationwide Survey of Cardiovascular Practice during 2004-2010: Topographic Disparity among 47 Prefectures

友池 仁暢 (榊原記念病院)

2. Rapid Dissemination of Coronary CT Angiography among Teaching Hospitals in Japan between 2007 and 2010

横山 広行 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

3. Tag-Team Action of the Japanese Registry of All Cardiac and Vascular Diseases between JCS and National Cerebral and Cardiovascular Center

安田 聡 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

4. Nationwide Cardiovascular Surgery Database: Japan Cardiovascular Surgery Database (JCVSD)

本村 昇 (東京大学 心臓外科)

5. For Whom does the Database Benefit: Implication from the National PCI Registries

香坂 俊 (慶應義塾大学 循環器内科/第一三共 心血管炎症学寄附講座)

(4) 公正な臨床研究の進め方

〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 17:20~18:50 第1会場 東京国際フォーラム Aブロック 4F ホールA)

座長: 興梠 貴英 (自治医科大学 企画経営部・医療情報部)

植田真一郎 (琉球大学 臨床薬理学講座)

演 者:

1. Regulations on Investigator-Initiated Clinical Research

景山 茂 (東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 薬物治療学研究室)

2. What do We Need to Activate Clinical Trials?

平山 佳伸 (立命館大学 薬学部)

3. Better Ways to Conduct Clinical Trials in Japan: From the Viewpoint of a Physician Statistician

興梠 貴英 (自治医科大学 企画経営部・医療情報部)

4. Proper Training Program for Physicians and Sharable Infrastructure is Required for Sensible, Physician-initiated Clinical Research

植田真一郎 (琉球大学 臨床薬理学)

5. TBA

(5) アジアからのエビデンス

〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 11:10~12:40 第2会場 東京国際フォーラム Cブロック 4-5F ホールC)

座長: 苅尾 七臣 (自治医科大学 循環器内科学)

木村 剛 (京都大学 循環器内科学)

演 者:

1. Establishment of Japanese Evidence in Coronary Artery Disease—Clinical Impact of Drug-Eluting Stent in Japan—

塩見 紘樹 (京都大学 循環器内科学)

2. Clinical Evidence from Japan in Cardiac Arrhythmia-related Issues

山下 武志 (心臓血管研究所 循環器内科)

3. Resuscitation Science in Asia

長尾 建 (駿河台日本大学病院 循環器科)

4. Efforts of Making Asian Evidence for Hypertension

星出 聡 (自治医科大学 循環器内科学)

(6) ゲノム科学の新展開

〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 16:30~18:00 第1会場 東京国際フォーラム Aブロック 4F ホールA)

座長: 油谷 浩幸 (東京大学 先端科学技術研究センター)

宮野 悟 (東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター)

演 者:

1. Epigenomic Switch in Cardiomyocyte Differentiation

油谷 浩幸 (東京大学 先端科学技術研究センター)

2. Exploring Rare Genetic Variants in Association with Aortic Aneurysm and/or Dissection

松本 直通 (横浜市立大学 遺伝学)

3. Identification of Novel Susceptibility Loci for Myocardial Infarction Using Large-scale Genomic Analysis

森田 啓行 (東京大学 健康医科学創造講座)

4. Searching Target Genes by Gene Network Analysis with Supercomputer

宮野 悟 (東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター)

(7) 利益相反を考える

〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 16:20~17:00 第2会場 東京国際フォーラム Cブロック 4-5F ホールC)

兄玉 安司 (新星総合法律事務所)

座長: 永井 良三 (自治医科大学/東京大学)

9. ジョイントシンポジウム

(1) AHA-JCS ジョイントシンポジウム

〈英語〉

Future Prospect of iPS Cells and Direct Induction

(学会第2日目 3月22日(土) 14:40~16:10 第21会場 東京商工会議所 4F 東商ホール)

座長: 福田 恵一 (慶應義塾大学 循環器内科)

Eric N. Olson (University of Texas Southwestern Medical Center, USA)

演 者:

1. Reprogramming Fibroblasts toward a Cardiac Cell Fate as a Strategy for Heart Repair

Eric N. Olson (University of Texas Southwestern Medical Center, USA)

2. Direct Cardiac Reprogramming in vitro

家田 真樹 (慶應義塾大学 臨床分子循環器病学講座・循環器内科)

3. Cardiac iPSCs for Disease Modeling, Drug Screening, and Cell Therapy

Joseph Wu (Stanford University School of Medicine, USA)

4. Disease Modeling Using iPS Cells

古川 哲史 (東京医科歯科大学 難治疾患研究所・生体情報薬理学)

(2) ACC-JCS ジョイントシンポジウム

〈英語〉

Imaging Modalities to Detect Vulnerable Plaque

(学会第1日目 3月21日(金) 13:50~15:20 第19会場 JPタワー 4F カンファレンスルーム A)

座長: 赤坂 隆史 (和歌山県立医科大学 循環器内科)

Jagat Narula (Mount Sinai Hospital, USA)

演 者:

1. Present Status of Cardiovascular Imagings in the Detection of Vulnerable Plaque
Jagat Narula (Mount Sinai Hospital, USA)
2. Molecular Imaging for Detecting Vulnerable Plaque
Farouc Jaffer (Massachusetts General Hospital, USA)
3. High-Intensity Signals in Coronary Plaques on Non-contrast T1-Weighted Magnetic Resonance Imaging as a Novel Determinant of Coronary Events
野口 暉夫 (国立循環器病研究センター)
4. Demonstration of Vulnerable Plaques by Coronary CT Angiography
元山 貞子 (藤田保健衛生大学 循環器内科学)
5. Intravascular Imagings in the Assessment of Vulnerable Plaque
久保 隆史 (和歌山県立医科大学 循環器内科学)

(3) Meet the ESC: ESC-JCS ジョイントシンポジウム

〈英語〉

Impact of Coronary Imaging on the Mechanism and Prediction of Acute Coronary Syndrome (ACS)

(学会第2日目 3月22日(土) 17:20~18:50 第14会場 東京国際フォーラム ガラス棟 7F G701)

座長: 尾崎 行男 (藤田保健衛生大学 循環器内科)

Fausto J. Pinto (University Hospital Sta Maria-Dpt Cardiology-Lisbon University, Portugal)

演 者:

1. Mechanisms of ACS Assessed by IVUS
Fausto J. Pinto (University Hospital Sta Maria-Dpt Cardiology-Lisbon University, Portugal)
2. Mechanism of Acute Coronary Syndrome Assessed by Optical Coherence Tomography
赤坂 隆史 (和歌山県立医科大学 循環器内科学)
3. Influence of Plaque Rupture and Erosion on the Treatment of ACS
Giampaolo Niccoli (Institute of Cardiology Catholic University of the Sacred Heart Rome, Italy)
4. Current Treatment Strategy in AMI; A Lesson from TROFI Trial
村松 崇 (藤田保健衛生大学 循環器内科学)

10. Meet the ESC

(1) ESC-JCS Guideline Session of Heart Failure

〈英語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 11:10~12:40 第14会場 東京国際フォーラム ガラス棟 7F G701)

座長：斎藤 能彦 (奈良県立医科大学 第一内科)

Panos Vardas (Heraklion University Hospital, Greece)

演 者：

1. Current status of Heart Failure in Japan: Epidemiology and Management
磯部 光章 (東京医科歯科大学 循環制御内科学)
2. Acute Coronary Syndrome: Can We Modify the Development of Acute Heart Failure?
Keith Fox (Cardiology of the University of Edinburgh, UK)
3. Guideline-based Management of "Chronic Heart Failure in Japan"
増山 理 (兵庫医科大学 循環器内科)
4. Guideline-based Management of "Chronic Heart Failure in Europe"
Stefan D. Anker (Charité – Universitätsmedizin Berlin, Germany)

(2) TAVI update

〈英語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 14:40~16:10 第14会場 東京国際フォーラム ガラス棟 7F G701)

座長：三橋 弘嗣 (聖路加国際病院 心血管センター)

Alain Cribier (CHU of Rouen, France)

演 者：

1. Japanese Experience: Role of Surgeon in TAVI
桃原 哲也 (榊原記念病院 循環器内科)
2. Lessons Learned from >10-Year Experience of TAVI
Alain Cribier (CHU of Rouen, France)
3. How to Predict and Manage Procedural Complications of TAVI?
林田健太郎 (慶應義塾大学 循環器内科)
4. The Role of Heart Team—How do We Choose TAVI or SAVR?: A Lesson from SWISS TAVI Registry
Marco Roffi (University Hospital of Geneva, Switzerland)

11. ラウンドテーブルディスカッション

(1) 心房細動のアブレーション治療

〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 8:30~10:00 第21会場 東京商工会議所 4F 東商ホール)

座長：高月 誠司 (慶應義塾大学 循環器内科)

熊谷浩一郎 (福岡山王病院 ハートリズムセンター)

演 者：

1. Ablation Strategy Based on Pulmonary Vein Isolation and Non-pulmonary Vein Trigger Ablation for Non-paroxysmal Atrial Fibrillation
桑原 大志 (横須賀共済病院 循環器センター 内科)
2. Identification of Persistent Atrial Fibrillation Patients to Whom Pulmonary Vein Isolation Alone was Enough to Maintain Sinus Rhythm
井上 耕一 (桜橋渡辺病院 心臓血管センター)

3. Coronary Sinus Ablation in Patients with Persistent Atrial Fibrillation

松尾征一郎 (東京慈恵会医科大学 循環器内科)

4. The Role of High-Frequency Stimulation Guided Ganglionated Plexus Ablation for Persistent and Long-lasting Persistent Atrial Fibrillation

山城 荒平 (豊橋ハートセンター 循環器内科)

5. Intracardiac Ultrasound for Left Atrial Navigation on Catheter Ablation for Atrial Fibrillation

藤生 克仁 (東京大学 循環器内科)

(2)CRT-D の長期予後

〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 11:10~12:40 第19会場 JPタワー 4F カンファレンスルーム A)

座長: 奥村 健二 (土岐市立総合病院 内科)

因田 恭也 (名古屋大学 循環器内科学)

演 者:

1. Long-term Clinical Outcomes after CRT. Insights from CUBIC Registry

安藤 献児 (小倉記念病院 循環器内科)

2. Prognosis of Very Severe Heart Failure Patients with CRT-D

朝田 一生 (東京大学 循環器内科)

3. Long-term Variations of Response to Cardiac Resynchronization Therapy and Lethal Ventricular Arrhythmia

野田 崇 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

4. Relationship of Mechanical Dyssynchrony to Long-Term Clinical Outcome after Cardiac Resynchronization Therapy with Defibrillator

加藤 寛之 (名古屋大学 循環器内科学)

5. Myocardial Contractile Reserve and Long-term Prognosis after Cardiac Resynchronization Therapy

新井光太郎 (東京女子医科大学 循環器内科学)

(3)冠動脈ステント挿入後の抗血小板療法

〈英語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 11:10~12:40 第21会場 東京商工会議所 4F 東商ホール)

座長: 中川 義久 (天理よろづ相談所病院 循環器内科)

阿古 潤哉 (北里大学 循環器内科学)

演 者:

1. Stent Thrombosis is a Problem in the Past

田邊 健吾 (三井記念病院 循環器内科)

2. DAPT Duration can be Shortened in the Second Generation DES Era by Stopping Aspirin Earlier

上妻 謙 (帝京大学 循環器内科)

3. Expectation for Novel Antiplatelet Agents

森野 禎浩 (岩手医科大学 内科学講座循環器内科分野)

(4)ワーファリンと新規凝固系阻害薬

〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 14:40~16:10 第18会場 JPタワー 4F ホール3)

座長: 山下 武志 (心臓血管研究所)

堀 正二 (大阪府立成人病センター)

演 者:

1. Ethnic Difference in Hemorrhagic Stroke and Bleeding on Warfarin and NOACs

堀 正二 (大阪府立成人病センター)

2. Gap between Large Clinical Trials and the Real World

小田倉弘典 (土橋内科医院)

3. Biomarkers for Monitoring of New Oral Anticoagulants: Do We Need or Not?

鈴木 信也 (心臓血管研究所 循環器内科)

4. Antithrombotic Therapy in Atrial Fibrillation Patients Undergoing Percutaneous Coronary Intervention

後藤 貢士 (京都大学 循環器内科学)

(5)心不全における利尿薬の選択

〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 8:30~10:00 第5会場 東京国際フォーラム Dブロック 7F ホールD7)

座長: 増山 理 (兵庫医科大学 循環器内科)

安村 良男 (国立病院機構大阪医療センター 循環器内科)

演 者:

1. Body Fluid Control in Diuretics Resistant Cardiorenal Syndrome

森 建文 (東北大学 腎高血圧内分泌学)

2. Diuretic Properties of Carperitide in Patients with Acute Heart Failure

小出 雅雄 (国立病院機構大阪医療センター 循環器内科)

3. Intravenous Salt Supplementation with Low Dose of Furosemide in Treatment of Acute Decompensated Heart Failure

廣谷 信一 (兵庫医科大学 循環器内科学)

4. The Determinants of Response of Vasopressin Receptor Antagonist—Beyond Urine Osmolality

絹川弘一郎 (東京大学 重症心不全治療開発講座)

5. Acute Heart Failure Volume Control Multicenter Randomized (AVCMA) Trial: Comparison of Tolvaptan and Carperitide

鈴木 聡 (福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座)

(6)薬剤性QT延長症候群予防の最前線—医薬品の心血管系リスク対策の現状と将来

〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 11:10~12:40 第21会場 東京商工会議所 4F 東商ホール)

座長: 加藤 貴雄 (国際医療福祉大学三田病院)

品川 香 (医薬品医療機器総合機構 新薬審査第二部)

演 者:

1. Current Issues and Future Prospects of Cardiovascular Risk Assessment in Pharmaceutical Drug Development

千葉 克芳 (第一三共株式会社 研究開発本部 安全性研究所)

2. Current Status and Future Perspectives of Cardiovascular Risk Assessment in Drug Development—From a Japanese Regulator's Point of View
品川 香 (医薬品医療機器総合機構 新薬審査第二部)
3. Recent Progress in Basic Research for Evaluating the Potential of Drug-Induced Lethal Arrhythmias
杉山 篤 (東邦大学 薬理学)
4. Cellular Mechanism and Management in Clinical Practice for Drug-Induced Long QT Syndrome
清水 渉 (日本医科大学 循環器内科)

12. トピック

(1) 植込み型 VAD の適応と成績 〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 8:30~10:00 第19会場 JPタワー 4F カンファレンスルーム A)

座長: 山崎 健二 (東京女子医科大学 心臓血管外科)

山本 一博 (鳥取大学 病態情報内科学)

演 者:

1. Management of Candidates for Cardiac Transplantation—From the Standpoints of Internal Medicine Physicians
猪又 孝元 (北里大学 循環器内科学)
2. Clinical Results of Implantable Ventricular Assist Device from J-MACS
中谷 武嗣 (国立循環器病研究センター 移植部)
3. Implantable LVAD can be Indicated in the Setting of Bridge to Decision?
絹川弘一郎 (東京大学 重症心不全治療開発講座)
4. Biventricular Support with Implantable Continuous-flow VADs: Osaka University Experience
戸田 宏一 (大阪大学 心臓血管外科)
5. Current Status of Bridge to Transplant Treatment with Implantable Ventricular Assist Device
西中 知博 (東京女子医科大学 心臓血管外科)

(2) 睡眠・サーカディアンリズムと高血圧・循環器疾患 〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 8:30~10:00 第20会場 JPタワー 5F カンファレンスルーム B)

座長: 前村 浩二 (長崎大学 循環病態制御内科学)

塩見 利明 (愛知医科大学 睡眠科)

演 者:

1. Pathophysiology of Circadian Rhythm Sleep Disorders
内山 真 (日本大学 精神医学系)
2. Chronomics of Heart Rate and Blood Pressure Variabilities
大塚 邦明 (東京女子医科大学 時間医学老年総合内科)
3. Circadian Rhythms and Cardiometabolic Disease
Mukesh Jain (Case Western Reserve University, USA)
4. Systems and Synthetic Biology of Biological Timings
上田 泰己 (東京大学 機能生物学専攻・システムズ薬理学教室)

(3)内科と外科のハイブリッド治療

〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 11:10~12:40 第5会場 東京国際フォーラム Dブロック 7F ホールD7)

座長:大木 隆生(東京慈恵会医科大学 外科学講座)

一色 高明(帝京大学 内科)

演 者:

1. Heart Team Approach to Achieve Better Outcome in Transcatheter Aortic Valve Implantation

林田健太郎(慶應義塾大学 循環器内科)

2. The Importance of the Heart Team in TAVR; From the Surgical Point of View

高梨秀一郎(榊原記念病院)

3. Carotid Artery Stenosis Complicated with Severe Heart Disease

伊莉 裕二(東海大学 循環器内科学)

4. Hybrid CABG; Off-pump CABG Continuing Aspirin Early after DES Implantation

樋上 哲哉(札幌医科大学 心臓血管外科学)

5. Totally Endovascular Aneurysm Repair for Arch Aneurysms

金岡 祐司(東京慈恵会医科大学 外科学講座 血管外科)

6. Hybrid Revascularization for Peripheral Arterial Disease (PAD)

東 信良(旭川医科大学 循環・呼吸・腫瘍病態外科学)

7. Future Perspective on Hybrid Therapy Regarding Cardiovascular Diseases

原 英彦(東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科)

(4)心臓シミュレーター

〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 11:10~12:40 第22会場 東京商工会議所 7F 国際会議場)

座長:杉浦 清了(東京大学 新領域創成科学研究科)

中沢 一雄(国立循環器病研究センター研究所 研究情報基盤管理室)

演 者:

1. Clinical Application of Multi-scale Heart Simulator, UT-Heart

杉浦 清了(東京大学 新領域創成科学研究科)

2. Technological Development of Heart Simulators for Various Computer Platforms in the Medical and Health-care Fields

中沢 一雄(国立循環器病研究センター研究所 研究情報基盤管理室)

3. In Silico Arrhythmology: To Unlock the Future of Arrhythmia Treatment

芦原 貴司(滋賀医科大学 循環器内科・不整脈センター)

(5)超高齢者の循環器医療

〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 8:30~10:00 第5会場 東京国際フォーラム Dブロック 7F ホールD7)

座長:桃原 哲也(榊原記念病院 循環器内科)

岡村 吉隆(和歌山県立医科大学 第一外科)

演 者:

1. Highlights on the Treatment of Old-Old Patients with Heart Failure

原田 和昌(東京都健康長寿医療センター 循環器内科/東京都CCUネットワーク学術委員会)

2. Comprehensive Approach to Very Old Patients with Aortic Stenosis and Coronary Disease

有田 武史 (小倉記念病院 循環器内科)

3. How do we Decide the Indication of Cardiovascular Surgery for Ultrahigh Age Patients?

岡林 均 (岩手医科大学 心臓血管外科)

4. Cardiovascular Surgery in Very Elderly Patients

向原 伸彦 (兵庫県立姫路循環器病センター 心臓血管外科)

(6) 栄養素と心疾患

〈英語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 8:30~10:00 第22会場 東京商工会議所 7F 国際会議場)

座長: E. Dale Abel (University of Iowa, Carver College of Medicine and Fraternal
Order of Eagles Diabetes Research Center, USA)

足立 健 (防衛医科大学校 循環器内科)

演 者:

1. Modulation of Cardiac Autophagy by Fatty Acids

E. Dale Abel (University of Iowa, Carver College of Medicine and Fraternal
Order of Eagles Diabetes Research Center, USA)

2. Amino Acids in Infant Cardiovascular Regulation

石川 義弘 (横浜市立大学 循環制御医学)

3. The Relationship between Plasma Amino Acid Profile and Cardiovascular Function in Chronic Systolic Heart Failure

伯野 大彦 (防衛医科大学校 循環器内科)

4. Novel Pathways of Crosstalk between Mitochondrial Stress, Antioxidant Defense, and Amino Acid Metabolism

佐野 元昭 (慶應義塾大学 循環器内科)

5. Effects of Administration of Oral Branched-Chain Amino Acids in Heart Failure Patients with Hypoalbuminemia

内野 悠一 (東京大学 循環器内科)

6. Intestine and Gut Bacterial Flora in Atherogenesis

山下 智也 (神戸大学 循環器内科学分野)

(7) 新規糖尿病治療薬の心血管保護作用

〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 11:10~12:40 第5会場 東京国際フォーラム Dブロック 7F ホールD7)

座長: 杉山 正悟 (陣内病院 循環器内科)

代田 浩之 (順天堂大学 循環器内科学)

演 者:

1. Glucagon Like Peptide-1 and Atherosclerosis

綿田 裕孝 (順天堂大学 代謝内分泌内科学)

2. Benefits of Dipeptidyl-peptidase IV Inhibition in Ischemic, Hypertrophic or Failing Hearts—From Bench to Patients

北風 政史 (国立循環器病研究センター 臨床研究部)

3. The Effects of DPP4 Inhibitors on Atherosclerosis and Vascular Functions

松原 純一 (熊本大学 循環器病態学/新別府病院 循環器内科)

4. Comprehensive and Therapeutic Strategy for Heart Failure via Dipeptidylpeptidase-4 (DPP-4)-
Incretine Axis

坂東 泰子 (名古屋大学 循環器内科学)

(8)組織リモデリングにおける低酸素・代謝シグナル

〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 11:10~12:40 第20会場 JPタワー 5F カンファレンスルーム B)

座長: 真鍋 一郎 (東京大学 循環器内科)

相川 眞範 (Harvard University, Brigham and Women's Hospital, USA)

演 者:

1. Inflammation and Tissue Remodeling in Aortic Diseases

青木 浩樹 (久留米大学 循環器病研究所)

2. Mediators of Tissue Remodeling in Kidney Regeneration

柳田 素子 (京都大学 腎臓内科学)

3. The Roles of Hypoxia Signaling in Cardiac Remodeling

武田 憲彦 (東京大学 循環器内科)

4. Coordinated Regulation of Inflammatory Response and Lipid Metabolism in Macrophage

田中(大石) 由美子 (東京医科歯科大学難治疾患研究所 細胞分子医学研究分野)

5. Development of Cell Therapy for Fibrosis and Regeneration in Liver

寺井 崇二 (山口大学 消化器病態内科学)

(9)医師のキャリアパスを広げる

〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 14:40~16:10 第20会場 JPタワー 5F カンファレンスルーム B)

座長: 米村 滋人 (東京大学 法学政治学研究科)

高橋 栄一 (アステラス・アムジェン・バイオファーマ株式会社)

演 者:

1. Career Development of Physicians in Pharmaceutical Medicine

今村 恭子 (SBI ファーマ株式会社)

2. Dedication to Health Policy is One of the Career Options for Medical Doctors

迫井 正深 (厚生労働省 老健局老人保健課)

3. Physician's Career Path as a Lawyer

児玉 安司 (新星総合法律事務所/東京大学)

(10)肺高血圧治療の進歩

〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 8:30~10:00 第21会場 東京商工会議所 4F 東商ホール)

座長: 中西 宣文 (国立循環器病研究センター 心臓内科)

松原 広己 (国立病院機構岡山医療センター 循環器科)

演 者:

1. Upfront Combination Therapy for Severe PAH Patients

大郷 剛 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

2. Up-to-Date Therapeutic Strategies for PAH-CTD

桑名 正隆 (慶應義塾大学 リウマチ内科学)

3. The Current Status and Treatment of Pulmonary Hypertension Associated with Left Heart Disease

波多野 将 (東京大学 循環器内科)

4. Re-refined Balloon Pulmonary Angioplasty for Inoperable Patients with Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension

溝口 博喜 (国立病院機構岡山医療センター 循環器科)

5. Current Status of Lung Transplantation for Pulmonary Hypertension

南 正人 (大阪大学 呼吸器外科学)

(11)腎デナーベーション：循環器疾患治療への展開

〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 13:50~15:20 第21会場 東京商工会議所 4F 東商ホール)

座長：木村 剛 (京都大学 循環器内科学)

市原 淳弘 (東京女子医科大学 高血圧・内分泌内科)

演 者：

1. Abnormal Sympathoexcitation Causes Hypertension

岸 拓弥 (九州大学 先端心血管治療学)

2. Renal Sympathetic Denervation for Treatment of Drug-Resistant Hypertension

池本 智一 (自治医科大学 循環器内科学)

3. The Effect of Intra-renal Artery Ablation on Cardiovascular Disease and the Problem in the Procedure

奥山 裕司 (大阪大学 先進心血管治療学寄附講座)

4. Merits and Demerits of Renal Denervation in the Management of Cardiovascular Risk Factors

森本 聡 (東京女子医科大学 第二内科学講座 高血圧・内分泌内科)

(12)血圧変動性高血圧への治療戦略

〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 13:50~15:20 第22会場 東京商工会議所 7F 国際会議場)

座長：石光 俊彦 (獨協医科大学 循環器・腎臓内科)

河野 雄平 (国立循環器病研究センター 生活習慣病部門 高血圧・腎臓科)

演 者：

1. Visit-to-visit Blood Pressure Variability

星出 聡 (自治医科大学 循環器内科学)

2. Short-term and Long-term Home Blood Pressure Variability to Predict Cardiovascular Risk

浅山 敬 (ルーヴェン大学 高血圧研究センター/東北大学 医薬開発構想講座)

3. Short-term Blood Pressure Variability and Cardiovascular Damages—Clinical Aspects and Molecular Mechanism—

甲斐 久史 (久留米大学 心臓・血管内科)

4. Roles of the Biological Clock in the Generation of Blood-pressure Variability

江本 憲昭 (神戸薬科大学 臨床薬学)

5. Future Perspectives in New Approach Using 'Cuff-less Wearable Blood Pressure Sensor' for Very Short-Term Blood Pressure Variability in the Elderly

飯島 勝矢 (東京大学 高齢社会総合研究機構)

(13) 植込み型デバイスの進歩

〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 16:30~18:00 第5会場 東京国際フォーラム Dブロック 7F ホールD7)

座長: 庄田 守男 (東京女子医科大学 循環器内科学)

中島 博 (板橋中央総合病院 循環器科)

演 者:

1. Progress in Implantable Devices: Key Note Lecture

庄田 守男 (東京女子医科大学 循環器内科学)

2. Shock Reduction Strategies in High Energy Devices

静田 聡 (京都大学 循環器内科学)

3. The Clinical Practice of Remote Patient Monitoring in Cardiac Rhythm Management: Past, Present and Future

小島 敏弥 (東京大学 循環器内科)

4. Non-pharmacological Autonomic Nerve Modulation for Various Cardiovascular Diseases—Present and Future

奥山 裕司 (大阪大学 先進心血管治療学寄附講座)

5. New Era of the Pacemaker—Leadless Pacer

副島 京子 (杏林大学 循環器科 不整脈センター)

13. コントローバーシー

- (1) 大動脈瘤治療: ステントグラフト vs. Open Surgery

〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 11:10~12:40 第3会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホールB7(1))

座長: 大北 裕 (神戸大学 外科学講座心臓血管外科分野)

宮田 哲郎 (東京大学 血管外科)

演 者:

1. Endovascular Treatment for Thoracoabdominal Aneurysm or Dissection

加藤 雅明 (森之宮病院 心臓血管外科)

2. EVAR or Open, a Wise Man Changes His Mind

三井 信介 (製鉄記念八幡病院 血管病センター)

3. Strategy for AAA Repair: Open Surgical Repair or EVAR?

重松 邦広 (東京大学 血管外科)

4. TEVAR vs Open—Appropriate Applications of TEVAR Alone and Open Surgery Alone are the Best Situation under the Present Conditions—

明石 英俊 (久留米大学 外科学)

5. Lessons Learned from Mid-term Result of Hybrid Arch TEVAR and Its Solutions

松田 均 (国立循環器病研究センター 心臓血管外科)

6. Open Versus Endovascular Thoracic Aortic Repair

椎谷 紀彦 (浜松医科大学 第一外科)

(2) 発作性心房細動に対する薬物療法 vs カテーテルアブレーション

〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 13:50~15:20 第21会場 東京商工会議所 4F 東商ホール)

座長: 杉 薫 (東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科)

高橋 淳 (横須賀共済病院 循環器センター)

演 者:

1. The Long-term Efficacy and Cardiovascular Prognosis of Antiarrhythmic Drug Therapy in Patients with Paroxysmal Atrial Fibrillation

小松 隆 (岩手医科大学 心血管・腎・内分泌内科)

2. Catheter Ablation is a First-line Therapy for Paroxysmal Atrial Fibrillation

熊谷浩一郎 (福岡山王病院 ハートリズムセンター)

3. Role of Antiarrhythmic Drugs for Paroxysmal Atrial Fibrillation: Anyone, Anytime, Anywhere

志賀 剛 (東京女子医科大学 循環器内科学)

4. Catheter Ablation for Paroxysmal Atrial Fibrillation Appears to be a Feasible First-line Therapy

松井由美恵 (大阪府済生会泉尾病院 循環器内科)

(3) CABG vs PCI (SYNTAX5年の成績を受けて)

〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 16:30~18:00 第21会場 東京商工会議所 4F 東商ホール)

座長: 吉野 秀朗 (杏林大学 第二内科)

坂田 隆造 (京都大学 心臓血管外科)

演 者:

1. Recent Advance which would Decrease a Gap between PCI and CABG Demonstrated in the Syntax Trial

田邊 健吾 (三井記念病院 循環器内科)

2. PCI for an Unprotected LMT Lesion: The Results is Good if We Select Carefully a Lesion by Heart Team

桃原 哲也 (榊原記念病院 循環器内科)

3. CABG and PCI for Unprotected Left Main Trunk Disease: Influence of New-generation Drug Eluting Stent

小宮 達彦 (倉敷中央病院 心臓血管外科)

4. Impact of Evidence-Based Clinical Practice from "Real World" Myocardial Revascularization in Japan: The CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-2

丸井 晃 (京都大学 心臓血管外科学)

(4) 心房細動: 血栓リスクが相対的に低い集団に抗凝固をすべきか否か

〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 11:10~12:40 第21会場 東京商工会議所 4F 東商ホール)

座長: 是恒 之宏 (国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター)

井上 博 (富山大学 第二内科)

演 者:

1. Oral Anticoagulation Therapy in Atrial Fibrillation Patients at Low Risk for Stroke

草野 研吾 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

2. Antithrombotic Therapy Using Warfarin should not be Applied in Low-Risk Patients with Non-Valvular Atrial Fibrillation

高橋 尚彦 (大分大学 循環器内科・臨床検査診断学)

3. Novel Oral Anticoagulant (NOAC) is Indicated to the Patients with Atrial Fibrillation at Relatively Low Risk of Stroke

奥村 謙 (弘前大学 循環呼吸腎臓内科学)

4. Can you Imagine the World Where All the Low-risk AF Patients Receive Anticoagulation Therapy?

山下 武志 (心臓血管研究所 循環器内科)

(5) 高齢者の弁膜症治療

〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 14:40~16:10 第4会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホールB7(2))

座長: 高梨秀一郎 (榊原記念病院 心臓血管外科)

中谷 敏 (大阪大学 循環器内科学)

演 者:

1. The Future Perspective of Transcatheter Aortic Valve Implantation

倉谷 徹 (大阪大学 低侵襲循環器医療学)

2. Is Surgical AVR Result for Octogenarians Acceptable?

岡林 均 (岩手医科大学 心臓血管外科)

3. Early Surgery for Elderly Patients with Mitral Regurgitation

大倉 宏之 (川崎医科大学 循環器内科学)

4. How to Treat Aged Patients with Severe Isolated Tricuspid Regurgitation Associated with Lone Atrial Fibrillation without Structural Heart Diseases

泉 知里 (天理よろづ相談所病院 循環器内科)

(6) CRT一わが国における植え込みは十分か不十分か?—

〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 17:20~18:50 第21会場 東京商工会議所 4F 東商ホール)

座長: 茅田 浩 (福井大学 病態制御医学講座 循環器内科学)

伊藤 浩 (岡山大学 循環器内科学)

演 者:

1. What should We Do for Increasing Rate of Responders?

坂田 泰史 (大阪大学 循環器内科学)

2. Implantation of CRT is Still not Enough in Japan

安藤 献児 (小倉記念病院 循環器内科)

3. Cardiac Resynchronization Therapy is Sufficiently Performed Even in the Patients Who are Predicted as Non-responders through Echocardiographic Examinations

瀬尾 由広 (筑波大学 循環器内科)

4. Patients with CRT is Allowed to be Followed in Remote Monitoring

西井 伸洋 (岡山大学 循環器内科学)

(7) 超高齢者高血圧に 140/90mmHg 未満の厳格な血圧管理が必要か 〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 16:30~18:00 第4会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホール B7(2))

座長：楽木 宏実 (大阪大学 老年・腎臓内科学)
梅村 敏 (横浜市立大学 病態制御内科学)

演 者：

1. Management of Hypertension in the Fit Very Elderly Patients
楽木 宏実 (大阪大学 老年・腎臓内科学)
2. Blood Pressure Management in Frail Elderly
秋下 雅弘 (東京大学 加齢医学)
3. Antihypertensive Therapy Recommended in Elderly Hypertensive Patients with CKD in the JSN Evidence-Based Clinical Practice Guidelines for CKD 2013
田村 功一 (横浜市立大学 病態制御内科学)
4. Blood Pressure Management in Elderly Hypertensive Patients with Coronary Heart Disease Aged 75 or Over
甲斐 久史 (久留米大学 心臓・血管内科)
5. Management of Blood Pressure in Very Elderly Patients with Stroke
棚橋 紀夫 (埼玉医科大学国際医療センター 神経内科)

14. ミート・ザ・エキスパート

(1) 心臓 MRI/CT の使い方 〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 8:30~10:00 第5会場 東京国際フォーラム Dブロック 7F ホール D7)

座長：栗林 幸夫 (慶應義塾大学 放射線診断科)
佐久間 肇 (三重大学 臨床医学系講座 放射線医学)

演 者：

1. Possibility of MRI for Detecting Vulnerable Coronary Plaques
野口 暉夫 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
2. Comparison of CMR and Histopathology Findings in Cardiomyopathy and Myocarditis
木村 文子 (埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科)
3. Acute Coronary Syndrome and Plaque Assessment by Coronary Computed Tomography Angiography
元山 貞子 (藤田保健衛生大学 循環器内科学)
4. Quantitative Analysis of Myocardial Perfusion Using Dual-source Computed Tomography
北川 覚也 (三重大学 中央放射線部)
5. Radiation-Dose-Lowering Effect of Landiolol Hydrochloride in Coronary Angiography Using Computed Tomography: DELIGHT Study
山田 祥岳 (慶應義塾大学 放射線診断科)

(2)心臓リハビリテーションの実際

〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 11:10~12:40 第20会場 JPタワー 5F カンファレンスルーム B)

座長:後藤 葉一(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

長山 雅俊(榊原記念病院 循環器内科)

演 者:

1. Prehabilitation and Early Phase of Postoperative Rehabilitation after Cardiac Surgery

齊藤 正和(榊原記念病院 理学療法科)

2. The Practice of Cardio-pulmonary Exercise Test (CPX) in Cardiac Rehabilitation

白石 裕一(京都府立医科大学 循環器内科)

3. Cardiac Rehabilitation in Patients with Noncardiac Morbidities

牧田 茂(埼玉医科大学国際医療センター 心臓リハビリテーション科)

4. How to Operate Outpatient Cardiac Rehabilitation as a Disease Management Program

後藤 葉一(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

(3)先天性心疾患の外科治療の進歩

〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 13:50~15:20 第3会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホール B7(1))

座長:佐野 俊二(岡山大学 心臓血管外科)

村上 新(群馬県立小児医療センター)

演 者:

1. Progress in Congenital Heart Surgery

中野 俊秀(福岡市立こども病院 心臓血管外科)

2. Improving Outcomes of the Surgical Management in Patients with Right Atrial Isomerism

太田 教隆(静岡県立こども病院 心臓血管外科)

3. Current Strategy for Right Ventricular Outflow Reconstruction

山岸 正明(京都府立医科大学 小児心臓血管外科)

4. Progress of Cardiac Surgery in Low Birth Weight Infants

金子 幸裕(国立成育医療研究センター 心臓血管外科)

5. Treatment Strategy toward Fontan Completion in Hypoplastic Left Heart Syndrome

笠原 真悟(岡山大学 心臓血管外科)

6. Progress in Valve Repair in Children: Systemic Atrioventricular Valve Repair

安藤 誠(榊原記念病院 外科)

(4)血管内皮機能測定の意義

〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 13:50~15:20 第5会場 東京国際フォーラム Dブロック 7F ホール D7)

座長:東 幸仁(広島大学 原爆放射線医科学研究所)

山科 章(東京医科大学 第二内科)

演 者:

1. Endothelial Function (Overview)

東 幸仁(広島大学 原爆放射線医科学研究所)

2. Recent Progress of Flow-Mediated Vasodilatation (FMD) in Japan

高瀬 凡平 (防衛医科大学校 集中治療部)

3. Current Clinical Application and Future Perspective of Endothelial Function Assessment by Reactive Hyperemia Peripheral Arterial Tonometry (RH-PAT) in Cardiovascular Medicine

杉山 正悟 (陣内病院 循環器内科学)

4. What is the Next Logical Step to Establish the Clinical Applicability of Endothelial Function Tests?

富山 博史 (東京医科大学 第二内科)

(5)心エコーの進歩

〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 16:30~18:00 第5会場 東京国際フォーラム Dブロック 7F ホールD7)

座長: 竹中 克 (日本大学板橋病院 循環器内科)

赤阪 隆史 (和歌山県立医科大学 循環器内科)

演 者:

1. Role of Echocardiographer in Catheter Intervention for Structural Heart Disease

中谷 敏 (大阪大学 保健学科)

2. Echocardiographic Assessment of Cardiac Function: Where is the Ultraman?

上松 正朗 (関西労災病院 循環器内科)

3. Only 3D Echo Knows

竹内 正明 (産業医科大学 第二内科)

4. The Portable Echo—Who and How Uses It?

林田 晃寛 (川崎医科大学 循環器内科学)

5. Standardization, Education and Qualification for Reliable Echocardiography

赤石 誠 (北里研究所病院 循環器内科)

(6)不全心筋:新しい治療法の模索

〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 11:10~12:40 第22会場 東京商工会議所 7F 国際会議場)

座長: 室原 豊明 (名古屋大学 循環器内科学)

竹村 元三 (朝日大学 内科学分野)

演 者:

1. Regulation of Cardiac Aging

塩井 哲雄 (京都大学 循環器内科学)

2. Mitochondrial DNA Functions as an Antioxidant in Mitochondria and Ameliorates Cardiac Remodeling

井手 友美 (九州大学 循環器内科学)

3. Regulation of Immune Responses: Role of Dendritic Cells in Post-Infarction Heart Failure

安齊 俊久 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

4. Controlling Cell Death and Degeneration for Management of Failing Myocardium

竹村 元三 (朝日大学 内科学分野)

5. Regulation of Heart Regeneration

家田 真樹 (慶應義塾大学 臨床分子循環器病学講座・循環器内科)

(7)心臓移植の現場—脳死判定から移植後免疫抑制療法まで— 〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 17:20~18:50 第5会場 東京国際フォーラム Dブロック 7F ホールD7)

座長: 中谷 武嗣 (国立循環器病研究センター 移植部)

坂田 隆造 (京都大学 心臓血管外科)

演 者:

1. Multidisciplinary Approach for Heart Transplantation: Osaka University Experience

戸田 宏一 (大阪大学 心臓血管外科)

2. NCVC Experience of Heart Transplantation

中谷 武嗣 (国立循環器病研究センター 移植部)

3. mTOR Inhibitor can be an Alternative for Standard Immunosuppressive Therapy after Heart Transplantation?

絹川弘一郎 (東京大学 重症心不全治療開発講座)

(8)マルファン症候群に代表される遺伝性大動脈疾患の診断と治療 〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 11:10~12:40 第3会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホールB7(1))

座長: 平田 恭信 (東京通信病院)

森崎 裕子 (国立循環器病研究センター研究所 分子生物学部・臨床遺伝科)

演 者:

1. Comprehensive Evaluation and Multidisciplinary Management of Marfan Syndrome Patients

今井 靖 (自治医科大学 循環器内科学)

2. Genes Causing Hereditary Aortopathy: Genetic Information, Diagnosis, and Disease Management

森崎 隆幸 (国立循環器病研究センター研究所 分子生物学部)

3. Surgery for Aortic Lesions in Patients with Connective Tissue Disorder

大北 裕 (神戸大学 心臓血管外科)

4. Analysis of Microfibril Regeneration Mechanisms in Marfan Syndrome by ADAMTSL6 β

齋藤 正寛 (東北大学 口腔修復学講座・歯科保存学分野)

(9)心疾患患者の妊娠出産の管理はどのようにするか 〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 11:10~12:40 第22会場 東京商工会議所 7F 国際会議場)

座長: 池田 智明 (三重大学 産科婦人科学)

篠原 徳子 (東京女子医科大学 循環器小児科)

演 者:

1. Clinical Management of Peripartum Cardiomyopathy

神谷千津子 (国立循環器病研究センター 周産期・婦人科)

2. Maternal Outcomes of Pregnancies Complicated with Marfan Syndrome and Pulmonary Hypertension

桂木 真司 (榊原記念病院 産婦人科)

3. Management of Arrhythmia in Pregnancy

庄田 守男 (東京女子医科大学 循環器内科学)

4. Labor Analgesia and Anesthetic Management for Pregnant Women with Heart Disease

照井 克生 (埼玉医科大学総合医療センター 産科麻酔科)

(10)心臓デバイス関連感染症の治療

〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 13:50~15:20 第18会場 JPタワー 4F ホール3)

座長: 本村 昇 (東京大学 心臓外科)

合屋 雅彦 (小倉記念病院 循環器内科)

演 者:

1. Comprehensive Treatment of Cardiac Pacing Device Infection

庄田 守男 (東京女子医科大学 循環器内科学)

2. Prosthetic Valve Endocarditis and Its Treatment

中谷 敏 (大阪大学 保健学科)

3. Prosthetic Valve Endocarditis

齋藤 綾 (東京大学 心臓外科)

4. Contemporary Outcome of the Surgical Management of Prosthetic Graft Infection after Thoracic Aortic Replacement

川本 俊輔 (東北大学 心臓血管外科)

5. The Treatment for VAD Related Infection

西村 隆 (東京都健康長寿医療センター 心臓外科)

(11)QOLを考慮した新しい補助人工心臓の適応

〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 16:30~18:00 第22会場 東京商工会議所 7F 国際会議場)

座長: 許 俊鋭 (東京都健康長寿センター)

中谷 武嗣 (国立循環器病研究センター 移植部)

演 者:

1. The Current Status and the Future Perspective of Implantable Left Ventricular Assist Device

吉川 泰司 (大阪大学 心臓血管外科学)

2. Long-term Management of Patients Assisted with Implantable Ventricular Assist Devices

西中 知博 (東京女子医科大学 心臓血管外科)

3. Findings from the Quality of Life Study of Implantable Ventricular Assist Device

加藤 尚子 (東京大学 重症心不全治療開発講座)

4. NCVC Experience of LVAS Application for Profound Heart Failure in the Era of Implantable LVAS

築瀬 正伸 (国立循環器病研究センター 移植部)

15. モーニングレクチャー

(1)冠動脈CTの評価ポイント

〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 7:35~8:15 第3会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホールB7(1))

座長: 船橋 伸禎 (千葉大学 循環器内科)

演 者:

Keys of the Coronary Computed-tomography Angiography Diagnosis

平野 雅春 (東京医科大学 循環器内科)

(2) 新規抗凝固薬の使い方 〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 7:35~8:15 第4会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホール B7 (2))

座長: 松本 万夫 (埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科)

演 者:

How to Use Novel Anticoagulants (NOACs) for Stroke Prevention in Atrial Fibrillation

山下 武志 (心臓血管研究所 循環器内科)

(3) 右心不全をどう診るか? 〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 7:35~8:15 第5会場 東京国際フォーラム Dブロック 7F ホール D7)

座長: 福本 義弘 (久留米大学 心臓・血管内科部門)

演 者:

How to Estimate Right Ventricular Dysfunction in Chronic Left-Sided Heart Failure

猪又 孝元 (北里大学 循環器内科学)

(4) バソプレシンと心不全治療の新展開 〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 7:35~8:15 第6会場 東京国際フォーラム Dブロック 5F ホール D5)

座長: 増山 理 (兵庫医科大学 循環器内科)

演 者:

The role of Vasopressin in Stage D Heart Failure—Its Relevance to Low Cardiac Output

絹川弘一郎 (東京大学 重症心不全治療開発講座)

(5) TAVI の適応は広がるか? 〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 7:35~8:15 第8会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G402)

座長: 桃原 哲也 (榊原記念病院 循環器内科)

演 者:

Transcatheter Aortic Valve Implantation. What should We Know and Where should We Go?

林田健太郎 (慶應義塾大学 循環器内科)

(6) 急性左心不全の治療 〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 7:35~8:15 第9会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G409)

座長: 矢野 雅文 (山口大学 器官病態内科学)

演 者:

Managements of Acute Heart Failure: Present and Future Direction

佐藤 直樹 (日本医科大学武蔵小杉病院 循環器内科)

(7) 運動療法と和温療法の進歩 〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 7:35~8:15 第10会場 東京国際フォーラム ガラス棟 5F G502)

座長: 宮内 克巳 (順天堂大学 循環器内科学)

演 者:

Progress in Exercise Therapy and Waon Therapy

宮田 昌明 (鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科学)

(8) 増え続ける成人先天性心疾患患者にどう対応するか? 〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 7:35~8:15 第11会場 東京国際フォーラム ガラス棟 5F G510)

座長: 山岸 敬幸 (慶應義塾大学 小児科)

演 者:

How should We Take Care of Ever-increasing Adult Patients Surviving from Congenital Heart Diseases?

八尾 厚史 (東京大学 保健・健康推進本部)

(9) 非心臓手術の術前評価と周術期管理 〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 7:35~8:15 第12会場 東京国際フォーラム ガラス棟 6F G602)

座長: 川名 正敏 (東京女子医科大学青山病院 循環器内科)

演 者:

Perioperative Cardiovascular Evaluation and Management of Patients Undergoing Non-cardiac Surgery

原 和弘 (三井記念病院 内科)

(10) 造影剤腎症の予防と対策 〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 7:35~8:15 第13会場 東京国際フォーラム ガラス棟 6F G610)

座長: 長田 太助 (自治医科大学 腎臓内科)

演 者:

Contrast-Induced Nephropathy: Incidence, Risk Factors, Prognostic Implication, and Prevention

阿部 充 (国立病院機構京都医療センター 循環器内科)

(11) 循環器領域における放射線被ばく管理 〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 7:35~8:15 第14会場 東京国際フォーラム ガラス棟 7F G701)

座長: 庄田 守男 (東京女子医科大学 循環器内科学)

演 者:

Radiation Safety in Cardiovascular Medicine

山下 尋史 (東京大学 循環器内科)

(12) 失神の鑑別診断と治療 〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 7:35~8:15 第17会場 JPタワー 4F ホール1-2)

座長: 中井 俊子 (日本大学 循環器内科学分野)

演 者:

Differential Diagnosis and Therapies for Syncope

安部 治彦 (産業医科大学 不整脈先端治療学)

(13) ステージD心不全における包括的治療の未来 〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 7:35~8:15 第18会場 JPタワー 4F ホール3)

座長: 竹石 恭知 (福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座)

演 者:

Important Problems in Stage D Heart Failure

坂田 泰史 (大阪大学 循環器内科学)

(14) 脳卒中・認知症予防のための高血圧治療 〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 7:35~8:15 第19会場 JPタワー 4F カンファレンスルームA)

座長: 大屋 祐輔 (琉球大学 循環器・腎臓・神経内科学)

演 者:

Blood Pressure Lowering Treatment for Preventing Stroke and Dementia

松本 昌泰 (広島大学 脳神経内科学)

(15) 冠動脈内イメージングの進歩 〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 7:35~8:15 第20会場 JPタワー 5F カンファレンスルームB)

座長: 本江 純子 (府中恵仁会病院 心臓血管病センター附属・イメージング研究所)

演 者:

Advancement of Intracoronary Imaging

赤阪 隆史 (和歌山県立医科大学 循環器内科学)

(16)特発性心室細動の病態と治療 〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 7:35~8:15 第3会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホールB7(1))

座長: 茅田 浩 (福井大学 病態制御医学講座 循環器内科学)

演 者:

Pathophysiology and Therapy in Idiopathic Ventricular Fibrillation—Brugada Syndrome and Early Repolarization Syndrome—

清水 渉 (日本医科大学 循環器内科)

(17)心臓再生医療の現状と新展開 〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 7:35~8:15 第4会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホールB7(2))

座長: 長谷部直幸 (旭川医科大学 内科学講座 循環・呼吸・神経病態内科学分野)

演 者:

Regeneration Therapy for Damaged Heart

清水 達也 (東京女子医科大学 先端生命医科学研究所)

(18)ACE 阻害薬の特徴と意義 〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 7:35~8:15 第5会場 東京国際フォーラム Dブロック 7F ホールD7)

座長: 石光 俊彦 (獨協医科大学 循環器・腎臓内科)

演 者:

Many Benefits and Some Caution in Angiotensin-Converting Enzyme Inhibitor Therapy

吉村 道博 (東京慈恵会医科大学 循環器内科)

(19)睡眠呼吸障害の診断と治療 〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 7:35~8:15 第6会場 東京国際フォーラム Dブロック 5F ホールD5)

座長: 萩原 誠久 (東京女子医科大学 循環器内科学)

演 者:

Diagnosis and Treatment of Sleep Disordered Breathing

百村 伸一 (自治医科大学さいたま医療センター 循環器科)

(20)2014年の時点でみる「たこつぼ心筋症」の問題点 〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 7:35~8:15 第8会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G402)

座長: 川嶋成乃亮 (大阪府済生会中津病院 総合診療内科)

演 者:

Takotsubo Cardiomyopathy—New Questions for 2014. Stress-induced? and Inflammation?

河合 祥雄 (順天堂大学 循環器内科学)

(21)心臓 MRI の有用性 〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 7:35~8:15 第9会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G409)

座長: 久保田 功 (山形大学 第一内科)

演 者:

Clinical Utility of Cardiac MRI

寺島 正浩 (心臓画像クリニック飯田橋 循環器内科)

(22)心外膜アブレーション 〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 7:35~8:15 第10会場 東京国際フォーラム ガラス棟 5F G502)

座長: 三田村秀雄 (立川病院)

演 者:

Tips and Tricks of Epicardial Catheter Ablation for the VT ablation

副島 京子 (杏林大学 循環器科)

- (23) DPP-4 阻害薬の心血管保護 〈日本語〉
(学会第3日目 3月23日(日) 7:35~8:15 第11会場 東京国際フォーラム ガラス棟 5F G510)
座長: 久留 一郎 (鳥取大学 再生医療学)
演 者:
Effect of Dipeptidyl Peptidase-4 Inhibitors on Atherosclerosis
綿田 裕孝 (順天堂大学 代謝内分泌内科学)
- (24) 生物統計 〈日本語〉
(学会第3日目 3月23日(日) 7:35~8:15 第12会場 東京国際フォーラム ガラス棟 6F G602)
座長: 三浦 俊郎 (徳山中央病院 総合診療内科)
演 者:
The First Step of Clinical Trial
飯室 聡 (東京大学 臨床研究支援センター 中央管理ユニット)
- (25) 次世代ステント 〈日本語〉
(学会第3日目 3月23日(日) 7:35~8:15 第13会場 東京国際フォーラム ガラス棟 6F G610)
座長: 山岸 正和 (金沢大学 臓器機能制御学・循環器内科)
演 者:
Next Generation Drug-eluting Stent
阿古 潤哉 (北里大学 循環器内科学)
- (26) 頸動脈狭窄の治療の進歩 〈日本語〉
(学会第3日目 3月23日(日) 7:35~8:15 第14会場 東京国際フォーラム ガラス棟 7F G701)
座長: 三浦 哲嗣 (札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座)
演 者:
Treatment for Carotid Artery Stenosis
伊莉 裕二 (東海大学 循環器内科学)
- (27) 我が国の循環器疾患とリスク因子の時代変遷 〈日本語〉
(学会第3日目 3月23日(日) 7:35~8:15 第17会場 JPタワー 4F ホール1-2)
座長: 奥村 謙 (弘前大学 循環呼吸腎臓内科学講座)
演 者:
Secular Trends in Cardiovascular Disease and Its Risk Factors in Japanese
清原 裕 (九州大学 環境医学)
- (28) 心血管病のバイオマーカー 〈日本語〉
(学会第3日目 3月23日(日) 7:35~8:15 第18会場 JPタワー 4F ホール3)
座長: 河野 雅和 (香川大学 循環器腎臓脳卒中内科)
演 者:
Biomarkers of Cardiovascular Diseases
鈴木 亨 (東京大学 循環器内科・ユビキタス予防医学講座)
- (29) HFpEF の診断と治療 〈日本語〉
(学会第3日目 3月23日(日) 7:35~8:15 第19会場 JPタワー 4F カンファレンスルーム A)
座長: 山本 一博 (鳥取大学 病態情報内科学)
演 者:
Heart Failure with Preserved Ejection Fraction: Diagnosis and Treatment
大門 雅夫 (東京大学 検査部)

(30)心臓のアンチエイジング

〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 7:35~8:15 第20会場 JPタワー 5F カンファレンスルームB)

座長: 南野 徹 (新潟大学 循環器内科)

演 者:

Anti-Aging Strategy to Treat Cardiovascular Disease: From Regenerative Medicine to Vaccine

森下 竜一 (大阪大学 臨床遺伝子治療学)

16. Late Breaking Clinical Trials

LBCT(1)

〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 8:30~10:10 第6会場 東京国際フォーラム Dブロック 5F ホールD5)

座長: 島本 和明 (札幌医科大学)

島田 和幸 (新小山市民病院)

演 者:

1. Treatment of Venous Thromboembolism in East-Asian (Including Japanese) Patients—A Hokusai-VTE Subanalysis

Mashio Nakamura (Mie University, Tsu)

2. Edoxaban versus Warfarin in East-Asian (Including Japanese) Patients with Atrial Fibrillation—An ENGAGE AF-TIMI 48 Sub-analysis

Yukihiro Koretsune (Osaka National Hospital, Osaka)

3. Effects of AMG 145 in Hypercholesterolemic, Statin-treated, Japanese Patients at High Cardiovascular Risk: Results from the Phase II YUKAWA Study

平山 篤志 (日本大学 循環器内科)

4. Randomised Double-blind Comparison of Placebo and Active Drugs for Effects on Risks Associated with Blood Pressure Variability in Syst-Eur Trial

Azusa Hara (Studies Coordinating Centre, Research Unit Hypertension and Cardiovascular Epidemiology, KU Leuven Department of Cardiovascular Diseases, University of Leuven, Belgium)

LBCT(2)

〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 14:40~16:20 第5会場 東京国際フォーラム Dブロック 7F ホールD7)

座長: 小川 聡 (国際医療福祉大学三田病院)

北 徹 (神戸市立医療センター中央市民病院)

演 者:

1. Does the Treatment of Impaired Glucose Tolerance Provide Cardiovascular Benefits in Patients with Previous Myocardial Infarction?

北風 政史 (国立循環器病研究センター 臨床研究部)

2. Impact of Platelet Reactivity on Ischemic Events in Perioperative Period of PCI: Post-Hoc Analysis from PRASFIT-ACS Study

中村 正人 (東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科)

3. Intracoronary Cardiac Progenitor Cell Transfer to Treat Univentricular Heart Disease: A Phase 2 Randomized Controlled Clinical Trial (PERSEUS)

樽井 俊 (岡山大学 心臓血管外科)

4. The First Clinical Trial of the Self-Expandable Transcatheter Heart Valve (MDT-2111) in Patients with Symptomatic Severe Aortic Stenosis

澤 芳樹 (大阪大学 心臓血管外科)

17. Late Breaking Cohort Studies

LBCS(1)

〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 13:50~15:30 第6会場 東京国際フォーラム Dブロック 5F ホール D5)

座長: 山口 徹 (虎の門病院)

大内 尉義 (虎の門病院)

演 者:

1. Late Adverse Events after Implantation of Sirolimus-eluting Stent and Bare-metal Stent: Long-term follow-up of the CREDO-Kyoto Registry Cohort-2
夏秋 政浩 (済生会福岡総合病院 循環器内科)

2. Early Prognostication with rSO₂ for PCI and Therapeutic Hypothermia Treatment after Out-of-Hospital Cardiac Arrest: Subgroup Analyses from J-POP Registry
西山 慶 (京都大学 初期診療・救急医学講座)

3. Prognostic Value of Biomarkers on the In-hospital Mortality of Patients with Acute Pulmonary Embolism (APE); Database from Tokyo CCU Network
田辺 康宏 (東京都 CCU ネットワーク学術委員会/東京都立広尾病院)

4. Efficacy and Safety of Percutaneous Coronary Intervention for Elderly Patients Over 80 Years in Nagano, Top Prefecture for Life Expectancy
三浦 崇 (信州大学 循環器内科学)

LBCS(2)

〈日本語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 8:30~10:10 第6会場 東京国際フォーラム Dブロック 5F ホール D5)

座長: 堀 正二 (大阪府立成人病センター)

藤田 敏郎 (東京大学 先端科学技術研究センター)

演 者:

1. Six Months Follow-up of Cardiovascular Events in Patients with ASO Treated with Antiplatelet Agents: Interim Report from SEASON
東 幸仁 (広島大学 原爆放射線医科学研究所)

2. Registry of AAA Repair: National Hospital Organization Network Study Group in Japan
半田 宣弘 (国立病院機構ネットワーク研究グループ 心臓血管外科)

3. Safety and Efficacy of Tolvaptan in Heart Failure Patients with Volume Overload—An Interim Result of Post Marketing Surveillance
絹川弘一郎 (東京大学 重症心不全治療開発講座)

4. One-year Follow-up of Patients Treated by Catheter Ablation of Atrial Fibrillation: The Japanese Catheter Ablation Registry of Atrial Fibrillation Ablation
村川 裕二 (帝京大学溝口病院 第四内科)

LBCS(3)

〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 8:30~10:10 第6会場 東京国際フォーラム Dブロック 5F ホールD5)

座長: 笠貫 宏 (東京女子医科大学/早稲田大学理工学術院)

鄭 忠和 (和温療法研究所)

演 者:

1. Prognostic Impact of Left Ventricular Noncompaction in Patients with Dystrophinopathy: A Multicenter Prospective Cohort Study

木村 公一 (東京大学 循環器内科)

2. Anti-thrombotic Therapy and Systolic Blood Pressure Levels as Risk Factors of Strokes in Patients with Coronary Artery Disease

甲斐 久史 (久留米大学 心臓・血管内科)

3. Dental Caries is Associated with Out-of-hospital Cardiac Arrests of Cardiac Origin between 2005 and 2011: From the All-Japan Utstein Registry

末松 保憲 (福岡大学 心臓血管内科学)

4. Increased Risk of Acute Myocardial Infarction and Mortality in Patients with Systemic Lupus Erythematosus: Two Nationwide Cohort Studies

Yi-Chun Chou (Department of Physical Medicine and Rehabilitation, China Medical University Hospital, Taiwan)

18. Featured Research Session

- (1) Topics of Stem Cells and Atherosclerosis

〈英語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 8:30~10:10 第9会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G409)

座長: Elena Aikawa (Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School, USA)

加藤 洋一 (順天堂大学 循環器内科学 浦安病院ハートセンター)

Keynote Lecture: Novel Mechanisms of Vascular Calcification

Elena Aikawa (Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School, USA)

- (2) Coronary Imaging

〈英語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 8:30~10:10 第18会場 JPタワー 4F ホール3)

座長: Jagat Narula (Mount Sinai Hospital, USA)

赤阪 隆史 (和歌山県立医科大学 循環器内科)

Keynote Lecture: TBA

Jagat Narula (Mount Sinai Hospital, USA)

- (3) Sudden Cardiac Death/Ventricular Fibrillation

〈英語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 11:00~12:40 第6会場 東京国際フォーラム Dブロック 5F ホールD5)

座長: 杉 薫 (東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科)

池主 雅臣 (新潟大学 保健学科)

Keynote Lecture: Sudden Cardiac Death in Japanese People

杉 薫 (東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科)

- (4) ACS/AMI (Clinical/Diagnosis/Pathophysiology/Treatment) 〈英語〉
(学会第1日目 3月21日(金) 11:00~12:40 第9会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G409)
座長: 三浦 哲嗣 (札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科)
井上 晃男 (獨協医科大学 心臓・血管内科)
Keynote Lecture: Plaque Quality Evaluation after Statin Treatment in Acute Coronary Syndrome
井上 晃男 (獨協医科大学 心臓・血管内科)
- (5) Cardiac Function (Clinical), Cardiomyopathy/Hypertrophy (Clinical) 〈英語〉
(学会第1日目 3月21日(金) 13:50~15:30 第14会場 東京国際フォーラム ガラス棟 7F G701)
座長: 森本紳一郎 (総合青山病院 循環器内科)
山本 一博 (鳥取大学 病態情報内科)
Keynote Lecture: Is Anything Left to Improve Prognosis of Patients with Heart Failure?
山本 一博 (鳥取大学 病態情報内科)
- (6) Myocardial Imaging 〈英語〉
(学会第1日目 3月21日(金) 13:50~15:30 第18会場 JPタワー 4F ホール3)
座長: 西村 重敬 (埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科)
寺岡 邦彦 (東京医科大学八王子医療センター 循環器内科)
Keynote Lecture: Recent Amazing Advances of Myocardial Imaging
寺岡 邦彦 (東京医科大学八王子医療センター 循環器内科)
- (7) Atrial Fibrillation 〈英語〉
(学会第1日目 3月21日(金) 16:20~18:00 第6会場 東京国際フォーラム Dブロック 5F ホールD5)
座長: 鶴野起久也 (札幌ハートセンター ハートリズムセンター)
山下 武志 (心臓血管研究所)
Keynote Lecture: Issues Relating to Atrial Fibrillation that We Face Now and Have to Solve in the Near Future
山下 武志 (心臓血管研究所)
- (8) Coronary Revascularization/PCI (Complex Lesions/DES/New Devices/New Technology) 〈英語〉
(学会第1日目 3月21日(金) 16:20~18:00 第9会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G409)
座長: 齋藤 滋 (湘南鎌倉総合病院 心臓センター循環器科)
中村 正人 (東邦大学医療センター大橋病院)
Keynote Lecture: Current Status and Future Direction of Percutaneous Coronary Intervention
中村 正人 (東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科 心臓血管カテーテル治療センター)
- (9) Hypertension (Basic/Clinical) 〈英語〉
(学会第1日目 3月21日(金) 16:20~18:00 第13会場 東京国際フォーラム ガラス棟 6F G610)
座長: 廣岡 良隆 (九州大学 先端循環制御学)
市原 淳弘 (東京女子医科大学 高血圧・内分泌内科)
Keynote Lecture: Safety and Efficacy of Catheter-based Renal Denervation
市原 淳弘 (東京女子医科大学 高血圧・内分泌内科)

- (10) Heart Failure (Laboratory/Biomarkers) 〈英語〉
(学会第2日目 3月22日(土) 8:30~10:10 第14会場 東京国際フォーラム ガラス棟 7F G701)
座長: 百村 伸一 (自治医科大学さいたま医療センター)
斎藤 能彦 (奈良県立医科大学 第一内科)
Keynote Lecture: History and Development of Biomarkers in Heart Failure
斎藤 能彦 (奈良県立医科大学 第一内科)
- (11) Metabolic Disease/Preventive Medicine/Epidemiology 〈英語〉
(学会第2日目 3月22日(土) 8:30~10:10 第18会場 JPタワー 4F ホール3)
座長: 吉田 雅幸 (東京医科歯科大学 先進倫理医科学分野)
矢作 直也 (筑波大学 内分泌代謝・糖尿病内科)
Keynote Lecture: The Future Management of Atherogenic Dyslipidemia: Novel Weapons to Reduce Residual Cardiovascular Risk
吉田 雅幸 (東京医科歯科大学 先進倫理医科学分野)
- (12) Ventricular Tachycardia 〈英語〉
(学会第2日目 3月22日(土) 11:00~12:40 第6会場 東京国際フォーラム Dブロック 5F ホールD5)
座長: 新田 隆 (日本医科大学 心臓血管外科)
副島 京子 (杏林大学 循環器科)
Keynote Lecture: Recent Advance in Catheter Ablation of Ventricular Tachycardia
副島 京子 (杏林大学 循環器科)
- (13) Angina Pectoris (Clinical), Coronary Revascularization/PCI (Complex Lesions/DES/Restenosis/Others) 〈英語〉
(学会第2日目 3月22日(土) 11:00~12:40 第9会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G409)
座長: 宮崎 俊一 (近畿大学 循環器内科)
小林 欣夫 (千葉大学 循環器内科学)
Keynote Lecture: Diabetes Mellitus and Coronary Revascularization
宮崎 俊一 (近畿大学 循環器内科)
- (14) Atherosclerosis (Clinical/Pathophysiology/Diagnosis) 〈英語〉
(学会第2日目 3月22日(土) 14:40~16:20 第9会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G409)
座長: 吉村 道博 (東京慈恵会医科大学 循環器内科)
相川 眞範 (Cardiovascular Division, Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School, USA)
Keynote Lecture: Macrophages in Atherosclerosis: From Biology to Therapy
相川 眞範 (Cardiovascular Division, Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School, USA)
- (15) Cardiovascular Pharmacology (Clinical), Heart Failure (Pharmacology) 〈英語〉
(学会第2日目 3月22日(土) 14:40~16:20 第13会場 東京国際フォーラム ガラス棟 6F G610)
座長: Stefan D. Anker (Applied Cachexia Research, Department of Cardiology, Charité, Campus Virchow-Klinikum, Germany)
矢野 雅文 (山口大学 器官病態内科学)
Keynote Lecture: Evidence-based Pharmacological Therapy for Chronic Heart Failure: The Importance of Treating Iron Deficiency
Stefan D. Anker (Applied Cachexia Research, Department of Cardiology, Charité, Campus Virchow-Klinikum, Germany)

(16) Genetics and iPS Innovation in Arrhythmia 〈英語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 17:10~18:50 第6会場 東京国際フォーラム Dブロック 5F ホール D5)

座長: 古川 哲史 (東京医科歯科大学 難治疾患研究所 生体情報薬理学)

清水 渉 (日本医科大学 循環器内科学)

Keynote Lecture: Current Status of Genetic Testing and iPS Innovation in Inherited Arrhythmias

清水 渉 (日本医科大学 循環器内科学)

(17) Kidney/Renal Circulation/CKD 〈英語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 17:10~18:50 第12会場 東京国際フォーラム ガラス棟 6F G602)

座長: Claudio Ronco (Department of Nephrology, San Bortolo Hospital, Italy)

伊藤 貞嘉 (東北大学 腎・高血圧・内分泌学分野)

Keynote Lecture: Pathophysiology of Heart – Kidney Interaction

Claudio Ronco (Department of Nephrology, San Bortolo Hospital, Italy)

(18) Heart Failure (Pathophysiology/Basic), Molecular Biology/Genetics/Myocardium/Vascular 〈英語〉

(学会第2日目 3月22日(土) 17:10~18:50 第13会場 東京国際フォーラム ガラス棟 6F G610)

座長: Muthu Periasamy (The Ohio State University, USA)

筒井 裕之 (北海道大学 循環病態内科学)

Keynote Lecture: Cardiac Sarcoplasmic Reticulum Ca^{2+} Leak: Myth or Reality in Heart Failure?

Muthu Periasamy (The Ohio State University, USA)

(19) Metabolic Disease/Molecular Mechanism 〈英語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 8:30~10:10 第16会場 東京国際フォーラム B2F セミナー室2)

座長: E. Dale Abel (University of Iowa, Carver College of Medicine and Fraternal
Order of Eagles Diabetes Research Center, USA)

尾池 雄一 (熊本大学 分子遺伝学)

Keynote Lecture: Angiopoietin-like Protein 2 is a Critical Inflammatory Mediator that Links Metabolic
Disturbance in Obesity to Cardiovascular Disease

尾池 雄一 (熊本大学 分子遺伝学)

(20) Echocardiography 〈英語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 8:30~10:10 第19会場 JPタワー 4F カンファレンスルーム A)

座長: 尾辻 豊 (産業医科大学 第2内科学)

石津 智子 (筑波大学 臨床検査医学)

Keynote Lecture: Searching for the New Imaging Biomarker Using Strain and Stress

石津 智子 (筑波大学 臨床検査医学)

(21) Atrial Fibrillation/Ablation 〈英語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 11:00~12:40 第6会場 東京国際フォーラム Dブロック 5F ホール D5)

座長: 高橋 淳 (横須賀共済病院 循環器センター)

山根 禎一 (東京慈恵会医科大学 循環器内科)

Keynote Lecture: Complications in the Catheter Ablation of Atrial Fibrillation

高橋 淳 (横須賀共済病院 循環器センター)

(22) Vascular Disease (Therapy) 〈英語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 11:00~12:40 第9会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G409)

座長: 宮田 哲郎 (山王メディカルセンター 血管病センター)

伊莉 裕二 (東海大学 循環器内科)

Keynote Lecture: Importance of Vascular Disease in Patients with Atherosclerosis

伊莉 裕二 (東海大学 循環器内科)

(23) Valvular Heart Disease/Pericarditis/Cardiac Tumor 〈英語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 11:00~12:40 第13会場 東京国際フォーラム ガラス棟 6F G610)

座長: 高山 守正 (榊原記念病院 循環器内科)

坂田 泰史 (大阪大学 循環器内科学)

Keynote Lecture: TAVI and Complications in Small Body Size

坂田 泰史 (大阪大学 循環器内科学)

(24) Thromboembolism/Antithrombotic Therapy/Thrombolysis 〈英語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 13:50~15:30 第9会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G409)

座長: 東丸 貴信 (東邦大学医療センター佐倉病院 臨床生理機能学)

坂本 知浩 (済生会熊本病院心臓血管センター 循環器内科)

Keynote Lecture: Thrombosis in Cardiovascular Disorders and New Insights into Therapeutic Strategies

坂本 知浩 (済生会熊本病院心臓血管センター 循環器内科)

(25) Pulmonary Circulation 〈英語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 13:50~15:30 第13会場 東京国際フォーラム ガラス棟 6F G610)

座長: 松原 広己 (国立病院機構岡山医療センター 循環器科)

福本 義弘 (久留米大学 心臓・血管内科部門)

Keynote Lecture: Optical Coherence Tomography Imaging in Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension

福本 義弘 (久留米大学 心臓・血管内科部門)

19. 第42回循環器教育セッション

教育セッションI (ビデオセッション) 〈日本語〉

(1) 心房細動アブレーションの進歩

(学会第1日目 3月21日(金) 8:30~9:30 第1会場 東京国際フォーラム Aブロック 4F ホールA)

座長: 沖重 薫 (横浜市立みなと赤十字病院 心臓病センター)

奥村 謙 (弘前大学 循環呼吸腎臓内科学講座)

演 者:

1. Cryoballoon Ablation for Atrial Fibrillation

Marc Dubuc (Montreal Heart Institute, Canada)

2. 3D イメージング・コンタクトフォースガイド 心房細動アブレーション

木村 正臣 (弘前大学 循環呼吸腎臓内科学)

(2)大動脈ステントグラフト

〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 9:30~10:30 第1会場 東京国際フォーラム Aブロック 4F ホールA)

座長: 吉川 公彦(奈良県立医科大学 放射線科)

萩野 均(東京医科大学 心臓血管外科)

演 者:

1. Hybrid Arch TEVAR における脳梗塞予防

松田 均(国立循環器病研究センター 心臓血管外科)

2. 大動脈分枝部に対する分枝付きステントグラフトを用いた TEVAR

加藤 雅明(森之宮病院 心臓血管外科)

3. 腹部大動脈破裂症例に対する緊急ステントグラフト内挿術

阪口 昇二(松原徳洲会病院 大動脈ステントグラフト・血管内治療科)

(3)ASD

〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 11:40~12:40 第1会場 東京国際フォーラム Aブロック 4F ホールA)

座長: 赤木 禎治(岡山大学病院 循環器疾患集中治療部)

河村 朗夫(慶應義塾大学 循環器内科)

演 者:

1. ASD カテーテル閉鎖術の基本手技

矢崎 諭(国立循環器病研究センター 小児循環器科)

2. 心腔内エコーガイドによる心房中隔欠損のカテーテル閉鎖術

河村 朗夫(慶應義塾大学 循環器内科)

3. 高齢者の心房中隔欠損症に対するカテーテル閉鎖術

中川 晃志(岡山大学 循環器内科)

教育セッションⅡ

〈日本語〉

Structural Heart Disease に対するカテーテル治療の進歩

(学会第2日目 3月22日(土) 8:30~10:30 第1会場 東京国際フォーラム Aブロック 4F ホールA)

座長: 高山 守正(榊原記念病院 循環器内科)

新浪 博(埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科)

演 者:

1. 心房中隔欠損症・卵円孔開存症に対するカテーテル閉鎖術

赤木 禎治(岡山大学 循環器疾患集中治療部)

2. 安全な TAVI 普及をめざして: 術中合併症から見た本邦における TAVI の問題点

鳥飼 慶(大阪大学 心臓血管外科)

3. 一般臨床における SAPIEN 弁の使用経験と TAVI 普及への課題

小宮山伸之(埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科)

4. 経皮的左心耳閉鎖術の欧米での現状と本邦における展開の可能性

原 英彦(東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科)

5. MitraClip の米国での現状: 治験へと進む本邦で活かすには

松本 崇(Heart Institute, Ceders-Sinai Medical Center, USA)

6. 内科外科共同で行なう肥大中隔心筋への取組み：肥大型心筋症センター設立を目指して
高見澤 格（榊原記念病院 循環器内科）

教育セッションⅢ

〈日本語〉

日常診療における他科との連携

円滑な循環器内科コンサルテーションを考える

（学会第3日目 3月23日（日） 14：00～16：00 第1会場 東京国際フォーラム Aブロック 4F ホールA）

座長：山科 章（東京医科大学 第二内科）

前村 浩二（長崎大学 循環病態制御内科学）

演 者：

1. 非心臓手術の術前管理

吉野 秀朗（杏林大学 循環器内科）

2. 心停止蘇生後の循環・体温管理

長尾 建（駿河台日本大学病院 循環器科）

3. 妊娠中の心機能モニタリング

神谷千津子（国立循環器病研究センター 周産期・婦人科）

4. 抗血栓療法患者の侵襲的検査・手術時の管理

是恒 之宏（国立病院機構大阪医療センター 臨床研究推進室）

5. 慢性閉塞性肺疾患における心疾患管理

安齊 俊久（国立循環器病研究センター 心臓血管内科）

6. 透析患者における心疾患管理

西村 真人（桃仁会病院 循環器科）

20. 日本心臓財団佐藤賞記念講演

Cell Sheet-Based Tissue Engineering for Heart Regeneration

〈英語〉

（学会第2日目 3月22日（土） 11：00～11：50 第4会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホールB7(2)）

清水 達也（東京女子医科大学 先端生命医科学研究所）

座長：永井 良三（自治医科大学/東京大学）

21. 審査講演会

(1) Young Investigator's Award Clinical Research 部門審査講演

〈英語〉

（学会第1日目 3月21日（金） 8：30～10：30 第10会場 東京国際フォーラム ガラス棟 5F G502）

座長：小川 久雄（熊本大学循環器内科学/国立循環器病研究センター）

演 者：

1. Morphometric and Quantitative Analysis in Cardiomyocyte's Nucleus were Associated with Poor Outcome in Patients with Idiopathic Dilated Cardiomyopathy

神崎万智子（大阪大学 循環器内科学）

2. Impact of Interventional Therapies for Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension: Comparison of Clinical Outcomes of Pulmonary Endarterectomy vs. Percutaneous Transluminal Pulmonary Angioplasty

片岡 雅晴（杏林大学 内科学（II））

3. Association Between Non-High-Density Lipoprotein Cholesterol and Pathological Changes in Coronary Arteries Among Population-Based Autopsy Samples in Japan: The Hisayama Study

伊豆丸堅祐 (九州大学 病態機能内科学)

4. Utility of Non-Invasive Endothelial Function Test for Prediction of Deep Vein Thrombosis After Total Hip or Knee Arthroplasty

鈴木 弘之 (横浜市立大学市民総合医療センター 心臓血管センター)

(2) Young Investigator's Award Basic Research 部門審査講演

〈英語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 13:50~15:50 第10会場 東京国際フォーラム ガラス棟 5F G502)

座長: 小川 久雄 (熊本大学循環器内科学/国立循環器病研究センター)

演 者:

1. Endothelin-1 Induces Contraction Variability in Hypertrophic Cardiomyopathy-iPS Cell-derived Cardiomyocytes

田中 敦史 (慶應義塾大学 循環器内科/佐賀大学 循環器内科)

2. Identification of Chemicals Inducing Cardiomyocyte Proliferation in Developmental Stage-Specific Manner with Pluripotent Stem Cells

魚崎 英毅 (Division of Cardiology, The Johns Hopkins University School of Medicine, USA)

3. NLRP3 Inflammasome Activation Through the Heart-Brain Interaction Contributes to Adaptive Cardiac Hypertrophy in Response to Pressure Overload

東邦 康智 (東京大学 循環器内科)

4. The E3 Ligase Asb2 Regulates Cardiac Development Through Targeting Smad9 for Proteasomal Degradation

関 庚徳 (国立循環器病研究センター 臨床研究部・心臓血管内科)

(3) 国際留学生 YIA 審査講演

〈英語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 10:40~12:40 第10会場 東京国際フォーラム ガラス棟 5F G502)

座長: 室原 豊明 (名古屋大学 循環器内科学)

演 者:

1. Therapeutic Vaccine Against DPP4 Improves Glucose Metabolism in Mice

Zhengda Pang (大阪大学 老年・腎臓内科学)

2. Renin Inhibition Reduces Atherosclerotic Plaque Neovascularization and Stabilizes Established Atherosclerotic Plaques

呉 宏憲 (名古屋大学 循環器内科学)

3. Uric Acid Enhanced Kv1.5 Channel Expression in Atrial Myocytes via Activation of Uric Acid Transporters, Xanthine Oxidase-Dependent Oxidative Stress, ERK Pathway

Nani Maharani (鳥取大学 再生医療)

4. Depletion of Cardiac 14-3-3eta Protein Adversely Influences Pathologic Cardiac Remodeling via Exacerbation of Inflammation, Endoplasmic Reticulum Stress, and Suppression of Regeneration After Coronary Artery Ligation in Mice

Somasundaram Arumugam (新潟薬科大学 臨床薬理学)

5. Molecular and Cellular Mechanisms of Right Ventricular Remodeling in Pulmonary Hypertension
Suvd Nergui (東北大学 循環器内科)

(4) 第4回コメディカル賞審査講演会1 〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 13:50~15:20 第17会場 JPタワー 4F ホール1-2)

座長: 荒井 秀典 (京都大学 人間健康科学科)

三浦稚郁子 (榊原記念病院 看護部)

演 者:

1. 超高齢社会を背景とした心臓血管外科術後の誤嚥性肺炎に対する危険因子解析: ICUにおける摂食・嚥下介入アルゴリズム構築の試み
宮田栄里子 (紀南病院 ICU)
2. 肺高血圧症患者において女性の重症患者は皮膚症状の存在がQOL低下をもたらす
高田 裕美 (慶應義塾大学 循環器内科)
3. レジスタンストレーニングが肺高血圧症患者の肺循環動態に及ぼす影響
安藤 可織 (国立病院機構岡山医療センター リハビリテーション科)
4. TypeD傾向が心臓血管疾患患者の抑うつ状態に与える影響
長谷川恵美子 (聖学院大学 人間福祉学部)
5. 多職種全員が利用できる教育ツール「書き込み式心血管リハビリオリジナルガイドブック」の作成とその利用効果についての検討
藤原智亜紀 (獨協医科大学日光医療センター 看護部)
6. 当院におけるDoor-to-balloon-timeの考察~問題点の検索と対策の検討~
水野奈津己 (新東京病院)

(5) 第4回コメディカル賞審査講演会2 〈日本語〉

(学会第1日目 3月21日(金) 16:30~18:00 第17会場 JPタワー 4F ホール1-2)

座長: 伊藤 浩 (岡山大学 循環器内科学)

田嶋 明彦 (埼玉県立大学 保健医療福祉学部)

演 者:

7. 5フレンチガイディングカテーテルによる光干渉断層映像法施行の可能性
白樫 貴宏 (大阪府済生会中津病院 臨床工学技術科)
8. 一回心拍出量の持続モニタリングは心タンポナーデを早期に発見する
村澤 孝秀 (東京大学 医療機器管理部)
9. 心筋内脂肪沈着の性差による特徴
木村 紀子 (みなみ野ハートクリニック)
10. 肥満とメタボリック症候群で脂肪の質は違うのか? ~CTでの比較検討~
望月 純二 (みなみ野ハートクリニック 放射線科)
11. Heart Failure with Preserved Left Ventricular Ejection Fraction (HFPEF) 患者における遅延造影MRIの予後予測に関する有用性の検討
齋藤 央 (神奈川県立循環器呼吸器病センター 検査科)

12. 放射線被ばくに関するガイドラインを導入したチーム医療における診療放射線技師の新たな取り組みとその成果

加藤 京一 (昭和大学 保健医療学研究科)

22. 委員会セッション

(1) 国際交流委員会

〈日本語〉

海外留学生セミナー

(学会第2日目 3月22日(土) 8:30~10:00 第7会場 東京国際フォーラム Dブロック 1F ホールD1)

座長: 室原 豊明 (名古屋大学 循環器内科学)

演 者:

1. アメリカ留学便り: 冠動脈病理が循環器内科医に教えてくれるもの

大塚 文之 (CVPPath Institute, Inc., USA)

2. 家族5人のドイツ留学~海外生活の Tips~

品川 弥人 (Zentrum für Experimentelle Molekulare Medizin (ZEMM),
Universitätsklinikum Würzburg, Germany)

3. オーストラリア臨床留学—英語試験突破の秘訣と医師登録の現状—

小川 貢 (Cardiothoracic Surgery, John Hunter Hospital, Australia)

(2) 学術委員会

〈日本語〉

ガイドラインに学ぶ1

2012 (2011)–2013 年度活動新規ガイドライン作成班報告

(学会第1日目 3月21日(金) 11:10~12:40 第4会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホールB7(2))

座長: 筒井 裕之 (北海道大学 循環病態内科学)

演 者:

1. 先天性心疾患、心臓大血管の構造的疾患 (Structural heart disease) に対するカテーテル治療のガイドライン

中西 敏雄 (東京女子医科大学 循環器小児科)

2. 災害時循環器疾患の予防・管理に関するガイドライン

下川 宏明 (東北大学 循環器内科学)

3. 慢性肺動脈血拴塞栓症に対する balloon pulmonary angioplasty の適応と実施法に関するワーキンググループ

伊藤 浩 (岡山大学 機能制御学 (循環器内科))

ガイドラインに学ぶ2

〈日本語〉

2012 年度活動ガイドライン改訂版作成班報告

(学会第1日目 3月21日(金) 13:50~14:50 第4会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホールB7(2))

座長: 平山 篤志 (日本大学 循環器内科)

演 者:

1. ST 上昇型急性心筋梗塞の診療に関するガイドライン (2013 年改訂版)

木村 一雄 (横浜市立大学市民総合医療センター 心臓血管センター)

2. ペースメーカ、ICD、CRT を受けた患者の社会復帰・就学・就労に関するガイドライン (2013 年改訂版)

奥村 謙 (弘前大学 循環呼吸腎臓内科学)

ガイドラインに学ぶ3

〈日本語〉

2012年度活動ガイドライン改訂版作成班報告

(学会第2日目 3月22日(土) 8:30~10:00 第4会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホールB7(2))

座長: 青沼 和隆 (筑波大学 循環器内科)

演 者:

1. 心房細動治療(薬物)ガイドライン(2013年改訂版)
井上 博 (富山大学 第二内科)
2. 川崎病心臓血管後遺症の診断と治療に関するガイドライン(2013年改訂版)
小川 俊一 (日本医科大学 小児科)
3. 冠攣縮性狭心症の診断と治療に関するガイドライン(2013年改訂版)
小川 久雄 (熊本大学 循環器内科学/国立循環器病研究センター)

ガイドライン解説1

〈日本語〉

2011-2012年度活動新規ガイドライン作成班解説講演

(学会第3日目 3月23日(日) 8:30~10:00 第4会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホールB7(2))

座長: 山科 章 (東京医科大学 第二内科(循環器内科))

演 者:

1. 序論
山科 章 (東京医科大学 第二内科(循環器内科))
2. 内皮機能検査
野出 孝一 (佐賀大学 循環器内科)
3. 脈波速度
宗像 正徳 (東北労災病院 循環器科)
4. AI/中心血圧
菊尾 七臣 (自治医科大学 循環器内科学)
5. 足関節上腕血圧比
宮田 哲郎 (東京大学 外科・血管外科)
6. 血管機能検査の今後の課題
富山 博史 (東京医科大学 第二内科)

ガイドライン解説2

〈日本語〉

2011-2012年度活動新規ガイドライン作成班解説講演

(学会第3日目 3月23日(日) 11:10~12:40 第4会場 東京国際フォーラム Bブロック 7F ホールB7(2))

座長: 許 俊鋭 (東京都健康長寿医療センター 心臓外科)

演 者:

1. 植込型LVADの適応・適応除外基準
絹川弘一郎 (東京大学 重症心不全治療開発講座)
2. 植込型LVAD手術: デバイス選択と植込み手術
小野 稔 (東京大学 心臓外科)

3. 周術期管理

西村 隆 (東京都健康長寿医療センター 心臓外科)

4. 在宅安全管理

西中 知博 (東京女子医科大学 心臓外科)

5. リハビリ・在宅治療・QOL

久保田 香 (大阪大学 移植医療部)

6. 認定制度・レジストリー・終末期医療

中谷 武嗣 (国立循環器病研究センター 移植部)

Translational Research 振興事業最終報告会

〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 13:50~14:35 第5会場 東京国際フォーラム Dブロック 7F ホール D7)

座長: 小室 一成 (東京大学 循環器内科)

演 者:

ES/iPS 細胞心筋分化システムを用いた新しい心筋分化再生治療薬の開発

山下 潤 (京都大学 再生医科学研究所/iPS 研究所附属幹細胞医学研究センター 幹細胞分化制御研究領域)

(3) 健保対策委員会

〈日本語〉

保険医療セミナー

平成 26 年度診療報酬改定を巡って

(学会第3日目 3月23日(日) 13:50~15:20 第6会場 東京国際フォーラム Dブロック 5F ホール D5)

座長: 伊東 春樹 (内科系学会社会保険連合副代表 (榊原記念病院))

川名 正敏 (東京女子医科大学附属青山病院 循環器内科)

演 者:

1. 診療報酬の要望の仕組み

伊東 春樹 (内科系学会社会保険連合副代表 (榊原記念病院))

2. 循環器領域の DPC 検討作業の現況

橋本 英樹 (東京大学大学院医学系研究科)

3. 平成 26 年度診療報酬改定の動向

森田 朗 (学習院大学法学部・中央社会保険医療協議会)

(4) 心臓移植委員会

〈日本語〉

第 10 回心臓移植セミナー

心臓移植ネットワーク登録と補助人工心臓使用の現状と問題点

(学会第1日目 3月21日(金) 13:50~15:20 第9会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G409)

座長: 四津 良平 (慶應義塾大学 外科・心臓血管)

澤 芳樹 (大阪大学 外科学講座心臓血管外科学)

演 者:

1. 心臓移植レシピエント登録希望者における補助人工心臓使用の現状と問題点~日本循環器学会心臓移植委員会報告~

西垣 和彦 (岐阜大学 循環病態学・呼吸病態学・第二内科)

2. 日本における小児心臓移植の現状と課題

福嶋 教偉 (大阪大学 重症臓器不全治療学寄付講座)

3. 補助人工心臓治療の現状と問題点

小野 稔 (東京大学 心臓外科)

4. 植込型と体外式補助人工心臓の使用状況と戦略

藤田 知之 (国立循環器病研究センター 心臓血管外科)

5. 心臓移植へのブリッジとしての植込み型補助人工心臓の現状と問題点

戸田 宏一 (大阪大学 心臓血管外科)

6. 当院における植込み型補助人工心臓治療の現状・実績からみた適応拡大への考察

山崎 健二 (東京女子医科大学 心臓血管外科)

特別発言

磯部 光章 (東京医科歯科大学 循環制御内科学)

(5)医療倫理委員会

〈日本語〉

第13回医療安全・医療倫理に関する講演会

医療過誤から新たな医療安全を目指して

(学会第3日目 3月23日(日) 10:50~12:20 第1会場 東京国際フォーラム Aブロック 4F ホールA)

座長: 奥村 謙 (弘前大学 循環呼吸腎臓内科学)

近森大志郎 (東京医科大学 第二内科)

演 者:

1. 医療過誤訴訟の動向と今後のあり方について—法律家の視点から—

飯田 英男 (奥野総合法律事務所・外国法共同事業)

2. 医療事故後の再教育と行政指導について

高本 真一 (三井記念病院)

COIをマネジメントする

〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 12:20~13:05 第1会場 東京国際フォーラム Aブロック 4F ホールA)

座長: 代田 浩之 (順天堂大学 循環器内科学)

演 者:

山崎 力 (東京大学 臨床研究支援センター)

(6)禁煙推進委員会

〈日本語〉

第13回禁煙推進セミナー

(学会第2日目 3月22日(土) 19:00~20:30 第7会場 東京国際フォーラム Dブロック 1F ホールD1)

座長: 高橋 裕子 (奈良女子大学 保健管理センター)

瀧原 圭子 (大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学)

演 者:

1. もっと知ろう。禁煙治療薬

飯田 真美 (岐阜県総合医療センター 内科・循環器内科)

2. 口腔内無煙タバコと喫煙

埴岡 隆 (福岡歯科大学 口腔保健学講座)

3. 山形県の喫煙対策の評価と今後の展望

阿彦 忠之 (山形県健康福祉部)

4. 19 学会禁煙推進学術ネットワークについて—“毎月 22 日は禁煙の日”の全国への広がり—
藤原 久義（兵庫県立尼崎病院/兵庫県立塚口病院）

(7) 循環器救急医療委員会 〈日本語〉

日本循環器学会蘇生科学シンポジウム

循環器救急医療委員会の活動と展望

（学会第 3 日目 3 月 23 日（日） 11:10~12:40 第 5 会場 東京国際フォーラム D ブロック 7F ホール D7）

座長：野々木 宏（静岡県立総合病院）

木村 一雄（横浜市立大学市民総合医療センター 心臓血管センター）

演 者：

1. AED 検討委員会：AED 解禁から 10 年～日本における PAD の現状と課題～
石見 拓（京都大学 健康科学センター）
2. 蘇生教育小委員会：ガイドライン→BLS/ACLS→ReSS は循環している
菊地 研（獨協医科大学 心臓・血管内科）
3. 循環器救急医療制度小委員会：蘇生ガイドラインを日常診療に活かすための制度改革の試み
田原 良雄（横浜市立大学市民総合医療センター 心臓血管センター）
4. 蘇生科学小委員会：JCS-ReSS とショックレジストリ
立花 栄三（川口市立医療センター 循環器科）

(8) 第 12 回禁煙推進・心肺蘇生法合同市民公開講座 〈日本語〉

（学会第 2 日目 3 月 22 日（土） 13:00~16:30 大手町サンケイプラザ 4F サンケイホール）

「命の大切さを考える」—禁煙推進と心肺蘇生法（コールアンドプッシュ）—

主 催：禁煙推進委員会/循環器救急医療委員会

後 援：東京都 東京都医師会

総合司会：野々木 宏（静岡県立総合病院 院長代理）

禁煙推進公開講座

司会：朔 啓二郎（福岡大学医学部心臓・血管内科学）

海老名俊明（横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター）

1. 「らくらく楽しい禁煙講座」
高橋 裕子（奈良女子大学教授）
2. 「PM2.5（微小粒子物質）とタバコ煙！」
藤原 久義（兵庫県立尼崎病院・塚口病院 院長）
3. 「禁煙体操」

森山 暎子（一般社団法人 10 分ランチフィットネス協会代表理事・
有限会社スタジオパラディソ代表）

すわん君（日本循環器学会）

特別講演

鈴木 大地（順天堂大学 教授、競泳・オリンピックメダリスト）

心肺蘇生法公開講座

進行：源河 朝広（イムスグループ横浜旭中央総合病院 循環器内科）

菊地 研（獨協医科大学 心臓・血管内科）

1. 「AED を含む簡易心肺蘇生法講習」

(9)男女共同参画委員会

〈日本語〉

第4回男女共同参画委員会セッション

(学会第2日目 3月22日(土) 11:10~12:40 第8会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G402)

座長: 上田真喜子 (大阪市立大学 病理病態学)

樗木 晶子 (九州大学 保健学部門)

演 者:

1. 女性循環器医の勤務環境改善をめざして: 男女共同参画委員会からの提言
上田真喜子 (大阪市立大学 病理病態学)

2. 東北地方の女性循環器内科医を減らさないための方策
富岡 智子 (みやぎ県南中核病院 循環器内科)

3. 育児支援システムの現状 東京と大阪の比較
石津 智子 (筑波大学 臨床検査医学)

4. 女性医師キャリア支援への取り組みと問題点
元山 貞子 (藤田保健衛生大学 循環器内科)

5. 継続は力
樗木 晶子 (九州大学 保健学部門)

6. 循環器医療における男女共同参画~中国地区の現状と取り組みについて
田邊 一明 (島根大学 内科学第四)

(10)編集委員会

〈英語〉

Circulation Journal Award Session

(学会第2日目 3月22日(土) 11:10~12:40 第7会場 東京国際フォーラム Dブロック 1F ホールD1)

座長: 下川 宏明 (東北大学 循環器内科学)

演 者:

【Clinical Investigation 部門】

1. Novel SCN3B Mutation Associated With Brugada Syndrome Affects Intracellular Trafficking and Function of Nav1.5
石川 泰輔 (長崎大学 分子生理学)

2. Plasma Cyclophilin A Is a Novel Biomarker for Coronary Artery Disease
佐藤 公雄 (東北大学 循環器内科学)

【Experimental Investigation 部門】

1. Ultrastructural Maturation of Human-Induced Pluripotent Stem Cell-Derived Cardiomyocytes in a Long-Term Culture
鎌倉 令 (京都大学 循環器内科学)

2. Myocardial Layer-Specific Effect of Myoblast Cell-Sheet Implantation Evaluated by Tissue Strain Imaging
首藤 恭広 (大阪大学 心臓血管外科)

(11)学術集会運営委員会

〈日本語〉

循環器臨床研究助成、留学支援助成 報告会

(学会第1日目 3月21日(金) 16:30~18:00 第7会場 東京国際フォーラム Dブロック 1F ホールD1)

座長: 山岸 正和 (金沢大学 循環器内科)

演 者:

循環器臨床研究助成

小島 淳 (熊本大学 高度医療開発センター 心不全先端医療寄附講座)

荻尾 七臣 (自治医科大学 循環器内科学)

留学支援助成

河野 隆志 (慶應義塾大学 循環器内科)

23. 心臓核医学ジョイントシンポジウム

フュージョンして循環器疾患を診る

〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 11:10~12:40 第20会場 JPタワー 5F カンファレンスルームB)

座長: 汲田伸一郎 (日本医科大学 放射線科)

西村 重敬 (埼玉医科大学 循環器内科)

演 者:

1. SPECT/CT: 冠動脈疾患

心筋 SPECT を用いた冠血行再建術の適応決定 (Physiological PCI への挑戦)

横井 宏佳 (福岡山王病院 循環器センター)

2. SPECT/CT: 非冠動脈疾患

Fusion することによって生かされる SPECT 像—非虚血性心疾患における有用性—

井口 信雄 (榊原記念病院)

3. PET/CT: 冠動脈疾患

アンモニア PET/CT による虚血性心疾患の診断への試み

百瀬 満 (東京女子医科大学 画像診断学・核医学講座)

4. PET/CT: 非冠動脈疾患

非冠動脈疾患の PET/CT による病態生理の検討

高野 仁司 (日本医科大学 循環器内科)

24. 市民公開講座

〈日本語〉

(学会第3日目 3月23日(日) 14:50~17:10(開場14:20予定) 第2会場 東京国際フォーラム Cブロック 4-5F ホールC)

「心臓病とともに生きる」

主 催：第78回日本循環器学会学術集会、日本心臓財団、朝日新聞社

後 援：東京都、日本医師会、東京都医師会(全て予定)

協 賛：第一三共株式会社

プログラム(予定)

日本心臓財団よりご挨拶

開会挨拶：永井 良三(第78回日本循環器学会学術集会 会長/
自治医科大学/東京大学名誉教授)

第1部 講演

司会：平田 恭信(東京通信病院)

講演① 狭心症・心筋梗塞と上手に付き合うには

講師：山岸 正和(金沢大学医薬保健研究域医学系・臓器機能制御学循環器内科)

講演② 心不全と上手に付き合うには

講師：筒井 裕之(北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学)

講演③ 生活習慣病と上手に付き合うには

講師：久代登志男(日本大学医学部/同総合健診センター)

第2部 対談：いつもチャレンジ精神で～いきいきと毎日を過ごすために～

永井 良三(第78回日本循環器学会学術集会 会長/
自治医科大学/東京大学名誉教授)

草野 仁(TVキャスター)

第3部 パネルディスカッション：「心臓病とともに生きる」

司会：永井 良三(第78回日本循環器学会学術集会 会長/
自治医科大学/東京大学名誉教授)

平田 恭信(東京通信病院)

パネリスト：

山岸 正和(金沢大学医薬保健研究域医学系・臓器機能制御学循環器内科)

筒井 裕之(北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学)

久代登志男(日本大学医学部/同総合健診センター)

草野 仁(TVキャスター)

閉会挨拶：永井 良三(第78回日本循環器学会学術集会 会長/
自治医科大学/東京大学名誉教授)

ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナー

学会第1日目 3月21日(金) 12:50~13:40

- LS-1 Real World における新規経口抗凝固薬のエビデンスから学ぶ (日本語)
第2会場(東京国際フォーラム Cブロック ホールC 4-5F)
座長: 井上 博(富山大学)
演者: 池田 隆徳(東邦大学 内科学講座 循環器内科学分野)
奥村 謙(弘前大学 循環呼吸腎臓内科学)
- LS-2 2型糖尿病をどう捉えていますか? (日本語)
—すっきり変わった糖尿病治療—
第3会場(東京国際フォーラム Bブロック ホールB7 (1) 7F)
座長: 堀 正二(大阪府立成人病センター)
演者: 河盛 隆造(順天堂大学、スポーツロジセンター)
- LS-3 糖尿病患者における脂質異常症の成因と治療 (日本語)
第4会場(東京国際フォーラム Bブロック ホールB7 (2) 7F)
座長: 横手幸太郎(千葉大学 細胞治療内科学)
演者: 山下 静也(大阪大学 循環器内科学 総合地域医療学寄附講座)
- LS-4 心電図で読み解く急性冠症候群の病態 (日本語)
第5会場(東京国際フォーラム Dブロック ホールD7 7F)
座長: 前村 浩二(長崎大学 循環病態制御内科学)
演者: 小菅 雅美(横浜市立大学附属市民総合医療センター 循環器内科)
- LS-5 Impella, 血行動態からの補助循環の効果 (英語)
第6会場(東京国際フォーラム Dブロック ホールD5 5F)
座長: 中村 正人(東邦大学医療センター 大橋病院 循環器内科)
演者: Mark A. Grise (Sacred Heart Cardiology, Sacred Heart Medical Group, U.S.A.)
- LS-6 Anti thrombotic therapy in the future for patients with Oral anticoagulation and PCI (日本語)
第7会場(東京国際フォーラム Dブロック ホールD1 1F)
座長: 阿古 潤哉(北里大学 循環器内科学)
演者: Willem Dewilde (Amphia Hospital, The Netherlands)
- LS-7 さらに進化する心臓交感神経イメージング MIBG (日本語)
第8会場(東京国際フォーラム ガラス棟 G402 4F)
座長: 坂田 泰史(大阪大学 循環器内科学)
演者: 中田 智明(函館五稜郭病院 循環器内科)
中嶋 憲一(金沢大学 核医学診療科)
- LS-8 循環器疾患における SAS 診療の重要性 (日本語)
第9会場(東京国際フォーラム ガラス棟 G409 4F)
座長: 安藤 眞一(九州大学病院 睡眠時無呼吸センター)
演者: 小島 淳(熊本大学 循環器内科学 心不全先端医療寄附講座)
横井 宏佳(福岡山王病院 循環器センター、国際医療福祉大学)

- LS-9 慢性心不全治療におけるカルシウム拮抗薬への期待：Update 2014 〈日本語〉
 第10会場（東京国際フォーラム ガラス棟 G502 5F）
 座長：福田 恵一（慶應義塾大学 循環器内科）
 演者：増山 理（兵庫医科大学 循環器内科）
- LS-10 血管を診る～新たな血管指標の可能性～ 〈日本語〉
 第11会場（東京国際フォーラム ガラス棟 G510 5F）
 座長：山科 章（東京医科大学 第二内科）
 演者：小峰 秀彦（経済産業省 商務情報政策局 ヘルスケア産業課 医療福祉機器産業室）
 富山 博史（東京医科大学 第二内科）
- LS-11 ハイリスク患者における脂質・血圧管理 〈日本語〉
 ～最新のガイドラインの知見から～
 第12会場（東京国際フォーラム ガラス棟 G602 6F）
 座長：伊藤 裕（慶應義塾大学 腎臓内分泌代謝内科）
 演者：田中 正巳（慶應義塾大学 腎臓内分泌代謝内科）
- LS-12 PCI戦略に活かす虚血評価 〈日本語〉
 第13会場（東京国際フォーラム ガラス棟 G610 6F）
 座長：倉林 正彦（群馬大学 臓器病態内科学）
 演者：松本 直也（駿河台日本大学 循環器科）
 吉町 文暢（東海大学 循環器内科）
- LS-13 心血管疾患発症阻止を見据えた血糖管理： 〈日本語〉
 夜間深夜帯の血糖変動、交感神経活動、血圧変動の視点から
 —CGM、ホルターECG、ABPM 同時装着による検討—
 第14会場（東京国際フォーラム ガラス棟 G701 7F）
 座長：木原 康樹（広島大学 循環器内科学）
 演者：森 豊（東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科）
- LS-14 「心血管病における」サプリメントの有効性について 〈日本語〉
 第15会場（東京国際フォーラム セミナー室1 B2F）
 座長：一色 高明（帝京大学 循環器内科）
 演者：辻 貴史（草津ハートセンター）
 桜田 真己（所沢ハートセンター）
- LS-15 より質の高い高血圧治療を目指して～肥満、食塩、尿酸～ 〈日本語〉
 第16会場（東京国際フォーラム セミナー室2 B2F）
 座長：長田 太助（自治医科大学 腎臓内科）
 演者：大屋 祐輔（琉球大学 循環器・腎臓・神経内科学）
- LS-16 超音波検査の国産技術：3D TEE と VFM 〈日本語〉
 第17会場（JPタワー ホール1-2 4F）
 座長：竹中 克（日本大学板橋病院 循環器内科）
 演者：許 俊鋭（東京都健康長寿医療センター 心臓外科）
 中谷 敏（大阪大学 保健学専攻機能診断科学講座）

- LS-17 心腎連鎖の克服を目指した糖尿病治療 〈日本語〉
第18会場 (JPタワー ホール3 4F)
座長：堀内 正嗣 (愛媛大学 分子心血管生物・薬理学)
演者：古家 大祐 (金沢医科大学 糖尿病・内分泌内科学)
- LS-18 本邦における新規エビデンス 〈日本語〉
第19会場 (JPタワー カンファレンスルーム A 4F)
座長：山崎 力 (東京大学 臨床研究支援センター)
演者：小田原雅人 (東京医科大学 内科学第三講座)
- LS-19 抗凝固剤関連 〈日本語〉
第20会場 (JPタワー カンファレンスルーム B 5F)
座長：池田 宇一 (信州大学 循環器内科学講座)
演者：小嶋 哲人 (名古屋大学 病態解析学講座)
山下 武志 (心臓血管研究所)
- LS-20 The Ultimate DES has Arrived: PROMUS 〈日本語〉
第22会場 (東京商工会議所 国際会議場 7F)
座長：五十嵐慶一 (北海道社会保険病院)
演者：青木 二郎 (三井記念病院)
小川 崇之 (東京慈恵会医科大学)
濱寄 裕司 (昭和大学)

学会第1日目 3月21日(金) 18:20~19:20

- FS-1 血圧変動に立ち向かう 〈日本語〉
第2会場 (東京国際フォーラム Cブロック ホールC 4-5F)
座長：木村玄次郎 (旭労災病院)
演者：大石 充 (鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科学)
- FS-2 動脈硬化性疾患を標的とした糖尿病治療戦略 〈日本語〉
～食後高血糖と酸化ストレス～
第3会場 (東京国際フォーラム Bブロック ホールB7 (1) 7F)
座長：大野 実 (虎の門病院 循環器センター内科)
演者：井口登與志 (九州大学 先端融合医療レドックスナビ研究拠点)
- FS-3 心機能評価における超音波新時代の幕明け 〈日本語〉
第5会場 (東京国際フォーラム Dブロック ホールD7 7F)
座長：竹中 克 (東京大学 検査部)
演者：竹内 正明 (産業医科大学 第2内科学)
- FS-4 “Physiological PCI” and “Angiographical PCI” 〈日本語〉
第6会場 (東京国際フォーラム Dブロック ホールD5 5F)
座長：松原 徹夫 (豊橋ハートセンター)
演者：田中 信大 (東京医科大学)
横井 宏佳 (福岡山王病院、国際医療福祉大学)

- FS-5 Cardio-Renal Anemia Syndrome 〈日本語〉
 第8会場（東京国際フォーラム ガラス棟 G402 4F）
 座長：長谷 弘記（東邦大学医療センター大橋病院 腎臓内科）
 演者：坂田 泰彦（東北大学 循環器内科学）
 梶本 克也（浅草寺病院 循環器内科）
- FS-6 2013ACC/AHAガイドラインをどう捉えるか？ 〈日本語〉
 第9会場（東京国際フォーラム ガラス棟 G409 4F）
 座長：寺本 民生（帝京大学臨床研究センター）
 演者：吉田 雅幸（東京医科歯科大学 先進倫理医科学）
- FS-7 全国急性冠症候群コホート研究シンポジウム 〈日本語〉
 —いよいよ始まる AMI Nation-wide Registry—
 第10会場（東京国際フォーラム ガラス棟 G502 5F）
 座長：安田 聡（国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門）
 住吉 徹哉（榊原記念病院 循環器内科）
 演者：小島 淳（熊本大学 高度医療開発センター 心不全先端医療寄附講座）
 宮本 恵宏（国立循環器病研究センター 予防医学・疫学情報部）
 高山 守正（榊原記念病院 循環器内科）
- FS-8 今、求められる糖尿病治療における発想の転換とは？ 〈日本語〉
 第11会場（東京国際フォーラム ガラス棟 G510 5F）
 座長：佐野 元昭（慶應義塾大学 循環器内科）
 演者：犬飼 浩一（杏林大学 糖尿病・内分泌・代謝内科）
- FS-9 新しい循環器診断イメージングの世界 〈日本語〉
 第12会場（東京国際フォーラム ガラス棟 G602 6F）
 座長：山口 徹（虎の門病院）
 演者：石津 智子（筑波大学 医学医療系 循環器内科学 臨床検査医学）
 近藤 武（高瀬クリニック 循環器科）
- FS-10 最新の知見に基づく糖尿病治療戦略 〈日本語〉
 第13会場（東京国際フォーラム ガラス棟 G610 6F）
 座長：横手幸太郎（千葉大学 細胞治療内科学）
 演者：綿田 裕孝（順天堂大学 代謝内分泌内科学）
- FS-11 TEVAR時代のB型大動脈解離のマネジメント 〈日本語〉
 ～降圧治療かステントグラフト治療か？～
 第14会場（東京国際フォーラム ガラス棟 G701 7F）
 座長：当麻 正直（兵庫県立尼崎病院 循環器センター 循環器内科）
 演者：加藤 雅明（森之宮病院 心臓血管センター 心臓血管外科）
- FS-12 循環器病データベース構築のための医療機器データ連携の有用性 〈日本語〉
 第15会場（東京国際フォーラム セミナー室1 B2F）
 座長：竹花 一哉（関西医科大学 内科学第二講座）
 演者：中山 雅晴（東北大学 メディカルITセンター）
 小山 武彦（日本IHE協会循環器委員会/日本光電工業株式会社）
 大関 毅（日本IHE協会循環器委員会/東芝メディカルシステムズ株式会社）

- FS-13 循環器専門医が知っておくべき不眠診療 〈日本語〉
－ 睡眠薬の適正な使用と休薬のための診療ガイドラインより －
第 19 会場 (JP タワー カンファレンスルーム A 4F)
座長：塩見 利明 (愛知医科大学 睡眠科)
演者：三島 和夫 (国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所・精神生理研究部)
- FS-14 CKD の心血管病変—CKD-MBD なる疾患概念からの見方— 〈日本語〉
第 20 会場 (JP タワー カンファレンスルーム B 5F)
座長：石光 俊彦 (獨協医科大学 循環器・腎臓内科)
演者：濱野 高行 (大阪大学 腎疾患総合医療学 寄付講座)
- FS-15 心不全の非薬物治療の最前線 〈日本語〉
第 22 会場 (東京商工会議所 国際会議場 7F)
座長：TBD
演者：奥山 裕司 (大阪大学 循環器内科学)

学会第 2 日目 3 月 22 日 (土) 12:50~13:40

- LS-21 心房細動の脳卒中予防の新展開 〈日本語〉
～アピキサバンの実力を考える～
第 2 会場 (東京国際フォーラム C ブロック ホール C 4-5F)
座長：井上 博 (富山大学)
演者：山下 武志 (心臓血管研究所)
- LS-22 新しい心不全治療オプションをいかに使いこなすか 〈日本語〉
－オートセット CS による心不全陽圧呼吸療法を考える－
第 3 会場 (東京国際フォーラム B ブロック ホール B7 (1) 7F)
座長：木原 康樹 (広島大学 循環器内科学)
安村 良男 (国立病院機構大阪医療センター 循環器内科)
百村 伸一 (自治医科大学附属さいたま医療センター 循環器科)
コメンテーター：安達 仁 (群馬県立心臓血管センター 循環器内科)
猪又 孝元 (北里大学 循環器内科学)
演者：久保 俊彦 (松山赤十字病院 循環器内科)
花谷 彰久 (大阪市立大学 循環器内科学)
- LS-23 DES 留置における DAPT について再考する 〈日本語〉
第 4 会場 (東京国際フォーラム B ブロック ホール B7 (2) 7F)
座長：中村 正人 (東邦大学医療センター大橋病院)
横井 宏佳 (福岡山王病院、国際医療福祉大学)
演者：中村 正人 (東邦大学医療センター大橋病院)
河合 隆 (東京医科大学・内視鏡センター)
岡田 靖 (国立病院機構九州医療センター 脳血管・神経内科 臨床研究センター)
- LS-24 脂質異常症と糖尿病に関する新規エビデンス 〈日本語〉
第 5 会場 (東京国際フォーラム D ブロック ホール D7 7F)
座長：代田 浩之 (順天堂大学 循環器内科学)
演者：寺内 康夫 (横浜市立大学 分子内分泌・糖尿病内科学)

- LS-25 カテーテルアブレーションへの期待と抗凝固療法の意義の再考 〈日本語〉
第6会場(東京国際フォーラム Dブロック ホールD5 5F)
座長:青沼 和隆(筑波大学 循環器内科)
演者:奥村 謙(弘前大学 循環呼吸腎臓内科学)
- LS-26 Cardio Renal Syndrome のリスクファクター 〈日本語〉
第7会場(東京国際フォーラム Dブロック ホールD1 1F)
座長:室原 豊明(名古屋大学 循環器内科)
演者:佐田 政隆(徳島大学 ヘルスバイオサイエンス研究部 循環器内科学分野)
- LS-27 慢性血栓塞栓性肺高圧症の診断と治療について 〈日本語〉
第8会場(東京国際フォーラム ガラス棟 G402 4F)
座長:中西 宣文(国立循環器病研究センター研究所 肺高血圧先端医療学研究部)
演者:福本 義弘(久留米大学 内科学講座 心臓・血管内科部門)
- LS-28 老化と心疾患をつなぐRASの多面的役割 〈日本語〉
第9会場(東京国際フォーラム ガラス棟 G409 4F)
座長:福田 恵一(慶應義塾大学 循環器内科)
演者:赤澤 宏(東京大学 先端臨床医学開発講座)
- LS-29 HDL 機能の臨床的評価一量から質へ 〈日本語〉
第10会場(東京国際フォーラム ガラス棟 G502 5F)
座長:松澤 佑次(住友病院)
演者:山下 静也(大阪大学 循環器内科学 総合地域医療学寄付講座)
- LS-30 EPA を臨床で活かす～最近の知見～ 〈日本語〉
第11会場(東京国際フォーラム ガラス棟 G510 5F)
座長:筒井 裕之(北海道大学 循環病態内科学)
演者:伊藤 浩(岡山大学 循環器内科学)
- LS-31 冠循環生理を考慮した虚血性心疾患の診断と治療戦略 〈日本語〉
第12会場(東京国際フォーラム ガラス棟 G602 6F)
座長:赤阪 隆史(和歌山県立医科大学 循環器内科)
演者:田中 信大(東京医科大学 循環器内科)
松尾 仁司(岐阜ハートセンター 循環器内科)
- LS-32 心血管病理 2014:マクロからウルトラミクロへ 〈日本語〉
第13会場(東京国際フォーラム ガラス棟 G610 6F)
座長:矢崎 善一(JA長野厚生連 佐久総合病院 循環器内科)
中村 一文(岡山大学 循環器内科)
演者:加藤 誠也(琉球大学 細胞病理学講座)
寺崎 文生(大阪医科大学 教育機構)
- LS-33 RECENT ADVANCES AND NEW INSIGHTS IN IABP THERAPY 〈英語〉
第14会場(東京国際フォーラム ガラス棟 G701 7F)
座長:小船井光太郎(東京ベイ・浦安市川医療センター ハートセンター循環器内科)
演者:Nico HJ Pijls (Department of cardiology, Catharina Hospital, NL)

- LS-34 心腎連関障害のリスクとしての高尿酸血症 〈日本語〉
第15会場(東京国際フォーラム セミナー室1 B2F)
座長: 細谷 龍男(東京慈恵会医科大学 慢性腎臓病病態治療学)
演者: 久留 一郎(鳥取大学 再生医療学分野)
- LS-35 条件付き MRI 対応ペースメーカーの最新情報 〈日本語〉
第16会場(東京国際フォーラム セミナー室2 B2F)
座長: 阿古 潤哉(北里大学 循環器内科学)
演者: 岡村 英夫(国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 不整脈科)
横山 健一(杏林大学 放射線医学教室)
- LS-36 高血圧疾患における交感神経系と RA 系 〈日本語〉
第17会場(JPタワー ホール1-2 4F)
座長: 木村玄次郎(労働者健康福祉機構 旭労災病院)
演者: 廣岡 良隆(九州大学 先端循環制御学)
菊尾 七臣(自治医科大学 循環器内科学部門)
- LS-37 血管病を如何に発見し治療すべきか!! 〈日本語〉
第18会場(JPタワー ホール3 4F)
座長: 重松 宏(国際医療福祉大学臨床医学研究センター・山王メディカルセンター)
演者: 熊倉 久夫(北関東循環器病院 血管病センター)
- LS-38 Arterial stiffness in clinical practice 〈日本語〉
第19会場(JPタワー カンファレンスルーム A 4F)
座長: 檜垣 実男(愛媛大学 循環器・呼吸器・腎高血圧内科学)
演者: Stephane Laurent (Department of Clinical Pharmacology, Hôpital Européen Georges Pompidou, France)
- LS-39 冠動脈疾患合併脂質異常症の新たな治療戦略 〈日本語〉
～プラークの質と量の管理～
第20会場(JPタワー カンファレンスルーム B 5F)
座長: 小川 久雄(熊本大学 循環器内科学、国立循環器病研究センター)
演者: 羽原 真人(豊橋ハートセンター 循環器内科)
宮内 克己(順天堂大学 循環器内科学)
- LS-40 未定 〈英語〉
第22会場(東京商工会議所 国際会議場 7F)
座長: 楽木 宏実(大阪大学 老年・腎臓内科学)
演者: Bryan Williams (NIHR UCL Hospitals Biomedical Research Center, Institute of Cardiovascular Science, University College London, UK)
- LS-41 心房細動に対する抗凝固療法の新時代 〈日本語〉
: 日本人における新たなエビデンス
第23会場(東京商工会議所 特別会議室 S 4F)
座長: 下川 宏明(東北大学 循環器内科学)
演者: 是恒 之宏(国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター)
新 博次(日本医科大学多摩永山病院)

学会第2日目 3月22日(土) 17:20~18:50

- FS-16 第75回 冠循環談話会 〈日本語〉
企画：当番世話人 倉智 嘉久(大阪大学 分子・細胞薬理学)
コンピューターシミュレーションが拓く予測型の冠循環疾患医療
第9会場(東京国際フォーラム ガラス棟 G409 4F)
座長：世話人代表 永井 良三(自治医科大学、東京大学)
演者：北野 宏明(システム・バイオロジー研究機構、沖縄科学技術大学院大学)
高木 周(東京大学 工学系研究科)
杉浦 清了(東京大学 新領域創成科学研究科)
パネリスト：北野 宏明、高木 周、杉浦 清了

学会第2日目 3月22日(土) 19:00~20:00

- FS-17 (19:00~20:30) 〈日本語〉
 β 遮断薬療法の6W2Hを、プロフェッショナルが議論する
～環境の変化による誤解を懸念して～
第2会場(東京国際フォーラム Cブロック ホールC 4-5F)
座長：山科 章(東京医科大学)
百村 伸一(自治医科大学附属さいたま医療センター)
オーバービュー：伊藤 浩(岡山大学)
パネルディスカッション：伊藤 浩(岡山大学)
大屋 祐輔(琉球大学)
筒井 裕之(北海道大学)
山下 武志(心臓血管研究所)
特別発言：井上 博(富山大学)
大西 勝也(大西内科ハートクリニック)
- FS-18 今、糖尿病治療戦略に求められること 〈日本語〉
第3会場(東京国際フォーラム Bブロック ホールB7 (1) 7F)
座長：代田 浩之(順天堂大学 循環器内科学)
演者：小田原雅人(東京医科大学 内科学第三講座)
- FS-19 (19:00~20:30) 〈日本語〉
心不全における心腎関連と利尿薬の可能性
第4会場(東京国際フォーラム Bブロック ホールB7 (2) 7F)
座長：絹川弘一郎(東京大学 重度心不全治療開発講座)
演者：Claudio Ronco (Department of Nephrology St. Bortolo Hospital Vicenza, ITALY)
パネリスト：柴垣 有吾(聖マリアンナ医科大学 内科学(腎臓・高血圧内科))
猪又 孝元(北里大学 循環器内科)
鈴木 聡(福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座)
末永 祐哉(亀田メディカルセンター 循環器内科)
- FS-20 (関係者以外の参加はご遠慮いただいております) 〈日本語〉
第5会場(東京国際フォーラム Dブロック ホールD7 7F)

- FS-21 心血管イベント抑制を目指したトータルアプローチ 〈日本語〉
第6会場(東京国際フォーラム Dブロック ホールD5 5F)
座長:佐田 政隆(徳島大学 ヘルスバイオサイエンス研究部 循環器内科学分野)
演者:寺内 康夫(横浜市立大学 分子内分泌・糖尿病内科学)
- FS-22 抗血小板療法の現状と今後 〈日本語〉
第8会場(東京国際フォーラム ガラス棟 G402 4F)
座長:桜田 真己(所沢ハートセンター)
演者:今井 逸雄(京都大学 循環器内科)
安藤 献児(小倉記念病院 循環器内科)
- FS-23 Stroke Prevention in AF 2014 〈英語〉
—GARFIELD Registry insights and perspectives'
第9会場(東京国際フォーラム ガラス棟 G409 4F)
座長:Shinya Goto (Tokai University School of Medicine; Institute of Medical Science, Tokyo, Japan)
演者:Lord Kakkar (Thrombosis Research Institute, UK)
Yukihiro Koretsune (Institute for Clinical Research, National Hospital Organization, Osaka National Hospital)
- FS-24 冠攣縮の最新知見 〈日本語〉
第10会場(東京国際フォーラム ガラス棟 G502 5F)
座長:小川 久雄(熊本大学)
下川 宏明(東北大学)
演者:高橋 潤(東北大学)
西宮 健介(東北大学)
海北 幸一(熊本大学)
- FS-25 TAVI: Beyond the PARTNER Trial 〈英語〉
第11会場(東京国際フォーラム ガラス棟 G510 5F)
座長:福田 恵一(慶應義塾大学 循環器内科)
演者:Susheel Kodali (Heart Valve Center, NYP/Columbia University Medical Center, USA)
- FS-26 (19:00~20:30) 〈日本語〉
劇症型心筋炎
第12会場(東京国際フォーラム ガラス棟 G602 6F)
＜第一部＞
座長:児玉 和久(大阪警察病院 名誉院長、尼崎中央病院 心臓血管センター)
コメンテーター:安村 良男(国立病院機構 大阪医療センター 循環器内科)
症例提示:奥村 貴裕(名古屋大学 循環器内科学)
ミニレクチャー:池田 善彦(国立循環器病研究センター 臨床病理科)

＜第二部＞
座長:平山 篤志(日本大学 循環器内科学分野)
講演:坂田 泰史(大阪大学 循環器内科学)

- FS-27 循環器疾患における腎障害と降圧治療について 〈日本語〉
 第13会場(東京国際フォーラム ガラス棟 G610 6F)
 座長: 室原 豊明(名古屋大学 循環器内科学)
 演者: 中村 正人(東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科)
 長谷部直幸(旭川医科大学 循環・呼吸・神経病態内科)
- FS-28 LINC-A multicenter, randomized trial comparing a mechanical CPR algorithm using LUCAS vs. manual CPR in out-of-hospital cardiac arrest patients 〈英語〉
 第14会場(東京国際フォーラム ガラス棟 G701 7F)
 座長: 長尾 建(駿河台日本大学 循環器科 心肺蘇生・救急心血管治療部)
 演者: Sten Rubertsson (Dept. of Surgical Sciences, Anesthesiology & Intensive Care Uppsala University, Uppsala University Hospital, Sweden)
- FS-29 急性心腎症候群の管理 〈日本語〉
 ～虚血ストレスマーカー L-FABP の可能性～
 第15会場(東京国際フォーラム セミナー室1 B2F)
 座長: 木村健二郎(聖マリアンナ医科大学 腎臓・高血圧内科)
 演者: 佐藤 直樹(日本医科大学武蔵小杉病院 循環器内科・集中治療室)
- FS-30 平成26年診療報酬改定とジェネリック医薬品 〈日本語〉
 ～循環器ジェネリック医薬品に着目して～
 第17会場(JPタワー ホール1-2 4F)
 座長: 北風 政史(国立循環器病研究センター 臨床研究部・心臓血管内科)
 演者: 武藤 正樹(国際医療福祉大学、日本ジェネリック医薬品学会 代表理事)
- FS-31 実証例から考える日本心不全学会BNPステートメントの解釈 〈日本語〉
 第18会場(JPタワー ホール3 4F)
 座長: 斎藤 能彦(奈良県立医科大学 循環器・腎臓・代謝内科)
 演者: 吉村 道博(東京慈恵会医科大学 内科学講座 循環器内科)
 佐藤 幸人(兵庫県立尼崎病院循環器センター 循環器内科)
- FS-32 Total Management of Atrial Fibrillation 〈英語〉
 第19会場(JPタワー カンファレンスルームA 4F)
 座長: 尾崎 行男(藤田保健衛生大学 循環器内科)
 演者: Martin Borggrefe (Department of Medicine (Cardiology, Angiology, Pneumology, Hemostasiology, Medical Intensive Care) University Medical Centre Mannheim, Germany)
- FS-33 心房細動患者のリスク層別化と抗凝固療法 〈日本語〉
 : J-RHYTHM Registry から学ぶこと
 第20会場(JPタワー カンファレンスルームB 5F)
 座長: 新 博次(日本医科大学多摩永山病院 内科・循環器内科)
 演者: 奥村 謙(弘前大学 循環呼吸腎臓内科学)
- FS-34 Impella の臨床効果 〈英語〉
 第16会場(東京国際フォーラム セミナー室2 B2F)
 座長: 水野 杏一(三越厚生事業団常務理事、日本医科大学名誉教授)
 演者: Mark A. Grise (Sacred Heart Cardiology, Sacred Heart Medical Group, Pensacola, U.S.A.)

学会第3日目 3月23日(日) 12:50~13:40

- LS-42 <より優れた抗凝固療法を目指すための参加型セミナー> 〈日本語〉
Beyond the Clinical Trial: 大規模臨床試験を追い越す…Yes or No?
第2会場(東京国際フォーラム Cブロック ホールC 4-5F)
座長: 是恒 之宏(国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター)
演者: 山下 武志(心臓血管研究所)
- LS-43 Apixaban – The NOAC with an Excellent Safety and Efficacy Profile in Atrial Fibrillation 〈英語〉
第3会場(東京国際フォーラム Bブロック ホールB7 (1) 7F)
座長: 奥村 謙(弘前大学 循環呼吸腎臓内科学講座)
演者: Stuart J. Connolly (Department of Medicine, McMaster University, Division of Cardiology, Department of Medicine, Canada)
- LS-44 PAD に対する血管内治療の現状と限界 〈日本語〉
第4会場(東京国際フォーラム Bブロック ホールB7 (2) 7F)
座長: 南都 伸介(大阪大学 先進心血管治療学寄附講座)
演者: 飯田 修(関西労災病院 循環器内科)
- LS-45 TOPCATを読み解く 〈日本語〉
~心不全におけるアルドステロンの役割~
第5会場(東京国際フォーラム Dブロック ホールD7 7F)
座長: 吉村 道博(東京慈恵会医科大学 循環器内科)
演者: 木原 康樹(広島大学 循環器内科学)
- LS-46 心不全治療における β 遮断薬の新たな位置づけ 〈日本語〉
~急性期から始める事の意義は?~
第6会場(東京国際フォーラム Dブロック ホールD5 5F)
座長: 永井 良三(自治医科大学、東京大学)
演者: 絹川弘一郎(東京大学 重症心不全治療開発講座)
- LS-47 生体吸収性ステントは本当に有用か? 〈日本語〉
第7会場(東京国際フォーラム Dブロック ホールD1 1F)
座長: 木村 剛(京都大学 循環器内科)
演者: 田邊 健吾(三井記念病院 循環器内科)
山地 杏平(小倉記念病院 循環器内科)
- LS-48 循環器疾患における鎮痛、鎮静 〈日本語〉
第8会場(東京国際フォーラム ガラス棟 G402 4F)
座長: 田中 啓治(日本医科大学 心臓血管集中治療科)
演者: 谷口 巧(金沢大学 集中治療部)
- LS-49 ハイリスク高血圧に対する β 遮断薬の選択 〈日本語〉
第9会場(東京国際フォーラム ガラス棟 G409 4F)
座長: 大石 充(鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科学分野)
演者: 長谷部直幸(旭川医科大学 内科学講座 循環・呼吸・神経病態内科学分野)

- LS-50 世界のガイドラインから見る高血圧治療戦略 〈日本語〉
 第10会場（東京国際フォーラム ガラス棟 G502 5F）
 座長：島本 和明（札幌医科大学）
 演者：楽木 宏実（大阪大学 老年・腎臓内科学）
- LS-51 我が国のPAD診療のトピックス 〈日本語〉
 ～血管内皮機能と最新の疫学調査 SEASON～
 第11会場（東京国際フォーラム ガラス棟 G510 5F）
 座長：森下 竜一（大阪大学 臨床遺伝子治療学）
 演者：東 幸仁（広島大学 原爆放射線医科学研究所 ゲノム障害医学研究センター
 再生医科学部門）
- LS-52 心不全における高尿酸血症 〈日本語〉
 ～新たな治療ターゲット？～
 第12会場（東京国際フォーラム ガラス棟 G602 6F）
 座長：磯部 光章（東京医科歯科大学 循環制御内科学）
 演者：筒井 裕之（北海道大学 循環病態内科学）
- LS-53 新たな治療標的としてのHDL 〈日本語〉
 ～残余リスクの制圧を目指して～
 第13会場（東京国際フォーラム ガラス棟 G610 6F）
 座長：佐田 政隆（徳島大学 ヘルスバイオサイエンス研究部 循環器内科学分野）
 演者：綾織 誠人（防衛医科大学校 内科学講座 神経・抗加齢血管内科）
- LS-54 降圧療法を再考する。 〈日本語〉
 ：有用な surrogate marker は何か？
 第14会場（東京国際フォーラム ガラス棟 G701 7F）
 座長：小川 久雄（熊本大学 循環器内科学）
 演者：伊藤 浩（岡山大学 循環器内科学）
- LS-55 心腎連関を考慮した高血圧治療戦略 〈日本語〉
 第15会場（東京国際フォーラム セミナー室1 B2F）
 座長：小林 欣夫（千葉大学 循環器内科学）
 演者：安斉 俊久（国立循環器病研究センター 心臓血管内科）
 久留 一郎（鳥取大学 再生医療学部門）
- LS-56 “Management of PAH: Highlights from the 5th PH World Symposium” 〈英語〉
 第16会場（東京国際フォーラム セミナー室2 B2F）
 座長：小室 一成（東京大学 循環器内科学）
 演者：Nazzareno Galie（University of Bologna, Italy）
- LS-57 最新心血管画像診断のインパクト 〈日本語〉
 The Clinical Impact of Cardiovascular Imaging
 第17会場（JPタワー ホール1-2 4F）
 座長：赤阪 隆史（和歌山県立医科大学 循環器内科）
 演者：寺島 正浩（心臓画像クリニック飯田橋）
 長岡 秀樹（高瀬クリニック）

- LS-58 PCI 後の抗血小板療法と消化管傷害 〈日本語〉
第 18 会場 (JP タワー ホール 3 4F)
座長：平山 篤志 (日本大学 循環器内科学分野)
演者：掃本 誠治 (熊本大学 循環器内科学)
- LS-59 心血管イベント抑制に向けた糖尿病治療戦略 〈日本語〉
第 19 会場 (JP タワー カンファレンスルーム A 4F)
座長：中村 正人 (東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科)
演者：森 豊 (東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科)
阿古 潤哉 (北里大学 循環器内科学)
- LS-60 血糖変動と血管合併症の関係 〈日本語〉
第 20 会場 (JP タワー カンファレンスルーム B 5F)
座長：島田 和典 (順天堂大学 循環器内科学)
演者：岡田 洋右 (産業医科大学 第一内科学講座)
- LS-61 糖尿病治療の新たな展望 〈日本語〉
第 22 会場 (東京商工会議所 国際会議場 7F)
座長：相川 眞範 (Cardiovascular Division, Department of Medicine, Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School, USA)
演者：山下 静也 (大阪大学 循環器内科学 総合地域医療学寄附講座)

プレレジストレーションのお知らせ

第78回学術集会では、参加登録、教育セッション、ランチョン・ファイアサイドセミナーのプレレジストレーションを行います。(国内参加者のみ)

第78回学術集会ホームページ「プレレジストレーション」ページからご登録ください。

<http://www2.convention.co.jp/jcs2014/index.html>

教育セッション、ランチョン・ファイアサイドセミナーのみのプレレジストレーションはできません。

✦ 受付期間

参加登録 ▶ 2013年 12月2日[月] 15:00～ 2014年 2月21日[金] 17:00まで

教育セッション ▶ 2013年 12月2日[月] 15:00～ 2014年 2月28日[金] 17:00まで
※参加登録時に合わせてお申し込みください(学術集会本体の参加登録が必須となります)。
追加登録をご希望の場合は、学術集会本体の参加登録完了後、2014年2月28日(金)17:00までにお申し込みください。

ランチョン・ファイアサイドセミナー ▶ 2014年 1月22日[水] 15:00～ 2014年 2月28日[金] 17:00まで
※学術集会のプレレジストレーション完了後に、上記期間内にてお申し込みいただけます。

✦ 参加登録費

参加区分	参加費(事前)	参加費(当日)	必要な提示物	配布物	備考
日本循環器学会会員※	15,000円	20,000円	—	プログラム集 抄録集CD	プログラム集、 抄録CDは事前配布
非会員医師および 医療関係者	15,000円	20,000円	—	—	—
コメディカル	当日登録のみ	7,000円	所定の証明書	プログラム集	チーム医療セッション 以外のセッションも聴 講可能
研修医(前期)		無料	所定の証明書	プログラム集	—
学部学生(医学部・薬学部・ 工学部等含む)		無料	学生証	プログラム集	—
海外参加者 (日本からの留学生は除く)		15,000円	—	プログラム集 抄録集CD	—
在日留学生		5,000円	所定の証明書	プログラム集 抄録集CD	—

※参加区分「日本循環器学会会員」の参加費15,000円(当日20,000円)に消費税はかかりません。(不課税)

✦ コメディカル、研修医(前期)、留学生の登録

- ・プレレジストレーションは「日本循環器学会会員」、「非会員医師および医療関係者」のみを対象とさせていただきます。コメディカル、研修医(前期)、学部学生、海外参加者、留学生は会期当日に受付を行ってください。
- ・コメディカル、研修医(前期)、留学生は所定の証明書の提出が必要です。
- ※証明書の提出がない場合は「非会員医師および医療関係者」当日参加費20,000円をお支払いいただきますので、予めご留意ください。
- ・証明書は下記ページよりダウンロードしてください。
<http://www2.convention.co.jp/jcs2014/japan/prereg/index.html>

✦ 教育セッション

- ・参加費は2,000円です。教育セッションは、2014年2月28日(金)17:00までお申し込みが可能です。
- ・お申し込み後の返金はできませんので、登録の際はご注意ください。
- ・教育セッションの内容については下記ページをご参照下さい。

<http://www2.convention.co.jp/jcs2014/japan/kyouiku/index.html>

※専門医研修単位登録について、プレレジストレーションを行った場合でも、必ず教育セッション会場入口「単位登録受付」での登録が必要です。会期後の単位登録はできませんので、十分ご注意ください。

✦ ランチョン・ファイアサイドセミナー

- ・プレレジストレーション後に届く「プレレジストレーション完了自動配信メール」に登録内容の確認画面・登録確認書ダウンロード画面のログインURLが記載されております。
- ・ログイン後、期間内(2014年1月22日(水)15:00～2014年2月28日(金)17:00まで)にお申し込みください。
- ・プレレジストレーションをされた方のランチョン・ファイアサイドセミナーのチケットは、ネームカードと同時に発行いたします。

✦ 専門医研修単位登録

- ・専門医研修単位登録については、学術集会の会期中に、各単位登録受付にてご登録ください。
- ※プレレジストレーションを行った場合でも、必ず学術集会会場内「単位登録受付」での登録が必要です。会期後の単位登録はできませんので、十分ご注意ください。

✦ プレレジストレーション登録方法と学会当日までの流れ



学術集会HP「プレレジストレーション」にアクセス

<http://www2.convention.co.jp/jcs2014/japan/prereg/index.html>



登録画面に必要事項を入力



登録内容を確認後、オンラインにて参加費をお支払い(クレジットカードのみ)



IDとしてご登録のE-mailアドレスに「プレレジストレーション完了メール」が到着

★ご案内の登録確認画面より「登録確認書」をダウンロード・印刷してください。



(1月22日(水)15:00)



ランチョン・ファイアサイドセミナープレレジストレーション開始

★登録確認画面より、参加登録時に使用したIDとパスワードにてログインの上お申し込みください。

(学術集会当日)

学術集会当日は、ご自身でダウンロード・印刷いただいた「登録確認書」をお持ちください。

自動発券機(CARM)より、ネームカード・領収書・教育セッションチケット(お申し込みの方のみ)・ランチョン・ファイアサイドセミナーチケット(お申し込みの方のみ)が発行されます。

※ランチョン・ファイアサイドセミナーをお申し込みの場合でも、登録確認書には参加登録と教育セッションの情報のみが表示されます。

プレレジストレーション時の注意点

- ◎ プレレジストレーション完了メールの自動配信・その他のご連絡はすべてE-mailで行います。
必ず連絡先として使用されるE-mailアドレスをご入力ください。
- ◎ E-mailアドレスがログインIDとなります。
個人情報登録完了メールにログインIDが記載されますので、ご自身で保管してください。
- ◎ 参加登録後の取り消しは、お受けいたしかねます。
お支払いいただいた参加登録費は理由の如何に関わらず返金いたしませんので、二重登録にご注意ください。
- ◎ 登録内容に変更がある場合は、下記登録事務局までE-mailまたはFAXの書面にてご連絡ください。
- ◎ 団体登録は受付いたしません。
- ◎ 領収書は、原則、学術集會会期中に発行いたします。

プレレジストレーションに関するお問い合わせ先

第78回日本循環器学会学術集会 参加登録事務局

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-2 興信ビル2F
TEL: 03-5283-8898 (受付時間: 平日10時より17時半まで)
FAX: 03-5283-5952
E-mail: reg-jcs2014@convention.co.jp

チーム医療セッション（旧：コメディカルセッション）開催要項

〈チーム医療セッション概要〉

第78回日本循環器学会学術集会では、チーム医療の方を対象としたセッションを会期中に行います。チーム医療の方が中心となる一般演題（口述・ポスター）、ジョイントシンポジウムを含む5つのシンポジウム、そして専門家による5つの教育講演がございます。なお、コメディカル賞（口述）において優秀演題を選定し、学術集会にて表彰いたします。

多数のご参加をお待ち申し上げます。

参加資格

チーム医療スタッフ（看護師、薬剤師、臨床工学技士、臨床検査技師、栄養士、療法士、救急救命士、医療ソーシャルワーカー、その他）

※日本循環器学会の会員でなくても参加ができます。

参加費

7,000 円（所定の証明書の提示が必要です）

※チーム医療セッション以外の第78回日本循環器学会学術集会のセッションにもご参加いただけます。

【教育講演】

1. 放射線による人体への影響

（学会1日目 3月21日（金）8：30～10：00 第17会場 JPタワー 4F ホール1-2）

座長：江口 陽一（山形大学 放射線部）

中川 義久（天理よろず相談所病院 循環器内科）

（1）低線量放射線被ばくに伴う発がんリスク

島田 義也（放射線医学総合研究所 医療被ばく研究プロジェクト）

（2）循環器領域の放射線防護に関するICRP（国際放射線防護委員会）等の最近の動向～従事者と患者における放射線防護～

菊地 透（自治医科大学 RI センター）

（3）心カテ室における放射線防護

粟井 一夫（榊原記念病院 放射線科）

2. 循環器疾患治療薬の使い方～知っておくべき相互作用と重篤な副作用～

（学会2日目 3月22日（土）11：10～12：40 第17会場 JPタワー 4F ホール1-2）

座長：長谷川純一（鳥取大学 薬物治療内科）

渡邊 裕司（浜松医科大学 臨床薬理学）

（1）臨床現場で知っておくべき循環器薬の相互作用

志賀 剛（東京女子医科大学 循環器内科）

（2）薬剤の催不整脈作用（主としてTdP）とその臨床的特徴

加藤 貴雄（国際医療福祉大学三田病院）

（3）降圧薬の副作用と注意すべきポイント

植田真一郎（琉球大学）

（4）心不全治療薬の副作用と注意するポイント

山本 一博（鳥取大学 病態情報内科）

3. 不安や抑うつへの対処方法

（学会2日目 3月22日（土）14：40～16：10 第17会場 JPタワー 4F ホール1-2）

座長：伊藤 弘人（国立精神・神経センター精神保健研究所）

宇佐美しおり（熊本大学 保健学科 精神看護学分野）

（1）心臓病患者の不安や抑うつ：国立高度専門医療研究センターの共同プロジェクトの観点から 伊藤 弘人（国立精神・神経医療研究センター）

（2）心臓病患者の不安や抑うつ：リエゾン精神看護の立場から

竹原 歩（兵庫県立姫路循環器病センター 看護部）

- (3) 循環器疾患患者の不安や抑うつへの対処～臨床心理士の立場から

小林 清香(東京女子医科大学 神経精神科)

4. 循環器疾患の画像診断の理解

(学会3日目 3月23日(日) 13:50~15:20 第17会場 JPタワー 4F ホール1-2)

座長: 小林 欣夫(千葉大学 循環器内科学)
梁川 範幸(東千葉メディカルセンター)

- (1) 循環器領域における非侵襲的画像診断
高岡 浩之(千葉大学 循環器内科学)
(2) 心臓CT検査の有用性
井田 義宏(藤田保健衛生大学病院)
(3) 心臓MRIのアドバンテージ
松浦 幸広(金沢大学 放射線部)
(4) 心臓疾患における核医学検査が果たす役割
飯森 隆志(千葉大学 放射線部)

5. 高齢心疾患患者の疾病管理のポイント

(学会3日目 3月23日(日) 16:30~18:00 第17会場 JPタワー 4F ホール1-2)

座長: 原田 和昌(東京都健康長寿医療センター 循環器内科)
高橋 哲也(東京工科大学 医療保健学部)

- (1) 高齢者心不全の新しい捉え方
原田 和昌(東京都健康長寿医療センター 循環器内科)
(2) 高齢者心不全の在宅医療
弓野 大(ゆみのハートクリニック)
(3) 高齢者心疾患患者の疾病管理のポイント
野出 孝一(佐賀大学 循環器内科)

【シンポジウム】

1. [日本遠隔医療学会—日本循環器学会ジョイントシンポジウム]

遠隔モニタリングをいかにチームで活用するか?

(学会1日目 3月21日(金) 11:10~12:40 第17会場 JPタワー 4F ホール1-2)

座長: 酒巻 哲夫(高崎市医師会看護専門学校)
三浦稚郁子(榊原記念病院 看護部)

- (1) ITを活用した在宅PT-INR自己測定と共同薬物治療管理システム～ワルファリンと相互作用を有する薬剤との併用薬物療法支援～
山村 恵子(愛知学院大学 薬学部 臨床薬剤学)
(2) 岡山大学病院における遠隔モニタリングチームの活動
竹中 祐樹(岡山大学 循環器内科学)
(3) 遠隔モニタリングシステムの現状と課題
前田 友未(榊原記念病院 看護部)
(4) 慢性心不全における遠隔モニタリングの役割: 多職種協働と行動変容
琴岡 憲彦(佐賀大学 先端心臓病学)
(5) プレホスピタルにおける遠隔モニタリングとチーム医療: 12誘導心電図伝送の活用
野々木 宏(静岡県立総合病院)

2. [ハートチーム]

再入院予防を目指した心不全患者へのチームアプローチ

(学会2日目 3月22日(土) 8:30~10:00 第17会場 JPタワー 4F ホール1-2)

座長: 佐藤 幸人(兵庫県立尼崎病院 循環器内科)
眞茅みゆき(北里大学 看護学研究科)

- (1) 心不全チーム医療における集団指導教室は、効果的かつ効率的な患者教育をもたらす
林 亜希子(北里大学 看護部)

- (2) 心筋梗塞・心破裂リスクアセスメントシートの導入による試み
佐々木夏美(東北大学 看護部 西3階病棟 ICU3)
 - (3) 心不全患者に対する疾病管理プログラムとしての外来心臓リハビリプログラム
小西 治美(国立循環器病研究センター 心血管リハビリテーション科)
 - (4) 慢性心不全の在宅ケア～多職種心不全クリニックにおける看護師の取り組み～
伊東 紀揮(ゆみのハートクリニック)
 - (5) 植込型左心補助人工心臓装着患者の在宅管理におけるチーム医療～人工心臓・スキンケア
看護外来開設に向けて～
堀 由美子(国立循環器病研究センター 看護部・移植部)
3. [日本臨床栄養学会—日本循環器学会ジョイントシンポジウム]
栄養関連指標を用いた心疾患患者の管理
(学会2日目 3月22日(土) 17:20～18:50 第17会場 JPタワー 4F ホール1-2)
座長: 中村 丁次(神奈川県立保健福祉大学)
近藤 和雄(お茶の水女子大学 生活環境教育研究センター)
- (1) 心臓移植患者における栄養指標の推移～CONUT Scoreを用いて～
豊政 圭未(国立循環器病研究センター 臨床検査部)
 - (2) Mini Nutritional Assessment (MNA) による心不全急性期の栄養評価と予後との関連
鈴木 規雄(聖マリアンナ医科大学 循環器内科)
 - (3) 心不全患者における栄養介入指標の検討
佐藤 敦子(仙台医療センター 仙台オープン病院 栄養管理室)
 - (4) 心不全患者における静脈栄養の水分・エネルギー調整と管理栄養士の介入
可知 直子(せんば東京高輪病院)
4. [日本心臓リハビリテーション学会—日本循環器学会ジョイントシンポジウム]
心臓リハビリテーションの新たな評価指標をいかに活用するか
(学会3日目 3月23日(日) 8:30～10:00 第17会場 JPタワー 4F ホール1-2)
座長: 伊東 春樹(榊原記念病院 循環器内科)
吉田 俊子(宮城大学 看護学部)
- (1) 心疾患患者における下肢筋肉量・下肢筋力・運動耐容能に対する加齢の影響と心臓リハビリテーションの効果
山本 壱弥(国立循環器病研究センター 心血管リハビリテーション科)
 - (2) 疾患別に見る運動療法の効果判定における各種心肺運動負荷試験指標
前田 知子(榊原記念クリニック 検査科)
 - (3) 動脈硬化の指標に対する定期的運動療法の効果
松本 泰治(東北大学 循環器内科学)
 - (4) 心臓リハビリテーションにおける栄養評価
玉木 大輔(昭和大学藤が丘病院 栄養科)
 - (5) チーム医療の中でどうデータを共有していくか
吉田知香子(群馬県立心臓血管センター 看護部)
5. [日本医療機器学会—日本循環器学会ジョイントシンポジウム]
循環器診療における医療機器の安全管理体制
(学会3日目 3月23日(日) 11:10～12:40 第17会場 JPタワー 4F ホール1-2)
座長: 安原 洋(東京大学 手術部)
玉井 久義(虎の門病院 麻酔科)
- (1) インターネット通信サービスを用いた植込型補助人工心臓装着患者の安全管理
柏 公一(東京大学 医療機器管理部)
 - (2) DVD 導入によるPCPSプライミング学習の効果～教育均てん化・安全性向上のための取り組み～
藤田有希代(国立循環器病研究センター 看護部)

- (3) 当院インターベンションセンターにおける医療機器管理体制
川崎 誠(済生会横浜市東部病院 臨床工学部)
- (4) CPAP、ASV の管理
竹内 正人(島原病院)

【コメディカル賞審査講演会】

第4回コメディカル賞審査講演会1

(学会1日目 3月21日(金) 13:50~15:20 第17会場 JPタワー 4F ホール1-2)

座長: 荒井 秀典(京都大学 人間健康科学科)

三浦雅郁子(榊原記念病院 看護部)

- (1) 超高齢社会を背景とした心臓血管外科術後の誤嚥性肺炎に対する危険因子解析: ICUにおける摂食・嚥下介入アルゴリズム構築の試み
宮田栄里子(紀南病院 ICU)
- (2) 肺高血圧症患者において女性の重症患者は皮膚症状の存在がQOL低下をもたらす
高田 裕美(慶應義塾大学 循環器内科)
- (3) レジスタンストレーニングが肺高血圧症患者の肺循環動態に及ぼす影響
安藤 可織(国立病院機構岡山医療センター リハビリテーション科)
- (4) TypeD傾向が心臓血管疾患患者の抑うつ状態に与える影響
長谷川恵美子(聖学院大学 人間福祉学部)
- (5) 多職種全員が利用できる教育ツール「書き込み式心血管リハビリオリジナルガイドブック」の作成とその利用効果についての検討
藤原智亜紀(獨協医科大学日光医療センター 看護部)
- (6) 当院におけるDoor-to-balloon-timeの考察~問題点の検索と対策の検討~
水野奈津己(新東京病院)

第4回コメディカル賞審査講演会2

(学会1日目 3月21日(金) 16:30~18:00 第17会場 JPタワー 4F ホール1-2)

座長: 伊藤 浩(岡山大学 循環器内科学)

田嶋 明彦(埼玉県立大学 保健医療福祉学部)

- (7) 5フレンチガイディングカテーテルによる光干渉断層映像法施行の可能性
白樫 貴宏(大阪府済生会中津病院 臨床工学技術科)
- (8) 一回心拍出量の持続モニタリングは心タンポナーデを早期に発見する
村澤 孝秀(東京大学 医療機器管理部)
- (9) 心筋内脂肪沈着の性差による特徴
木村 紀子(みなみ野ハートクリニック)
- (10) 肥満とメタボリック症候群で脂肪の質は違うのか? ~CTでの比較検討~
望月 純二(みなみ野ハートクリニック 放射線科)
- (11) Heart Failure with Preserved Left Ventricular Ejection Fraction (HFPEF) 患者における遅延造影MRIの予後予測に関する有用性の検討
齋藤 央(神奈川県立循環器呼吸器病センター 検査科)
- (12) 放射線被ばくに関するガイドラインを導入したチーム医療における診療放射線技師の新たな取り組みとその成果
加藤 京一(昭和大学 保健医療学研究科)

【一般演題（口述・ポスター）】

分野1：臨床部門

- | | |
|------------|-------------------|
| 1. 看護（急性期） | 4. 食事指導・栄養管理 |
| 2. 看護（慢性期） | 5. リハビリテーション・身体活動 |
| 3. 薬剤・薬物療法 | 6. 心肺運動負荷試験 |

分野2：チーム医療システム部門

- | | |
|-----------------|---------------|
| 7. 事例・症例報告 | 11. 医療倫理・医療安全 |
| 8. 患者教育・カウンセリング | 12. 医療専門職の教育 |
| 9. クリティカルパス | 13. 救命救急・災害医療 |
| 10. チーム医療 | 14. その他 |

分野3：検査部門

- | | |
|---------------------|---------------|
| 15. 侵襲検査・血管内治療（冠動脈） | 17. 非侵襲検査・エコー |
| 16. 不整脈・アブレーション | |

分野4：治療部門

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 18. 画像診断（CT. MR. RI） | 20. 血液浄化・補助循環・呼吸管理 |
| 19. 放射線防護 | |

学術集会問い合わせ先のご案内

第78回日本循環器学会学術集会ホームページ <http://www2.convention.co.jp/jcs2014/> を開設しております。演題応募や学術集会プログラムの確認などにご利用ください。本会ホームページからもリンクしております。

1. 採否通知

2013年11月29日(金)から、採択された演題の登録番号、採択演題名、筆頭演者名をホームページでカテゴリー別に掲示しておりますので、各自ご確認ください。

2. 国内演者の資格

国内演者は、演題応募の時点で共同演者を含む全員が本学会会員であり、かつ2013年度会費納入者である必要があります。入会をご希望の方は、Web上での登録をお願いいたします。なお、入会は、入会申込書の提出と入会金2,000円、および2013年度会費15,000円(支部年会費含む)のお振込みをもって完了します。

ホームページ <http://www.j-circ.or.jp> の「ご入会案内」に入会申込書請求の入力フォームがありますのでご利用ください。

(一社)日本循環器学会事務局
〒100-0011
東京都千代田区内幸町1-1-1
帝国ホテルタワー18F
TEL: 03-5501-0861
FAX: 03-5501-9855
E-mail: admin@j-circ.or.jp

3. 演題取り下げについて

演題の取り消しは、会期初日の2ヶ月前(2014/1/21)までに連絡があった場合に限り受理します。以後(2014/1/22～)については、発表業績として取り扱うとし、取り消しは致しかねます。

4. その他

第78回学術集会のプログラム・運営などに関するお問い合わせは、運営準備室までE-mailまたはFaxにてご連絡ください。

第78回日本循環器学会学術集会 運営準備室
(日本コンベンションサービス株式会社)
TEL: 03-3503-5902
FAX: 03-3508-1302
E-mail: jcs2014@convention.co.jp

第79回日本循環器学会学術集会 (JCS2015)

会期：2015年 4 月24日 (金)～26日 (日)

会長：小川 久雄 (熊本大学循環器内科学, 国立循環器病研究センター)

会場：中之島会場, グランフロント大阪会場 (大阪市)

メインテーマ：日本発—最新の循環器病学

Late-Breaking Cardiovascular Medicine from Japan

1. 美甘レクチャー

Paul M Ridker (Harvard Medical School)

2. 真下記念講演

寒川 賢治 (国立循環器病研究センター)

3. 会長特別企画 (予定)

血管機能および循環障害から見た冠動脈疾患の治療戦略

循環器疾患における先制医療：新しい画像診断とバイオマーカーの応用

大規模レジストリーの将来展望

本邦における新規抗血栓薬の新展開

糖尿病合併の冠動脈疾患に対する治療戦略

不整脈治療に対するアブレーション進歩

編集委員長からのメッセージ

Circ J Vol. 78 No. 2 掲載

Editorial Statistics and Best Reviewers Award for 2013

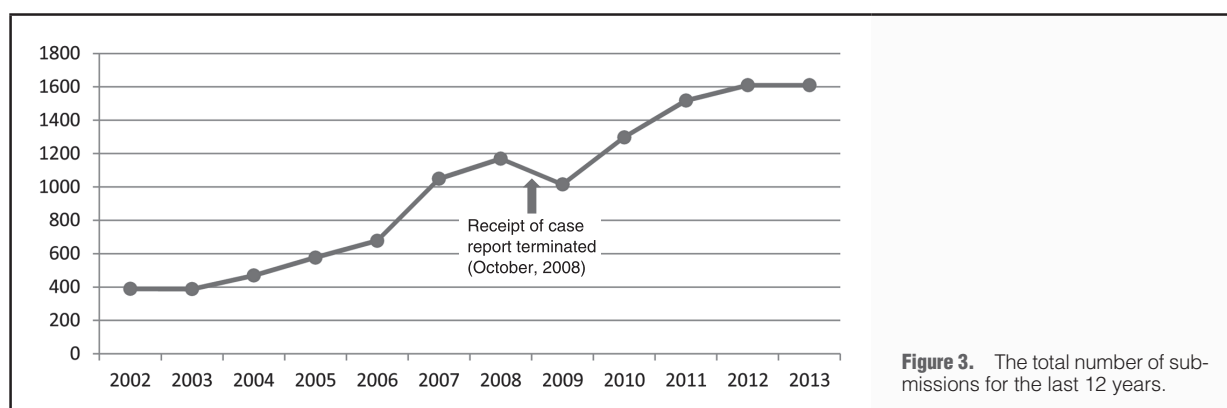
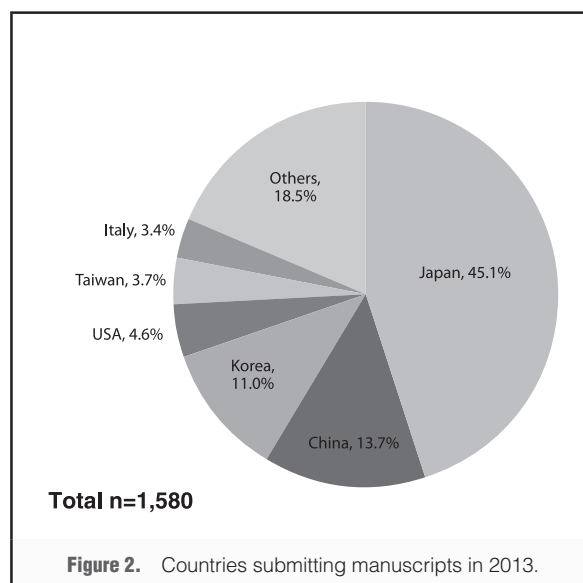
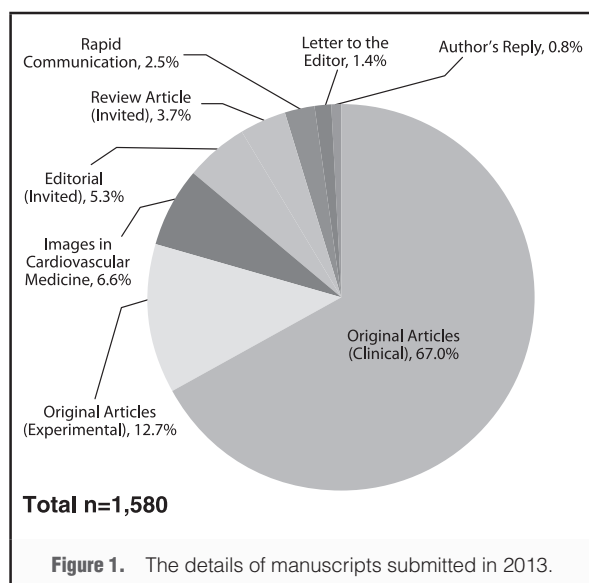
Hiroaki Shimokawa, MD, PhD

Dear Colleagues,

On behalf of the *Circulation Journal*, I am pleased to announce the editorial statistics for 2013, and the recipients of the Best Reviewers Awards for 2013.

1. Editorial statistics for 2013

As shown in **Figure 1**, we received **1,610** manuscripts in 2013, the highest number on record, for publication in the Journal, including 1,260 original papers (1,059 clinical and 201 experimental), 58 invited review articles, 84 invited editorials, 39 rapid communications, and 105 images in cardiovascular medicine. Approximately half were submitted from Japan, followed by China, Korea, the U.S.A., Taiwan and Italy (**Figure 2**). For the last 12 years, the number of submissions has been steadily increasing even after we terminated publication of case reports in October 2008 and the East Japan Earthquake Disaster (**Figure 3**). The abovementioned 6 countries have remained



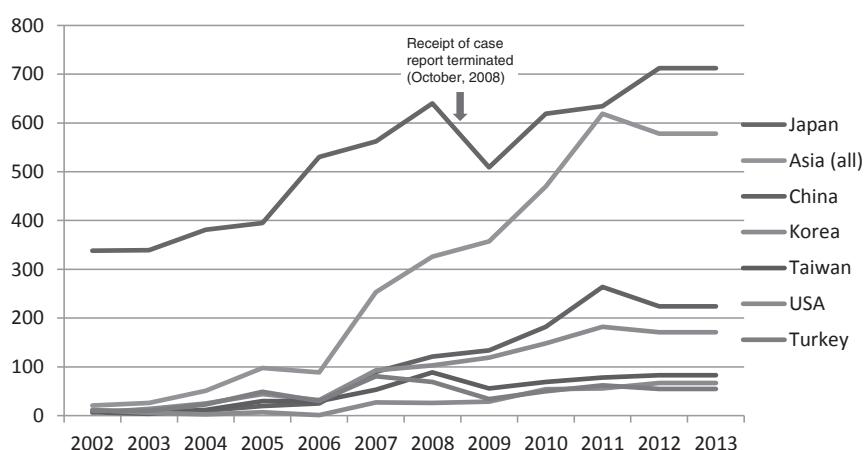
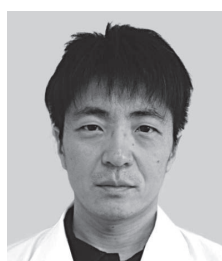


Figure 4. The number of submissions for the last 12 years in top 6 countries. Asia (All): all Asian countries except Japan.

the top 6 countries in terms of paper submissions over that period (**Figure 4**). The acceptance rate for original manuscripts in 2013 was approximately **19.1%**.

2. Best Reviewers Awards for 2013

In 2013, a total of 862 reviewers kindly reviewed the manuscripts submitted. In appreciation of their valuable contributions, we have selected the 20 Best Reviewers of the Year 2013 as follows:



Osamu Tsukamoto, MD
(Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka)

Number of reviews: 32
RPS: 192.0
Previous awards: 2012



Hiroshi Asanuma, MD
(Kyoto Prefectural University of Medicine, Kyoto)

Number of reviews: 31
RPS: 180.7
Previous awards: 2009, 2010, 2011, 2012



Shoji Sanada, MD
(Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka)

Number of reviews: 26
RPS: 153.0
Previous awards: 2008, 2009, 2010, 2011, 2012



Kyung-Duk Min, MD
(National Cerebral and Cardiovascular Center, Osaka)

Number of reviews: 33
RPS: 135.3



Kazuhiro Yamamoto, MD
(Faculty of Medicine, Tottori University, Tottori)

Number of reviews: 16
RPS: 96.0
Previous awards: 2008, 2010, 2011, 2012



Naohiko Takahashi, MD
(Oita University, Oita)

Number of reviews: 14
RPS: 88.4
Previous awards: 2011, 2012



Shinichi Niwano, MD
(Kitasato University,
Kanagawa)

Number of reviews: 15
RPS: 84.0
Previous awards: 2009, 2010,
2011, 2012



Toru Maruyama, MD
(Kyushu University, Fukuoka)

Number of reviews: 15
RPS: 81.9
Previous awards: 2012



Akira Fujiki, MD
(Shizuoka Red Cross Hospital,
Shizuoka)

Number of reviews: 16
RPS: 80.0
Previous awards: 2009, 2010,
2011, 2012



Hiroyuki Morita, MD
(The University of Tokyo,
Tokyo)

Number of reviews: 12
RPS: 79.6



Koichiro Kinugawa, MD
(The University of Tokyo,
Tokyo)

Number of reviews: 14
RPS: 76.0



Hisashi Kai, MD
(Kurume University, Fukuoka)

Number of reviews: 12
RPS: 72.0
Previous awards: 2011, 2012



Kimio Satoh, MD
(Tohoku University Graduate
School of Medicine, Miyagi)

Number of reviews: 8
RPS: 68.0



Toru Suzuki, MD
(The University of Tokyo,
Tokyo)

Number of reviews: 10
RPS: 67.1



Hiroshi Tada, MD
(University of Fukui Hospital,
Fukui)

Number of reviews: 12
RPS: 67.0
Previous awards: 2012



Isao Taguchi, MD
(Dokkyo Medical University,
Saitama)

Number of reviews: 11
RPS: 65.1



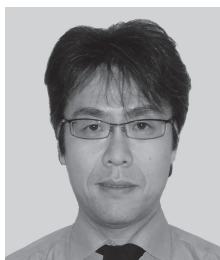
Tetsushi Furukawa, MD
(Tokyo Medical and Dental
University, Tokyo)

Number of reviews: 11
RPS: 63.6
Previous awards: 2009, 2011,
2012



Masaaki Uematsu, MD
(Kansai Rosai Hospital, Hyogo)

Number of reviews: 11
RPS: 63.0
Previous awards: 2009, 2010,
2011



Jun-ichi Kotani, MD
(National Cerebral and
Cardiovascular Center, Osaka)

Number of reviews: 11
RPS: 61.6
Previous awards: 2011



Masaharu Ishihara, MD
(National Cerebral and
Cardiovascular Center, Osaka)

Number of reviews: 12
RPS: 60.0
Previous awards: 2009, 2010,
2011

***The Reviewer Performance Score (RPS)** is determined as follows for reviewers who made at least 6 reviews in 2013 (review time limit, 14 days):

***RPS**=[(Number of reviews completed within 1 week)×2+(number of reviews completed within 2 weeks)×1+(number of reviews completed within 3 weeks)×0.2]×quality of review (average)–(number of declined reviews)+(number of editorial comments published in the Journal)×10.

The review quality of reviewers was evaluated for each manuscript by an Associate Editor who was in charge of the manuscript (range: 1~3) and the average score used.

The above Reviewers will be awarded by the Japanese Circulation Society with a Certificate of Achievement and an honorarium.

In the year ahead in 2014, we expect a steady increase in the number of submissions, as well as an increase in the scientific impact of the Journal.

Hiroaki Shimokawa, MD, PhD
Editor-in-Chief
Circulation Journal
(Released online January 16, 2014)

Circ J Vol. 78 No. 3 掲載

Circulation Journal Awards for the Year 2013

Hiroaki Shimokawa, MD, PhD

Dear Colleagues,

On behalf of the Editorial Team of *Circulation Journal*, I am pleased to announce the *Circulation Journal* Awards for the Year 2013.

The aim of these Awards is to recognize papers published in 2013, both clinical and experimental studies, that were highly appreciated by the Editorial Team. The selection process comprises 2 steps. In the first step, from 261 original papers published in the Journal in 2013, our 33 Japanese Associate Editors selected papers with a high scientific level in their respective fields, and in the second step, the 2 Associate Editorial Teams (16 on 1 team and 17 on the other) further evaluated the selected papers in terms of originality, contribution to cardiovascular science, manner of paper preparation, and future possibilities.

In the year of 2013, the following 4 papers have been selected for the *Circulation Journal* Awards.

< First Place in the Clinical Investigation Section >

Novel *SCN3B* Mutation Associated With Brugada Syndrome Affects Intracellular Trafficking and Function of Nav1.5

Taisuke Ishikawa, Naohiko Takahashi, Seiko Ohno, Harumizu Sakurada, Kazufumi Nakamura, Young Keun On, Jeong Euy Park, Takeru Makiyama, Minoru Horie, Takuro Arimura, Naomasa Makita, Akinori Kimura

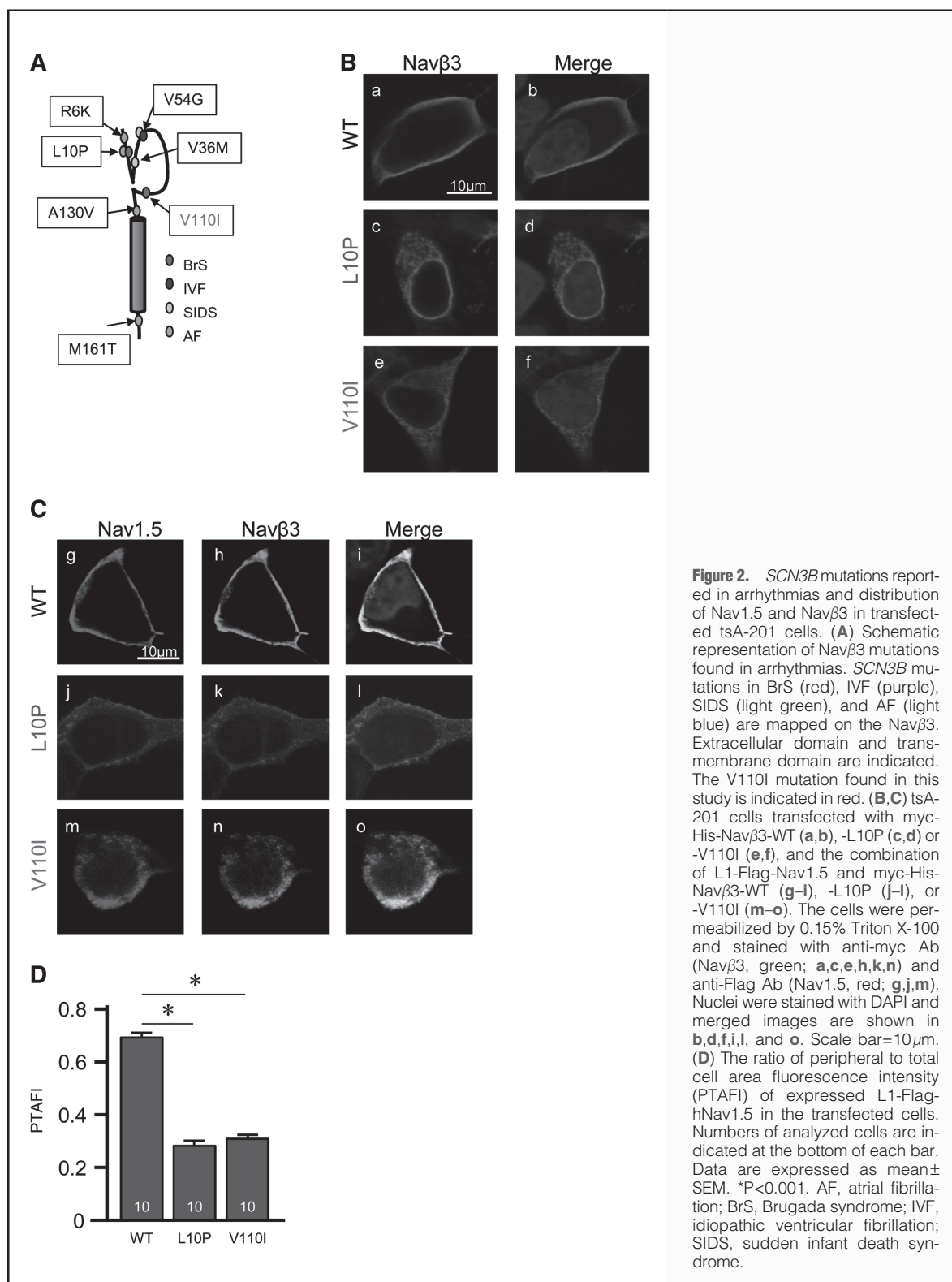
(Department of Molecular Pathogenesis, Medical Research Institute, and Division of Genetic Regulation, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo; Department of Laboratory Examination and Diagnostics, Oita University, Oita; Department of Cardiovascular and Respiratory Medicine, Shiga University of Medical Science, Otsu; Department of Cardiology, Tokyo Metropolitan Hiroo Hospital, Tokyo; Department of Cardiovascular Medicine, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama; Department of Cardiovascular Medicine, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto; Department of Molecular Pathophysiology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki, Japan; and Division of Cardiology, Samsung Medical Center, Sungkyunkwan University School of Medicine, Seoul, Korea)



Background: Brugada syndrome (BrS) is characterized by specific alterations on ECG in the right precordial leads and associated with ventricular arrhythmia that may manifest as syncope or sudden cardiac death. The major causes of BrS are mutations in *SCN5A* for a large subunit of the sodium channel, Nav1.5, but a mutation in *SCN3B* for a small subunit of sodium channel, Navβ3, has been recently reported in an American patient.

Methods and Results: A total of 181 unrelated BrS patients, 178 Japanese and 3 Koreans, who had no mutations in *SCN5A*, were examined for mutations in *SCN3B* by direct sequencing of all exons and adjacent introns. A mutation, Val110Ile, was identified in 3 of 178 (1.7%) Japanese patients, but was not found in 480 Japanese controls. The *SCN3B* mutation impaired the cytoplasmic trafficking of Nav1.5, the cell surface expression of which was decreased in transfected cells. Whole-cell patch clamp recordings of the transfected cells revealed that the sodium currents were significantly reduced by the *SCN3B* mutation.

Conclusions: The Val110Ile mutation of *SCN3B* is a relatively common cause of *SCN5A*-negative BrS in Japan, which has a reduced sodium current because of the loss of cell surface expression of Nav1.5.¹ (*Circ J* 2013; **77**: 959–967)



< Second Place in the Clinical Investigation Section >

Plasma Cyclophilin A Is a Novel Biomarker for Coronary Artery Disease

Kimio Satoh, Yoshihiro Fukumoto, Koichiro Sugimura, Yutaka Miura, Tatsuo Aoki, Kotaro Nochioka, Shunsuke Tatebe, Saori Miyamichi-Yamamoto, Toru Shimizu, Shizuka Osaki, Yusuke Takagi, Ryuji Tsuburaya, Yoshitaka Ito, Yasuharu Matsumoto, Masaharu Nakayama, Morihiko Takeda, Jun Takahashi, Kenta Ito, Satoshi Yasuda, Hiroaki Shimokawa

(Department of Cardiovascular Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Japan)

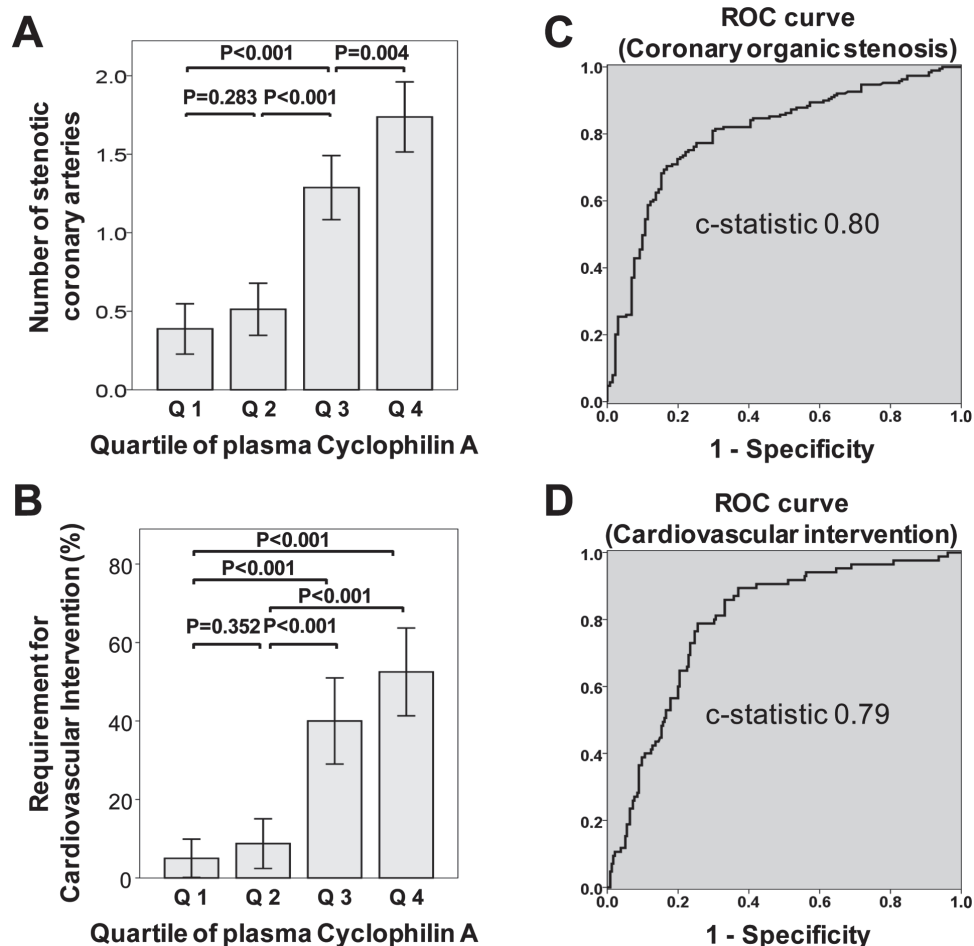


Figure 2. Number of stenotic coronary arteries and requirement for cardiovascular intervention according to quartiles of cyclophilin A (CyPA). Data from 320 patients with and without coronary stenosis are divided according to the quartiles of plasma CyPA levels. The CyPA levels were as follows: 1st quartile (Q1), <6.1 ng/ml; 2nd quartile (Q2), 6.2–9.6 ng/ml; 3rd quartile (Q3), 9.7–17.4 ng/ml; 4th quartile (Q4), >17.5 ng/ml. P<0.001 by the log-rank test for the overall comparison among the groups. **(A)** Number of stenotic coronary arteries according to quartiles of CyPA. CyPA was elevated in patients in Q3 (P<0.001) and Q4 (P<0.001) compared with Q1. The number of stenotic coronary arteries increased sequentially as the quartiles increased. **(B)** Requirement for cardiovascular intervention according to quartiles of CyPA. The requirement was higher in patients with Q4 compared with Q1 (P<0.001) and Q2 (P<0.001). Cardiovascular intervention included percutaneous coronary intervention (PCI) and coronary artery bypass grafting (CABG). **(C, D)** Receiver-operating-characteristic curves (ROC) and c-statistic for baseline measurements of CyPA. Also shown are the sensitivity and specificity of these measures. **(C)** ROC curve describing the diagnostic performance of CyPA to identify coronary organic stenosis >50% in at least 1 vessel as compared with the reference standard of invasive quantitative coronary angiography (CAG). The c-statistic was 0.80 (95% CI, 0.75–0.85). **(D)** ROC curve describing the diagnostic performance of CyPA to identify the requirement for future cardiovascular intervention as compared with the reference standard of invasive quantitative CAG. The c-statistic was 0.79 (95% CI, 0.74–0.85). CI, confidence interval.

Background: Oxidative stress induces secretion of cyclophilin A (CyPA) from vascular smooth muscle cells and it plays a crucial role in the pathogenesis of atherosclerosis in mice. Therefore, we tested our hypothesis that plasma CyPA levels are increased in patients with coronary artery diseases (CAD).

Methods and Results: In 320 consecutive patients undergoing coronary angiography, we examined the relationship between plasma CyPA levels and the severity of CAD. We measured plasma CyPA by an immunoassay based on the sandwich technique. Plasma CyPA levels were significantly higher in patients with significant coronary stenosis compared to those without it ($P<0.001$). A positive correlation was noted between plasma CyPA levels and significant coronary stenosis. The average number of stenotic coronary arteries and the need for coronary intervention were significantly increased in the quartiles of higher CyPA levels (both $P<0.001$). Indeed, the plasma CyPA level significantly correlated with the presence of CAD (adjusted odds ratio for CAD, 6.20; 95% confidence interval, 3.14–12.27; $P<0.001$). Interestingly, plasma levels of CyPA increased according to the number of atherosclerotic risk factors, all of which induce oxidative stress. Furthermore, plasma levels of CyPA significantly reduced after medical treatment of risk factors. Finally, CyPA was strongly expressed in coronary atherosclerotic plaque in patients with myocardial infarction.

Conclusions: Plasma CyPA level is a novel biomarker for oxidative stress and CAD in humans.² (*Circ J* 2013; **77**: 447–455)

< First Place in the Experimental Investigation Section >

Ultrastructural Maturation of Human-Induced Pluripotent Stem Cell-Derived Cardiomyocytes in a Long-Term Culture

Tsukasa Kamakura, Takeru Makiyama, Kenichi Sasaki, Yoshinori Yoshida, Yimin Wuriyanghai, Jiarong Chen, Tetsuhisa Hattori, Seiko Ohno, Toru Kita, Minoru Horie, Shinya Yamanaka, Takeshi Kimura

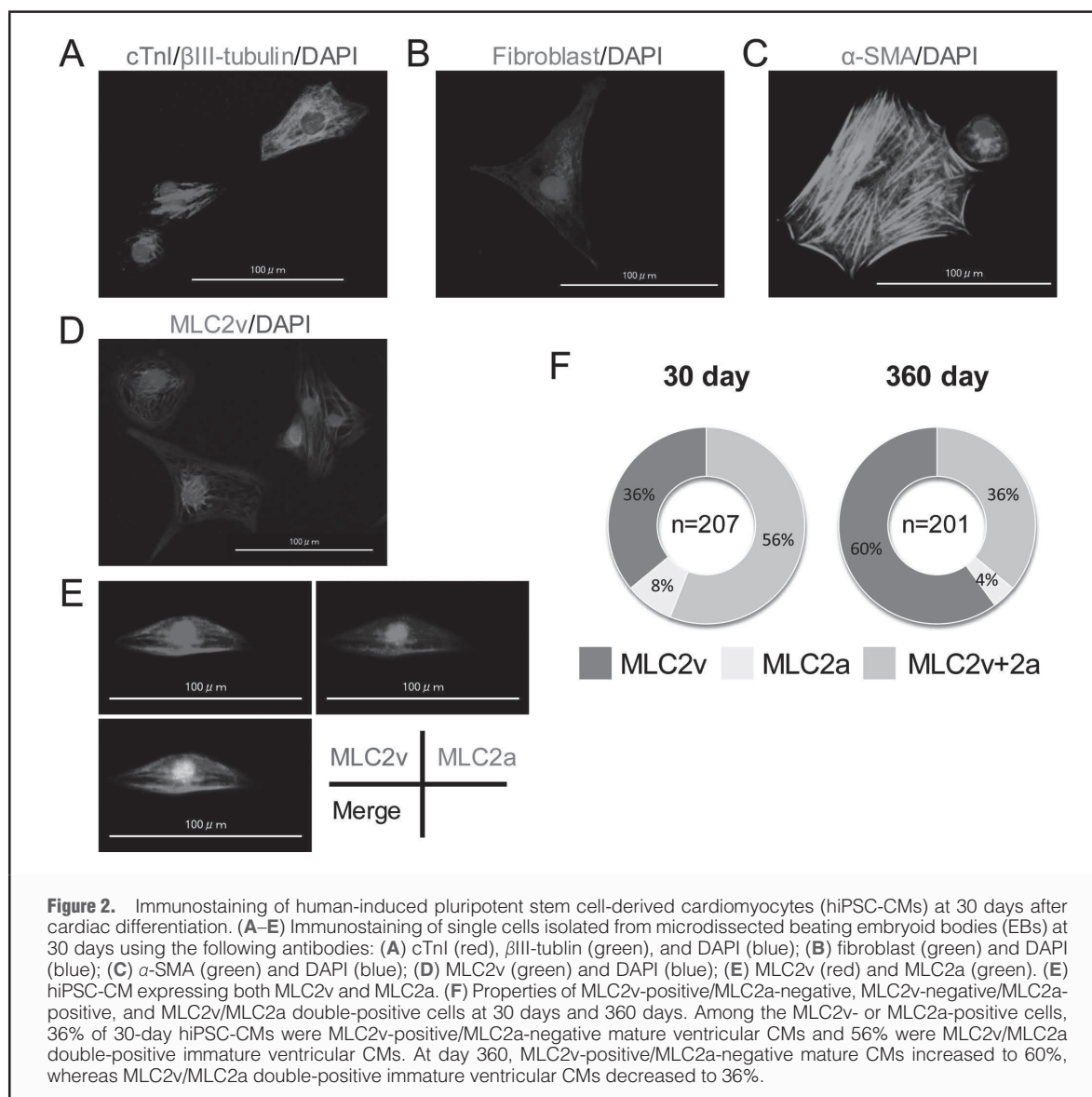
(Department of Cardiovascular Medicine, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto; Department of Cardiovascular and Respiratory Medicine, Shiga University of Medical Science, Otsu; Center for iPS Cell Research and Application (CiRA), Institute for Integrated Cell-Material Sciences Kyoto University, Kyoto; and Department of Cardiovascular Medicine, Kobe City General Hospital, Kobe, Japan)



Background: In the short- to mid-term, cardiomyocytes generated from human-induced pluripotent stem cells (hiPSC-CMs) have been reported to be less mature than those of adult hearts. However, the maturation process in a long-term culture remains unknown.

Methods and Results: A hiPSC clone generated from a healthy control was differentiated into CMs through embryoid body (EB) formation. The ultrastructural characteristics and gene expressions of spontaneously contracting EBs were analyzed through 1-year of culture after cardiac differentiation was initiated. The 14-day-old EBs contained a low number of myofibrils, which lacked alignment, and immature high-density Z-bands lacking A-, H-, I-, and M-bands. Through the long-term culture up to 180 days, the myofibrils became more tightly packed and formed parallel arrays accompanied by the appearance of mature Z-, A-, H-, and I-bands, but not M-bands. Notably, M-bands were finally detected in 360-day-old EBs. The expression levels of the M-band-specific genes in hiPSC-CMs remained lower in comparison with those in the adult heart. Immunocytochemistry indicated increasing number of MLC2v-positive/MLC2a-negative cells with decreasing number of MLC2v/MLC2a double-positive cells, indicating maturing of ventricular-type CMs.

Conclusions: The structural maturation process of hiPSC-CMs through 1-year of culture revealed ultrastructural sarcomeric changes accompanied by delayed formation of M-bands. Our study provides new insight into the maturation process of hiPSC-CMs.³ (*Circ J* 2013; **77**: 1307–1314)



< Second Place in the Experimental Investigation Section >

Myocardial Layer-Specific Effect of Myoblast Cell-Sheet Implantation Evaluated by Tissue Strain Imaging

Yasuhiro Shudo, Shigeru Miyagawa, Satoshi Nakatani, Satsuki Fukushima, Taichi Sakaguchi, Atsuhiko Saito, Toshihiko Asanuma, Naomasa Kawaguchi, Nariaki Matsuura, Tatsuya Shimizu, Teruo Okano, Yoshiki Sawa

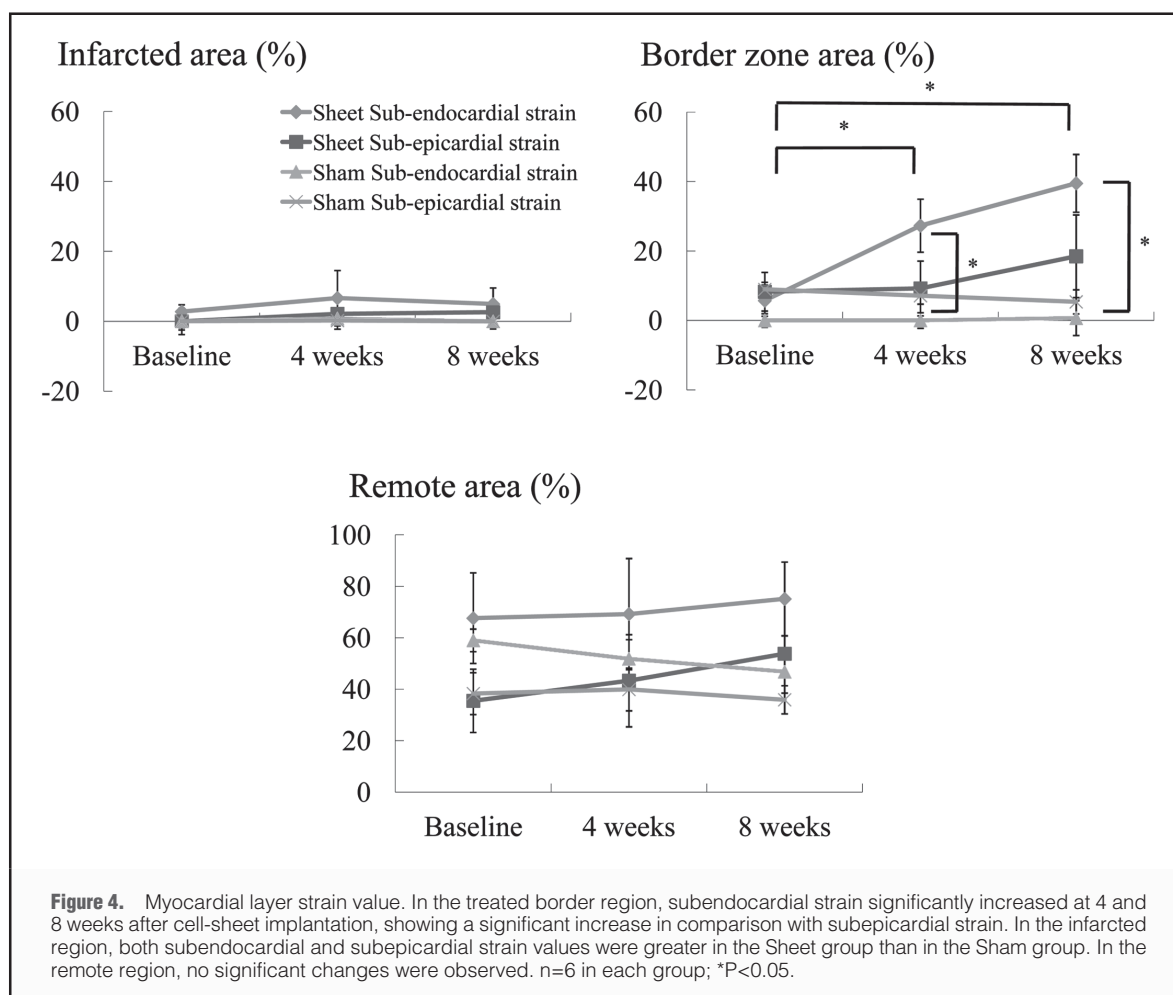
(Department of Cardiovascular Surgery, Department of Health Sciences, Division of Functional Diagnostics, Department of Pathology, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita; and Advanced Biomedical Engineer and Science, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan)



Background: The implantation of skeletal myoblast (SMB) cell-sheets over the damaged area of a myocardial infarction (MI) has been shown to improve global left ventricular (LV) function through a paracrine effect. However, the regeneration process has not been fully evaluated. We hypothesized that the use of tissue Doppler strain M-mode imaging to assess myocardial layer-specific strain might enable detailed visual evaluation of the regenerative ability of SMBs.

Methods and Results: SMBs were cultured on temperature-responsive culture dishes to generate cell-sheets. At 4 weeks after inducing anterior MI, the animals were divided into 2 groups: SMB cell-sheet implantation and sham operation (n=6 in each). A total of 30 cell-sheets (1.5×10^7 cells/sheet) were placed on the epicardium, covering the infarct and border regions. Subendocardial and subepicardial strain values were measured in the infarct, border, and remote regions by tissue Doppler strain analysis. SMB cell-sheet implantation produced the following major effects: progression of LV remodeling was prevented and global LV ejection fraction increased; the subendocardial strain was significantly greater than the subepicardial strain in the treated border region; vascular density in the subendocardium was significantly higher than in the subepicardium in the treated region; the expression of vascular endothelial growth factor was significantly increased.

Conclusions: Tissue Doppler strain analysis allows precise evaluation of the effect of cell-sheet implantation on layer-specific myocardial function.⁴ (*Circ J* 2013; **77**: 1063–1072)



Awards will be presented to the 4 research groups during the 78th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, and will also be announced on the Society website. We look forward to receiving manuscripts with high scientific impact for publication in *Circulation Journal* in 2014.

Hiroaki Shimokawa, MD, PhD
Editor-in-Chief
Circulation Journal
(Released online February 7, 2014)

References:

1. Ishikawa T, Takahashi N, Ohno S, Sakurada H, Nakamura K, On YK, et al. Novel SCN3B mutation associated with brugada syndrome affects intracellular trafficking and function of Nav1.5. *Circ J* 2013; **77**: 959–967.
2. Satoh K, Fukumoto Y, Sugimura K, Miura Y, Aoki T, Nochioka K, et al. Plasma cyclophilin A is a novel biomarker for coronary artery disease. *Circ J* 2013; **77**: 447–455.
3. Kamakura T, Makiyama T, Sasaki K, Yoshida Y, Wuriyanghai Y, Chen J, et al. Ultrastructural maturation of human-induced pluripotent stem cell-derived cardiomyocytes in a long-term culture. *Circ J* 2013; **77**: 1307–1314.
4. Shudo Y, Miyagawa S, Nakatani S, Fukushima S, Sakaguchi T, Saito A, et al. Myocardial layer-specific effect of myoblast cell-sheet implantation evaluated by tissue strain imaging. *Circ J* 2013; **77**: 1063–1072.

2014年度 Translational Research 振興事業応募要領

1. 趣 旨

日本循環器学会は循環器領域におけるわが国の臨床研究を推進するため大規模臨床試験の支援を行ってきた。最近の再生医学の進歩も含めて臨床応用・実用化の直前にある最先端の循環器基礎的研究や Translational Research を学会の研究支援事業の一環として位置付け、わが国の先進医学研究の振興に寄与することを目的とする。

2. 対象分野

下記対象分野のいずれもわが国の大学/研究・医療機関の共同研究を原則とする。

- ① 循環器領域における最先端の基礎的研究で臨床応用にあと一步の段階にある独創的な研究(新規性を重視する)
- ② 実用化直前にある循環器領域の translational research で本振興事業による助成終了時に実用化の目途が立つことが期待される研究(実現可能性を重視する)

いずれも大学/研究・医療機関の横断的・共同研究を原則とする。

3. 活動期間および採択件数

1件あたり3年間の助成とする。①、②の対象分野から各1件計2件を採択する。

4. 助 成 金

①分野については、初年度は1,000万円、次年度および次々年度は500万円とし、3年間で計2,000万円の助成を行う。

②分野については、初年度は3,000万円、次年度および次々年度は1,500万円とし、3年間で計6,000万円の助成を行う。

5. 応募資格

- ① わが国の大学/研究・医療機関の組織からの応募とし、多施設共同研究の場合、応募は研究代表者の機関からとする。
- ② 研究代表者は日本循環器学会会員(応募時点で会員であること)とする。
- ③ 班組織は原則として5名以上10名以下とし、日本循環器学会会員(※)より構成されるものとする。
※応募時点で非会員の場合は、採択時に入会することとする。
- ④ 同一研究者の複数研究課題の申請はこれをさまたげないが、選考に当っては考慮されるものとする。
- ⑤ 研究代表者は過去3年間に同助成金を受けていないこと。

6. 応募方法

研究代表者は、研究班を構成し、所定の応募書類(※)に必要事項を記入し、原本1部とコピー20部を各セットにして、日本循環器学会事務局に送付すること。なお、応募書類は返却しない。

※学会ホームページ <http://www.j-circ.or.jp> ピックアップコンテンツの「Translational Research 振興事業」からダウンロードしてください。

7. 応募期間

2014年3月3日(月)～4月18日(金)17時 ※期日・時間厳守

※応募書類が完備していない場合は申請書が受理できない場合もありますので、提出の際は十分にご確認ください。

8. 選考方法および発表

日本循環器学会学術委員会において選考し、理事会で決定する。

2014年7月中に研究代表者に対して選考結果を通知するとともに助成金を交付する。

9. 助成対象研究組織の公表

助成組織の研究課題、氏名、所属を日本循環器学会会告、ホームページ等に公表する。

10. 研究成果の報告

- ① 研究代表者は活動年度毎に報告書および収支報告書を提出する。
- ② 活動最終年度の3月学術集会時に発表を行うとともに、最終報告書を提出する。
- ③ 最終報告書は日本循環器学会ホームページに掲載する。
- ④ 研究成果を論文として発表する際は「日本循環器学会 Translational Research 振興助成による」旨書き添えることとする。

11. 応募書類提出先

(一社)日本循環器学会 事務局 学術委員会担当宛

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー 18階

循環器専門医制度

専門医制度委員会

2014年度 日本循環器学会認定循環器専門医資格認定審査について

I. 審査方法

書類審査及び筆記試験(書類審査合格者のみ筆記試験の受験資格を有する)

II. 受験資格

1. 次の5項を充足していること。
 - 1) 日本国の医師免許証を有し、医師としての人格及び見識を備えていること。
 - 2) 受験年度の4月1日現在、認定内科医/総合内科専門医/外科学会認定登録医/外科専門医/小児科専門医、いずれかの資格を取得していること。
 - 3) 本学会員で、通算して6年以上の会員歴を有すること(※1)。
 - 4) 医師免許取得後、専門医試験日前日をもって満6年以上の臨床研修歴を有すること(※2)。6年のうち3年以上は本学会指定の研修施設で研修していること。
2004年度(平成16年度)以降に医師免許を取得したものは、基本領域資格取得後、専門医試験日前日をもって満3年以上本学会指定の研修施設で研修していること(※3)。
 - 5) 「AHA ACLS プロバイダーコース」「AHA ACLS-EP コース」「AHA ACLS インストラクターコース」「AHA ACLS-EP インストラクターコース」のいずれかを受講し、受験年度の4月1日現在有効な認定を受けていること。また小児科系に限り「AHA PALS プロバイダーコース」「AHA PALS インストラクターコース」も同等資格として認める。
 2. 審査料および年会費を2013年6月末までに完納していること(※4)。
 3. 喫煙が心血管病の危険因子であることを認識し、自ら禁煙し且つ禁煙の啓発に努めること。
 4. 試験の合格後、専門医名簿への公開に同意すること。
- ※1 2014年4月1日現在6年目で可。2010年度以降の入会者は受験できません。
- ※2 2003年度以前に医師免許を取得した方は2年間のスーパーローテーションを含む。
- ※3 2011年9月以降の認定内科医資格取得者は満3年以上の研修歴が満たないため、今回受験できません。
- ※4 払込用紙は4月下旬に送付の予定です。

III. 申請方法

以下の書類を事務局まで郵送してください。①～⑤はWEBを介して作成し、印刷して提出してください。⑥はWEB上よりダウンロードして必要事項を記入して提出してください。⑦～⑧はコピーを提出してください。(①～⑧まで全ての書類を同封してお送りください)

- ① 循環器専門医資格認定審査申請書
- ② 診療実績表(A)受持入院患者一覧表
- ③ 診療実績表(B)研修記録
- ④ 診療実績表(C)手術所見、(D)外科手術記録、(E)剖検記録のいずれか
- ⑤ 研修(研修関連)施設在籍証明書
- ⑥ 循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表
- ⑦ 基本領域の資格証書のコピー
- ⑧ 「AHA ACLS プロバイダー」「AHA ACLS-EP」「AHA ACLS インストラクター」「AHA ACLS-EP インストラクター」、また小児科系に限り「AHA PALS プロバイダーコース」「AHA PALS インストラクターコース」いずれかのカードのコピー

IV. 日 程

日 程	内 容
1 月末～ 3 月 31 日	受験申請・申請書類作成期間(※ 1) <u>この期間以後の新規受験申請は受付不可</u>
4 月 1 日～ 4 月 11 日 17 時必着	申請書類提出期間(※ 2)
5 月上旬	審査料払込用紙送付(※ 3)
5 月～ 7 月中旬	申請書類審査期間
7 月下旬	書類審査結果通知(※ 4)
8 月 24 日	筆記試験施行(※ 5) 東京国際フォーラム, 梅田スカイビル
10 月下旬	合否通知

- ※ 1 受験者が WEB を介して受験申請・申請書類を作成する期間。
 ※ 2 受験者が申請書類を事務局へ送付する期間。
 この期間以後に到着した書類は一切受け付け致しません。
 ※ 3 事務局から審査料払込用紙を送付します。
 ※ 4 書類審査不合格の場合は、責任者にも判定理由を通知します。
 ※ 5 試験練習問題は学会ホームページ(一般公開)でご確認頂けます。

V. 認定について

- 試験の合格後、専門医認定申請の手続きをご案内致します。
- 認定料は 30,000 円です。

循環器専門医資格認定試験およびその申請書等において不正が判明した場合は専門医制度規則により厳格な処分が科せられます。

専門医認定更新の手続きについて

認定 4 年目12月上旬 「単位取得状況通知書」のお届け

認定 5 年目10月下旬 「循環器専門医認定更新のご案内」のお届け

認定更新に必要な条件は以下の通りです。

- 1 「更新」の意思表示をしていること
- 2 基本領域の資格を取得していること
- 3 更新に必要な単位を取得していること
(更新に必要な単位数は所定単位表をご確認ください。)
- 4 更新年度までの年会費を納入していること
- 5 認定更新料を納入していること

これらの条件を全て満たしていない場合は、資格を更新する事ができません。

◆ 認定更新の条件・手続きの詳細については次頁をご参照ください。

循環器専門医認定更新のご案内

2014年4月1日に循環器専門医の認定更新となる循環器専門医へ、2013年10月下旬に「循環器専門医認定更新のご案内」を郵送しております。

お手数ですが、以下の手順に沿ってご対応をお願いします。

認定更新の条件および手続き

	更新条件	手 続 き	対応期日
1	「更新」の意思表示※	「認定更新 WEB 申請画面」から申請をお願いします。 「認定更新 WEB 申請画面」の URL は本紙に記載しています。また認定更新 WEB 申請用 ID・PW は送付書類に記載しています。 「認定更新申請 WEB 画面」上に申請マニュアルを掲載していますので確認しながら手続きをしてください。	2013年11月21日(木)中
2	基本領域の資格を取得していること (2014年4月1日現在有効な資格であること) 〈基本領域資格〉 ・内科系 認定内科医、総合内科専門医 ・小児科系 小児科専門医 ・外科系 外科専門医、外科認定登録医		
3	更新に必要な単位の取得 〈必要単位数〉 所定単位表を参照してください。なお、所定単位表の別表Ⅰ～Ⅵについては学会ホームページ→循環器専門医制度→規定、規則に掲載分を参照してください。	9月末までの単位取得状況は送付書類をご確認ください。 - その後の状況は、学会ホームページ→循環器専門医制度→「研修単位の照会」で確認してください。 - 更新に必要な単位数を確認し自己申告で単位取得される場合は「認定更新 WEB 申請画面」から申請してください。	2014年3月31日(月)中
4	更新年度(2013年度)までの年会費の納入	- 納入状況は、「認定更新 WEB 申請画面」で確認が可能です。 - 未納のため、振替用紙が必要な方は下記専門医担当メールアドレスまでご請求をお願いします。	〃
5	認定更新料の納入	条件の1から4を充足頂いた先生から更新料振替用紙を順次発送させていただきます。郵便局よりお振り込みください。	振替用紙送付時にご案内します。

※辞退する場合も「認定更新 WEB 申請画面」から辞退申請の手続きをしてください。

認定更新 WEB 申請 URL : http://www.j-circ.or.jp/information/senmoni/web_shinsei.htm

その他

- ・認定期間終了時まで更新条件を充足していない場合、専門医資格は喪失となります。
- ・証書発送は、上記の更新条件を充足した方から、順次発送を致します。(3月中旬以降予定)
- ・更新後の認定期間は2014年4月1日～2019年3月31日となります。

【お問合せ先】

一般社団法人 日本循環器学会 事務局 専門医制度委員会担当
 TEL: 03-5501-0863 FAX: 03-5501-9855
 E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

※WEB 申請が難しい場合は、以下に必要な事項をご記入の上、FAX にて本用紙を事務局まで至急送付してください。必要書類・手続き方法を送付致します。

お名前： _____ (専門医 NO. _____)

ご住所：〒 _____ (TEL： _____)

循環器専門医認定更新
所 定 単 位 表

一般社団法人 日本循環器学会

以下の方法にて5年間に**必修研修単位を含む50単位**を取得することにより、循環器専門医の認定更新を行う。

登録方法	対 象 者	必修	単位加算対象	単 位 数
専門医カード 単位登録票	参加者	★	日本循環器学会 学術集会	10
		★	〃 教育セッション	5
		☆	〃 医療安全・医療倫理に関する講演会※1	2
		★	日本循環器学会 地方会	5
		★	〃 地方会教育セッション	3
事務局登録	筆頭著者		「Circ J」掲載論文(CL・EX・RC・ICMのみ)	10
	参画者		本会が推奨する臨床研究プロジェクト※2	2~4
			本会が実施するプログラム	◎
	自己研修		本会が実施する教育プログラム CD-ROM/DVD/ビデオ※3	3
自己申告	参加者		循環器関連学会 年次学術集会(別表Ⅰ)	3
			関連学会 年次学術集会(別表Ⅱ)	1
			本学指定国内学術集会・学術講演会(別表Ⅲ-1)	1
			本学指定国外学術集会・学術講演会(別表Ⅲ-2)	2
			日本医学会総会※5	5
			WCC・AHA・ACC・APCC※4・ESC	2
			その他の海外循環器関連学会集会(別表Ⅳ)	1
	筆頭著者		本会指定の循環器関連学会学術誌 掲載論文(英文)(別表Ⅴ)	5
			〃 (和文)(〃)	3
			本会指定以外の循環器関連学術誌 掲載論文(英文)(別表Ⅵ)	3
			〃 (和文)(〃)	1
	留学者		留学	1×月数

《単位登録方法について》

専門医カード：学会当日会場において専門医カードを持参・提示することにより単位を取得する。
 単位登録票：学会当日会場において、単位登録票に記入し提出することにより単位を取得する。

事務局登録：上記該当者は自動的に単位が加算される。

自 己 申 告：単位不足の場合、自己申告期間(認定5年目)に所定の自己申告書にて不足単位を申告する。但し、
 留学・研究プロジェクトについては『認定更新に関する規程』参照。

※1 印の医療安全・医療倫理に関する研修については、ホームページ上での視聴研修あるいは地方会でのDVDセッションでも可。ただし、同じ講演内容については、重複して単位は加算されない。

※2 詳細については「大規模臨床試験プロジェクト」単位付与規程に基づき専門医制度委員会で決定する。

※3 印については発売から約2年間のみが単位付与対象となる。各視聴教材に同封の単位申請ハガキに記載されている単位申請有効期限を確認すること。

※4 印のAPCCについては2009年開催(京都)に限り5単位とする。その他の開催については通常通り2単位。

※5 東北地方太平洋沖地震を受けて中止となった第28回日本医学会総会についても研修単位の対象とする。自己申告の際は参加予定だったことが公的に証明できる書類の提出が必要。

◎印の単位数は委員会判断とする。

★印については必修研修とし、認定期間内に30単位を必ず取得のこと。★内での組み合わせは自由。

☆印については必修研修とし、認定期間内に最低1回(2単位)は受講すること。

専門医認定更新研修の必修化について

専門医制度委員会、理事会、2009年3月20日の評議員会の審議を経て循環器専門医認定更新の際に所定の研修が必修となりました。変更点は下記のとおりです。

専門医認定更新に必要な研修単位(50単位)のうち、必修研修の単位配分は下記のとおりとなります。
認定更新には下記の必修研修単位を含む合計50単位が必要となります。

【必修研修と単位数】

① 最新医療の知識習得に関する研修……30単位

日本循環器学会主催の学術集会・地方会(いずれも教育セッションを含んでもよい)への参加にて単位を取得してください。

② 医療安全・医療倫理に関する研修……2単位

学術集会および地方会(※1)開催時の「医療安全・医療倫理に関する講演会」への参加あるいはインターネット(※2)での視聴研修プログラムによる研修で単位を取得してください。

※1 各地方会での開催につきましてはDVDセッションとなり同じ講演を既に聴講されている場合には単位は重複して加算されません。

開催状況につきましては各地方会により異なります。事前に必ずご確認ください。

※2 インターネットでの視聴研修につきましては、下記からご覧いただけます。視聴にはID(会員番号)とパスワードが必要です。パスワードをお忘れの場合は下記ホームページから再発行可能です。

日本循環器学会ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp>)



循環器専門医制度



〔専門医専用〕医療安全 Web 研修

【必修研修単位の取得期間】

現在の認定期間	必修研修単位の取得期間
2009/4/1～2014/3/31	2009/4/1～2014/3/31
2010/4/1～2015/3/31	2010/4/1～2015/3/31
2011/4/1～2016/3/31	2011/4/1～2016/3/31
2012/4/1～2017/3/31	2012/4/1～2017/3/31
2013/4/1～2018/3/31	2013/4/1～2018/3/31

【留学による特別措置】

1) 留学期間中の海外学会参加研修単位について

留学により、日本循環器学会主催の学術集会・地方会に参加できなかった場合は、その留学期間中に開催された海外学会(WCC, AHA, ACC, APSC, ESC)への参加を、最新医療の知識習得に関する研修を行ったとして15単位を付与します。ただし、上記5学会の内1年間に複数参加しても、1年度につき1回分の研修単位のみしか認められません。

例) 2012年度(2012/4/1～2013/3/31)にAHAとACCに参加した場合は、どちらか一方の参加のみ「最新医療の知識習得に関する研修」15単位として認める。

※留学期間が連続して10ヶ月以上の者を対象とする。

申請方法は帰国後、2)に必要な留学単位申請書および在籍証明書に上記の海外学会参加証(ネームカード)コピーを同封してください。抄録集のコピーは不可。

2) 留学期間の研修単位について

留学単位は必修研修以外の区分として現状通り1ヶ月1単位を加算します。

※帰国後、単位申請書および在籍証明書のコピーを提出すること。

3) 認定更新日経過の場合について

更新日(各年度4月1日)を超えて留学中の場合は、現状通り取得単位に関わらず、所定の更新手続きを行えば更新することができます。

循環器専門医認定更新の必修研修および単位につきましてご質問などございましたら下記連絡先までお問合せください。

問い合わせ先：
一般社団法人 日本循環器学会(JCS 事務局)
専門医制度委員会 担当
E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

第78回学術集会で開催される医療安全・医療倫理に関する講演会について

- 第78回学術集会に限り、必修研修対象の医療安全・医療倫理に関する講演会として「第13回医療安全・医療倫理に関する講演会(医療過誤から新たな医療安全を目指して)」に引き続き「医療安全・医療倫理に関する講演会(COIをマネジメントする)」が開催されます。
- 「第13回医療安全・医療倫理に関する講演会(医療過誤から新たな医療安全を目指して)」、「医療安全・医療倫理に関する講演会(COIをマネジメントする)」の単位登録は、下記表内の受付時間内に登録頂くことで、今回に限り3単位の医療安全・医療倫理に関する研修単位となります。
- 研修単位の登録は「医療安全・医療倫理に関する講演会専門医研修単位登録受付」(下記表内に記載)にて行ってください。

《受付日時・単位数》

	医療安全・医療倫理に関する講演会
単 位 数	3 単 位
専門医研修単位 登録受付場所	東京国際フォーラム Aブロック 2F
第1日目 3月21日(金)	—
第2日目 3月22日(土)	—
第3日目 3月23日(日)	10:20~12:35

※研修単位の登録は学術集会会期中、指定の時間内に研修単位登録受付において「循環器専門医カード」を提示する事により、単位を登録する方式です。

※会期中に登録を忘れた場合、会期後にプログラム・参加証等の他書類で研修単位を申告されても受付致しません。

※単位登録お手続きの際お渡しする「単位登録控」はご登録の証明となりますので、次回更新まで大切に保管してください。

※ご本人による登録のみが認められます。虚偽による登録が判明した場合には、専門医制度規則第10条により専門医資格の取消となりますのであらかじめご了承ください。

※65歳以上の単位取得免除制度は2008年3月31日をもって廃止されています。更新を希望される場合は年齢にかかわらず単位登録を行ってください。

学術集会・地方会での専門医研修単位登録について

- 学術集会・地方会での更新に必要な研修単位の取得方法は「専門医カード」または「単位登録票」によるものです。
- 学術集会・地方会当日，会場の各専門医研修単位登録受付にて先生ご自身でのご登録のお手続きが必要です。
- なお，会期中に登録を忘れた場合，会期後にプログラム・参加証等の他書類で研修単位を申告されても受付致しません。

「専門医カード」再発行のご案内

「循環器専門医研修単位登録」は、早くて便利な「専門医カード」による登録をお願いします。「専門医カード」は、本学会学術集会・地方会(いずれも教育セッションを含む)・医療安全・医療倫理に関する講演会の単位登録手続きにご利用いただけます。

再発行は下記スケジュールで受け付けております。学術集会・地方会に向けてご準備ください。

●再発行時期(年3回)

2月下旬発行……12月末迄に申請された方には、3月の年次学術集会までに発行

5月上旬発行……3月末迄に申請された方には、春期の地方会までに発行

9月上旬発行……7月末迄に申請された方には、秋期の地方会までに発行

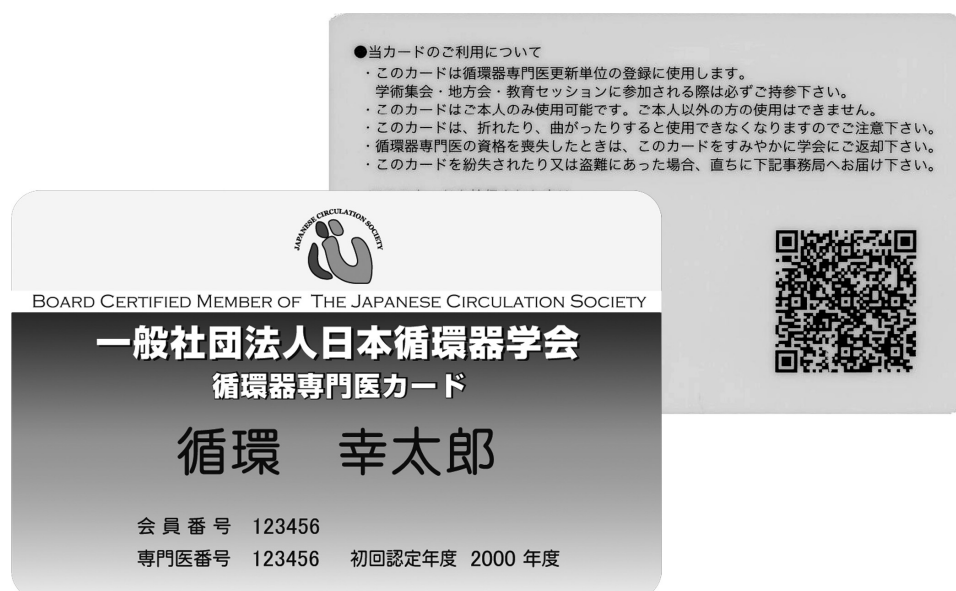
●再発行手数料

3,150円

●手順

1. 「循環器専門医カード再発行申請書」(次ページ)に記入のうえ、本会事務局までお送りください
(FAX・郵便・e-mail)。
2. 学会から再発行手数料の請求書を送付します。
3. 郵便局から再発行手数料を納入してください。
4. 入金確認後、上記当該時期に郵送します。

以上



(一社)日本循環器学会専門医制度委員会
循環器専門医カード再発行申請書

(一社)日本循環器学会
代表理事 殿

標記のカードを紛失致しましたので、下記のとおり再発行を申請致します。
なお、紛失したカードが発見された時には、速やかに学会に届け出を致します。

太枠内はもれなく記入してください

年 月 日

申請者氏名：
会員番号：(6桁)
生年月日： (西暦) 19 年 月 日
事務局への連絡事項：

※事務手続きの都合上、発行(発送)時期は年3回となります。

①12月末申込締切 2月末発行 ②3月末申込締切 5月上旬発行

③7月末申込締切 9月上旬発行

※手続きには再発行料(¥3,150(税込))が必要です。申請書到着後、請求書を送付致します。

カード発行は、ご入金後となりますのでご了承くださいませようお願い申し上げます。

※万一、請求書送付から1ヶ月経過してもご入金確認ができない場合は、本件申込みは失効することと致します。

※再発行料請求書及び循環器専門医カードは送本先へ送付致します。

※事務局記入欄

申請受付日	請求書送付	入金確認	送付

(一社)日本循環器学会 学会事務局 TEL (03)5501-0863 FAX (03)5501-9855

その他専門医制度に関する手続き・問い合わせ

下記申請に関しては、学会ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>) **循環器専門医制度** をご確認の上、必要書類をダウンロードしてください。

- 証明書交付申請(和文証明・英文証明書発行、循環器専門医証再発行)
- 施設証再交付申請
- 留学期間の研修単位申請
- 専門医カード再発行申請

上記の他、専門医制度に関する情報を学会ホームページ **循環器専門医制度** に掲載しておりますので、ご確認ください。

問い合わせ先：
一般社団法人 日本循環器学会(JCS 事務局)
専門医制度委員会 担当
E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

地方会・関連学会・研究会情報

専門医研修単位認定学会情報

【お願い】

各学会情報は、申請された時点の情報を掲載していますので、開催までに情報に変更が生じることがございます。当日参加される場合は、必ず各学会・各地方会・各研究会にて情報をご確認ください。

1. 日本循環器学会地方会

(単位登録票方式／

地方会：5単位、教育セッション：3単位、医療安全：2単位※)

※医療安全については各地方会により開催が異なります。各支部へ直接お問い合わせください。

《地方会当日会場での単位登録のみ受付》

第111回北海道地方会

会 期：2014年6月28日(土)

会 場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会 長：樋上哲哉(札幌医科大学心臓血管外科学講座)

第112回北海道地方会

会 期：2014年11月22日(土)

会 場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会 長：松居喜郎

(北海道大学循環器・呼吸器外科学分野)

第113回北海道地方会

会 期：2015年6月27日(土)

会 場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会 長：未定

第114回北海道地方会

会 期：2015年11月28日(土)

会 場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会 長：未定

第158回東北地方会

会 期：2014年6月7日(土)

会 場：岩手医科大学(盛岡市)

会 長：中村元行

(岩手医科大学内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野)

第159回東北地方会

会 期：2014年12月6日(土)

会 場：仙台国際センター(仙台市)

会 長：竹石恭知

(福島県立医科大学循環器血液内科学講座)

第160回東北地方会

会 期：2015年6月6日(土)

会 場：未定(盛岡市)

会 長：未定(秋田大学)

第232回関東甲信越地方会

会 期：2014年6月21日(土)

会 場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会 長：井上晃男(獨協医科大学心臓・血管内科)

第233回関東甲信越地方会

会 期：2014年9月6日(土)

会 場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会 長：中村文隆

(帝京大学ちば総合医療センター第三内科)

第234回関東甲信越地方会

会 期：2014年12月6日(土)

会 場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会 長：大島 茂(群馬県立心臓血管センター)

第235回関東甲信越地方会

会 期：2015年2月7日(土)

会 場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会 長：小林義典

(東海大学付属八王子病院循環器内科)

第143回東海地方会

会 期：2014年7月5日(土)

会 場：じゅうろくプラザ(岐阜県岐阜市)

会 長：竹村博文(岐阜大学第1外科)

第128回北陸地方会

会 期：2014年7月6日(日)

会 場：金沢大学医薬保健学域・医学類
(石川県金沢市)

会 長：井野秀一

(金沢大学附属病院・先端医療開発センター)

第144回東海・第129回北陸合同地方会

会 期：2014年10月25日(土)～26日(日)

会 場：ウインクあいち(愛知県産業労働センター)
(愛知県名古屋市)

会 長：伊藤正明(三重大学循環器・腎臓内科学)

第117回近畿地方会

会 期：2014年7月12日(土)

会 場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター(大阪市)

会 長：佐賀俊彦(近畿大学心臓血管外科)

第118回近畿地方会

会 期：2014年11月29日(土)
会 場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター(大阪市)
会 長：上田真喜子(大阪市立大学病理病態学)

第105回中国地方会

会 期：2014年12月6日(土)
会 場：ANA クラウンプラザホテル宇部(宇部市)
会 長：矢野雅文(山口大学器官病態内科学)

第105回四国地方会

会 期：2014年12月6日(土)
会 場：高松商工会議所(高松市)
会 長：上枝正幸(三豊総合病院・循環器科)

第104回中国・四国合同地方会

会 期：2014年7月18日(金)、19日(土)
会 場：岡山コンベンションセンター(岡山市)
会 長：伊藤 浩(岡山大学循環器内科学)

第116回九州地方会

会 期：2014年6月28日(土)
会 場：電気ビル 共創館／みらいホール(福岡市)
会 長：冷牟田浩司(九州医療センター循環器内科)

第117回九州地方会

会 期：2014年12月6日(土)
会 場：沖縄コンベンションセンター(宜野湾市)
会 長：國吉幸男(琉球大学胸部心臓血管外科学講座)

2. 循環器関連学会

(自己申告方式／3単位)

※今後、会期および会場などの変更が生じる場合があります。詳しくは直接各学会事務局へお問い合わせください。

第44回日本心臓血管外科学会

会 期：2014年2月19日(水)～21日(金)
会 場：ホテル日航熊本・熊本県民交流館パレア・鶴屋ホール(熊本市)
会 長：川筋道雄(熊本大学心臓血管外科)

第50回日本小児循環器学会

会 期：2014年7月3日(木)～5日(土)
会 場：岡山コンベンションセンター(岡山市)
会 長：佐野俊二(岡山大学心臓血管外科)

第46回日本動脈硬化学会

会 期：2014年7月10日(木)～11日(金)
会 場：京王プラザホテル(新宿区)
会 長：永井良三(自治医科大学)

第20回日本心臓リハビリテーション学会

会 期：2014年7月19日(土)～20日(日)
会 場：みやこメッセ(京都市)
会 長：上嶋健治(京都大学医学研究科)

第50回日本循環器病予防学会

会 期：2014年7月20日(日)～21日(月)
会 場：京都市勧業館 みやこめっせ(京都市)
会 長：山科 章(東京医科大学第二内科)

第29回日本不整脈学会大会

会 期：2014年7月22日(火)～25日(金)
会 場：ザ・プリンスパークタワー東京(港区)
会 長：新田 隆(日本医科大学心臓血管外科)

第23回日本心臓血管インターベンション治療学会

会 期：2014年7月24日(木)～26日(土)
会 場：名古屋国際会議場
会 長：西川英郎(三重ハートセンター)

第62回日本心臓病学会

会 期：2014年9月26日(金)～28日(日)
会 場：仙台国際センター、東北大学百周年記念会館、川内萩ホール、仙台市民会館(仙台市)
会 長：下川宏明(東北大学循環器内科学)

第67回日本胸部外科学会

会 期：2014年9月30日(火)～10月3日(金)
会 場：福岡国際会議場、福岡サンパレス ホテル&ホール(福岡市)
会 長：富永隆治(九州大学医学研究院)

第18回日本心不全学会

会 期：2014年10月10日(金)～12日(日)
会 場：大阪国際会議場(大阪市)
会 長：北風政史(国立循環器病研究センター臨床研究部・心臓血管内科)

第37回日本高血圧学会

会 期：2014年10月17日(金)～19日(日)
会 場：パシフィコ横浜(横浜市)
会 長：梅村 敏(横浜市立大学病態制御内科学)

第55回日本脈管学会

会 期：2014年10月30日(木)～11月1日(土)
会 場：倉敷市芸文館(倉敷市)
会 長：種本和雄(川崎医科大学心臓血管外科)

第28回日本冠疾患学会

会 期：2014年12月12日(金)～13日(土)
会 場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)
会 長：(内科系)：一色高明(帝京大学循環器内科)
(外科系)：高梨秀一郎
(榊原記念病院心臓血管外科)

3. 関連学会

(自己申告方式／1単位)

※今後、会期および会場などの変更が生じる場合があります。詳しくは直接各学会事務局へお問い合わせください。

第16回日本成人先天性心疾患学会

会 期：2014年1月11日(土)～12日(日)
会 場：岡山コンベンションセンター(岡山市)
会 長：佐野俊二(岡山大学心臓血管外科)

第41回日本集中治療医学会

会 期：2014年2月27日(木)～3月1日(土)
会 場：京都国際会議場、グランドプリンスホテル京都(京都市)
会 長：氏家良人(岡山大学救急医学)

第91回日本生理学会大会

会 期：2014年 3 月16日(日)～18日(火)
会 場：鹿児島大学郡元キャンパス(鹿児島市)
会 長：亀山正樹(鹿児島大学神経筋生理学)

第114回日本外科学会

会 期：2014年 4 月 3 日(木)～ 5 日(土)
会 場：国立京都国際会館(京都市)
会 長：上本伸二(京都大学肝胆膵・移植外科)

第73回日本医学放射線学会

会 期：2014年 4 月10日(木)～13日(日)
会 場：パシフィコ横浜(横浜市)
会 長：金澤 右(岡山大学放射線科)

第117回日本小児科学会

会 期：2014年 4 月11日(金)～13日(日)
会 場：名古屋国際会議場(名古屋市)
会 長：駒田美弘(三重大学医学系研究科)

第111回日本内科学会

会 期：2014年 4 月11日(金)～13日(日)
会 場：東京国際フォーラム(千代田区)
会 長：伊藤貞嘉(東北大学腎・高血圧・内分泌学)

第87回日本超音波医学会

会 期：2014年 5 月 9 日(金)～11日(日)
会 場：パシフィコ横浜(横浜市)
会 長：貴田岡正史(公立昭和病院内分泌代謝科)

第56回日本老年医学会

会 期：2014年 6 月12日(木)～14日(土)
会 場：福岡国際会議場(福岡市)
会 長：高柳涼一

(九州大学医学研究院病態制御内科学)

第53回日本生体医工学会

会 期：2014年 6 月24日(火)～26日(木)
会 場：仙台国際センター(仙台市)
会 長：松木英敏(東北大学医工学研究科)

第39回日本睡眠学会

会 期：2014年 7 月 3 日(木)～ 4 日(金)
会 場：あわぎんホール(徳島県郷土文化会館), ホテルクレメント徳島(徳島市)
会 長：勢井宏義(徳島大学統合生理学)

第35回日本循環制御学会

会 期：2014年 7 月 4 日(金)～ 5 日(土)
会 場：九州大学医学部百年講堂(福岡市)
会 長：廣岡良隆
(九州大学医学研究院先端循環制御学)

第57回日本腎臓学会

会 期：2014年 7 月 4 日(金)～ 6 日(日)
会 場：パシフィコ横浜(横浜市)
会 長：渡辺 毅
(福島県立医科大学腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科)

第24回日本心臓核医学会

会 期：2014年 7 月18日(金)～19日(土)
会 場：愛媛県民文化会館(ひめぎんホール)
(松山市)
会 長：望月輝一(愛媛大学放射線医学)

第54回日本核医学会

会 期：2014年11月 6 日(木)～ 8 日(土)
会 場：大阪国際会議場(大阪市)
会 長：畑澤 順(大阪大学核医学)

4. 医学会総会

(専門医単位／ 5 単位)

第29回日本医学会総会

会 期：2015年 4 月11日(土)～13日(月)
会 場：国立京都国際会館,
グランドプリンスホテル京都, 他
会 頭：井村裕夫(京都大学名誉教授)

5. 国際学会等

(自己申告方式／ 2 単位)

ACC Annual Meeting

AHA Scientific Sessions

APCC

ESC Congress

WCC Scientific Sessions

※詳細については海外学会情報をご覧ください。

6. 「本会指定の学術集会・学術講演会(国際会議)」および「指定研修集会制度」は2012年 3 月をもって終了しました。

自己申告区分として単位申請可能な会については学会 HP にて確認ください。

海外学会情報

ACC Annual Scientific Session

会 期：2014年 3 月29日(土)～31日(月)
会 場：Washington, DC(U.S.A)
U R L：http://www.cardiosource.org/

ESC Congress 2014

会 期：2014年 8 月30日(土)～9 月 3 日(水)
会 場：Barcelona(spain)
U R L：http://www.escardio.org/

The Annual Spring Congress of The Korean Society of Cardiology

会 期：2014年 4 月18日(金)～19日(土)
会 場：Gwangju(Korea)
U R L：http://circulation.or.kr/eng/

AHA Scientific Sessions 2014

会 期：2014年11月15日(土)～19日(水)
会 場：Chicago(U.S.A)
U R L：http://www.heart.org/HEARTORG/

その他の学会開催情報

第8回 Trans Catheter Imaging Forum(TCIF2014)

会 期：2014年 5 月30日(金)～31日(土)
会 場：大阪国際会議場
問合先：〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町 1 丁目
8 番 2 号 三晃ビル505号
非営利活動法人(NPO 法人)日本血管映像化
研究機構
Tel. 06-4391-0111 Fax. 06-4391-0112
E-mail: nkek@mx7.alpha-web.ne.jp

2E KCJL 事務局

Tel. 0532-57-1278 Fax. 0532-52-2883
Email: kcjl@kcjl.gr.jp
URL: http://www.kcjl.gr.jp

The 15th CTO Club

会 期：2014年 6 月20日(金)～21日(土)
会 場：ウインクあいち
代表世話人：山根正久(埼玉石心会病院)
問合先：〒440-0851 愛知県豊橋市前田南町1-1-5 2E
Tel. 0532-57-1276 Fax. 0532-52-2883
Email: cto@heartorg.gr.jp
URL: http://www.cct.gr.jp/ctoclub/

近畿心血管治療ジョイントライブ(KCJL)2014

会 期：2014年 4 月17日(木)～4 月19日(土)
会 場：メルパルク京都・ホテルグランヴィア京都
問合先：〒440-0851 愛知県豊橋市前田南町1-1-5

研究助成

公益財団法人循環器病研究振興財団

第22回(2014年度)バイエル循環器病研究助成募集要項

研究テーマ：深部静脈血栓症
助成金額：500万円／1 件, 250万円／2 件
応募資格：1970年 4 月 1 日以降に生まれた日本に在住
する研究者
応募方法：ホームページから申請書および承諾書を各
自入手し、推薦者および所属機関長の署名・
職印捺印の上、財団まで送付のこと
応募締切：2014年 1 月15日～3 月15日(同日消印有効)
問合先：〒565-8565 吹田市藤白台5-7-1 国立循環器
病センター内
公益財団法人循環器病研究振興財団「バイエ
ル循環器病研究助成」係
Tel. 06-6872-0010 Fax. 06-6872-0009
E-mail: koubo@jcvrf.jp
URL: http://www.jcvrf.jp

日本心臓血管内視鏡学会 褒賞内田賞応募要項

主 旨：日本における循環器病の発展に寄与する埋も
れた若手研究者を育成する
賞 金：250万円
応募資格：
1) 日本国内で行った循環器分野の研究
2) 2013年 4 月～2014年 3 月に学会誌に掲載された
論文
3) 対象研究者は論文のファーストオーサーで応募
時45歳以下の研究者
4) 他の学会賞などを受賞していない論文
応募方法：下記 URL から申込書を各自入手し、必要
書類を下記住所まで送付のこと
応募締切：2014年 5 月 1 日～6 月30日
問合先：〒102-0074 東京都千代田区九段南2-1-30
イタリア文化会館ビル 8F
日本心臓血管内視鏡学会「褒賞内田賞」係

(株)メディカルトリビューン 学会事務局
Tel. 03-3239-7264 Fax. 03-3239-7225
URL: <http://jacscopy.org/ja/>

公益財団法人成人血管病研究振興財団平成26年度賞募集

1. 井村臨床研究賞(第11回)

趣 旨：人、特に患者を対象とした成人血管病に関する臨床研究(patient-oriented research)で、以下分野などですぐれた成果をあげた国内の研究者または研究グループに贈呈

- 1) 基礎研究の成果の臨床への橋渡し研究(translational research)
- 2) 疾患の成因や病態生理の解明
- 3) 疾患の新しい診断・治療・予防法の開発

贈呈数：1名または1研究グループ

内 容：賞状、賞牌(ゴールド・メダル)、副賞(研究助成金300万円)

応募締切：2014年4月20日(当日消印有効)

応募条件：

- 1) 他薦に限る
- 2) 研究分野：上記趣旨のとおり
- 3) 推薦書：財団規程の用紙により作成し財団事務局に送付。規程用紙は事務局に文書によって請求

授与式：2014年12月13日(土)

なお、同日は京都成人血管病シンポジウムを開催し、そのプログラム中に井村賞受賞記念特別講演を予定するとともに、医学誌「最新医学」に受賞記念論文も掲載いただく

2. 井村臨床研究奨励賞(第11回)

趣 旨：人、特に患者を対象とした成人血管病に関する臨床研究(patient-oriented research)で、以下の分野などで注目すべき優秀な研究業績をあげている国内の45歳未満の研究者に対し、その将来の発展を期待して贈呈

- 1) 基礎研究の成果の臨床への橋渡し研究(translational research)
- 2) 疾患の成因や病態生理の解明
- 3) 疾患の新しい診断・治療・予防法の開発

贈呈数：3名以内

内 容：賞状、賞牌(シルバーメダル)、副賞(研究助成金50万円)

受付期間：2014年4月20日(当日消印有効)

応募規程：

- 1) 自薦、他薦とも可。但し自薦の場合は所属責任者の氏名、印を要す
- 2) 当財団の規定用紙を請求し、同用紙の指定する内容を記入する
- 3) 候補者は、2014年3月31日現在で45歳未満であること

授与式：2014年12月13日(土)

医学誌「最新医学」に受賞記念論文も掲載いただく予定

3. 岡本研究奨励賞(第29回)

趣 旨：高血圧、動脈硬化、糖尿病など、成人血管病の成因、予防、治療に関する基礎的研究にあたる40歳未満の研究者で、注目すべき優秀な研究業績をあげている研究者に、その将来の発展を期待して贈呈

贈呈数：3名以内

内 容：賞状、賞牌(シルバーメダル)、副賞(研究助成金50万円)

受付期間：2014年4月20日(当日消印有効)

応募規程：

- 1) 自薦、他薦とも可。但し自薦の場合は所属責任者の氏名、印を要す
- 2) 当財団の規定用紙を請求し、同用紙の指定する内容を記入する
- 3) 候補者は、2014年3月31日現在で40歳未満であること
- 4) 過去の受賞者は除く

授与式：2014年12月5日、第50回高血圧関連疾患モデル学会学術総会内で行う

問合先：〒606-8413 京都市左京区浄土寺下馬場町86 国際健寿ビル1階

公益財団法人成人血管病研究振興財団
Tel. 075-761-2381 Fax. 075-761-2382

公益財団法人福田記念医療技術振興財団第25回(平成26年度)研究助成等募集

(公財)福田記念医療技術振興財団では、MEを利用した医療技術に関する研究助成を行っており、4月1日より次のとおり募集を行う。

公募事業：

①研究助成

- 1) 個人研究：100万円／件を限度に計6件
- 2) 共同研究：200万円／件を限度に計5件

②国際交流助成

- 1) 研究留学：100万円／件を限度に計4件
- 2) 国際会議出席：30万円／件を限度に計4件
- 3) 海外からの研究者招聘：100万円／件を限度に計4件

③論文表彰(副賞50万円)：2件

応募締切(当日消印有効)：

①については2014年4月26日

②については前期分2014年4月26日、後期分2014年12月31日

(注) 国際交流前期分は、出発が2014年7月1日から2015年2月28日までの募集

③については2014年12月31日

応募方法：財団所定の申請書に記載し、書留で事務局宛に送付

問合せ：〒113-8570 東京都文京区湯島2-31-20 フク
ダ電子(株) 春木町ビル内
公益財団法人福田記念医療技術振興財団事務局
Tel. 03-5684-0288 Fax. 03-5684-0268
URL: <http://www.fukudakinen.or.jp>

公益信託循環器学研究振興基金平成26年度募集要項

趣 旨：循環器学に関する研究に携わる埋もれた人材
の発掘育成を念頭に置き、明治以来いまだ欧
米に遅れをとっている循環器学域の進歩のた
めに、この分野で研究に携わる若手医学研究
者を対象とする研究助成を行うとともに優れ
た研究業績をあげた者に対して褒賞を贈呈す
ることを目的とする

1. 研究助成

研究課題：心臓血管疾患の機序・診断・治療・予防に
関する基礎的・臨床的研究

- 1) microvessel angina の発症機構、治療及び予防
に関する研究
- 2) 肺高血圧症の病態、治療に関する研究
- 3) 心血管疾患のリスクファクターとしての炎症、
免疫に関する研究
- 4) 心血管疾患のイメージング法
- 5) 糖尿病性心血管障害の機序、診断と治療に関す
る研究
- 6) 新しい視点から見た不整脈治療
- 7) その他

応募資格：日本国内で研究を行う40歳以下の研究者で、
国籍は不問(但し、教授は除く)

助成金額：200万円／1件、総額1,400万円以内

2. 褒賞(内田賞)

褒賞対象：日本国内で行った循環器分野の研究でかつ、
2013年度(2013年4月～2014年3月)に学術誌
に掲載された論文

対象研究者：論文のファーストオーサーで、応募時45
歳以下の研究者(但し、教授・准教授は除く)

賞金額：500万円／1件、総額1,000万円以内

募集期間：2014年6月2日～2014年7月31日(必着)

応募方法：申請書を下記URLからダウンロード(電
話での請求も可)

問合せ：〒105-8574 東京都港区芝3-33-1
三井住友信託銀行リテール受託業務部公益信
託グループ 循環器学研究振興基金 申請口
Tel. 03-5232-8910 Fax. 03-5232-8919
URL: [http://www.smtb.jp/personal/entrustment/
management/public/example/list.html](http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html)

ACLS 講習会情報

循環器救急医療委員会

AHA ACLS プロバイダーコース受講のためには AHA BLS ヘルスケアプロバイダーコースの修了が必要です。未受講の方は、まずはこのコースを受講してください。詳しくはホームページ (<http://www.j-circ.or.jp/>) の「BLS・ACLS 講習会情報」をご参照ください。

日本循環器学会は2007年3月に、AHAと契約して国際トレーニングセンター(ITC)となり、循環器救急医療委員会(旧称：心肺蘇生法委員会)の中の教育部門としてECC(緊急心血管治療)プログラムを独自に推進させていく事になり、JCS-ITCコースとして各支部において開催致します。

私たちは日本での心臓突然死の予防と心停止の救命率の改善およびそれによる後遺症を減らすことを目標に掲げます。それには地域での「救命の連鎖」の確立が重要となります。そのためには、会員すべてが心肺蘇生法トレーニングを受け、医師・コメディカル・一般市民への指導者になること、そして特に循環器専門医は標準的な二次救命処置(Advanced Cardiovascular Life Support, ACLS)を習得し、循環器救急医療におけるチームリーダーになることが必要です。また、循環器専門医の受験資格にAHA-ACLS修了が必須となっています。このトレーニングコースは、アメリカ心臓協会(AHA)がこれまで築き上げてきたトレーニングプログラムを用いて実施されます。下記のコースに積極的に参加いただき、地域での「救命の連鎖」確立を推進していただける方を募集します。各コースの受講者募集の詳細は日本循環器学会ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>)の「ACLS 講習会情報」にてご確認ください。

受講料 32,000円

受講対象者：原則として医療従事者(医師・看護師・救急救命士など日本国内での医療国家試験有資格者に限定します)

受講申し込み方法：当会ホームページ「BLS・ACLS 講習会情報」のページからご希望のコースをお選びいただき、オンラインフォームにてお申し込みください。以下のコーススケジュールの募集締め切りは延長される場合がありますので、ホームページにてご確認ください。

JCS-ITC2014/03/01-02九州支部佐賀大学病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年3月1日(土)～2日(日)の2日間

会場：佐賀大学病院医学部附属病院卒後臨床研修センター1F セミナー室

受講募集人数：12名

コースディレクター：肥後太基(九州大学病院循環器内科)

2014年2月2日(日)まで募集(延長の場合もあり)

問い合わせ：

九州大学病院循環器内科 肥後太基

E-mail: higo@cardiol.med.kyushu-u.ac.jp

JCS-ITC2014/03/01-02四国支部近森病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年3月1日(土)～2日(日)の2日間

会場：近森病院総合心療センター6F ホール

受講募集人数：12名

コースディレクター：川井和哉(近森病院循環器科)

2014年2月13日(木)まで募集(延長の場合もあり)

問い合わせ：

高知大学医学部・総合診療部 山崎聡子

Phone: 088-880-2515

Fax: 088-880-2518

E-mail: ahakts@mac.com

JCS-ITC2014/03/08-09東北支部山形大学附属病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年3月8日(土)～9日(日)の2日間
会 場：山形大学医学部 大学院講義室・大講義室
受講募集人数：12名
コースディレクター：花田裕之(弘前大学医学部)
2014年2月27日(木)まで募集
問い合わせ：
弘前大学医学部大学院医学系研究科救急災害医学講座 花田裕之
Phone: 0172-39-5375
Fax: 0172-39-5316
E-mail: hanada68@cc.hirosaki-u.ac.jp

JCS-ITC2014/03/15-16四国支部徳島赤十字病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年3月15日(土)～16日(日)の2日間
会 場：徳島赤十字病院病院棟401会議室
受講募集人数：6名
コースディレクター：吉川 圭(坂出市立病院)
2014年2月28日(金)まで募集
問い合わせ：
坂出市立病院 吉川 圭
Phone: 070-5516-8708
Fax: 0877-46-2377
E-mail: kayy@mac.com

JCS-ITC2014/03/15-16関東甲信越支部本郷マッシュアップスタジオ AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年3月15日(土)～16日(日)の2日間
会 場：本郷マッシュアップスタジオ
受講募集人数：18名
コースディレクター：中山英人(埼玉医科大学病院麻酔科)
2014年3月5日(水)まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: acsljcskanto@acsl-jcs.org

JCS-ITC2014/03/29-30関東甲信越支部国立病院機構東京医療センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年3月29日(土)～30日(日)の2日間
会 場：国立病院機構東京医療センター
受講募集人数：15名
コースディレクター：布施 淳(国立病院機構東京医療センター循環器科)
2014年3月5日(水)まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: acsljcskanto@acsl-jcs.org

JCS-ITC2014/03/29-30近畿支部国立循環器病研究センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年3月29日(土)～30日(日)の2日間
会 場：国立循環器病研究センター リハビリ棟 5F
受講募集人数：12名
コースディレクター：真野敏昭(大阪大学医学部附属病院)
2014年3月2日(日)まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会近畿支部事務局 山口良彦
Phone: 075-212-2015
Fax: 075-212-0691
E-mail: kyoto@congre.co.jp

JCS-ITC2014/03/29-30東海・北陸支部合同名古屋医療センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年3月29日(土)～30日(日)の2日間
会 場：名古屋医療センター
募集人数：24名
コースディレクター：都築通孝(豊田厚生病院)
3月3日(月)まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会東海支部事務局 渡辺裕一
Phone: 052-950-3365
Fax: 052-950-3370
E-mail: jcs-tokai@congre.co.jp

JCS-ITC2014/03/29-30北陸支部富山大学附属病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年3月29日(土)～30日(日)の2日間
会 場：富山大学附属病院総合教育センター 2階(予定)
受講募集人数：6名
コースディレクター：宇野欣秀(芳珠記念病院循環器科)
2013年3月10日(月)まで募集
問い合わせ：
芳珠記念病院循環器内科 宇野欣秀
E-mail: yoshihide_uno@hotmail.com

ACLSプロバイダー資格更新コース

受講料：18,000円

受講要件：

1. 有効期限内の BLS ヘルスケアプロバイダーカードを有すること
2. 有効期限内の ACLS プロバイダーカードを有すること

追補 1) 有効期限を過ぎている ACLS カードを有している場合、更新コースの受講は可能です。

ただし、実技試験、筆記試験ともに補習や再試験の機会はありませんので、万一、両試験に 1 回で合格しない場合には、ACLS 更新コースの再受講は不可となっております。

改めて 2 日間の通常の ACLS コースを受講いただくことになります(受講料も新たに必要となります)。

追補 2) AHA ACLS コースをこれまで一度も受講したことがない場合には、ACLS 更新コースの受講は原則として認められておりません。

JCS-ITC2014/03/02東海・北陸支部合同市立島田市民病院 AHA ACLS プロバイダー更新コース

開催日時：2014年 3 月 2 日(日)

会 場：市立島田市民病院救急センター 講堂

受講募集人数：12名

コースディレクター：岩嶋大介(市立島田市民病院)

2 月 10 日(月)まで募集(延長の場合もあり)

問い合わせ：

日本循環器学会東海支部事務局 渡辺裕一

Phone: 052-950-3365

Fax: 052-950-3370

E-mail: jcs-tokai@congre.co.jp

JCS-ITC2014/03/15関東甲信越支部相澤病院ヤマサホール AHA ACLS プロバイダー更新コース

開催日時：2014年 3 月 15 日(土)

会 場：相澤病院ヤマサホール

受講募集人数：10名

コースディレクター：宮澤 泉(長野赤十字病院循環器内科)

2 月 20 日(木)まで募集(延長の場合もあり)

問い合わせ：

日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也

Phone: 019-652-5406

Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

映像教材販売のご案内

喫煙防止映像教材販売のご案内

禁煙推進委員会

ご承知のように、喫煙は喫煙者のみならず受動喫煙者にとっても、虚血性心疾患をはじめとする循環器疾患、呼吸器疾患、がん、その他の疾患の発症・進展にとって重要な危険因子です。禁煙推進委員会では、医療現場からのメッセージを込めた『今から始める喫煙防止教育 2 版』という喫煙防止映像教材(DVD)を制作し、その販売をしておりますのでご案内申し上げます。

会員・非会員を問わずご購入いただけます。日本循環器学会禁煙推進委員会の意図と願いをご理解いただき、是非ご活用いただければ幸いです。

なおご購入のお申し込み・お問い合わせは、下記の特約代理店までお願い致します。

〈内容〉

- Part. 1：たばこ、やめてね
(小学校 1, 2 年生用 / 6 分)
- Part. 2：タバコのけむりはあぶないよ!!
(小学校 3, 4 年生用 / 10 分)
- Part. 3：タバコって本当はどんなもの?
(小学校 5, 6 年生用 / 12 分)
- Part. 4：考えてみよう タバコと健康
(中学生・高校生用 / 14 分)
- Part. 5：タバコか健康か あなたはどちらを選びますか
(一般・大学生用 / 17 分)

〈価格〉

1,995 円

(税込, 送料別)

〈購入お申し込み・お問い合わせ〉

(特約代理店)

(株)少年写真新聞社 メディア開発部

TEL : 03-3261-4001

FAX : 03-5276-7785

URL : <http://www.schoolpress.co.jp/home.html>



教育研修映像販売のご案内

教育研修委員会

下記の教材1タイトルご購入につき、専門医研修単位が3単位加算されます。本体についている返信はがきに必要事項をご記入の上、50円切手を貼ってご郵送ください。ただし、単位の付加は、ご購入ご本人のみに限りです。単位受付は同じタイトルにつき1回限りの受付となりますのでご了承ください。

※なお、単位申請ハガキの受付には期限があります。詳細は下記の各DVD単位申請期間をご確認ください。

ご購入の申し込みは、日循ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>)の「刊行物購入のご案内」からオンラインでお受けしています。もしくはE-mail (meeting@j-circ.or.jp)かファックス(075-213-1675)で、ご希望のタイトル、VHSかDVD(一部CD-ROM)か、氏名、会員番号、お届け先住所、電話番号をお書き添えの上、お申込みください。

■循環器研修ビジュアルシリーズ(VHS/CD-ROM 各巻 ¥9,975 日循会員価格 ¥6,300 税込)

2004年度製作分(VHS/CD-ROM) 単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可

Vol. 6. 「循環器 Physical Examination の実際」

監修：吉川 純一（大阪市立大学循環器病態内科学）

2005年度製作分(VHS/DVD) 単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可

Vol. 7. 「循環器病の画像診断—心臓 CT, MRI」

監修：栗林 幸夫（慶應義塾大学放射線診断科）

Vol. 8. 「大動脈・末梢血管疾患の超音波診断」

監修：鄭 忠和（鹿児島大学循環器呼吸器代謝内科学）

2006年度製作分(VHS/DVD) 単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可

Vol. 9. 「メタボリックシンドロームの診断と基準」

監修：島本 和明（札幌医科大学内科学第二）

Vol.10. 「カテーテルアブレーションによる不整脈治療の実際」

監修：相澤 義房（新潟大学医歯学総合研究科循環器学分野）

2007年度製作分(VHS/DVD) 単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可

Vol.11. 「弁膜症の内科治療と手術のタイミング」

監修：吉田 清（川崎医科大学循環器内科）

Vol.12. 「急性冠症候群の治療戦略」

監修：木村 剛（京都大学循環器内科）

2008年度製作分(DVDのみ) 単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可

Vol. 1. 「急性心不全の診断と治療戦略(第2版)」

監修：堀 正二（大阪府立成人病センター）

Vol.13. 「大動脈疾患の診断と治療戦略」

監修：上田 裕一（名古屋大学心臓外科学）

栗林 幸夫（慶應義塾大学放射線診断科）

2009年度製作分(DVDのみ) 単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可

Vol. 4. 「抗不整脈薬の使い方(Ⅱ)(第2版)」

監修：新 博次（日本医科大学多摩永山病院）

Vol.15. 「糖尿病患者のフットケア」

監修：笹嶋 唯博（旭川医科大学第一外科）

2010年度製作分(DVDのみ) 単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可

Vol. 2. 「抗不整脈薬の使い方(Ⅰ)(第2版)」

監修：堀江 稔（滋賀医科大学呼吸循環器内科）

Vol.14. 「心臓リハビリテーションの新たな展開」

監修：後藤 葉一（国立循環器病研究センター心臓血管内科）

2011年度製作分(DVDのみ) 単位申請期日:2014年3月31日

Vol.3.「慢性心不全の病態をふまえた診断・治療(第2版)」

監修:筒井 裕之(北海道大学循環病態学)

Vol.16.「冠循環の形態的,機能的評価」

監修:赤阪 隆史(和歌山県立医科大学循環器内科)

Vol.18.「補助循環・心臓移植の臨床」

監修:許 俊鋭(東京大学重症心不全治療開発講座)

New

2012年度制作分(DVDのみ) 単位申請期日:2015年3月31日

Vol.6.「循環器 physical examination の実際(第2版)」

監修:吉川 純一

Vol.17.「心臓ペーシング治療の現状」

監修:萩原 誠久(東京女子医科大学循環器内科)

原案:真中 哲之(東京女子医科大学循環器内科)

■循環器教育セッション CD-ROM(各回3巻セット ¥9,450 税込)

第33回循環器教育セッション 2005年3月19日(土)~21日(月)

単位申請期日:2012年5月31日にて終了。単位付与不可

セッションⅠ 新しい高血圧ガイドライン JSH-II

座長:土居 義典(高知大学科年病科・循環器科)

藤田 敏郎(東京大学内科学)

セッションⅡ 心臓弁膜症をいかに診断し,いかに治療するか

座長:吉川 純一(大阪市立大学循環器病態内科学)

川副 浩平(岩手医科大学附属循環器医療センター)

セッションⅢ 冠動脈疾患の治療の進歩—早期及び遠隔成績から—

座長:遠藤 真弘(東京女子医科大学心臓血管外科)

木村 剛(京都大学循環器内科)

第34回循環器教育セッション 2006年3月24日(金)~26日(日)

単位申請期日:2012年5月31日にて終了。単位付与不可

セッションⅠ 心不全の治療—薬物療法から非薬物療法まで—

座長:矢野 捷介(長崎大学循環制御内科学)

高野 照夫(日本医科大学内科学第一)

セッションⅡ メタボリック・シンドローム—本邦の診断基準—

座長:松澤 佑次(住友病院)

島本 和明(札幌医科大学第二内科)

セッションⅢ 不整脈の治療—薬物療法から非薬物療法まで—

座長:笠貫 宏(東京女子医科大学循環器内科)

兄玉 逸雄(名古屋大学環境医学研究所循環器分野)

第35回循環器教育セッション(DVD) 2007年3月15日(木)~17日(土)

単位申請期日:2012年5月31日にて終了。単位付与不可

セッションⅠ 心筋・血管再生医療の展開

座長:小室 一成(千葉大学循環病態医科学)

室原 豊明(名古屋大学循環器内科学)

セッションⅡ 各学会ガイドラインの比較:リスク重積患者に対する治療法

座長:藤田 敏郎(東京大学腎臓内分泌内科)

代田 浩之(順天堂大学循環器内科)

セッションⅢ ACSのリスク層別化と治療戦略—PCIとCABGを中心に—

単位申請期日:2012年5月31日にて終了。単位付与不可

座長:幕内 晴朗(聖マリアンナ医科大学心臓血管外科)

西村 重敬(埼玉医科大学循環器内科)

第36回循環器教育セッション(DVD) 2008年3月28日(金)~30日(日)

単位申請期日:2012年5月31日にて終了。単位付与不可

セッションⅠ 心疾患患者の心臓手術・非心臓手術のリスク評価

座長：吉川 純一（大阪掖済会病院）
上田 裕一（名古屋大学心臓外科）

セッションⅡ 日本における心臓突然死

座長：笠貫 宏（東京女子医科大学循環器内科）
三田村秀雄（東京都済生会中央病院）

セッションⅢ 糖尿病と循環器疾患

座長：島本 和明（札幌医科大学第二内科）
犀川 哲典（大分大学循環器病態制御講座）

第37回循環器教育セッション(DVD 4 巻セット ￥12,600税込) 2009年 3 月20日(金)～23日(日)

単位申請期日：2012年 5 月31日にて終了。単位付与不可

Vol. 1 ビデオライブで見るリスクとベネフィットを考えた治療戦略(1)

1. 「EPS」ビデオライブ

座長：福並 正剛（大阪府立急性期・総合医療センター心臓血管センター）
松本 万夫（埼玉医科大学国際医療センター心臓内科）

2. 「外科『弁形成術』」ビデオライブ

座長：澤 芳樹（大阪大学外科学講座心臓血管外科）
宮本 裕治（兵庫医科大学心臓血管外科）

Vol. 2 ビデオライブで見るリスクとベネフィットを考えた治療戦略(2)

1. 「PCI」ビデオライブ

座長：南都 伸介（関西労災病院循環器科）
一色 高明（帝京大学循環器科）

2. 「EVT」ビデオライブ

座長：南都 伸介（関西労災病院循環器科）
古森 公浩（名古屋大学血管外科）

Vol. 3 JSH-2009による高血圧の管理と心血管病

座長：萩原 俊男（大阪府立急性期・総合医療センター）
島本 和明（札幌医科大学第二内科）

Vol. 4 循環器疾患の抗凝固・抗血小板療法

座長：一色 高明（帝京大学循環器科）
是恒 之宏（国立病院機構大阪医療センター臨床研究部）

第38回循環器教育セッション(DVD 4 巻セット ￥12,600税込) 2010年 3 月 5 日(金)～7 日(日)

単位申請期日：2012年 5 月31日にて終了。単位付与不可

Vol. 1 ビデオライブで見る最新の心血管疾患カテーテル治療・外科治療(1)

1. 「不整脈電気生理」ビデオライブ

座長：内藤 滋人（群馬県立心臓血管センター）
静田 聡（京都大学循環器内科）

2. 「外科」ビデオライブ

座長：四津 良平（慶應義塾大学心臓血管外科）
佐賀 俊彦（近畿大学心臓血管外科）

Vol. 2 ビデオライブで見る最新の心血管疾患カテーテル治療・外科治療(2)

1. 「PCI」ビデオライブ

座長：一色 高明（帝京大学循環器内科）
木村 剛（京都大学循環器内科）

2. 「末梢血管インターベンション」ビデオライブ

座長：横井 良明（岸和田徳洲会病院循環器内科）
木村 剛（京都大学循環器内科）

Vol. 3 睡眠時無呼吸症候群と循環器疾患

座長：山科 章（東京医科大学第二内科）
安藤 真一（福岡県済生会二日市病院循環器内科）

Vol. 4 炎症と循環器疾患

座長：野出 孝一（佐賀大学循環器・腎臓内科）

竹石 恭知（福島県立医科大学内科学第一講座）

第39回循環器教育セッション DVD-ROM ¥5,000(税込) 2011年8月3日(水)～4日(木)

単位申請期日：2014年3月31日

第39回より DVD-ROM に仕様変更し、1枚のディスクにまとめました。DVD-ROM は家庭用 DVD レコーダーでは再生できませんのでご注意ください。

セッション I ビデオで見る最新の心血管カテーテル治療

1. 心房細動に対するカテーテルアブレーション

座長：熊谷浩一郎（国際医療福祉大学循環器内科）

山根 禎一（東京慈恵会医科大学循環器内科）

2. ASD のカテーテル閉鎖術

座長：中西 敏雄（東京女子医科大学循環器小児科）

高山 守正（榊原記念病院）

3. ここまで来た胸部ステントグラフト内挿術

座長：吉川 公彦（奈良県立医科大学放射線医学教室）

加藤 雅明（森之宮病院心臓血管外科）

セッション II 高齢者における循環器疾患の管理と問題点

座長：荻尾 七臣（自治医科大学循環器内科学部門）

江頭 正人（東京大学総合研修センター）

大内 尉義（東京大学加齢医学講座）

セッション III 心臓手術後のリハビリテーション—内科・外科の連携—

座長：野原 隆司（北野病院心臓センター）

佐賀 俊彦（近畿大学心臓血管外科）

第40回循環器教育セッション DVD-ROM ¥5,000(税込) 2012年3月16日(金)～18日(日)

単位申請期日：2014年3月31日

セッション I

1. 心房細動のアブレーション：CFAE 法

座長：Koonlawee Nademanee（Pacific Rim Electrophysiology Research Institute, Los Angeles, USA）

奥村 謙（弘前大学循環呼吸腎臓内科学）

2. 3D エコーと僧帽弁形成術

座長：尾辻 豊（産業医科大学第二内科）

川副 浩平（聖路加国際病院心血管センター心臓血管外科）

3. 大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル大動脈弁植込み術

座長：友池 仁暢（榊原記念病院）

中谷 敏（大阪大学保健学専攻）

セッション II 重症心不全治療の新しい展開

座長：和泉 徹（北里大学循環器内科学）

許 俊鋭（東京大学重症心不全治療開発講座／東京都健康長寿医療センター心臓外科）

セッション III 肺動脈血栓塞栓症の予防・診断・治療

座長：安藤 太三（藤田保健衛生大学心臓血管外科）

伊藤 正明（三重大学循環器・腎臓内科学）

※座長所属はセッション開催時のもの。

New

第41回循環器教育セッション DVD-ROM ¥5,000(税込) 2013年3月15日(金)～17日(日)

単位申請期日：2015年3月31日

セッション I

1. 心臓 CT/MRI の最新動向

座長：尾崎 行男（藤田保健衛生大学循環器内科）

吉岡 邦浩（岩手医科大学放射線医学）

- 2. 閉塞性肥大型心筋症に対する PTSMA
座長：一色 高明（帝京大学循環器内科）
- 3. 心房細動アブレーションにおける三次元マッピングの活用
座長：熊谷浩一郎（福岡山王病院ハートリズムセンター）
沖重 薫（横浜市立みなと赤十字病院循環器内科）
- セッションⅡ 冠動脈血行再建術—診療ガイドラインを実臨床にいかにかすか？—
座長：落 雅美（日本医科大学心臓血管外科）
住吉 徹哉（榊原記念病院循環器内科）
- セッションⅢ 新しい抗凝固薬の臨床
座長：後藤 信哉（東海大学循環器内科）
山下 武志（心臓血管研究所付属病院）



購入し研修されると専門医研修単位が **3単位** 取得できます。

※単位の付加は、ご購入ご本人様のみに限ります。単位受付は同じタイトルにつき一回限りとなりますのでご了承ください。

DVD 購入者は

WEBでも ご視聴いただけます!

これ一枚で **43セッション 228** 延べ座長・演者、
52時間収録!

価格 **5,000円**

発行予定
6月20日
(送料、税込)

<収録内容>

真下記念講演

1 セッション

MML. Discovery and Development of Statins

百一賀記念特別講演

1 セッション

MLC. 医療プロフェッショナルの育成

会長講演

1 セッション

CCL. Wonderful Voyage through Intravascular Imaging

International Honorary Member's Memorial Lectures

1 セッション

特別講演

8 セッション

- SL1. Plaque Morphology : Can We Change the (Interventional) Management Paradigms?
- SL3. Imaging-based Strategies for Detection and Monitoring of Subclinical Cardiovascular Diseases
- SL4. Advances in Acute Coronary Syndromes
- SL5. Sudden Cardiac Death: What is New?
- SL7. High Sensitivity Cardiac Troponins: From re-definition of Acute Myocardial Infarction to Risk Prediction in non-ACS Patients
- SL8. Difference Between Native Coronary Atherosclerosis, Vein Graft Atherosclerosis, and In-stent Neointimal Hyperplasia
- SL9. Basic and Clinical Advances in Inflammation in Atherosclerosis
- SL10. The Interventional Treatment of Atrial Fibrillation

International Imaging Conference

会長特別企画 (1) 3 セッション

- IIC1. How do we use imaging device before PCI?
- IIC2. Why do we use imaging device after PCI?
- IIC3. Clinical application of future imaging technology

The challenges of translation from discovery to therapy
in 21st century cardiovascular medicine (JCS/ISHR joint symposium)

会長特別企画 (2) 1 セッション

世界へ翔く循環器医学の発見・発明 “メイド・イン・ジャパン”

会長特別企画 (3) 2 セッション

症例から学ぶ

会長特別企画 (4) 8 セッション

1. 心房細動にたいする Total Management
2. この冠動脈疾患をどうする?
3. EBM の実践: この心不全症例にどのように対応するか?
4. 治療抵抗性高血圧へのアプローチ
5. この弁膜症: あなたならどうする?
6. 非心臓手術の術前リスク評価と対応
7. 失神・めまいへのアプローチ
8. 成人先天性心疾患へのアプローチ

理想的な医療現場とは? —各界からの提言—

会長特別企画 (5) 1 セッション

プレナリーセッション 1～7 全て

7 セッション

- PS1. Beyond LDL: 残存リスクを考える
- PS2. Frontier of the treatment of atrial fibrillation
- PS3. To Improve Outcomes of Acute Heart Failure Patients: Lessons from Asian and Western Registries
- PS4. 治療抵抗性高血圧を克服する
- PS5. New advance in cardiac regenerative medicine —basic research and clinical trial—
- PS6. 心臓と他臓器のコミュニケーションを探る —臓器連関から考える新しい循環器病治療戦略—
- PS7. 成人期の川崎病の実態と管理

ジョイントシンポジウム 1～4 全て

4 セッション

- JSY1. AHA-JCS Joint Symposium
Heart Failure Update 2013
- JSY2. ACC-JCS Joint Symposium
Cardiac rehabilitation as cardiovascular therapy
- JSY3. ESC-JCS Joint Symposium
Recent Progress in the Understanding, Management and Prevention of Sudden Cardiac Death
- JSY4. KSC-JCS Joint Symposium
Diabetic Coronary Artery Disease in Asia th

Late Breaking Clinical Trials 1,2 全て

2 セッション

- LBCT1. Late Breaking Clinical Trials 1
- LBCT2. Late Breaking Clinical Trials 2

Late Breaking Cohort Study 1,2,3 全て

3 セッション

- LBCT3. Late Breaking Cohort Study 1
- LBCT2. Late Breaking Cohort Study 2
- LBCT3. Late Breaking Cohort Study 3

お申込みはインターネットまたは FAX でもお申込み頂けます。

日本循環器学会ホームページから、又は、https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd にアクセスしてください。

DVD に収録されている座長・演者名(ご所属)及び演題名もご覧いただけます。

■お問い合わせ先

株式会社 メディカルビスタ

TEL 0120-046-844

FAX : 03-6368-9509

Mail : jcsdvd@medicalvista.jp

第77回日本循環器学会学術集会 DVD-ROMのお申込

価格 1部 ¥5,000 (送料、税込)

お申込方法

① インターネットの場合

日本循環器学会ホームページ (<http://www.j-circ.or.jp>) 「刊行物購入のご案内」 から、

又は、次のURLにアクセスしお申込ください。

https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd

② FAXの場合

下記お申込書にご記入頂き、**03(6368)9509** まで FAX にてお申込ください。

お支払方法

＜お申込者個人名の場合＞

■銀行振込、■郵便振替、又は■クレジットカード払いの何れかでお支払いください。

お申込受付後、ご指定いただいたお支払い方法についてのご案内をお送り致します。

ご送付先は、E-Mail アドレスのご記入がある場合 E-mail アドレス宛に、E-mail アドレスのご記入がない場合、FAX 番号宛にお送りいたします。上記の何れかの方法でお支払いください。

DVDの発送はお支払い確認後、随時対応します。

＜団体又は法人名の場合＞

請求書、納品書、領収書等の発行を必要とされる場合、お支払方法ご案内の際お申し出ください。

DVD納品後のお支払いにつきましてもお申し出いただければ可能でございます。

第77回 学術集会DVD-ROMのお申込書

(FAX 番号、又は E-mail アドレスのどちらか必ずご記入ください。)

2013年 月 日

フリガナ お名前	申込部数	会員番号
ご所属	お支払方法 ☐ 銀行振込 ☐ 郵便振替 ☐ クレジットカード払い	
ご住所(ご送付先) 〒		☐ ご所属先 ☐ ご自宅
ご連絡先	TEL :	FAX :
E-mail アドレス	@	
その他通信欄		

＜ご提供いただきます個人情報は、個人情報保護法に準拠して取扱います＞



JCS2013

第41回 循環器教育セッション

会場：パシフィコ横浜 日時：2013年3月15～17日

発行予定
6月20日

DVD-ROM発売!!

DVD購入者はWEBでも視聴いただけます。

価格 **5,000円** (送料、税込)

購入し研修されると専門医研修単位が **3単位** 取得できます。

※単位の付加は、ご購入ご本人様のみに限ります。単位受付は同じタイトルにつき一回限りとなりますのでご了承ください。

お申込みはインターネットまたはFAXでもお申込み頂けます。

日本循環器学会ホームページから、又は、https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd にアクセスしてください。

<収録内容>

教育セッション I

ビデオセッション 1 心臓 CT/MRI の最新動向

学会 1 日目 3月15日 (金) 8:30～12:40

座長：尾崎 行男 (藤田保健衛生大学 循環器内科)
吉岡 邦浩 (岩手医科大学 放射線科)

演者：佐久間 肇 (三重大学 放射線医学教室)
高瀬 伸一 (三重大学 中央放射線部)
安野 泰史 (藤田保健衛生大学 放射線科)
元山 貞子 (藤田保健衛生大学 循環器内科)

教育セッション I

ビデオセッション 2 閉塞性肥大型心筋症に対する PTSCA

学会 1 日目 3月15日 (金) 8:30～12:40

座長：一色 高明 (帝京大学)

演者：高山 守正 (榊原記念病院)

教育セッション I

ビデオセッション 3 心房細動アブレーションにおける三次元マッピングの活用

学会 1 日目 3月15日 (金) 8:30～12:40

座長：熊谷 浩一郎 (福岡山王病院 ハートリズムセンター)
沖重 薫 (横浜みなと赤十字病院)

演者：高月 誠司 (慶応義塾大学)
土谷 健 (EP Expert Team-Tsuchiya)

教育セッション II

冠動脈血行再建術 一診療ガイドラインを実臨床にいかにかかすか？

学会 2 日目 3月16日 (土) 8:30～10:30

座長：落 雅美 (日本医科大学 心臓血管外科)
住吉 徹哉 (榊原記念病院 循環器内科)

演者：桑原 博道 (仁邦法律事務所)
松本 晴樹 (厚生労働省保険医療企画調査室)
夜久 均 (京都府立医科大学 心臓血管外科)
中川 義久 (天理よろづ相談所病院 循環器内科)
浅井 徹 (滋賀医科大学 心臓血管外科)
代田 浩之 (順天堂大学 循環器内科)

教育セッション III

新しい抗凝固薬の臨床

学会 3 日目 3月17日 (日) 13:50～15:50

座長：後藤 信哉 (東海大学 循環器内科)
山下 武志 (心臓血管研究所付属病院)

演者：後藤 信哉 (東海大学 循環器内科)
草野 研吾 (岡山大学 循環器内科)
渡邊 英一 (藤田保健衛生大学 循環器内科)
高橋 尚彦 (大分大学 循環器内科)
庭野 慎一 (北里大学 循環器内科)
富田 愛子 (東海大学 循環器内科)

●動作環境

※本 DVD-ROM は DVD-Video プレイヤーでは再生できません。

Windows

Intel Pentium 4 2.33GHz 同等以上のプロセッサ
256MB RAM (512MB 以上推奨)

プラットフォーム:

Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7

ブラウザ:

Microsoft Internet Explorer 6 以降、Firefox 2.x 以降、AOL 9、

Opera 9.5 以上、Safari 3.x

1024×768 / 16 ビットのカラービデオディスプレイアダプタ

Macintosh

PowerPC G4 1.25GHz 以上のプロセッサ

Intel Core Duo 1.33GHz 以上のプロセッサ

256MB RAM (512MB 以上推奨)

プラットフォーム: Mac OS X v10.4.x、10.5

ブラウザ:

Firefox 2.x 以降、AOL for Mac OS X、Opera 9.5、Safari 3.x

1024×768 / 16 ビットのカラービデオディスプレイアダプタ

■お問い合わせ先

株式会社 メディカルビスタ

TEL 0120-046-844

FAX: 03-6368-9509

Mail: jcsdvd@medicalvista.jp

第41回 循環器教育セッションDVD-ROMのお申込

価格 1部 ¥5,000 (送料、税込)

お申込方法

① インターネットの場合

日本循環器学会ホームページ (<http://www.j-circ.or.jp>) 「刊行物購入のご案内」から、

又は、次のURLにアクセスしお申込ください。

https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd

② FAXの場合

下記お申込書にご記入頂き、**03(6368)9509** まで FAX にてお申込ください。

お支払方法

<お申込者個人名の場合>

■銀行振込、■郵便振替、又は■クレジットカード払いの何れかでお支払いください。

お申込受付後、ご指定いただいたお支払い方法についてのご案内をお送り致します。

ご送付先は、E-Mail アドレスのご記入がある場合 E-mail アドレス宛に、E-mail アドレスのご記入がない場合、FAX 番号宛にお送りいたします。上記の何れかの方法でお支払いください。

DVDの発送はお支払い確認後、随時対応します。

<団体又は法人名の場合>

請求書、納品書、領収書等の発行を必要とされる場合、お支払方法ご案内の際お申し出ください。

DVD納品後のお支払いにつきましてもお申し出いただければ可能でございます。

第41回 循環器教育セッションDVD-ROMのお申込書

(FAX 番号、又は E-mail アドレスのどちらか必ずご記入ください。)

2013年 月 日

フリガナ お名前	申込部数	会員番号
ご所属	お支払方法 ☐ 銀行振込 ☐ 郵便振替 ☐ クレジットカード払い	
ご住所(ご送付先) 〒		☐ ご所属先 ☐ ご自宅
ご連絡先	TEL :	FAX :
E-mail アドレス	@	
その他通信欄		

< ご提供いただきます個人情報は、個人情報保護法に準拠して取扱います >

和文論文投稿誌 **心臓** のご案内

論文投稿および購読のお願い

2012年4月(第44巻 第4号)より、「心臓」は
日本心臓財団と日本循環器学会の共同発行となりました。
循環器領域の若手研究者を育てる和文投稿を中心に、
最新のトピックスや研究会など、充実した内容をお届けしています。
和文論文をぜひ投稿してください。また、本誌をご購読ください。

「心臓」

発行：公益財団法人日本心臓財団、一般社団法人日本循環器学会

制作：株式会社協和企画 心臓編集室

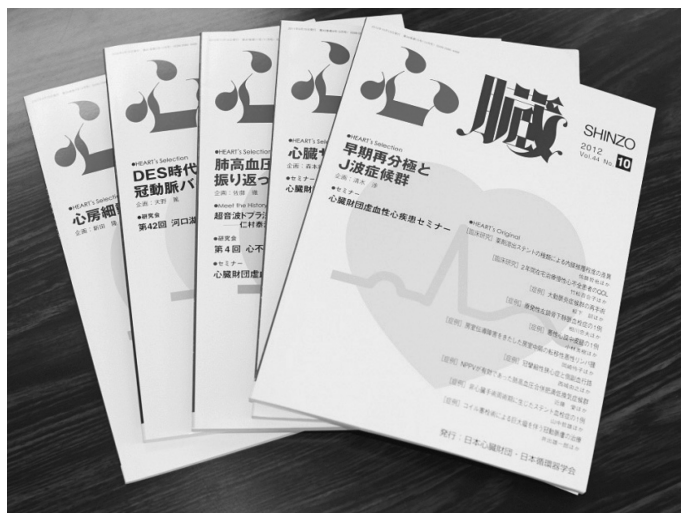
発売：株式会社西村書店

定価：2,100円(本体2,000円+税)

年間予約購読料(12冊分) 25,200円(本体24,000円、送料は負担いたします)

編集委員会

山口 徹(編集委員長)、代田浩之(副編集委員長)、磯部光章、小野 稔、加藤貴雄、
木村一雄、倉林正彦、佐地 勉、竹石恭知、百村伸一、山科 章、四津良平



投稿に関するお問い合わせ

(株)協和企画「心臓」編集室

電話・FAX：03-3571-3176

購読の申し込み・お問い合わせ

(株)西村書店 担当：岩永

電話：03-3293-9311

FAX：03-3293-9314

事務局からのお知らせ

〈住所／勤務先変更の届出について〉

毎月の「CJ」や各地方会の開催案内、プログラム等を確実にお手許にお届けできるよう、適時、住所／勤務先変更の届出をお願いしております。

ホームページ (<http://www.j-circ.or.jp/>) より、会員限定ページにて変更登録をお願い致します。 または、当会告末尾の「登録事項変更届」をご利用ください。

なお、学会活動や医療情報などに関する重要なお知らせをEメールで発信する機会が増えておりますので、可能な限りEメールアドレスをお届け下さいますようお願い致します。

〈会員限定 HP へのアクセス等について〉

- UMIN(大学病院医療情報ネットワーク)のID を利用しての会員のみのアクセス制限をしております。
- 新規ご入会の先生につきましては、当学会にてUMINID の取得申請を代行しております。ご入会手続き後にUMINID が取得次第、順次ID と仮パスワードを郵送致します。
- UMIN メールアドレスにつきましては、各先生方のID@umin.ac.jpにてご利用いただけます。電子メールソフトの設定の詳細はUMIN ホームページ (<http://www.umin.ac.jp/>) をご確認ください。

● 学会に関する問い合わせは下記事務局までご連絡下さい。

(一社)日本循環器学会

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

※京都事務局は2013年7月15日(月)をもって東京事務局に統合されました。

会員の先生方への利便性向上の為、2013年8月27日(火)より業務担当ごとに直通電話番号を開設いたしました。どうぞご利用下さい。

各業務担当メールアドレス・電話番号のご案内		
	メールアドレス	電話番号
代 表	admin@j-circ.or.jp	03-5501-0861
総務(登録事項変更・退会等)	soumu@j-circ.or.jp	
編集(Circulation Journal 関連)	cj@j-circ.or.jp	
情報広報(購読・HP・入会・地方会)	webmaster@j-circ.or.jp	
BLS/ACLS 関連事業	itc@j-circ.or.jp	
国内交流	kokunai@j-circ.or.jp	03-5501-0862
学術集会・ガイドライン関連	meeting@j-circ.or.jp	
国際交流	international@j-circ.or.jp	03-5501-0863
経理(各請求書・年会費等)	keiri@j-circ.or.jp	
専 門 医	senmoni@j-circ.or.jp	
禁 煙	nonsmoking@j-circ.or.jp	

FAX(業務共通)

03-5501-9855

ホームページ URL

<http://www.j-circ.or.jp/>

一般社団法人 日本循環器学会

登録事項変更届

[ホームページからお届けが可能です]

TEL (03) 5501-0861

FAX (03) 5501-9855

E-mail: soumu@j-circ.or.jp

ホームページ : <http://www.j-circ.or.jp/>

会員番号：	【6桁】	生年月日：19 年 月 日（ 歳）
フリガナ：		
会員氏名：		
（旧姓名： ）		
勤務先：		
名 称		
部・科		
役 職		
所在地 〒 —		
代 表 TEL（ ） — FAX（ ） —		
内線		
直 通 TEL（ ） — FAX（ ） —		
旧勤務先名称：		
自 宅： 〒 —		
TEL（ ） — FAX（ ） —		
旧自宅住所：		
E-mail：		
変更希望日： 年 月 日 変更	送本先(連絡先)： ☐ 勤務先 ☐ 自宅	
英文誌 Circulation Journal の送付を： ☐ 希望する ☐ 希望しない		
退 会 届【退会希望者のみ記入】		
年 月 日をもって退会します。 / 退会事由：		
事務局への通信欄：		

* ご提供いただきました個人情報は、学会サービスの提供その他本会の事業目的に沿って行う活動およびこれに付随する業務を行う目的の範囲内においてのみ利用させていただきます。

* 重要なお知らせを E-mail でお届けする機会が増えております。ぜひメールアドレスをご登録ください。

学会誌 Circulation Journal の送本について

Circulation Journal は、希望者のみへの送本を実施しております。送本ご不要のお手続きは、以下にて受付けています。

- Fax: 03-5501-9855
- E-mail: soumu@j-circ.or.jp
- 日本循環器学会 HP(会員事務手続)

*対象は CJ 英文誌のみで、会告、ガイドライン誌、循環器専門医誌は、今まで通り全員に送本されます。

*CJ 送本不要を申し出られた方のみ、送本を停止します。

*CJ 送本不要でも、年会費に変更はありません。

※なお、CJ では、全掲載論文を Online Journal(J-STAGE)にて無料公開しております。

<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/circj>

以上

英文誌 Circulation Journal の送本は、不要です。

氏 名：_____

会員番号：_____
(封筒の宛名ラベル右下に記載の 6 桁の数字)

年 月 日

(注) 氏名・会員番号は必ずご記入下さい。